

新座市男女平等意識・実態調査 報告書

令和2年3月

新 座 市

はじめに

現在、全国的に進行している人口減少及び少子高齢化は、本市においても今後進行していくことが見込まれ、地域社会の在り方そのものを大きく変化させていくことが見込まれます。

そのような中で未来に向けて活力と潤いのあるまちづくりを推進するためには、男女がともに尊重し合い、それぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会の実現が必要不可欠です。

新座市では、平成6年に市民と行政が一体となって男女平等を目指し行動する「にいぎ男女平等行動プラン」を策定するとともに、平成12年には埼玉県下で初めてとなる「新座市男女共同参画推進条例」を制定しました。

また、平成13年11月には男女共同参画都市を宣言し、女性も男性も、性別にとらわれず、自分らしく生き生きと暮らすことができる豊かで活力ある男女共同参画社会を築くことを目指し、まちづくりを推進しています。

この「新座市男女平等意識・実態調査」は、令和2年度に策定予定の「(仮称)第4次にいぎ男女共同参画プラン」の基礎資料にするとともに、今後の男女共同参画社会実現に向けての各種施策に反映していくために実施したものです。

この報告書が、今後の新座市の男女共同参画推進の一助となれば幸いです。

終わりに、調査に御協力を頂きました市民の皆様に、心からお礼を申し上げます。

令和2年3月

新座市長 並木 マサル
傑

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査内容	3
3. 調査設計	3
4. 回収結果	3
5. 報告書の見方	4
第2章 質問と回答	5
第3章 調査の結果	53
1. 調査回答者の基本的特性	55
2. 就業	61
(1) 職業	61
(2) 就労の有無	62
(3) 就業の理由	65
(4) 非就業の理由	68
(5) 現在の仕事を選んだ理由	70
(6) 実際の働き方	72
(7) 女性が働くことへの考え方	74
(8) 女性が働く上で男性と異なる立場に置かれることへの考え方	76
(9) 女性が働き続ける環境をつくるために必要なこと	85
(10) 女性が再就職・起業しやすい環境をつくるために必要なこと	87
(11) 職場でのセクシュアル・ハラスメントの経験	88
(12) 職場でのマタニティ・ハラスメントの経験	92
(13) 育児休業・介護休業の取得	93
3. 家庭生活	95
(1) 家庭生活における男女の役割分担に関する考え	95
(2) 家庭生活における男女の役割分担の状況	97
(3) 家庭生活の考え方	99
(4) 家庭での家事分担の状況の満足度	102
(5) 子育てへのかかわりの評価	104
(6) 家庭での子育て分担の状況の満足度	108
4. 教育	110
(1) 子どもに受けさせたい教育程度	110
(2) 学校教育についての考え方	113
5. 配偶者（パートナー）や交際相手からの暴力	117
(1) 配偶者（パートナー）や交際相手からの暴力について	117
(2) メディアにおける性・暴力表現についての考え方	119

(3) DV加害経験	121
(4) DV加害の理由	127
(5) DV被害経験	128
(6) DV被害を受けた時の子どもの目撃状況	134
(7) 子どもに対するDV	135
(8) 被害時の相談状況	135
(9) 被害時の相談先	137
(10) 被害時に相談できなかった理由	139
(11) 10代から20代時の交際相手の有無	140
(12) デートDVの被害状況	141
(13) デートDVの相談状況	143
(14) デートDVの相談先	144
6. 社会参加	145
(1) 市の施策への女性の意見や考え方の反映	145
(2) 市の施策に女性の意見や考え方が反映されていないと思う理由	147
(3) 協議会、審議会、委員会への就任意向	148
(4) 協議会、審議会、委員会以外の委員への就任意向	151
7. 防災	154
(1) 防災・災害復興対策で配慮すべきこと	154
8. 男女平等	155
(1) 性別役割分担意識	155
(2) 賛成の理由	158
(3) 反対の理由	159
(4) 男女の役割について	161
(5) 女性の人権が尊重されていないと感じること	163
(6) 男女の地位の平等感	166
(7) 施策要望	178
(8) 男女共同参画に関する取組や用語の認知度	181
(9) 新座市男女共同参画推進プラザの認知状況	190
(10) 新座市男女共同参画推進プラザの利用状況	193
(11) 新座市男女共同参画推進プラザの利用目的	194
9. 自由意見	196
(参考) 調査票	199

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、市民の家庭、地域、職場など様々な場面における男女平等に関する意識と実態を把握し、令和2年度策定予定の「(仮称)第4次にいざ男女共同参画プラン」の基礎資料とする。

2. 調査内容

- | | |
|------------------------------|----------|
| (1) 就業 | (5) 社会参加 |
| (2) 家庭生活 | (6) 防災 |
| (3) 教育 | (7) 男女平等 |
| (4) 配偶者(パートナー)や交際相手からの暴力について | (8) 自由意見 |

3. 調査設計

- | | |
|------------|-----------------------|
| (1) 調査対象 | 新座市に在住する満18歳以上の方 |
| (2) 標本数 | 2,000サンプル |
| (3) 調査方法 | 郵送配布・郵送回収 |
| (4) 調査期間 | 令和元年8月30日(金)～9月25日(水) |
| (5) 調査実施機関 | 株式会社タイム・エージェント |

4. 回収結果

- | | |
|-----------|--------------------------------|
| (1) 対象者数 | 2,000人 |
| (2) 回収数 | 732人(女性:368人、男性:253人、無回答:111人) |
| (3) 有効回収率 | 36.6%(女性:36.8%、男性:25.3%) |

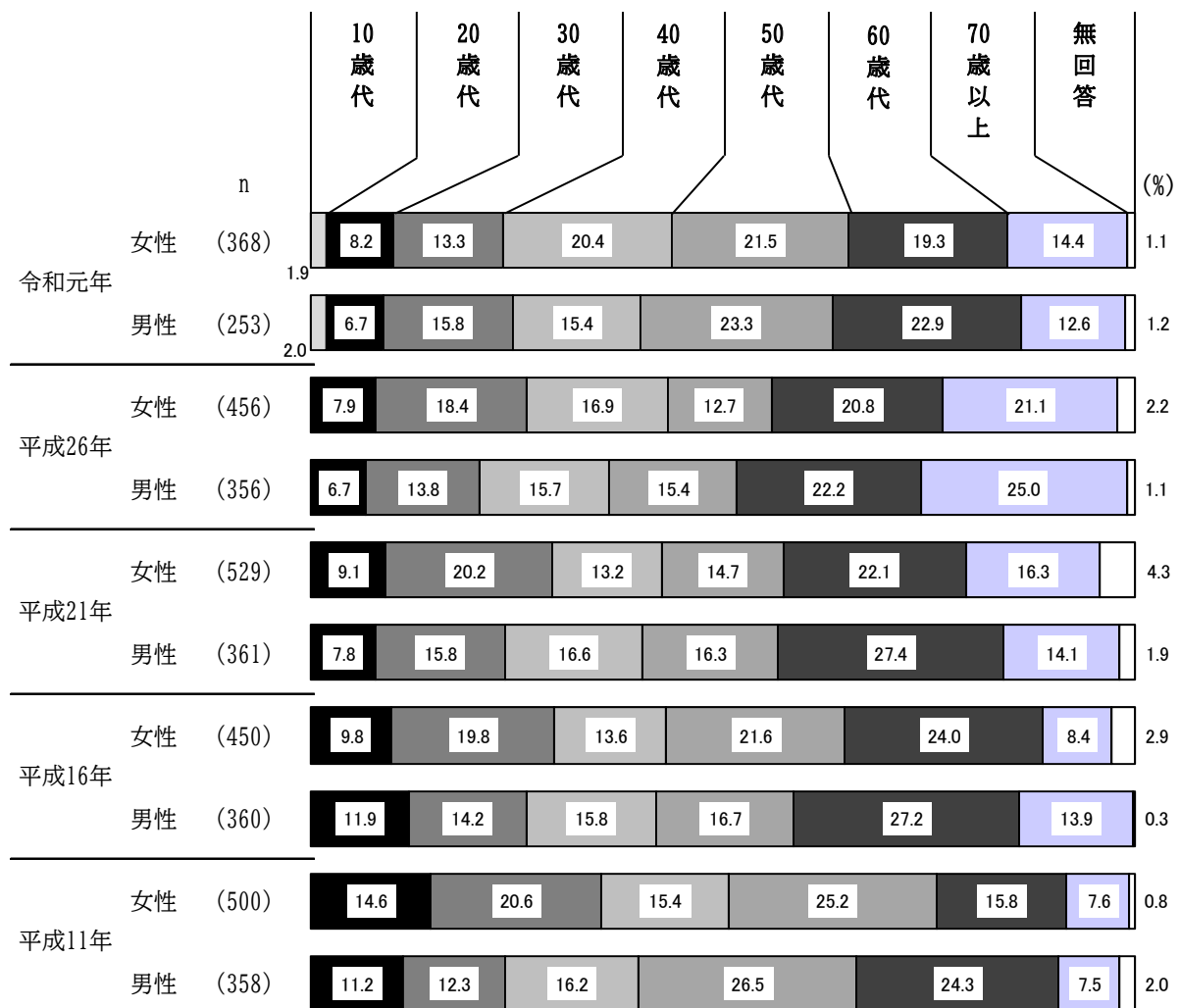
※ 性・年代別回収結果

	女性			男性			無回答
	発送数	回収数	回収率	発送数	回収数	回収率	回収数
18～19歳	27件	7件	25.9%	26件	5件	19.2%	0件
20～29歳	142件	30件	21.1%	140件	17件	12.1%	5件
30～39歳	160件	49件	30.6%	163件	40件	24.5%	9件
40～49歳	234件	75件	32.1%	221件	39件	17.6%	23件
50～59歳	185件	79件	42.7%	167件	59件	35.3%	6件
60～69歳	144件	71件	49.3%	148件	58件	39.2%	24件
70歳以上	108件	53件	49.1%	135件	32件	23.7%	34件
無回答	—	4件	—	—	3件	—	10件
合計	1,000件	368件	36.8%	1,000件	253件	25.3%	111件

第1章 調査の概要

※ 性・年代別回収構成比率

令和元年から選挙権年齢に合わせて調査対象年齢を18歳まで引き下げた



5. 報告書の見方

- (1) 調査結果の比率は、その設問の回答者を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合がある。
- (2) 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超える。
- (3) 図表中の「n」(net)とは、その設問への回答者数を表す。小数点以下1位まで示した数値は、回答比率(%)である。
- (4) クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがある。
- (5) 選択肢の語句が長い場合、本文中の表・グラフでは省略した表現を用いている。
- (6) これまでの調査の実施時期は平成11年、16年、21年及び26年である。ただし、本文中では項目ごとに調査時期の最も古いものと前回(平成26年)、今回(令和元年)を比較している。

第2章 質問と回答

◆ 最初にあなた自身のことについてお答えください。

F1 あなたの性別は。

% (人)

	全 体
	100.0 (732)
1 男 性	34.6
2 女 性	50.3
3 その他	-
無回答	15.2

F2 あなたの年齢は。(○は一つ)

% (人)

	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (732)	100.0 (368)	100.0 (253)	100.0 (111)
1 18～19歳	1.6	1.9	2.0	-
2 20～29歳	7.1	8.2	6.7	4.5
3 30～39歳	13.4	13.3	15.8	8.1
4 40～49歳	18.7	20.4	15.4	20.7
5 50～59歳	19.7	21.5	23.3	5.4
6 60～69歳	20.9	19.3	22.9	21.6
7 70歳以上	16.3	14.4	12.6	30.6
無回答	2.3	1.1	1.2	9.0

F3 あなたは、新座市にお住まいになって何年になりますか。(○は一つ)

% (人)

	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (732)	100.0 (368)	100.0 (253)	100.0 (111)
1 3年未満	6.3	6.5	5.1	8.1
2 3年以上5年未満	5.2	5.2	6.3	2.7
3 5年以上10年未満	7.9	7.1	8.3	9.9
4 10年以上20年未満	21.4	23.1	19.8	19.8
5 20年以上30年未満	19.3	18.8	21.7	15.3
6 30年以上	29.0	31.0	26.5	27.9
7 生まれてからずっと	9.2	7.6	12.3	7.2
無回答	1.8	0.8	-	9.0

第2章 質問と回答

F4 あなたの家族の構成は。(〇は一つ)

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (732)	100.0 (368)	100.0 (253)	100.0 (111)
1 一人住まい	9.7	8.4	11.5	9.9
2 夫婦のみ	26.6	26.1	26.5	28.8
3 ひとり親+子ども	7.4	8.7	5.9	6.3
4 両親+子ども	45.2	46.5	47.4	36.0
5 親+子ども夫婦	1.4	0.5	2.0	2.7
6 親+子ども夫婦+孫	5.2	6.5	4.0	3.6
7 兄弟姉妹	0.5	0.5	-	1.8
8 その他	2.0	2.4	2.0	0.9
無回答	1.9	0.3	0.8	9.9

F5 あなたには、子どもがいますか。

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (732)	100.0 (368)	100.0 (253)	100.0 (111)
1 いる	70.6	74.5	64.8	71.2
2 いない	28.0	25.5	35.2	19.8
無回答	1.4	-	-	9.0

【子どもの人数】

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (517)	100.0 (274)	100.0 (164)	100.0 (79)
1 1人	26.9	29.6	23.2	25.3
2 2人	54.2	53.6	54.9	54.4
3 3人	14.5	12.4	18.3	13.9
4 4人	2.1	2.6	1.8	1.3
5 5人	0.4	0.4	0.6	-
無回答	1.9	1.5	1.2	5.1

F 6 子どものいる方にお聞きします。一番年齢の低い子どもは、現在次のどれにあてはまりますか。
(○は一つ) [子どもと同居していない場合も含みます。]

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (517)	100.0 (274)	100.0 (164)	100.0 (79)
1 1歳未満	2.7	3.6	1.8	1.3
2 1～3歳未満	5.8	5.8	6.1	5.1
3 3歳～小学校入学前	7.5	8.0	7.9	5.1
4 小学生	11.8	13.5	10.4	8.9
5 中学生	5.6	5.8	6.1	3.8
6 高校生	5.0	6.6	3.7	2.5
7 短大・各種学校・大学生・大学院生・浪人生	5.0	5.1	5.5	3.8
8 社会人(未婚)	29.6	24.5	34.8	36.7
9 社会人(既婚)	26.1	25.9	23.2	32.9
無回答	0.8	1.1	0.6	-

F 7 あなたは、結婚の経験がありますか。(○は一つ)

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (732)	100.0 (368)	100.0 (253)	100.0 (111)
1 既婚	70.6	72.6	68.8	68.5
2 未婚	18.0	14.9	26.1	9.9
3 死別	4.4	6.3	1.2	5.4
4 離別	5.3	6.0	4.0	6.3
5 その他	-	-	-	-
無回答	1.6	0.3	-	9.9

第2章 質問と回答

F8 【F7で、「1 既婚」と答えた方にお聞きします。】
あなたの配偶者（パートナー）の職業は。（○は一つ）

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (517)	100.0 (267)	100.0 (174)	100.0 (76)
1 自由業・自営業・家業（農業・会社経営など）	11.8	14.6	8.0	10.5
2 勤め人（正規雇用）	38.9	50.9	23.0	32.9
3 勤め人（フルタイムの非正規雇用（臨時・派遣・アルバイトなど））	5.2	6.0	4.6	3.9
4 勤め人（パートなど、フルタイムでない非正規雇用）	13.2	6.4	21.3	18.4
5 内職	0.2	-	-	1.3
6 専業主婦・専業主夫	12.2	0.7	32.2	6.6
7 学生	-	-	-	-
8 無職	18.0	20.6	10.9	25.0
9 その他	-	-	-	-
無回答	0.6	0.7	-	1.3

就 業

問1 あなたの職業は何ですか。(〇は一つ)

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (732)	100.0 (368)	100.0 (253)	100.0 (111)
1 自由業・自営業・家業（農業・会社経営など）	7.8	4.9	12.6	6.3
2 勤め人（正規雇用）	34.6	21.2	57.3	27.0
3 勤め人（フルタイムの非正規雇用（臨時・派遣・アルバイトなど））	7.7	7.6	5.9	11.7
4 勤め人（パートなど、フルタイムでない非正規雇用）	17.2	24.7	6.3	17.1
5 内職	0.4	0.5	-	0.9
6 専業主婦・専業主夫	14.5	24.7	0.4	12.6
7 学生	2.9	3.0	3.6	0.9
8 無職	13.4	12.2	13.0	18.0
9 その他	0.7	0.8	0.4	0.9
無回答	1.0	0.3	0.4	4.5

問2 あなたは、収入を伴う仕事に就いていますか。(〇は一つ)

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (732)	100.0 (368)	100.0 (253)	100.0 (111)
1 仕事に就いている	68.7	59.5	85.0	62.2
2 仕事に就いていない	29.9	39.4	15.0	32.4
無回答	1.4	1.1	-	5.4

第2章 質問と回答

問2-1 仕事に就いている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (503)	100.0 (219)	100.0 (215)	100.0 (69)
1 生計を維持するため	72.6	65.3	83.3	62.3
2 生活費に余裕が欲しいため	41.2	49.3	32.6	42.0
3 住宅ローンや住宅資金、家賃のため	26.0	19.6	33.5	23.2
4 子どもの教育資金のため	25.8	27.9	23.3	27.5
5 将来に備えて貯蓄するため	44.7	45.2	46.5	37.7
6 自分で自由になるお金が欲しいため	39.6	47.0	32.1	39.1
7 自分の能力・技術・資格を生かすため	24.5	27.4	23.7	17.4
8 働くことが好きであるため	18.9	23.7	14.0	18.8
9 社会や他人とのつながりを持つため	32.8	40.6	24.2	34.8
10 社会的な信頼を得るため	16.3	13.7	20.0	13.0
11 働くことは当たり前のことであるため	27.0	21.0	34.4	23.2
12 家業であるため	2.6	2.3	2.8	2.9
13 その他	2.0	0.5	3.3	2.9
無回答	0.2	-	0.5	-

問2-2 仕事に就いていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (219)	100.0 (145)	100.0 (38)	100.0 (36)
1 働かなくても経済的に困らないため	29.7	27.6	36.8	30.6
2 妊娠中のため	3.2	3.4	-	5.6
3 家事・育児に専念したいため	8.2	11.0	-	5.6
4 家事・育児と両立できないため	7.8	11.0	-	2.8
5 高齢者や病人の世話があるため	9.6	9.0	7.9	13.9
6 健康上の理由	16.0	13.8	21.1	19.4
7 勤務条件のよい職場がないため	7.8	10.3	2.6	2.8
8 能力を生かせる職場がないため	2.3	0.7	2.6	8.3
9 職業能力に自信がないため	5.0	4.8	10.5	-
10 就職活動をしたが、採用されないため	3.7	3.4	7.9	-
11 家族の反対があるため	0.9	0.7	-	2.8
12 家族の転勤のため	0.5	0.7	-	-
13 その他	31.5	35.9	26.3	19.4
無回答	3.7	2.8	5.3	5.6

【問1で、「3 勤め人（フルタイムの非正規雇用（臨時・派遣・アルバイトなど）」、または、「4 勤め人（パートなど、フルタイムでない非正規雇用）」と回答した方にお聞きします。】

問3 その仕事を選んだ主な理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

	％（人）			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (182)	100.0 (119)	100.0 (31)	100.0 (32)
1 好きな時間に働けるため	39.0	38.7	29.0	50.0
2 家事・育児との両立ができるため	35.7	47.1	-	28.1
3 配偶者（パートナー）など家族の同意が得やすいため	11.0	13.4	12.9	-
4 仕事の責任が軽いため	12.1	7.6	25.8	15.6
5 やめるのが簡単なため	6.6	6.7	9.7	3.1
6 非正規の仕事しかなかったため	18.1	13.4	32.3	21.9
7 パートの仕事しかなかったため	9.3	9.2	12.9	6.3
8 期間限定の仕事しかなかったため	0.5	-	3.2	-
9 扶養の範囲内で働けるため	17.0	21.8	3.2	12.5
10 その他	13.2	12.6	16.1	12.5
無回答	2.2	0.8	3.2	6.3

第2章 質問と回答

問4 あなたの実際の働き方はどうですか(どうでしたか)。もっとも近いものを選んでください。(○は一つ)

1 あなた自身について

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (732)	100.0 (368)	100.0 (253)	100.0 (111)
1 結婚や出産の有無にかかわらず、仕事を続けている (いた)	46.2	31.8	71.5	36.0
2 子育ての時期だけ一時やめて、その後はフルタイムで仕事を続けている (いた)	3.4	5.4	-	4.5
3 子育ての時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事を続けている (いた)	13.9	23.4	-	14.4
4 結婚後または子育て終了時から仕事をもっている (いた)	4.5	6.8	0.4	6.3
5 子どもができるまでは仕事を続け、その後は仕事に就いていない (いなかった)	4.0	7.1	-	2.7
6 結婚するまでは仕事を続け、その後は仕事に就いていない (いなかった)	4.8	7.1	-	8.1
7 仕事に就いていない (就いていなかった)	4.5	3.8	5.1	5.4
8 その他	5.9	6.8	5.1	4.5
無回答	12.8	7.9	17.8	18.0

【配偶者 (パートナー) のいる (いた) 方にお聞きします。】

2 配偶者 (パートナー) について

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (588)	100.0 (312)	100.0 (187)	100.0 (89)
1 結婚や出産の有無にかかわらず、仕事を続けている (いた)	58.0	77.9	29.4	48.3
2 子育ての時期だけ一時やめて、その後はフルタイムで仕事を続けている (いた)	3.9	0.6	10.2	2.2
3 子育ての時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事を続けている (いた)	10.7	4.8	20.9	10.1
4 結婚後または子育て終了時から仕事をもっている (いた)	3.2	1.9	4.3	5.6
5 子どもができるまでは仕事を続け、その後は仕事に就いていない (いなかった)	3.6	0.6	8.6	3.4
6 結婚するまでは仕事を続け、その後は仕事に就いていない (いなかった)	5.4	2.9	9.1	6.7
7 仕事に就いていない (就いていなかった)	3.9	2.2	5.3	6.7
8 その他	1.5	0.6	0.5	6.7
無回答	9.7	8.3	11.8	10.1

問5 女性が働くことについて、あなたの考え方にもっとも近いものを選んでください。(○は一つ)
% (人)

	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (732)	100.0 (368)	100.0 (253)	100.0 (111)
1 結婚や出産の有無にかかわらず、仕事を続けるほうがよい	31.7	33.4	29.2	31.5
2 子育ての時期だけ一時やめて、その後はフルタイムで仕事を続けるほうがよい	15.6	14.7	16.6	16.2
3 子育ての時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事を続けるほうがよい	23.1	27.4	17.0	22.5
4 結婚後または子育て終了時から仕事をもつほうがよい	7.1	6.8	8.7	4.5
5 子どもができるまでは仕事を続け、その後は仕事に就かないほうがよい	3.7	2.7	4.3	5.4
6 結婚するまでは仕事を続け、その後は仕事に就かないほうがよい	1.5	-	3.2	2.7
7 仕事に就かないほうがよい	1.6	1.1	2.4	1.8
8 その他	9.8	9.8	11.5	6.3
無回答	5.9	4.1	7.1	9.0

第2章 質問と回答

問6 女性が働く上で、さまざまな面で男性と異なる立場に置かれることについて、どのように考えますか。ア～コの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。(○は各項目に一つ)

項目		区分		% (人)							
		全体	女性	男性	無回答	当然だと思う	やむをえないと思う	不合理なことだと思う	女性に対する差別だと思う	わからない	無回答
全体		100.0	(732)								
女性		100.0	(368)								
男性		100.0	(253)								
無回答		100.0	(111)								
ア 募集や採用で女性は男性より不利であること	全体	1.6	30.1	36.3	15.7	12.0	4.2				
	女性	2.7	33.4	33.4	16.0	11.4	3.0				
	男性	0.4	26.1	39.9	15.8	13.0	4.7				
	無回答	0.9	27.9	37.8	14.4	11.7	7.2				
イ 女性を配置しない職種・部門があること	全体	5.6	47.4	21.3	12.4	9.4	3.8				
	女性	5.2	49.2	21.2	12.5	9.8	2.2				
	男性	7.9	47.8	20.2	11.5	8.3	4.3				
	無回答	1.8	40.5	24.3	14.4	10.8	8.1				
ウ 昇進面で女性は男性より不利であること (女性の管理職が少ないなど)	全体	1.2	14.3	45.8	26.4	8.7	3.6				
	女性	1.9	15.2	46.7	27.4	6.8	1.9				
	男性	0.4	13.0	46.2	24.9	11.1	4.3				
	無回答	0.9	14.4	41.4	26.1	9.9	7.2				
エ 同期や同年齢の男性より、賃金が低いこと	全体	1.4	9.8	40.4	36.2	8.3	3.8				
	女性	1.4	9.0	38.3	42.1	7.1	2.2				
	男性	0.8	10.3	45.8	28.9	9.9	4.3				
	無回答	2.7	11.7	35.1	33.3	9.0	8.1				
オ 同じ仕事の男性より、研修や出張の機会が少ないこと	全体	2.3	28.7	33.3	17.9	13.9	3.8				
	女性	3.5	34.8	29.3	16.3	13.6	2.4				
	男性	1.2	20.6	39.9	20.6	13.4	4.3				
	無回答	0.9	27.0	31.5	17.1	16.2	7.2				
カ 同じ仕事の男性より、転勤などの人事異動で不利であること	全体	2.6	28.1	32.1	16.1	16.5	4.5				
	女性	4.1	31.0	31.0	14.4	17.1	2.4				
	男性	0.8	23.3	36.4	18.6	15.4	5.5				
	無回答	1.8	29.7	26.1	16.2	17.1	9.0				
キ 女性には、補助的、雑用的な仕事しか与えられないこと	全体	0.7	5.3	35.7	45.8	8.2	4.4				
	女性	0.5	5.2	34.8	49.5	7.6	2.4				
	男性	0.8	5.5	39.1	40.7	9.1	4.7				
	無回答	0.9	5.4	30.6	45.0	8.1	9.9				

区 分		% (人)					
		当然だと思 う	やむをえないと思 う	不合理的なことだと思 う	女性に対する差別だと思 う	わからない	無 回 答
項 目	全 体	100.0 (732)					
	女 性	100.0 (368)					
	男 性	100.0 (253)					
	無回答	100.0 (111)					
ク 結婚退職の慣習があること	全 体	1.9	16.8	32.4	32.5	12.4	4.0
	女 性	1.9	13.9	32.6	39.1	10.3	2.2
	男 性	2.0	20.2	33.6	24.5	14.6	5.1
	無回答	1.8	18.9	28.8	28.8	14.4	7.2
ケ 出産退職の慣習があること	全 体	2.5	20.6	32.1	30.1	11.1	3.7
	女 性	2.4	17.9	33.2	35.6	9.0	1.9
	男 性	2.0	23.7	33.6	23.3	12.6	4.7
	無回答	3.6	22.5	25.2	27.0	14.4	7.2
コ 定年の年齢が男女で違うこと	全 体	1.2	8.2	35.5	39.5	11.7	3.8
	女 性	1.4	8.7	32.9	45.9	9.0	2.2
	男 性	0.4	7.5	39.9	32.0	15.4	4.7
	無回答	2.7	8.1	34.2	35.1	12.6	7.2

問7 女性が働き続ける環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

		% (人)			
		全 体	女 性	男 性	無回答
		100.0 (732)	100.0 (368)	100.0 (253)	100.0 (111)
1	男女とも労働時間の短縮を促進	40.7	46.7	37.2	28.8
2	育児休業制度・介護休業制度の定着・促進	71.7	73.6	71.5	65.8
3	労働の場での男女平等の推進	40.4	38.3	45.1	36.9
4	保育所・学童保育などの育児環境の充実と経済的負担の軽減	69.0	71.5	66.8	65.8
5	介護サービス、介護施設などの充実	49.3	52.2	46.2	46.8
6	働き続けることへの家族の理解・協力	55.1	60.1	51.4	46.8
7	男性の家事・育児の分担	57.8	63.9	54.2	45.9
8	その他	3.1	3.3	3.2	2.7
	無回答	2.2	0.8	2.8	5.4

第2章 質問と回答

問8 女性が再就職・起業しやすい環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (732)	100.0 (368)	100.0 (253)	100.0 (111)
1 再就職・起業準備のための講座やセミナー、技能訓練の充実	32.8	34.5	30.8	31.5
2 再就職・起業制度の促進	41.1	40.5	42.7	39.6
3 求人情報の提供や女性が働ける新しい職場、職域の開発	53.6	57.6	49.8	48.6
4 保育所・学童保育などの育児環境の充実	73.5	75.3	73.1	68.5
5 再就職・起業することへの家族の理解・協力	43.6	45.4	42.3	40.5
6 その他	2.7	2.4	3.6	1.8
無回答	2.9	1.9	2.8	6.3

【現在働いている方、または、働いた経験のある方にお聞きします。】

問9 セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）に関して、あなたの職場では以下のようなことがありますか。ア～コの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。（○は各項目に一つ）

区 分		％（人）				
		された経験がある	見たことがある	話に聞いたことがある	そうしたことはない	無回答
項 目	全 体	100.0 (699)				
	女 性	100.0 (354)				
	男 性	100.0 (240)				
	無回答	100.0 (105)				
ア 嫌がっているのに性に関する話を聞かせる	全 体	6.4	6.3	13.6	65.7	8.0
	女 性	11.3	5.6	10.7	65.3	7.1
	男 性	0.4	8.8	17.1	67.9	5.8
	無回答	3.8	2.9	15.2	61.9	16.2
イ 異性の身体にさわる	全 体	9.9	7.3	12.9	62.2	7.7
	女 性	16.7	5.1	11.6	60.2	6.5
	男 性	0.4	11.3	17.9	64.2	6.3
	無回答	8.6	5.7	5.7	64.8	15.2
ウ 宴会でお酌やデュエットを強要する	全 体	8.0	9.7	11.0	63.7	7.6
	女 性	13.6	8.5	9.3	62.1	6.5
	男 性	0.4	12.9	13.8	67.5	5.4
	無回答	6.7	6.7	10.5	60.0	16.2
エ 上司が地位を利用した性的誘いをする	全 体	3.1	2.9	11.9	74.2	7.9
	女 性	5.9	2.8	9.9	74.9	6.5
	男 性	-	3.3	15.4	75.0	6.3
	無回答	1.0	1.9	10.5	70.5	16.2
オ 結婚予定や出産予定をたびたび聞く	全 体	5.0	5.3	15.3	66.1	8.3
	女 性	8.5	4.0	11.9	68.4	7.3
	男 性	0.4	8.8	20.8	63.8	6.3
	無回答	3.8	1.9	14.3	63.8	16.2
カ ヌード写真を見せたり、ヌードや水着のポスターなどを見える所に貼る	全 体	1.1	3.3	2.3	85.4	7.9
	女 性	2.0	4.2	1.4	85.3	7.1
	男 性	-	2.5	4.2	87.5	5.8
	無回答	1.0	1.9	1.0	81.0	15.2
キ 職場の女性を「女の子」や「オバサン」と呼ぶ	全 体	8.3	12.6	16.2	55.2	7.7
	女 性	13.6	9.6	12.7	57.6	6.5
	男 性	0.4	18.8	23.3	51.3	6.3
	無回答	8.6	8.6	11.4	56.2	15.2

第2章 質問と回答

項目		区分					%(人)	
		全体	女性	男性	無回答	無回答		
全体 100.0 (699) 女性 100.0 (354) 男性 100.0 (240) 無回答 100.0 (105)		された経験がある	見たことがある	話に聞いたことがある	そうしたことはない	無回答		
ク 容姿について不快なことを言う	全体	6.7	9.6	16.0	59.8	7.9		
	女性	10.5	7.3	12.4	62.7	7.1		
	男性	1.7	12.9	23.3	56.3	5.8		
	無回答	5.7	9.5	11.4	58.1	15.2		
ケ 年齢について、とりたてて話題にしたり、からかったりする	全体	6.2	9.4	13.7	62.8	7.9		
	女性	9.9	7.3	11.6	64.1	7.1		
	男性	0.8	14.6	17.9	60.8	5.8		
	無回答	5.7	4.8	11.4	62.9	15.2		
コ その他 ※その他の括弧内に具体的な記述のないものは集計に含めていない	全体 (7)	85.7	14.3	-	-	-		
	女性 (6)	83.3	16.7	-	-	-		
	男性 (-)	-	-	-	-	-		
	無回答 (1)	100.0	-	-	-	-		

【現在働いている方、または、働いた経験のある方にお聞きします。】

問10 マタニティ・ハラスメント（働く女性が妊娠、出産を理由に解雇、雇い止めされることや、職場で受ける精神的、肉体的な嫌がらせ）に関して、あなたの職場では以下のようなことがありますか。ア～キの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。（○は各項目に一つ）

項目		区分		% (人)				
				された経験がある	見たことがある	話に聞いたことがある	そうしたことはない	無回答
全体		100.0 (699)						
女性		100.0 (354)						
男性		100.0 (240)						
無回答		100.0 (105)						
ア 妊娠中や産休・育休明けなどに、休暇を取ることなどについて心無いことを言う	全体	2.7	3.6	17.2	66.1	10.4		
	女性	4.5	3.7	16.7	65.5	9.6		
	男性	0.4	2.9	20.0	69.2	7.5		
	無回答	1.9	4.8	12.4	61.0	20.0		
イ 妊娠・出産がきっかけで、解雇や契約打ち切り、自主退職への誘導等をする	全体	2.1	3.1	11.9	72.5	10.3		
	女性	3.1	4.0	11.3	72.6	9.0		
	男性	0.4	2.9	13.8	75.4	7.5		
	無回答	2.9	1.0	9.5	65.7	21.0		
ウ 妊娠中や産休・育休明けなどに、残業や重労働などを強いる	全体	0.7	1.0	5.0	82.5	10.7		
	女性	1.1	1.1	5.4	82.8	9.6		
	男性	-	1.3	4.2	86.7	7.9		
	無回答	1.0	-	5.7	72.4	21.0		
エ 妊娠・出産がきっかけで、望まない異動をさせる	全体	1.1	2.7	11.9	73.5	10.7		
	女性	2.0	4.0	13.6	71.2	9.3		
	男性	0.4	1.3	10.8	79.2	8.3		
	無回答	-	1.9	8.6	68.6	21.0		
オ 妊娠・出産がきっかけで、雇用形態を変更する	全体	1.1	3.4	13.0	71.7	10.7		
	女性	2.3	4.5	12.4	71.2	9.6		
	男性	-	1.7	15.0	75.4	7.9		
	無回答	-	3.8	10.5	64.8	21.0		
カ 妊娠・出産がきっかけで、給料を減らす	全体	0.9	1.4	8.6	78.5	10.6		
	女性	1.7	2.0	8.8	78.2	9.3		
	男性	-	1.3	9.6	81.3	7.9		
	無回答	-	-	5.7	73.3	21.0		
キ その他 ※その他の括弧内に具体的な記述のないものは集計に含めていない	全体 (3)	66.7	33.3	-	-	-		
	女性 (3)	66.7	33.3	-	-	-		
	男性 (-)	-	-	-	-	-		
	無回答 (-)	-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-		

第2章 質問と回答

問11 育児や家族介護を行うために、法律に基づき育児休業や介護休業を取得できる制度があります。あなたは、この制度を活用して、育児休業や介護休業を取得したことがありますか。(○は各項目に一つ)

【ア 育児休業】

		% (人)			
		全 体	女 性	男 性	無回答
		100.0 (732)	100.0 (368)	100.0 (253)	100.0 (111)
1	取得したことがある	10.5	15.8	4.3	7.2
2	(取得したことがない 主な理由を一つ選んでください)	そのような制度がなかった			
3		制度があることを知らなかった			
4		取得しなくても対応できた(有給休暇で対応した場合を含む)			
5		取得したかったが、周囲の事情などにより取得できなかった			
6		自分の仕事や業績に支障が出る			
7		取得すると収入が下がる			
8		在職中に育児・介護の対象者がいなかった			
9		働いたことがない	9.7	9.5	9.1
無回答		13.3	10.1	11.9	27.0

【イ 介護休業】

		% (人)			
		全 体	女 性	男 性	無回答
		100.0 (732)	100.0 (368)	100.0 (253)	100.0 (111)
1	取得したことがある	0.8	1.4	0.4	-
2	(取得したことがない 主な理由を一つ選んでください)	そのような制度がなかった			
3		制度があることを知らなかった			
4		取得しなくても対応できた(有給休暇で対応した場合を含む)			
5		取得したかったが、周囲の事情などにより取得できなかった			
6		自分の仕事や業績に支障が出る			
7		取得すると収入が下がる			
8		在職中に育児・介護の対象者がいなかった			
9		働いたことがない	9.7	9.5	9.1
無回答		14.8	11.7	12.6	29.7

家庭生活

問12 家庭生活における役割分担について、どのように考えますか。ア～クの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。(○は各項目に一つ)

項目		区分		% (人)				
		主として男性がよい	共同して分担がよい	主として女性がよい	どちらがしてもよい	無回答		
全体		100.0 (732)						
女性		100.0 (368)						
男性		100.0 (253)						
無回答		100.0 (111)						
ア 家事（炊事・洗濯・掃除など）	全体	0.1	47.7	16.3	33.3	2.6		
	女性	-	50.8	12.5	34.8	1.9		
	男性	0.4	44.3	21.7	30.8	2.8		
	無回答	-	45.0	16.2	34.2	4.5		
イ 子育て（子どもの世話、しつけ、教育など）	全体	0.3	60.7	10.9	25.4	2.7		
	女性	0.5	66.3	6.0	25.3	1.9		
	男性	-	55.3	15.4	26.5	2.8		
	無回答	-	54.1	17.1	23.4	5.4		
ウ 介護（高齢者の世話、病人の介護など）	全体	0.5	59.8	5.3	31.4	2.9		
	女性	-	62.0	4.6	31.5	1.9		
	男性	1.2	56.5	6.3	33.2	2.8		
	無回答	0.9	60.4	5.4	27.0	6.3		
エ 地域の行事への参加	全体	5.5	39.9	4.6	47.0	3.0		
	女性	4.3	41.8	3.3	48.4	2.2		
	男性	5.9	39.5	6.7	44.7	3.2		
	無回答	8.1	34.2	4.5	47.7	5.4		
オ 自治会、PTA活動	全体	4.1	36.5	9.8	46.4	3.1		
	女性	3.0	38.9	6.5	49.2	2.4		
	男性	5.9	34.4	14.6	42.3	2.8		
	無回答	3.6	33.3	9.9	46.8	6.3		
カ 生活費の確保	全体	34.0	33.7	3.3	26.2	2.7		
	女性	32.9	37.2	2.7	24.7	2.4		
	男性	36.4	30.4	2.8	28.1	2.4		
	無回答	32.4	29.7	6.3	27.0	4.5		
キ 家計の管理	全体	2.9	31.7	29.8	33.5	2.2		
	女性	1.9	31.5	28.3	37.0	1.4		
	男性	4.3	33.6	32.4	27.7	2.0		
	無回答	2.7	27.9	28.8	35.1	5.4		

第2章 質問と回答

項目		区分					%(人)	
		主として男性がよい	共同して分担がよい	主として女性がよい	どちらがしてもよい	無回答		
	全体	100.0 (732)						
	女性	100.0 (368)						
	男性	100.0 (253)						
	無回答	100.0 (111)						
ク 高額な商品や土地・家屋の購入の決定	全体	20.5	53.8	0.7	22.5	2.5		
	女性	19.3	55.2	0.3	23.4	1.9		
	男性	19.4	53.8	1.6	23.3	2.0		
	無回答	27.0	49.5	-	18.0	5.4		

問13 あなたの家庭での実際の役割分担はどうですか。ア～クの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。(○は各項目に一つ)

項目	区分	% (人)				
		主として男性	共同して分担	主として女性	該当しない	無回答
	全体	100.0 (732)				
	女性	100.0 (368)				
	男性	100.0 (253)				
	無回答	100.0 (111)				
ア 家事（炊事・洗濯・掃除など）	全体	3.1	22.4	65.2	5.9	3.4
	女性	0.8	20.4	72.6	3.3	3.0
	男性	7.9	24.9	54.5	9.9	2.8
	無回答	-	23.4	64.9	5.4	6.3
イ 子育て（子どもの世話、しつけ、教育など）	全体	1.0	26.0	43.9	24.5	4.8
	女性	0.3	21.7	51.6	22.3	4.1
	男性	2.0	30.4	34.4	30.0	3.2
	無回答	0.9	29.7	39.6	18.9	10.8
ウ 介護（高齢者の世話、病人の介護など）	全体	1.9	17.9	21.3	53.1	5.7
	女性	0.8	12.8	26.9	54.3	5.2
	男性	4.0	24.1	13.8	54.5	3.6
	無回答	0.9	20.7	19.8	45.9	12.6
エ 地域の行事への参加	全体	10.9	23.4	37.8	23.0	4.9
	女性	7.1	17.4	48.6	22.3	4.6
	男性	16.2	30.4	25.7	24.9	2.8
	無回答	11.7	27.0	29.7	20.7	10.8
オ 自治会、PTA活動	全体	9.3	18.4	45.2	21.9	5.2
	女性	5.7	13.3	56.5	19.8	4.6
	男性	13.8	23.3	34.8	24.9	3.2
	無回答	10.8	24.3	31.5	21.6	11.7
カ 生活費の確保	全体	54.4	25.5	8.9	7.2	4.0
	女性	51.9	26.9	11.7	6.0	3.5
	男性	60.1	22.5	4.7	9.9	2.8
	無回答	49.5	27.9	9.0	5.4	8.1
キ 家計の管理	全体	14.3	23.1	51.5	7.0	4.1
	女性	10.9	20.7	59.2	5.7	3.5
	男性	21.3	26.5	39.5	9.9	2.8
	無回答	9.9	23.4	53.2	4.5	9.0
ク 高額な商品や土地・家屋の購入の決定	全体	33.9	44.1	5.3	12.8	3.8
	女性	32.3	45.4	6.8	12.0	3.5
	男性	36.4	44.3	4.0	13.8	1.6
	無回答	33.3	39.6	3.6	13.5	9.9

第2章 質問と回答

問14 家庭生活の考え方について、あなたは「実生活」では何を優先していますか。また、「希望」では何を優先したいですか。(○は各項目に一つ)

1 実生活

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (732)	100.0 (368)	100.0 (253)	100.0 (111)
1 家事・子育て・介護を優先している	21.2	31.0	9.9	14.4
2 どちらかといえば、仕事や趣味よりも家事・子育て・介護を優先している	14.1	16.3	7.5	21.6
3 仕事や趣味と家事・子育て・介護の優先度は同じくらいである	25.7	26.1	27.7	19.8
4 どちらかといえば、家事・子育て・介護より、仕事や趣味を優先している	10.8	6.0	18.2	9.9
5 仕事や趣味を優先している	24.0	17.1	33.2	26.1
無回答	4.2	3.5	3.6	8.1

2 希望

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (732)	100.0 (368)	100.0 (253)	100.0 (111)
1 家事・子育て・介護を優先したい	14.3	17.9	8.7	15.3
2 どちらかといえば、仕事や趣味より家事・子育て・介護を優先したい	12.0	13.3	7.9	17.1
3 仕事や趣味と家事・子育て・介護の優先度は同じくらいにしたい	38.9	39.9	41.1	30.6
4 どちらかといえば、家事・子育て・介護より、仕事や趣味を優先したい	8.5	6.5	11.5	8.1
5 仕事や趣味を優先したい	20.5	16.8	26.1	19.8
無回答	5.7	5.4	4.7	9.0

問15 あなたの家庭での家事分担の状況について、あなたはどう思いますか。(○は一つ)

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (732)	100.0 (368)	100.0 (253)	100.0 (111)
1 満足している	23.5	20.1	32.4	14.4
2 まあまあ満足している	34.3	29.6	36.4	45.0
3 どちらとも言えない	18.7	17.9	21.3	15.3
4 やや不満である	12.2	18.5	3.6	10.8
5 不満である	5.2	8.2	1.2	4.5
6 その他	2.6	2.4	3.2	1.8
無回答	3.6	3.3	2.0	8.1

【子育て中の方、または、子育て経験のある方にお聞きします。】

問16 あなたと配偶者（パートナー）の子育てのかかわりは十分である（あった）と思いますか。
（○は各項目に一つ）

1 あなた自身について

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (517)	100.0 (274)	100.0 (164)	100.0 (79)
1 十分である（あった）	31.1	42.0	19.5	17.7
2 ある程度は十分である（あった）	46.4	45.6	44.5	53.2
3 あまり十分ではない（なかった）	15.3	9.1	25.0	16.5
4 十分ではない（なかった）	3.9	2.6	5.5	5.1
無回答	3.3	0.7	5.5	7.6

【問16 1 あなた自身についてで、「3 あまり十分ではない（なかった）」、または、「4 十分ではない（なかった）」と回答した方にお聞きします。】

かかわりが十分でない（なかった）のは何が原因だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (99)	100.0 (32)	100.0 (50)	100.0 (17)
ア 仕事が忙しすぎるため	76.8	53.1	92.0	76.5
イ 育児休業制度が不十分または利用しにくい	15.2	12.5	22.0	-
ウ 趣味や自分の個人的な楽しみの方を大切に	6.1	6.3	8.0	-
エ 子どものことや家庭のことにあまり関心がない	9.1	21.9	4.0	-
オ 子どもの世話が面倒だと考えている	6.1	9.4	6.0	-
カ 子育ての大変さを理解していない	12.1	9.4	14.0	11.8
キ 子どもとどのように接したらよいかわからない	3.0	6.3	2.0	-
ク 子育てに関する知識や情報が乏しい	14.1	15.6	10.0	23.5
ケ 子育ては主に配偶者（パートナー）がすべきもの	20.2	28.1	16.0	17.6
コ その他	2.0	3.1	-	5.9
無回答	4.0	6.3	2.0	5.9

第2章 質問と回答

2 配偶者（パートナー）について

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (515)	100.0 (273)	100.0 (164)	100.0 (78)
1 十分である（あった）	30.7	18.7	55.5	20.5
2 ある程度は十分である（あった）	35.7	35.9	34.1	38.5
3 あまり十分ではない（なかった）	19.4	28.9	3.7	19.2
4 十分ではない（なかった）	9.7	13.6	1.2	14.1
無回答	4.5	2.9	5.5	7.7

【問16 2 配偶者（パートナー）についてで、「3 あまり十分ではない（なかった）」、または「4 十分ではない（なかった）」と回答した方にお聞きします。】
 かわりが十分でない（なかった）のは何が原因だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (150)	100.0 (116)	100.0 (8)	100.0 (26)
ア 仕事が忙しすぎるため	58.7	57.8	75.0	57.7
イ 育児休業制度が不十分または利用しにくい	12.0	14.7	-	3.8
ウ 趣味や自分の個人的な楽しみの方を大切に	24.7	27.6	-	19.2
エ 子どものことや家庭のことにあまり関心がない	22.7	25.0	-	19.2
オ 子どもの世話が面倒だと考えているため	12.0	13.8	-	7.7
カ 子育ての大変さを理解していないため	30.7	36.2	-	15.4
キ 子どもとどのように接したらよいかわからない	14.0	14.7	-	15.4
ク 子育てに関する知識や情報が乏しいため	20.7	23.3	12.5	11.5
ケ 子育ては主にあなたがすべきものだと思っ	44.0	49.1	-	34.6
コ その他	4.7	5.2	12.5	-
無回答	3.3	2.6	12.5	3.8

【子育て中の方、または、子育て経験のある方にお聞きします。】
 問17 あなたの家庭での子育て分担の状況について、あなたは満足していますか（していましたか）。
 （○は一つ）

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (517)	100.0 (274)	100.0 (164)	100.0 (79)
1 満足している（いた）	18.8	16.8	26.8	8.9
2 まあまあ満足している（いた）	39.3	33.6	44.5	48.1
3 どちらとも言えない	13.3	12.8	15.2	11.4
4 やや不満である（あった）	15.7	22.3	4.9	15.2
5 不満である（あった）	7.2	11.3	1.2	5.1
6 その他	0.2	0.4	-	-
無回答	5.6	2.9	7.3	11.4

教育

問18 子どもにどの程度の教育を受けさせたいと思いますか。女子と男子に分けて、あてはまる番号を選んでください。子どもがいない場合は、子どもがいると仮定してを選んでください。(○は一つ)

【ア 女子】

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (732)	100.0 (368)	100.0 (253)	100.0 (111)
1 中学まで	-	-	-	-
2 高校まで	3.3	2.2	4.0	5.4
3 短大・専門学校まで	8.9	11.7	4.7	9.0
4 大学まで	44.4	42.9	49.0	38.7
5 大学院まで	1.8	0.5	4.0	0.9
6 子どもに任せる	29.8	32.1	26.5	29.7
7 わからない	1.5	1.1	2.8	-
無回答	10.4	9.5	9.1	16.2

【イ 男子】

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (732)	100.0 (368)	100.0 (253)	100.0 (111)
1 中学まで	0.1	0.3	-	-
2 高校まで	2.3	1.6	2.8	3.6
3 短大・専門学校まで	2.5	2.7	2.0	2.7
4 大学まで	50.8	50.3	52.2	49.5
5 大学院まで	3.4	2.2	5.1	3.6
6 子どもに任せる	29.9	33.7	28.1	21.6
7 わからない	1.4	0.8	2.4	0.9
無回答	9.6	8.4	7.5	18.0

第2章 質問と回答

問19 学校教育についてどのように考えますか。ア～カの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。(○は各項目に一つ)

区 分		% (人)					
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえば思わない	そうは思わない	わからない	無回答
項 目	全 体	100.0 (732)					
	女 性	100.0 (368)					
	男 性	100.0 (253)					
	無回答	100.0 (111)					
ア 中学校は男女共学のほうがよい	全 体	56.7	23.4	2.3	4.9	6.4	6.3
	女 性	52.2	26.6	2.4	5.4	7.9	5.4
	男 性	64.8	18.2	2.4	4.0	5.5	5.1
	無回答	53.2	24.3	1.8	5.4	3.6	11.7
イ 高校は男女共学のほうがよい	全 体	44.5	26.9	4.8	8.1	9.2	6.6
	女 性	39.4	29.9	5.4	8.2	11.4	5.7
	男 性	54.5	22.1	4.0	5.9	8.3	5.1
	無回答	38.7	27.9	4.5	12.6	3.6	12.6
ウ 学校においてもっと積極的に男女平等教育を進めたほうがよい	全 体	39.1	29.2	6.4	5.9	12.7	6.7
	女 性	39.9	30.7	5.7	5.2	12.8	5.7
	男 性	45.5	22.1	7.5	7.9	11.1	5.9
	無回答	21.6	40.5	6.3	3.6	16.2	11.7
エ 学校で出席をとる時など、男子が先、女子が後というのはおかしいことだ	全 体	21.9	15.8	10.8	29.0	16.1	6.4
	女 性	20.1	16.0	12.8	29.3	16.0	5.7
	男 性	24.9	15.4	7.5	31.2	15.8	5.1
	無回答	20.7	16.2	11.7	22.5	17.1	11.7
オ 女性の校長・教頭をもっと増やすべきだ	全 体	23.0	24.6	9.8	12.4	23.6	6.6
	女 性	22.0	29.3	9.2	9.8	23.9	5.7
	男 性	26.5	18.2	8.3	15.8	25.7	5.5
	無回答	18.0	23.4	15.3	13.5	18.0	11.7
カ 学校では、男子・女子ともに「さん」をつけて呼んだほうがよい	全 体	22.5	15.3	12.3	25.0	18.3	6.6
	女 性	23.1	16.6	12.0	22.3	20.4	5.7
	男 性	22.1	12.3	14.2	29.6	16.6	5.1
	無回答	21.6	18.0	9.0	23.4	15.3	12.6

配偶者（パートナー）や交際相手からの暴力

問20 次のようなことが配偶者（パートナー）の間で行われた場合、それをどのように感じますか。
ア～サの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。（○は各項目に一つ）

項目		区分	% (人)			
			どんな場合でも暴力にあたる	暴力にあたる場合もそうでない場合もある	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体		100.0 (732)				
女性		100.0 (368)				
男性		100.0 (253)				
無回答		100.0 (111)				
ア 何を言われても無視をする	全体	23.0	53.4	16.8	6.8	
	女性	26.1	53.3	15.8	4.9	
	男性	21.3	55.7	17.8	5.1	
	無回答	16.2	48.6	18.0	17.1	
イ 電話、メール、SNS等を利用して、交友関係や行動を細かく監視する	全体	42.8	40.4	9.8	7.0	
	女性	47.8	38.9	7.6	5.7	
	男性	38.7	44.3	12.6	4.3	
	無回答	35.1	36.9	10.8	17.1	
ウ 配偶者（パートナー）が大切にしているものを、わざと壊したり捨てたりする	全体	72.0	18.3	3.0	6.7	
	女性	74.7	17.4	2.7	5.2	
	男性	71.5	20.6	3.2	4.7	
	無回答	64.0	16.2	3.6	16.2	
エ 「だれのおかげで食べられるんだ」「給料が少ないくせに」「役立たず」などと人格を否定することを言う	全体	77.0	13.1	3.1	6.7	
	女性	84.5	9.0	1.4	5.2	
	男性	71.9	18.2	5.1	4.7	
	無回答	64.0	15.3	4.5	16.2	
オ 大声でどなったり、殴るふりをしておどす	全体	80.1	11.5	1.9	6.6	
	女性	85.9	8.4	0.5	5.2	
	男性	75.5	17.0	3.2	4.3	
	無回答	71.2	9.0	3.6	16.2	

第2章 質問と回答

区 分		% (人)			
		ど ん な 場 合 で も 暴 力 に あ た る	暴 力 に あ た る 場 合 も そ う で な い 場 合 も あ る	暴 力 に あ た る と は 思 わ な い	無 回 答
項 目	全 体	100.0 (732)			
	女 性	100.0 (368)			
	男 性	100.0 (253)			
	無回答	100.0 (111)			
カ 殴る、蹴るなどの暴力をふるう	全 体	90.4	1.5	1.4	6.7
	女 性	93.2	0.8	0.8	5.2
	男 性	90.9	2.4	2.0	4.7
	無回答	80.2	1.8	1.8	16.2
キ 命の危険を感じさせるほどの暴力をふるう	全 体	90.8	1.1	1.2	6.8
	女 性	93.8	0.3	0.8	5.2
	男 性	91.3	2.0	2.0	4.7
	無回答	80.2	1.8	0.9	17.1
ク 見たがっていないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	全 体	70.9	18.6	3.3	7.2
	女 性	75.5	16.3	2.4	5.7
	男 性	69.6	21.3	4.3	4.7
	無回答	58.6	19.8	3.6	18.0
ケ 避妊に協力しない	全 体	68.7	20.5	3.4	7.4
	女 性	73.6	19.0	1.9	5.4
	男 性	65.6	24.1	5.1	5.1
	無回答	59.5	17.1	4.5	18.9
コ おどしや暴力によって、性的な行為を強要する	全 体	89.5	1.8	1.8	7.0
	女 性	92.7	1.4	0.8	5.2
	男 性	89.7	2.8	2.8	4.7
	無回答	78.4	0.9	2.7	18.0
サ 生活費を渡さないなど、経済的に困窮させる	全 体	79.9	10.0	3.0	7.1
	女 性	83.2	9.2	2.2	5.4
	男 性	79.8	12.3	3.2	4.7
	無回答	69.4	7.2	5.4	18.0

問21 新聞・雑誌・テレビ・インターネット（パソコン・携帯電話）などのメディアにおける性・暴力表現についてどのように思いますか。（あてはまるものすべてに○）

	％（人）			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (732)	100.0 (368)	100.0 (253)	100.0 (111)
1 女性の性的側面を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ	37.2	41.0	32.8	34.2
2 女性に対する犯罪を助長するおそれがある	35.0	37.8	34.8	26.1
3 性・暴力が子どもたちの目に触れないように配慮されていない	44.9	51.1	39.5	36.9
4 男は仕事、女は家庭、男は強く、女は弱いなど固定的な男女のイメージにとらわれている	27.9	32.1	24.9	20.7
5 女性の性を商品化し過ぎている	37.2	40.8	30.8	39.6
6 特に感じない	17.3	11.7	25.3	18.0
7 その他	4.4	5.4	3.2	3.6
無回答	5.6	3.5	3.6	17.1

第2章 質問と回答

【配偶者（パートナー）がいる（いた）方にお聞きします。】

問22 これまでに、あなたの配偶者（パートナー）に対して、次のようなことをしたことがありますか。ア～サの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。（○は各項目に一つ）

		% (人)					
項目	全体	100.0 (588)	区分	何度もあった	一、二度あった	全くない	無回答
	女性	100.0 (312)					
ア 何を言われても無視をした	全体	8.3	36.1	51.9	3.7		
	女性	9.3	35.3	52.9	2.6		
	男性	6.4	37.4	51.9	4.3		
	無回答	9.0	36.0	48.3	6.7		
イ 電話、メール、SNS等を利用して、交友関係や行動を細かく監視した	全体	0.7	4.9	90.8	3.6		
	女性	1.0	5.8	90.7	2.6		
	男性	0.5	3.2	92.0	4.3		
	無回答	-	5.6	88.8	5.6		
ウ 配偶者（パートナー）が大切にしているものを、わざと壊したり捨てたりした	全体	0.7	3.9	91.2	4.3		
	女性	1.0	5.1	91.0	2.9		
	男性	0.5	3.2	90.9	5.3		
	無回答	-	1.1	92.1	6.7		
エ 「だれのおかげで食べられるんだ」「給料が少ないくせに」「役立たず」などと人格を否定することを言った	全体	1.9	9.4	85.0	3.7		
	女性	1.3	8.0	88.5	2.2		
	男性	3.2	13.9	78.1	4.8		
	無回答	1.1	4.5	87.6	6.7		
オ 大声でどなったり、殴るふりをしておどした	全体	3.6	18.9	74.0	3.6		
	女性	2.9	13.5	81.4	2.2		
	男性	4.8	29.9	61.0	4.3		
	無回答	3.4	14.6	75.3	6.7		
カ 殴る、蹴るなどの暴力をふるった	全体	1.0	7.3	88.3	3.4		
	女性	0.6	7.1	90.1	2.2		
	男性	2.1	8.0	85.6	4.3		
	無回答	-	6.7	87.6	5.6		
キ 命の危険を感じさせるほどの暴力をふるった	全体	0.3	1.5	94.7	3.4		
	女性	-	1.0	96.8	2.2		
	男性	1.1	1.6	93.0	4.3		
	無回答	-	3.4	91.0	5.6		

		% (人)				
項目	区分	全体	何度もあった	一、二度あった	全くない	無回答
		100.0 (588)				
	女性	100.0 (312)				
	男性	100.0 (187)				
	無回答	100.0 (89)				
ク 見たがっていないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せた	全体	-	1.0	95.4	3.6	
	女性	-	-	97.4	2.6	
	男性	-	2.7	93.0	4.3	
	無回答	-	1.1	93.3	5.6	
ケ 避妊に協力しなかった	全体	0.5	1.4	94.6	3.6	
	女性	-	0.6	97.1	2.2	
	男性	1.6	2.7	90.9	4.8	
	無回答	-	1.1	93.3	5.6	
コ おどしや暴力によって、性的な行為を強要した	全体	-	0.7	95.7	3.6	
	女性	-	0.3	97.4	2.2	
	男性	-	0.5	94.7	4.8	
	無回答	-	2.2	92.1	5.6	
サ 生活費を渡さないなど、経済的に困窮させた	全体	0.3	1.7	94.0	3.9	
	女性	0.3	1.9	95.5	2.2	
	男性	-	0.5	94.1	5.3	
	無回答	1.1	3.4	88.8	6.7	

【問22で、「何度もあった」、または、「1、2度あった」に一つでも回答した方にお聞きします。】

問23 そのようなことをするに至った理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

	% (人)			
	全体	女性	男性	無回答
	100.0 (315)	100.0 (160)	100.0 (110)	100.0 (45)
1 相手が自分の言うことを聞こうとしないので、行動でわからせようとしたから	17.5	17.5	18.2	15.6
2 いらいらがつのり、ある出来事がきっかけで感情が爆発したから	47.3	50.0	44.5	44.4
3 相手がそうされても仕方がないようなことをしたから	29.8	29.4	32.7	24.4
4 相手が自分に危害を加えてきたので、身を守ろうと思ったから	4.4	4.4	5.5	2.2
5 親しい関係ではこうしたことは当然であるから	1.3	0.6	2.7	-
6 自分が相手を管理する立場であったから	0.3	0.6	-	-
7 覚えていない	7.3	6.3	7.3	11.1
8 特に理由はない	3.8	1.9	5.5	6.7
9 その他	6.7	8.8	4.5	4.4
無回答	9.2	8.8	7.3	15.6

第2章 質問と回答

【配偶者（パートナー）がいる（いた）方にお聞きします。】

問24 これまでに、あなたの配偶者（パートナー）から、次のようなことをされたことがありますか。ア～サの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。（○は各項目に一つ）

		% (人)					
項目	全体	100.0 (588)	区分	何度もあった	一、二度あった	全くない	無回答
	女性	100.0 (312)					
	男性	100.0 (187)					
	無回答	100.0 (89)					
ア 何を言っても無視をされた	全体	10.4		23.6	58.7	7.3	
	女性	12.8		19.6	62.5	5.1	
	男性	7.5		31.6	51.9	9.1	
	無回答	7.9		21.3	59.6	11.2	
イ 電話、メール、SNS等を利用して、交友関係や行動を細かく監視された	全体	2.0		5.8	85.4	6.8	
	女性	2.9		7.1	85.6	4.5	
	男性	1.6		4.8	84.5	9.1	
	無回答	-		3.4	86.5	10.1	
ウ あなたが大切にしているものを、わざと壊したり捨てたりされた	全体	2.0		6.0	85.0	7.0	
	女性	3.2		4.5	87.5	4.8	
	男性	-		8.6	82.4	9.1	
	無回答	2.2		5.6	82.0	10.1	
エ 「だれのおかげで食べられるんだ」「給料が少ないくせに」「役立たず」などと人格を否定することを言われた	全体	5.8		10.7	76.5	7.0	
	女性	8.0		11.9	75.3	4.8	
	男性	2.7		10.2	78.1	9.1	
	無回答	4.5		7.9	77.5	10.1	
オ 大声でどなられたり、殴るふりをしておどされた	全体	9.0		14.6	69.6	6.8	
	女性	13.1		17.3	65.1	4.5	
	男性	3.2		9.6	78.1	9.1	
	無回答	6.7		15.7	67.4	10.1	
カ 殴る、蹴るなどの暴力をふるわれた	全体	2.6		7.0	83.5	7.0	
	女性	3.8		9.0	82.7	4.5	
	男性	1.1		4.8	84.5	9.6	
	無回答	1.1		4.5	84.3	10.1	
キ 命の危険を感じるほどの暴力をふるわれた	全体	0.9		2.7	89.5	7.0	
	女性	0.6		4.2	90.7	4.5	
	男性	1.1		0.5	88.8	9.6	
	無回答	1.1		2.2	86.5	10.1	

項目	区分	% (人)			
		何度もあった	一、二度あった	全くない	無回答
	全体	100.0 (588)			
	女性	100.0 (312)			
	男性	100.0 (187)			
	無回答	100.0 (89)			
ク 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられた	全体	0.3	1.4	90.8	7.5
	女性	0.6	1.6	92.6	5.1
	男性	-	0.5	89.8	9.6
	無回答	-	2.2	86.5	11.2
ケ 避妊に協力してくれなかった	全体	2.4	3.2	87.1	7.3
	女性	3.8	4.5	86.9	4.8
	男性	0.5	1.1	88.8	9.6
	無回答	1.1	3.4	84.3	11.2
コ おどしや暴力によって、性的な行為を強要された	全体	1.0	2.2	89.6	7.1
	女性	1.6	3.5	90.4	4.5
	男性	0.5	-	89.8	9.6
	無回答	-	2.2	86.5	11.2
サ 生活費を渡してくれないなど、経済的に困窮させられた	全体	3.1	2.0	87.9	7.0
	女性	4.5	2.9	88.1	4.5
	男性	-	0.5	89.8	9.6
	無回答	4.5	2.2	83.1	10.1

【問24で、「何度もあった」、または、「1、2度あった」に一つでも回答した方にお聞きます。】
 問25 問24のことをされた時に、子ども（18歳未満）はそれを見たことはありましたか。（○は一つ）

	% (人)			
	全体	女性	男性	無回答
	100.0 (265)	100.0 (146)	100.0 (84)	100.0 (35)
1 あった	35.5	34.9	36.9	34.3
2 なかった	33.6	35.6	28.6	37.1
3 わからない	12.8	12.3	14.3	11.4
4 子どもはいない	11.7	13.0	13.1	2.9
無回答	6.4	4.1	7.1	14.3

第2章 質問と回答

【問24で、「何度もあった」、または、「1、2度あった」に一つでも回答した方にお聞きします。】

問26 配偶者（パートナー）は、子ども（18歳未満）に対して、あなたがされていたことと同じことをしたことがありますか。（○は一つ）

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (265)	100.0 (146)	100.0 (84)	100.0 (35)
1 あった	18.5	25.3	8.3	14.3
2 なかった	57.7	55.5	57.1	68.6
3 わからない	7.9	5.5	14.3	2.9
4 子どもはいない	11.7	12.3	14.3	2.9
無回答	4.2	1.4	6.0	11.4

【問24で、「何度もあった」、または、「1、2度あった」に一つでも回答した方にお聞きします。】

問27 問24のことをされた時に、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。（○は一つ）

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (265)	100.0 (146)	100.0 (84)	100.0 (35)
1 相談した	29.4	37.0	17.9	25.7
2 相談したかったが、相談しなかった	5.7	4.8	6.0	8.6
3 相談しようとは思わなかった	54.3	51.4	60.7	51.4
無回答	10.6	6.8	15.5	14.3

【問27で、「1 相談した」と回答した方にお聞きします。】

問27-1 実際に、だれ（どこ）に相談しましたか。（あてはまるものすべてに○）

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (78)	100.0 (54)	100.0 (15)	100.0 (9)
1 家族	64.1	64.8	53.3	77.8
2 友人・知人	62.8	64.8	66.7	44.4
3 同じ経験をした人	-	-	-	-
4 職場の上司	1.3	-	6.7	-
5 医師・カウンセラー	3.8	3.7	6.7	-
6 弁護士	2.6	3.7	-	-
7 公的な相談窓口・電話相談など	7.7	11.1	-	-
8 新座市女性困りごと相談室	3.8	5.6	-	-
9 その他	1.3	1.9	-	-
無回答	-	-	-	-

【問27で、「2 相談したかったが、相談しなかった」、または「3 相談しようとは思わなかった」と回答した方にお聞きします。】

問27-2 だれ(どこ)にも相談できなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (159)	100.0 (82)	100.0 (56)	100.0 (21)
1 だれ(どこ)に相談してよいのかわからなかったから	5.0	3.7	5.4	9.5
2 恥ずかしくてだれにも言えなかったから	10.1	8.5	8.9	19.0
3 相談しても無駄だと思ったから	16.4	18.3	12.5	19.0
4 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから	2.5	4.9	-	-
5 相談窓口の担当者の言動により、不快な思いをすと思ったから	1.3	1.2	1.8	-
6 自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思ったから	17.6	15.9	17.9	23.8
7 世間体が悪いから	5.0	4.9	5.4	4.8
8 他人を巻き込みたくないから	6.3	3.7	8.9	9.5
9 思い出したくないから	4.4	4.9	3.6	4.8
10 自分に悪いところがあると思ったから	19.5	19.5	21.4	14.3
11 相談するほどのことではないと思ったから	49.1	45.1	53.6	52.4
12 その他	1.3	1.2	-	4.8
無回答	10.1	8.5	16.1	-

【あなたの10代から20代の経験についてお聞きします。結婚している方、結婚したことのある方については、結婚前についてお答えください。】

問28 10代から20代の時に、交際相手がありましたか。(○は一つ)

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (732)	100.0 (368)	100.0 (253)	100.0 (111)
1 交際相手があった(いる)	75.4	79.9	71.9	68.5
2 交際相手はいなかった(いない)	19.4	17.4	21.3	21.6
無回答	5.2	2.7	6.7	9.9

第2章 質問と回答

【問28で、「1 交際相手がいた（いる）」と回答した方にお聞きます】

問29 10代、20代の時に、交際相手からア～カのようなことをされたことがありますか。（○は各項目に一つ）

項目		区分		% (人)				
		全体	無回答	10代にあった	20代にあった	両方ともあった	全くない	無回答
ア 殴られたり、蹴られたり、物を投げつけられたり、突き飛ばされた（される）	全体	100.0 (552)						
	女性	100.0 (294)						
	男性	100.0 (182)						
	無回答	100.0 (76)						
イ 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせをされた（される）	全体			2.9	2.2	1.1	92.6	1.3
	女性			3.4	2.0	1.4	92.5	0.7
	男性			2.2	2.2	0.5	92.9	2.2
	無回答			2.6	2.6	1.3	92.1	1.3
ウ あなたやあなたの家族への危害をほのめかすなどの脅迫をされた（される）	全体			0.9	1.3	0.5	96.0	1.3
	女性			1.7	2.0	0.7	94.9	0.7
	男性			-	0.5	-	97.3	2.2
	無回答			-	-	1.3	97.4	1.3
エ メールやSNSをチェックされたり、メールやSNSの返事をすぐに返さないと言って怒られたりした（する）	全体			2.9	2.5	1.8	91.1	1.6
	女性			4.1	2.4	2.4	90.1	1.0
	男性			1.1	3.3	1.1	92.3	2.2
	無回答			2.6	1.3	1.3	92.1	2.6
オ 性的な行為を強要された（される）	全体			1.6	1.4	1.1	94.0	1.8
	女性			2.7	2.4	1.7	91.8	1.4
	男性			-	-	-	97.3	2.7
	無回答			1.3	1.3	1.3	94.7	1.3
カ お金を貸しても返さない、いつもおごらされることがあった（ある）	全体			1.3	3.3	0.5	93.7	1.3
	女性			2.0	4.1	0.3	93.2	0.3
	男性			-	1.6	-	95.6	2.7
	無回答			1.3	3.9	2.6	90.8	1.3

【問29で「10代にあった」、「20代にあった」、または、「両方ともあった」に一つでも回答した方にお聞きします】

問30 問29のことをされた時に、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。(○は一つ)

% (人)

	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (81)	100.0 (53)	100.0 (15)	100.0 (13)
1 相談した	38.3	45.3	13.3	38.5
2 相談したかったが、相談しなかった	21.0	24.5	6.7	23.1
3 相談しようとは思わなかった	39.5	30.2	80.0	30.8
無回答	1.2	-	-	7.7

【問30で、「1 相談した」と回答した方にお聞きします。】

問31 実際に、だれ(どこ)に相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

% (人)

	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (31)	100.0 (24)	100.0 (2)	100.0 (5)
1 家族	41.9	45.8	-	40.0
2 友人・知人	90.3	87.5	100.0	100.0
3 同じ経験をした人	6.5	4.2	-	20.0
4 職場の上司	3.2	4.2	-	-
5 医師・カウンセラー	-	-	-	-
6 弁護士	-	-	-	-
7 公的な相談窓口・電話相談など	3.2	-	-	20.0
8 新座市女性困りごと相談室	-	-	-	-
9 その他	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-

第2章 質問と回答

社会参加

問32 あなたは、市の施策について女性の意見や考え方がどの程度反映されていると思いますか。
(○は一つ)

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (732)	100.0 (368)	100.0 (253)	100.0 (111)
1 十分反映されている	2.6	1.9	3.6	2.7
2 ある程度反映されている	21.4	20.7	25.3	15.3
3 どちらともいえない	55.5	57.6	52.2	55.9
4 あまり反映されていない	12.0	13.0	10.3	12.6
5 ほとんど反映されていない	3.7	3.3	4.3	3.6
無回答	4.8	3.5	4.3	9.9

【問32で、「4 あまり反映されていない」、または「5 ほとんど反映されていない」と回答した方にお聞きします。】

そう思う理由は何ですか。(○は一つ)

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (115)	100.0 (60)	100.0 (37)	100.0 (18)
ア 女性議員が少ないため	16.5	18.3	13.5	16.7
イ 行政機関の女性の管理職が少ないため	6.1	6.7	5.4	5.6
ウ 審議会や委員会に女性委員が少ないため	2.6	1.7	2.7	5.6
エ 地域組織のリーダーに女性が少ないため	7.0	6.7	10.8	-
オ 女性自身の意欲や責任感が乏しいため	7.0	8.3	5.4	5.6
カ 女性自身が消極的であるため	2.6	3.3	-	5.6
キ 男性の意識・理解が足りないため	8.7	6.7	13.5	5.6
ク 社会の仕組みが女性に不利なため	20.9	23.3	13.5	27.8
ケ 女性の能力に対する偏見があるため	2.6	1.7	2.7	5.6
コ その他	6.1	5.0	10.8	-
無回答	20.0	18.3	21.6	22.2

問33 市には各種の協議会、審議会、委員会があり、市民の方に委員をお願いしていますが、このような委員への就任依頼があった場合、あなたはどうしますか。(〇は一つ)

% (人)

	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (732)	100.0 (368)	100.0 (253)	100.0 (111)
1 積極的に引き受ける	3.6	3.0	4.3	3.6
2 自分の興味のある分野であれば引き受ける	13.4	12.8	14.6	12.6
3 時間に余裕があれば引き受ける	30.6	28.3	33.6	31.5
4 家族や周囲の理解が得られれば引き受ける	6.8	6.0	8.3	6.3
5 引き受けない	41.0	47.0	34.4	36.0
6 その他	1.2	1.1	1.6	0.9
無回答	3.4	1.9	3.2	9.0

問34 問33の場合以外に、市では、委員を募集する場合があります。このような募集があった場合、あなたはどうしますか。(〇は一つ)

% (人)

	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (732)	100.0 (368)	100.0 (253)	100.0 (111)
1 積極的に応募する	1.6	1.1	2.4	1.8
2 自分の興味のある分野であれば応募する	10.4	8.7	13.4	9.0
3 時間に余裕があれば応募する	21.9	19.6	26.5	18.9
4 家族や周囲の理解が得られれば応募する	4.8	2.4	6.7	8.1
5 応募しない	55.7	64.4	45.8	49.5
6 その他	1.0	0.8	0.8	1.8
無回答	4.6	3.0	4.3	10.8

第2章 質問と回答

防災

問35 防災・災害復興対策で配慮して取り組む必要があると思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (732)	100.0 (368)	100.0 (253)	100.0 (111)
1 避難所に男女別のトイレや更衣室を設置すること	82.2	86.4	77.9	78.4
2 被災者に対する相談窓口を設置すること	66.9	67.9	68.8	59.5
3 避難所等における暴力を予防するため、巡回警備等を実施すること	60.5	66.6	54.5	54.1
4 乳幼児、高齢者、障がい者、病人、妊産婦、授乳中の方などのニーズを的確に把握すること、また、物資を支給する際には適切な配慮をすること	80.9	83.4	78.3	78.4
5 避難所運営の責任者に女性が配置され、被災者対応に女性の視点が入ること	59.6	64.7	53.0	57.7
6 防災計画・復興計画などを策定するに当たり、防災会議に女性が参画すること	52.6	52.4	53.8	50.5
7 救援医療体制（診察・治療体制、妊産婦をサポートする保健師・助産師の配置）を構築すること	73.5	76.4	70.8	70.3
8 特になし	1.8	0.5	4.0	0.9
9 その他	3.3	3.8	3.2	1.8
無回答	2.0	1.4	1.6	5.4

男女平等

問36 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。(○は一つ)

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (732)	100.0 (368)	100.0 (253)	100.0 (111)
1 そのとおりだと思う	3.1	2.4	3.2	5.4
2 どちらかといえばそう思う	26.8	25.0	29.6	26.1
3 どちらかといえばそう思わない	30.2	32.6	26.9	29.7
4 そうは思わない	36.5	37.2	37.9	30.6
無回答	3.4	2.7	2.4	8.1

【問36で、「1 そのとおりだと思う」、または「2 どちらかといえばそう思う」と回答した方にお聞きします。】

問36-1 その理由は何ですか。(○は一つ)

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (219)	100.0 (101)	100.0 (83)	100.0 (35)
1 男は仕事、女は家事・育児に向いているから	15.1	8.9	19.3	22.9
2 男女の役割をはっきり分ける方が、仕事も家庭もうまくいくから	13.2	15.8	12.0	8.6
3 子どものころから、そうした教育をされているから	12.3	11.9	13.3	11.4
4 子どもを育てるには、女性は家庭にいた方がよいから	33.8	28.7	39.8	34.3
5 女性は仕事を持って、勤労条件に恵まれず、仕事と家庭との両立が難しいから	12.3	17.8	4.8	14.3
6 その他	4.6	5.9	4.8	-
無回答	8.7	10.9	6.0	8.6

【問36で、「3 どちらかといえばそう思わない」、または「4 そうは思わない」と回答した方にお聞きします。】

問36-2 その理由は何ですか。(○は一つ)

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (488)	100.0 (257)	100.0 (164)	100.0 (67)
1 生まれつき男女の役割は決められていないから	8.6	5.1	15.2	6.0
2 仕事や家事の能力に男女差はないから	15.6	14.8	14.6	20.9
3 従来の慣習が薄れ、男女の役割を固定しない風潮が高まっているから	12.5	15.6	9.1	9.0
4 仕事の面でも活躍している女性が多くなっているから	13.1	14.0	14.0	7.5
5 男女ともに社会的にも家庭的にも自立することが望ましいから	37.1	36.6	36.0	41.8
6 その他	4.9	5.4	4.3	4.5
無回答	8.2	8.6	6.7	10.4

第2章 質問と回答

問37 日常生活における男女の役割について、本来どうあるべきだと思いますか。(○は一つ)

% (人)

	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (732)	100.0 (368)	100.0 (253)	100.0 (111)
1 男は仕事、女は家事・育児をする	4.4	3.3	4.7	7.2
2 男は仕事、女は家事・育児にさしつかえない範囲で仕事をする	13.7	12.5	15.4	13.5
3 男女とも仕事をし、家事も男女ですが、育児は主に女性がする	6.6	4.1	8.7	9.9
4 男女とも仕事をし、家事・育児も男女です	32.7	35.9	29.2	29.7
5 女は仕事、男は家事・育児をする	0.1	0.3	-	-
6 性別で役割を決める必要はない	38.1	41.0	37.5	29.7
7 その他	0.8	1.1	0.4	0.9
無回答	3.7	1.9	4.0	9.0

問38 女性の人権が尊重されていないと感じるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

% (人)

	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (732)	100.0 (368)	100.0 (253)	100.0 (111)
1 売春・買春・援助交際	43.4	46.2	39.5	43.2
2 レイプ(強制性交)や痴漢行為など女性への性暴力	69.4	73.1	64.4	68.5
3 配偶者(パートナー)や交際相手からの暴力	50.1	54.6	45.1	46.8
4 職場におけるセクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)	57.8	60.3	55.7	54.1
5 職場におけるマタニティ・ハラスメント(働く女性が妊娠、出産を理由に解雇、雇い止めされることや、職場で受ける精神的、肉体的な嫌がらせ)	63.7	67.7	58.1	63.1
6 職場におけるパワー・ハラスメント(社会的地位や職権を利用して行う嫌がらせのこと)	46.6	49.7	43.5	43.2
7 女性のヌード写真などを掲載した雑誌	24.6	27.4	20.6	24.3
8 人目を引くためだけに女性の性的あるいは外見的な側面を強調して表現している広告	30.1	34.5	25.7	25.2
9 女性の容姿を競うコンテスト	16.1	14.1	17.8	18.9
10 特に感じない	8.5	7.1	11.1	7.2
11 その他	1.9	2.4	1.6	0.9
無回答	4.1	1.6	5.5	9.0

問39 次にあげる分野において、男女の地位は平等であると思いますか。ア～クの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。(○は各項目に一つ)

		% (人)						
項目	区分	女性 優遇されている	やや女性 優遇されている	平等である	やや男性 優遇されている	男性 優遇されている	わからない	無回答
		全体	女性	男性	無回答	全体	女性	男性
ア 家庭では	全体	100.0 (732)						
	女性	100.0 (368)						
	男性	100.0 (253)						
	無回答	100.0 (111)						
イ 職場では	全体	5.3	11.6	35.2	22.1	12.7	9.8	3.1
	女性	4.1	12.8	28.3	26.4	15.8	11.4	1.4
	男性	5.9	9.9	44.7	18.2	8.7	8.7	4.0
	無回答	8.1	11.7	36.9	17.1	11.7	7.2	7.2
ウ 教育の場では	全体	1.4	4.2	22.7	35.0	22.4	10.4	4.0
	女性	1.1	3.3	16.6	36.7	26.9	13.3	2.2
	男性	2.4	6.3	32.4	32.4	15.4	7.1	4.0
	無回答	-	2.7	20.7	35.1	23.4	8.1	9.9
エ 社会活動の場では	全体	0.8	3.7	50.7	18.2	4.8	18.3	3.6
	女性	0.8	3.8	46.5	18.8	6.5	22.0	1.6
	男性	1.2	3.6	55.7	19.0	2.4	14.6	3.6
	無回答	-	3.6	53.2	14.4	4.5	14.4	9.9
オ 法律や制度では	全体	0.7	2.3	33.2	32.4	12.0	16.0	3.4
	女性	0.5	1.6	25.8	36.4	14.1	19.6	1.9
	男性	1.2	3.2	43.5	26.9	7.9	13.0	4.3
	無回答	-	2.7	34.2	31.5	14.4	10.8	6.3
カ しきたりや慣習では	全体	0.8	4.5	33.2	28.0	11.5	18.2	3.8
	女性	0.5	3.5	27.4	28.3	14.1	23.9	2.2
	男性	1.6	5.5	41.1	28.5	6.3	12.6	4.3
	無回答	-	5.4	34.2	26.1	14.4	11.7	8.1
キ 余暇生活では	全体	-	2.3	15.3	33.1	32.4	12.7	4.2
	女性	-	1.9	13.3	30.2	37.5	14.7	2.4
	男性	-	2.8	17.0	37.2	26.9	11.5	4.7
	無回答	-	2.7	18.0	33.3	27.9	9.0	9.0
ク 全体としては	全体	1.2	8.9	45.1	16.0	6.4	18.2	4.2
	女性	0.3	8.2	39.4	18.5	9.2	21.5	3.0
	男性	2.8	7.9	53.8	13.0	3.2	15.4	4.0
	無回答	0.9	13.5	44.1	14.4	4.5	13.5	9.0
ク 全体としては	全体	0.3	2.2	26.2	42.1	10.2	15.0	4.0
	女性	-	0.5	22.0	44.6	12.5	17.7	2.7
	男性	0.4	4.7	32.0	38.3	7.9	12.6	4.0
	無回答	0.9	1.8	27.0	42.3	8.1	11.7	8.1

第2章 質問と回答

問40 男女共同参画社会を実現するために、市がどのような取組を進めたらよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (732)	100.0 (368)	100.0 (253)	100.0 (111)
1 学校における男女平等教育の推進	52.3	54.3	51.8	46.8
2 女性の社会的な自立を促す講座の開催	26.4	28.3	23.7	26.1
3 男女共同参画についての広報活動	29.4	28.5	31.2	27.9
4 経営者、事業主に対する啓発活動	32.7	32.1	37.2	24.3
5 福祉・健康・労働など女性に関する相談業務	33.3	35.9	27.7	37.8
6 保育所などの児童福祉の推進	54.0	56.8	49.8	54.1
7 市の審議会などへの女性委員の登用	30.2	28.8	32.8	28.8
8 地域活動やボランティア活動への支援	17.6	16.6	18.6	18.9
9 男女共同参画に関して活動を行っている団体への支援と育成	23.6	22.6	24.1	26.1
10 女性起業家の支援と育成	22.4	21.7	23.3	22.5
11 高齢者介護などの福祉の充実	51.1	56.0	43.1	53.2
12 男女共同参画推進プラザにおける事業の拡充	13.4	12.0	16.6	10.8
13 その他	3.8	3.8	4.0	3.6
無回答	4.4	2.2	5.9	8.1

問41 男女共同参画問題に関する次の取組や用語などをご存じですか。ア～トの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。(○は各項目に一つ)

項目		区分				%			
		全体	女性	男性	無回答	言葉も内容も知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
		全体	100.0 (732)						
		女性	100.0 (368)						
		男性	100.0 (253)						
		無回答	100.0 (111)						
ア	新座市男女共同参画情報紙 For You	全体	7.5	20.1	68.6	3.8			
		女性	9.0	23.6	64.1	3.3			
		男性	5.1	15.4	77.5	2.0			
		無回答	8.1	18.9	63.1	9.9			
イ	第3次にいぎ男女共同参画プラン（平成28年3月策定）	全体	2.3	11.1	82.1	4.5			
		女性	2.4	13.9	80.2	3.5			
		男性	1.6	8.7	87.0	2.8			
		無回答	3.6	7.2	77.5	11.7			
ウ	新座市男女共同参画推進条例（平成12年7月1日施行）	全体	1.9	13.0	80.5	4.6			
		女性	1.6	15.2	79.3	3.8			
		男性	2.0	10.3	85.0	2.8			
		無回答	2.7	11.7	73.9	11.7			
エ	女性困りごと相談室（平成12年10月1日開設）	全体	9.3	29.1	57.0	4.6			
		女性	13.0	36.7	46.7	3.5			
		男性	4.3	18.6	73.9	3.2			
		無回答	8.1	27.9	52.3	11.7			
オ	男女雇用機会均等法【雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律】（昭和61年施行）	全体	35.5	31.0	29.1	4.4			
		女性	32.3	29.9	34.2	3.5			
		男性	42.7	32.0	22.5	2.8			
		無回答	29.7	32.4	27.0	10.8			
カ	育児・介護休業法【育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律】（平成4年施行）	全体	32.1	37.2	26.5	4.2			
		女性	32.6	36.7	26.9	3.8			
		男性	34.8	36.4	26.5	2.4			
		無回答	24.3	40.5	25.2	9.9			
キ	男女共同参画社会基本法（平成11年施行）	全体	13.5	29.5	52.5	4.5			
		女性	10.9	29.3	55.7	4.1			
		男性	19.0	30.8	47.8	2.4			
		無回答	9.9	27.0	52.3	10.8			

第2章 質問と回答

項目		% (人)				
		区分	言葉も内容も知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
全体		100.0 (732)				
女性		100.0 (368)				
男性		100.0 (253)				
無回答		100.0 (111)				
ク ドメスティック・バイオレンス (DV。配偶者 (パートナー) から振るわれる暴力)	全体	72.0	14.8	9.4	3.8	
	女性	75.3	13.3	8.2	3.3	
	男性	71.5	16.6	9.9	2.0	
	無回答	62.2	15.3	12.6	9.9	
ケ デートDV (交際相手から振るわれる暴力)	全体	51.1	20.8	24.0	4.1	
	女性	56.8	18.8	21.2	3.3	
	男性	45.5	25.3	26.5	2.8	
	無回答	45.0	17.1	27.9	9.9	
コ DV防止法【配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律】(平成13年施行)	全体	41.9	34.2	19.4	4.5	
	女性	44.8	33.7	17.7	3.8	
	男性	40.7	35.2	21.3	2.8	
	無回答	35.1	33.3	20.7	10.8	
サ 男女共同参画週間 (毎年6月23日~29日の1週間)	全体	4.2	23.1	68.2	4.5	
	女性	4.1	22.8	69.0	4.1	
	男性	5.1	22.1	70.4	2.4	
	無回答	2.7	26.1	60.4	10.8	
シ ジェンダー (社会的・文化的につくられた性別のこと)	全体	49.0	23.5	23.4	4.1	
	女性	51.4	24.2	21.2	3.3	
	男性	50.2	22.1	24.9	2.8	
	無回答	38.7	24.3	27.0	9.9	
ス LGBT (性的マイノリティのこと)	全体	52.3	21.3	22.5	3.8	
	女性	54.3	19.3	23.4	3.0	
	男性	54.5	23.7	19.8	2.0	
	無回答	40.5	22.5	26.1	10.8	
セ セクシュアル・ハラスメント (性的嫌がらせ)	全体	75.7	14.2	6.1	4.0	
	女性	78.5	13.3	5.2	3.0	
	男性	77.1	14.2	5.9	2.8	
	無回答	63.1	17.1	9.9	9.9	

項目		区分				% (人)			
		全体	女性	男性	無回答	言葉も内容も知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
ソ	マタニティ・ハラスメント（働く女性が妊娠、出産を理由に解雇、雇い止めされることや、職場で受ける精神的、肉体的な嫌がらせ）	全体	100.0 (732)						
		女性	100.0 (368)						
		男性	100.0 (253)						
		無回答	100.0 (111)						
タ	パワー・ハラスメント（社会的地位や職権を利用して行う嫌がらせのこと）	全体	72.7	17.1	6.6	3.7			
		女性	76.6	14.9	5.4	3.0			
		男性	72.7	17.8	7.5	2.0			
		無回答	59.5	22.5	8.1	9.9			
チ	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	全体	75.3	14.5	6.4	3.8			
		女性	77.2	14.4	5.4	3.0			
		男性	76.7	13.8	7.1	2.4			
		無回答	65.8	16.2	8.1	9.9			
ツ	ポジティブ・アクション（積極的格差是正措置）	全体	39.1	26.5	30.3	4.1			
		女性	35.3	26.6	34.2	3.8			
		男性	47.8	23.7	26.5	2.0			
		無回答	31.5	32.4	26.1	9.9			
テ	女性活躍推進法【女性の職業生活における活躍の推進に関する法律】（平成27年施行）	全体	9.2	25.7	61.2	4.0			
		女性	7.9	24.7	63.9	3.5			
		男性	11.5	24.9	61.7	2.0			
		無回答	8.1	30.6	51.4	9.9			
ト	政治分野における男女共同参画の推進に関する法律（平成30年施行）	全体	10.9	30.6	54.5	4.0			
		女性	9.2	29.1	58.2	3.5			
		男性	15.0	30.0	53.0	2.0			
		無回答	7.2	36.9	45.9	9.9			
ト	政治分野における男女共同参画の推進に関する法律（平成30年施行）	全体	6.8	21.0	68.3	3.8			
		女性	4.9	17.9	73.9	3.3			
		男性	9.1	24.5	64.4	2.0			
		無回答	8.1	23.4	58.6	9.9			

第2章 質問と回答

問42 新座市男女共同参画推進プラザ（志木駅南口前のいざほっとぷらざ内に平成14年2月1日に開設）をご存じですか。また、ここで開催された講座などに参加したことはありますか。（〇は一つ）

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (732)	100.0 (368)	100.0 (253)	100.0 (111)
1 男女共同参画推進プラザを知っている	23.1	25.0	18.2	27.9
2 男女共同参画推進プラザを知らない	74.9	73.9	80.2	65.8
無回答	2.0	1.1	1.6	6.3

【問42で、「1 男女共同参画推進プラザを知っている」と回答した方にお聞きします。】

問42-1-1 利用したことはありますか。（〇は一つ）

	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (169)	100.0 (92)	100.0 (46)	100.0 (31)
1 利用したことがある	14.2	17.4	6.5	16.1
2 利用したことはない	85.8	82.6	93.5	83.9
無回答	-	-	-	-

【問42-1-1で、「1 利用したことがある」と回答した方にお聞きします。】

問42-1-2 どのようなことで利用しましたか。（あてはまるものすべてに〇）

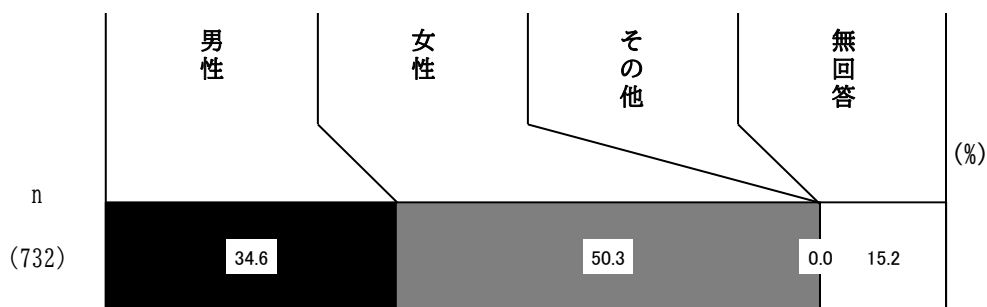
	% (人)			
	全 体	女 性	男 性	無回答
	100.0 (24)	100.0 (16)	100.0 (3)	100.0 (5)
1 講演会や映画鑑賞会に参加した	50.0	50.0	33.3	60.0
2 パネル展など展示物を見た	75.0	68.8	100.0	80.0
3 情報交流コーナーにおいて、男女共同参画に関する図書や情報誌を閲覧した	25.0	18.8	33.3	40.0
4 女性困りごと相談を受けた	4.2	6.3	-	-
5 女性法律相談を受けた	-	-	-	-
6 その他	8.3	6.3	-	20.0
無回答	4.2	6.3	-	-

第3章 調査の結果

1. 調査回答者の基本的特性

F 1 あなたの性別は。

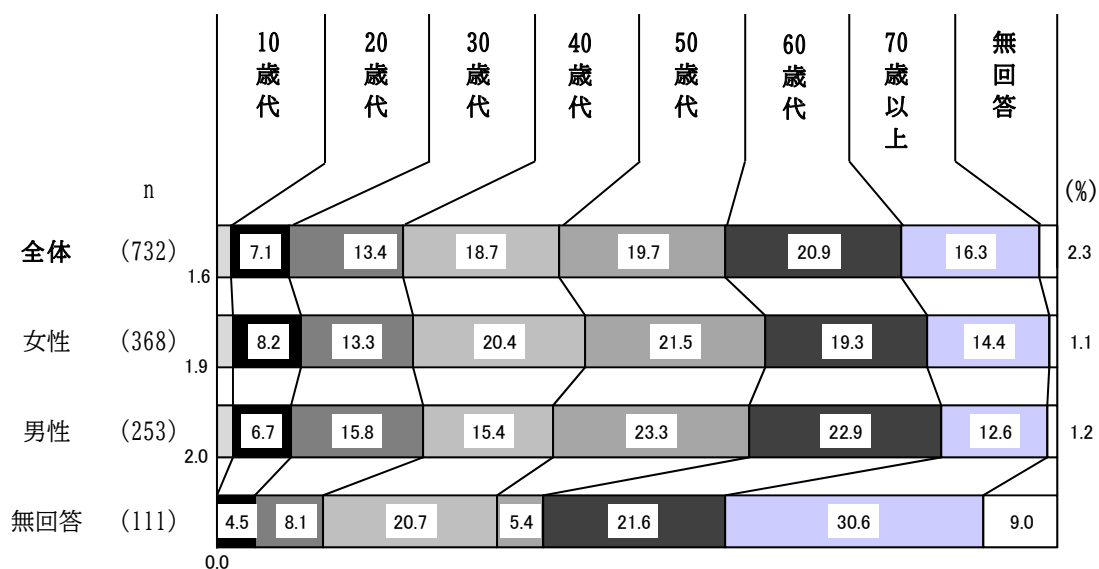
「女性」が50.3%、「男性」が34.6%となっている。



※本市では、自分の体の性と心の性が同じでない「性同一性障がい」のある方々の心情に配慮し、市民の皆様にご記入していただくアンケートについて、性別記載欄を設けないか又は男女の他に「その他」という欄を設けています。

F 2 あなたの年齢は。(○は一つ)

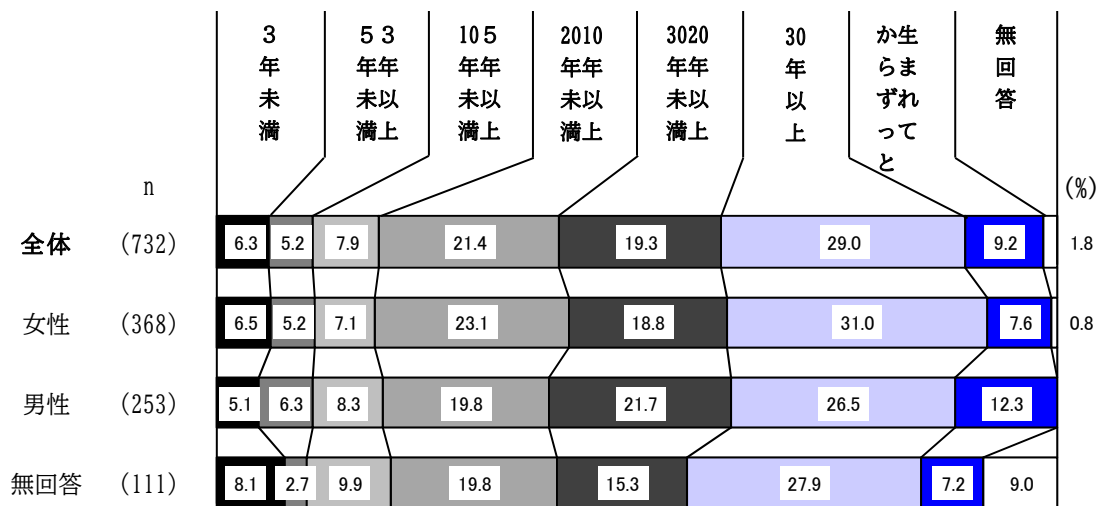
女性では「50歳代」が21.5%で最も高く、次いで「40歳代」が20.4%、「60歳代」が19.3%と続いている。男性では「50歳代」は23.3%で最も高く、次いで「60歳代」が22.9%、「30歳代」が15.8%、「40歳代」が15.4%となっている。



第3章 調査の結果

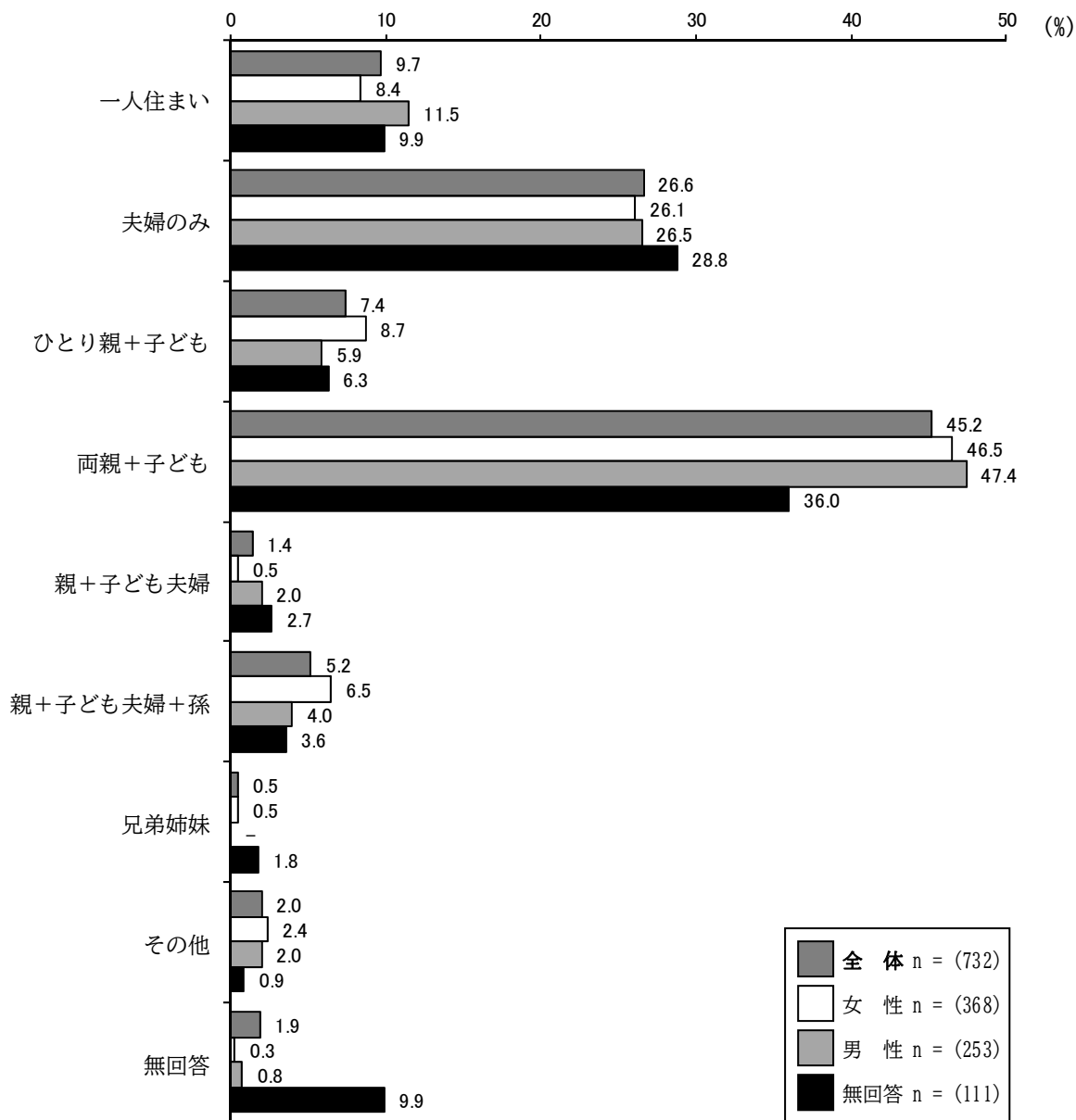
F3 あなたは、新座市にお住まいになって何年になりますか。(○は一つ)

男女とも「30年以上」が最も高く、女性では31.0%、男性では26.5%となっている。次いで女性では「10年以上20年未満」が23.1%、男性では「20年以上30年未満」が21.7%となっている。



F4 あなたの家族の構成は。(〇は一つ)

全体では、「両親+子ども」が45.2%で最も高く、次いで「夫婦のみ」が26.6%、「一人住まい」が9.7%、「ひとり親+子ども」が7.4%と核家族が続ぎ、以下「親+子ども夫婦+孫」が5.2%、「親+子ども夫婦」が1.4%、「兄弟姉妹」が0.5%となっている。

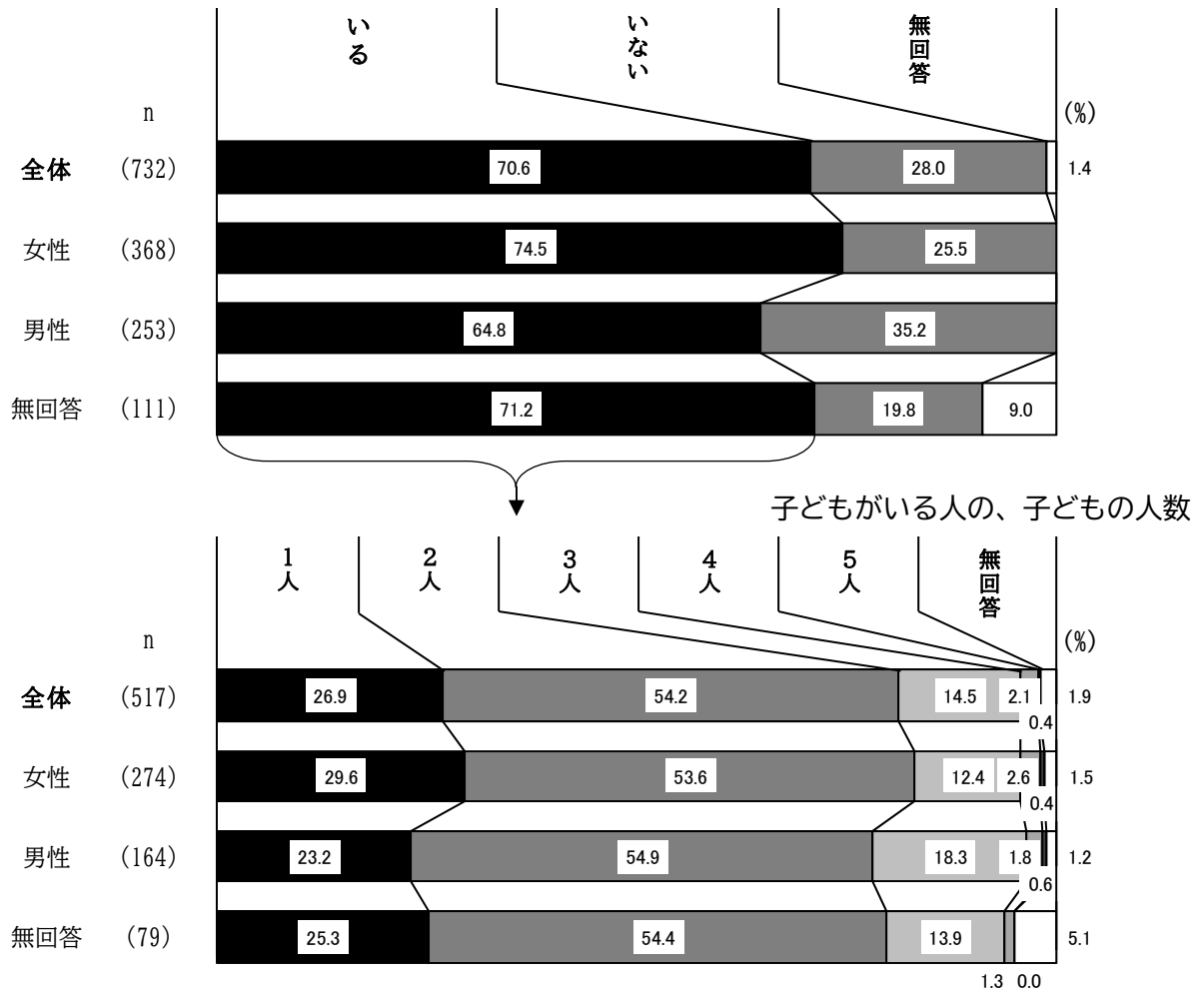


第3章 調査の結果

F5 あなたには、子どもがいますか。

全体では、「いる」が70.6%、「いない」が28.0%となっている。女性は「いる」(74.5%)が、男性(64.8%)に比べ、9.7ポイント高くなっている。

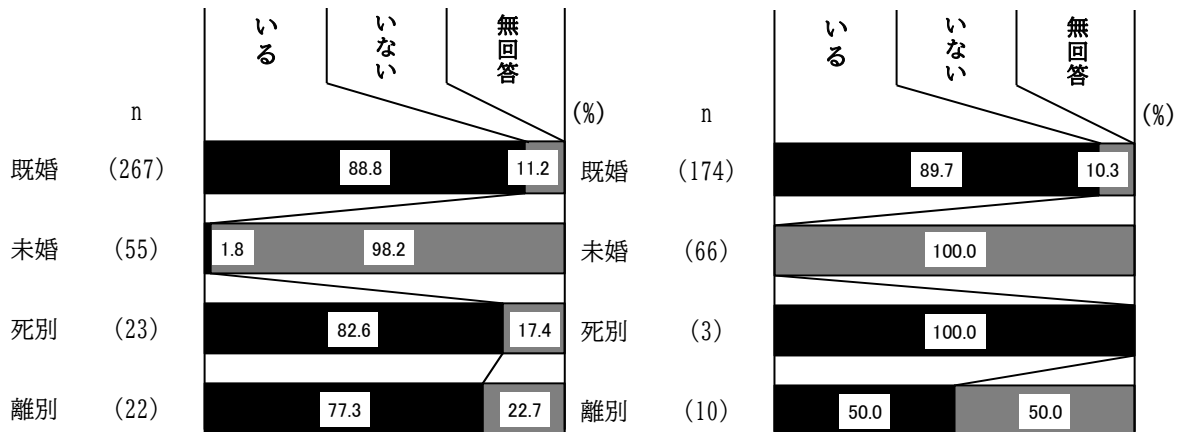
子どもの人数は、「2人」が54.2%と半数を超えており、次いで「1人」が26.9%、「3人」が14.5%となっている。



【性・未既婚別】子どもの有無

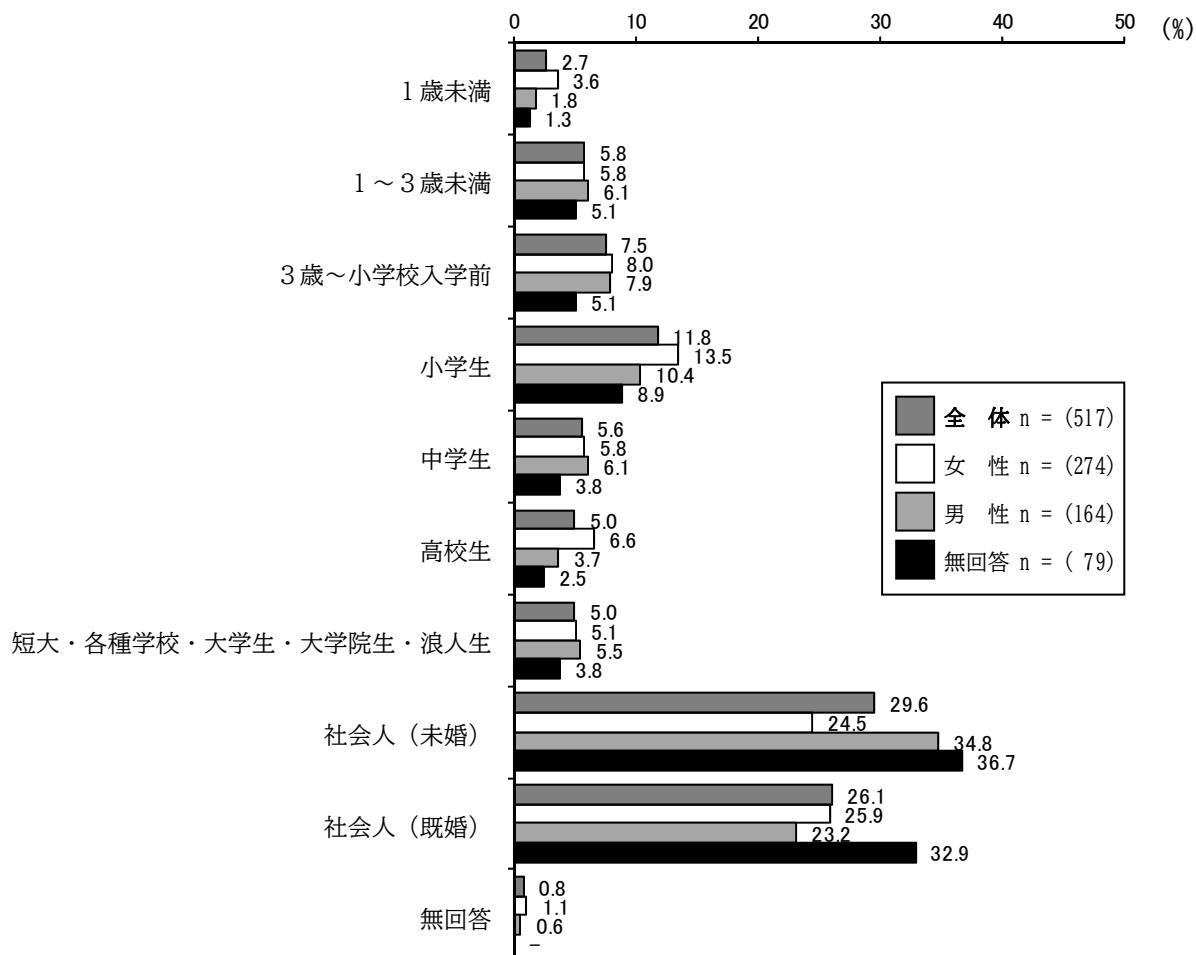
【女性】

【男性】



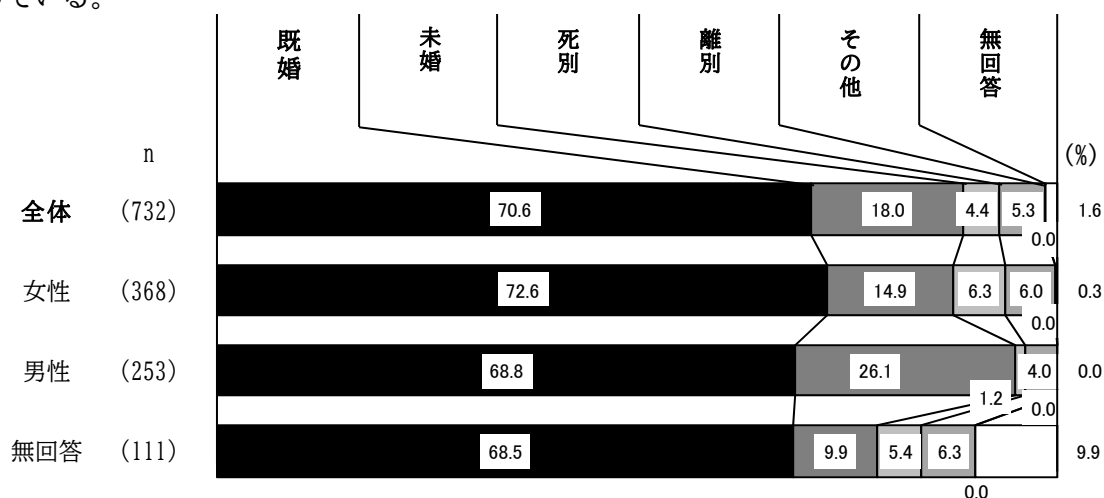
F6 子どものいる方にお聞きします。一番年齢の低い子どもは、現在次のどれにあてはまりますか。(○は一つ)〔子どもと同居していない場合も含まます。〕

全体では、「社会人(未婚)」が29.6%で最も高く、次いで「社会人(既婚)」が26.1%、「小学生」が13.5%となっている。



F7 あなたは、結婚の経験がありますか。(○は一つ)

男女とも「既婚」が最も高く、女性が72.6%、男性が68.8%となっている。男女差がある項目として、「未婚」は、男性(26.1%)が、女性(14.9%)に比べ、11.2ポイント高くなっている。

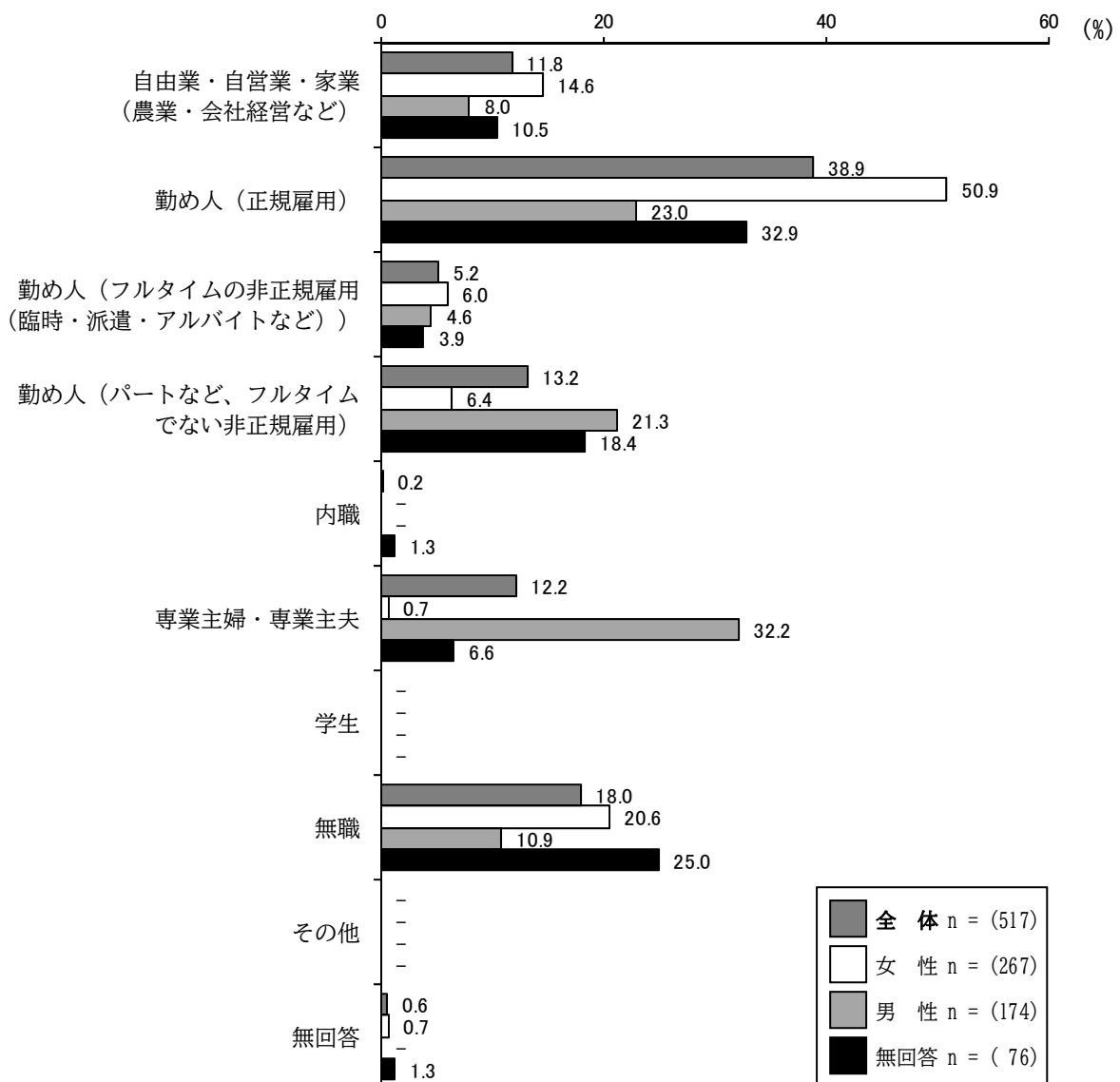


第3章 調査の結果

F8 【F7で、「1 既婚」と答えた方にお聞きします。】
あなたの配偶者（パートナー）の職業は。（○は一つ）

全体では、「勤め人（正規雇用）」が38.9%で最も高く、次いで「無職」が18.0%、「勤め人（パートなど、フルタイムでない非正規雇用）」が13.2%、「専業主婦・専業主夫」が12.2%、「自由業・自営業・家業（農業・会社経営など）」が11.8%と続いている。

性別で見ると、女性では「勤め人（正規雇用）」が50.9%で最も高く、次いで「無職」が20.6%、「自由業・自営業・家業（農業・会社経営など）」が14.6%となっている。男性では「専業主婦・専業主夫」が32.2%で最も高く、次いで「勤め人（正規雇用）」が23.0%、「勤め人（パートなど、フルタイムでない非正規雇用）」が18.4%となっている。



2. 就業

(1) 職業

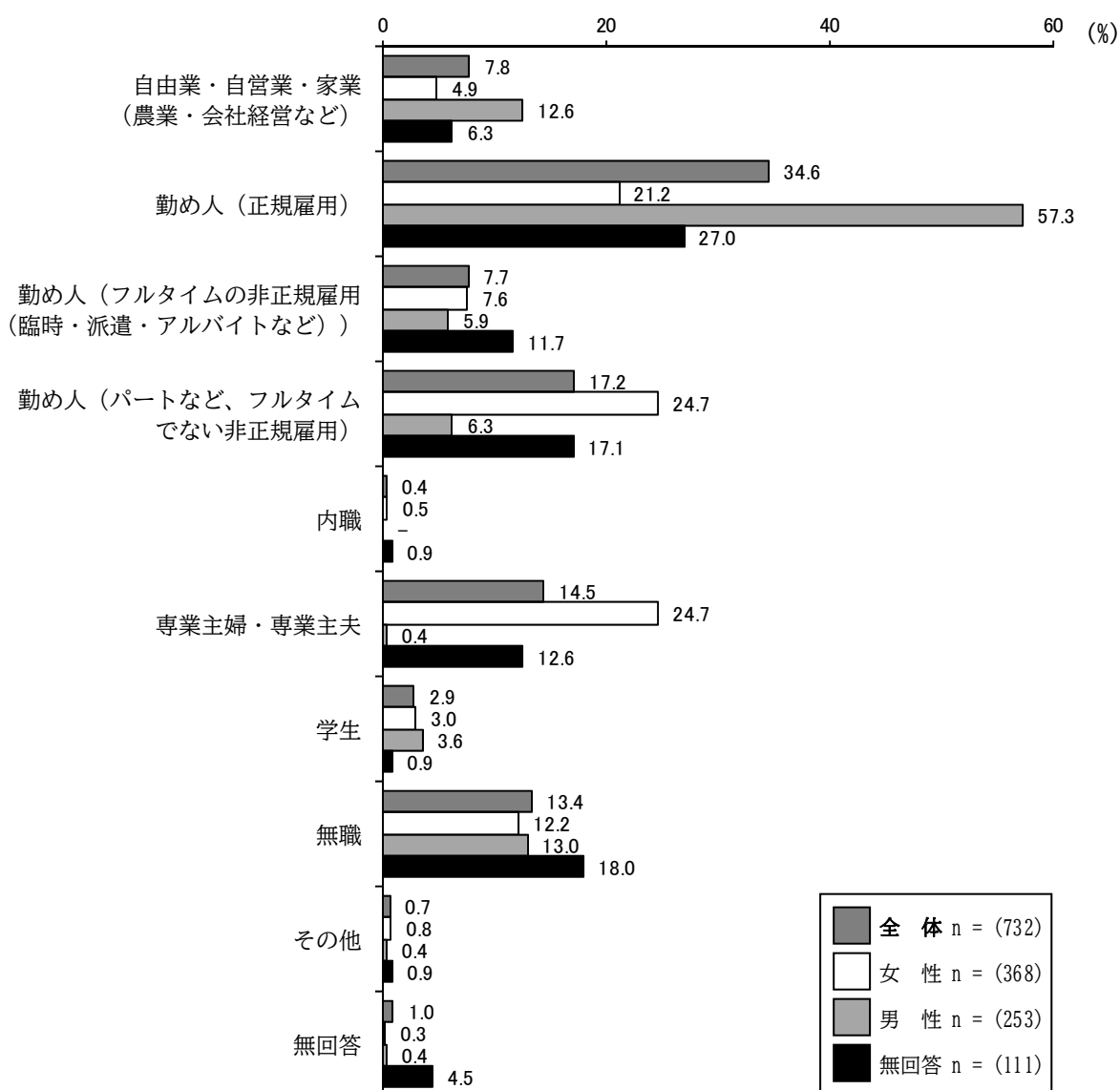
問1 あなたの職業は何ですか。(〇は一つ)

全体では、「勤め人（正規雇用）」が34.6%で最も高く、次いで「勤め人（パートなど、フルタイムでない非正規雇用）」が17.2%、「専業主婦・専業主夫」が14.5%、「無職」が13.4%となっている。

【性別】

女性では「勤め人（パートなど、フルタイムでない非正規雇用）」および「専業主婦・専業主夫」がともに24.7%、次いで「勤め人（正規雇用）」が21.2%、「無職」が12.2%となっている。

男性では「勤め人（正規雇用）」が57.3%で最も高く、次いで「無職」が18.0%、「自由業・自営業・家業（農業・会社経営など）」が12.6%となっている。



第3章 調査の結果

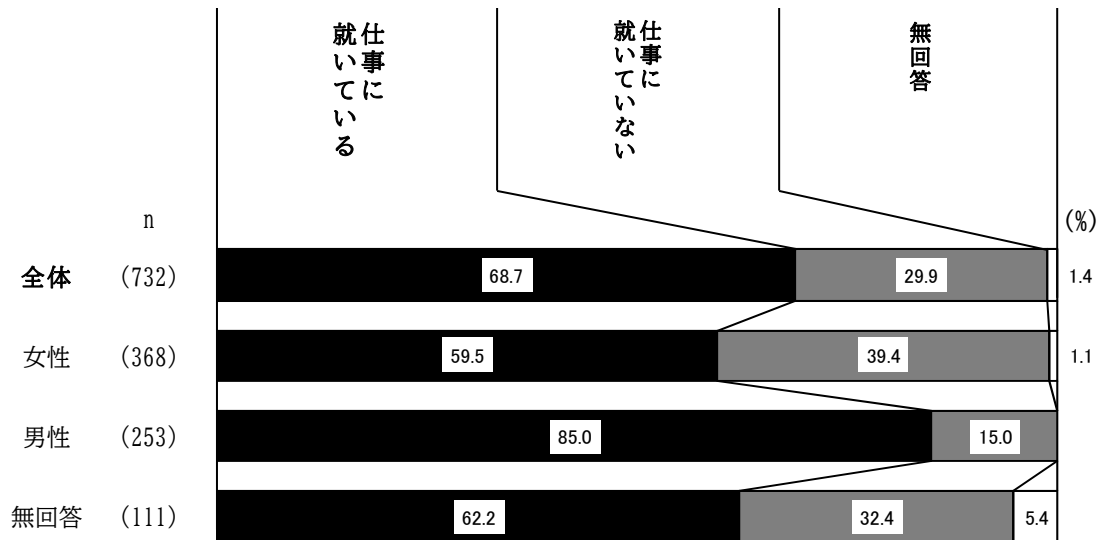
(2) 就労の有無

問2 あなたは、収入を伴う仕事に就いていますか。(〇は一つ)

全体では、「仕事に就いている」が68.7%、「仕事に就いていない」が29.9%となっている。

【性別】

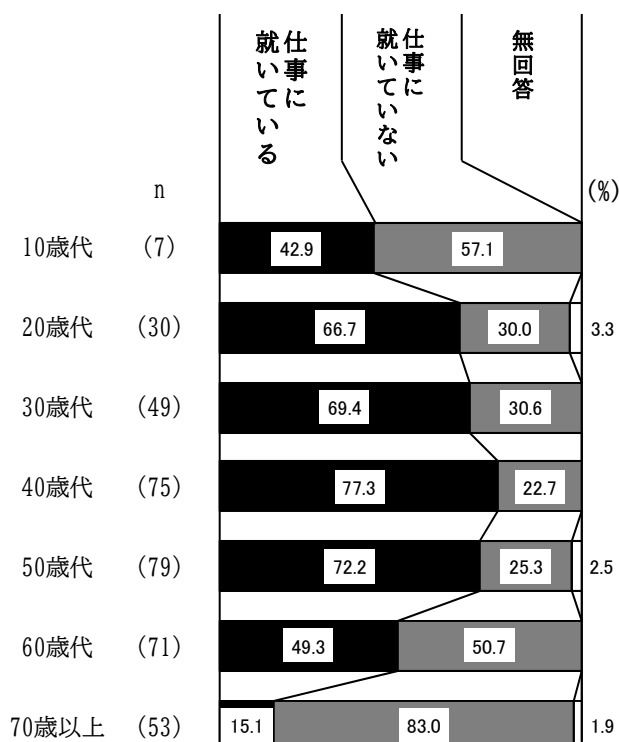
「仕事に就いている」は、男性(85.0%)が、女性(59.5%)に比べ、25.5ポイント高くなっている。



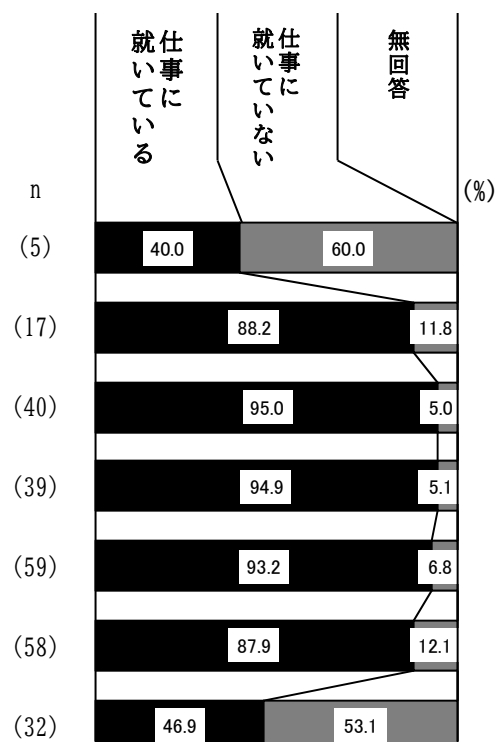
【性・年代別】

女性の20歳代から50歳代、男性の20歳代から60歳代は、「仕事に就いている」が「仕事に就いていない」を上回っている。

【女性】

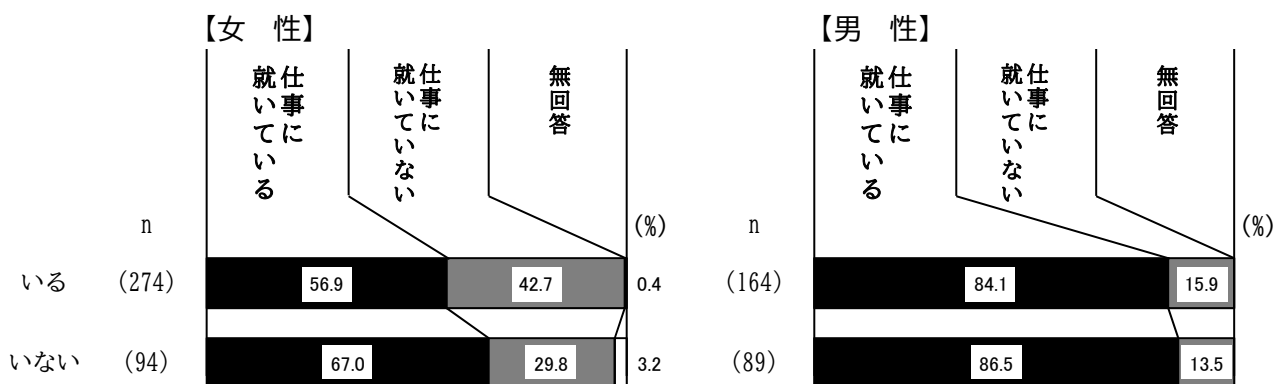


【男性】



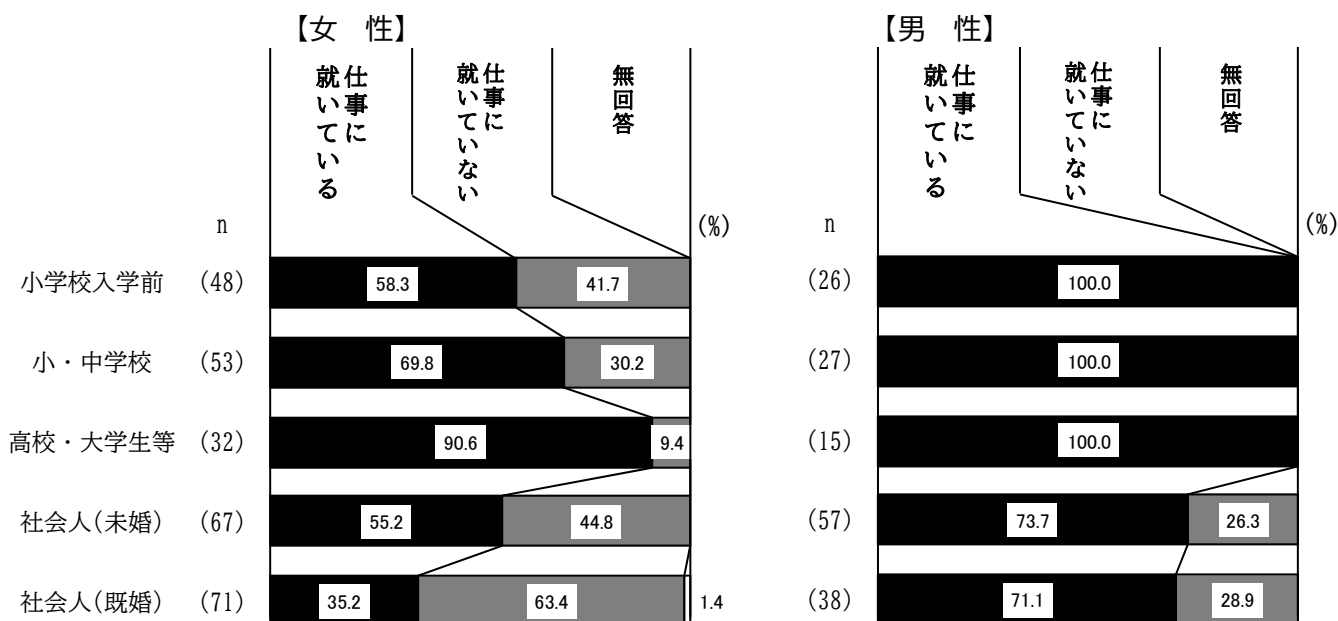
【性・子どもの有無別】

子どものいない女性が「仕事に就いている」割合が高く、男性では子どもの有無に関わらず「仕事に就いている」の割合が高くなっている。



【性・末子の成長段階別】

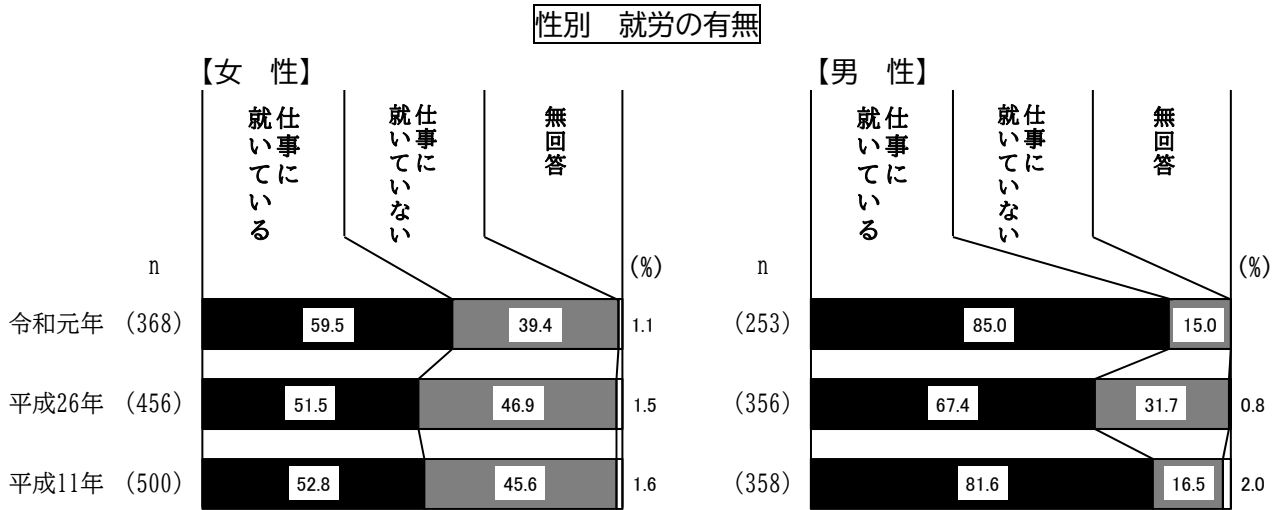
特に高校・大学生等の子どもがいる女性、小学校入学前から高校・大学生等までの子どもがいる男性は、「仕事に就いている」割合が高くなっている。



第3章 調査の結果

これまでの調査との比較

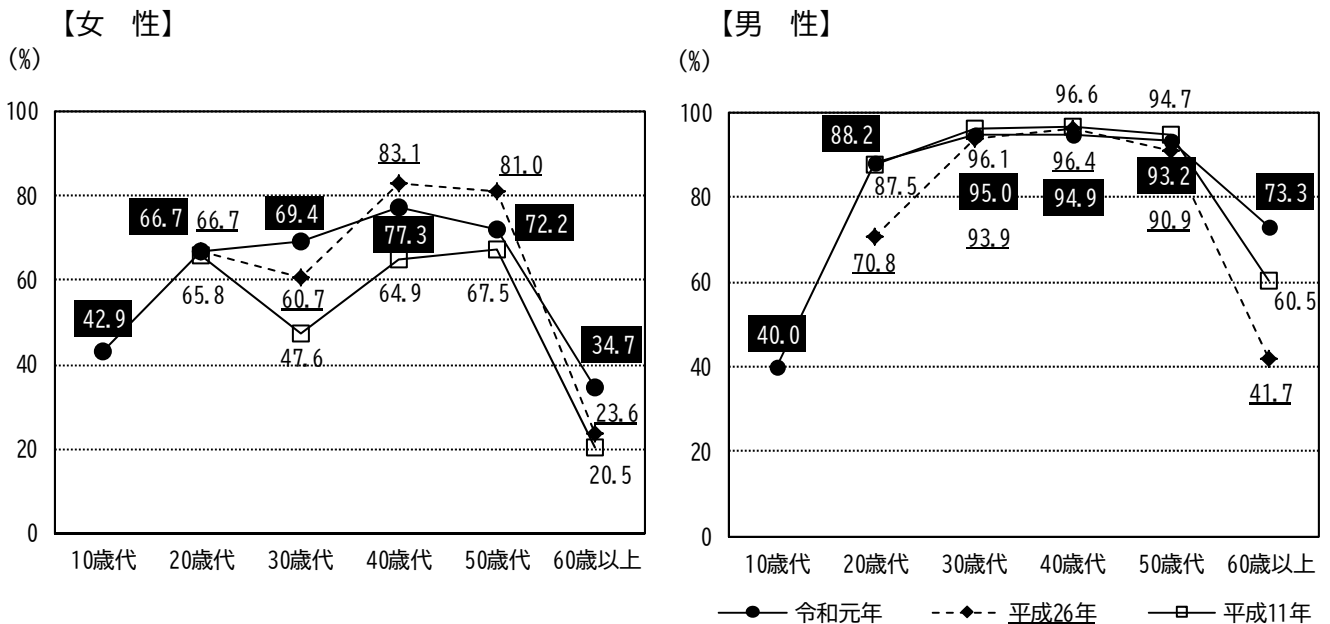
「仕事に就いている」は、男女とも [平成26年] より増加し、特に男性は [平成26年] (67.4%) から17.6ポイント増加している。



「仕事に就いている」女性の割合は30歳代および60歳以上で [平成26年] より高くなったが、その他の年代は低くなっている。

男性は60歳以上を除き [平成11年] と同程度の水準となっている。

性・年代別 仕事に就いている割合



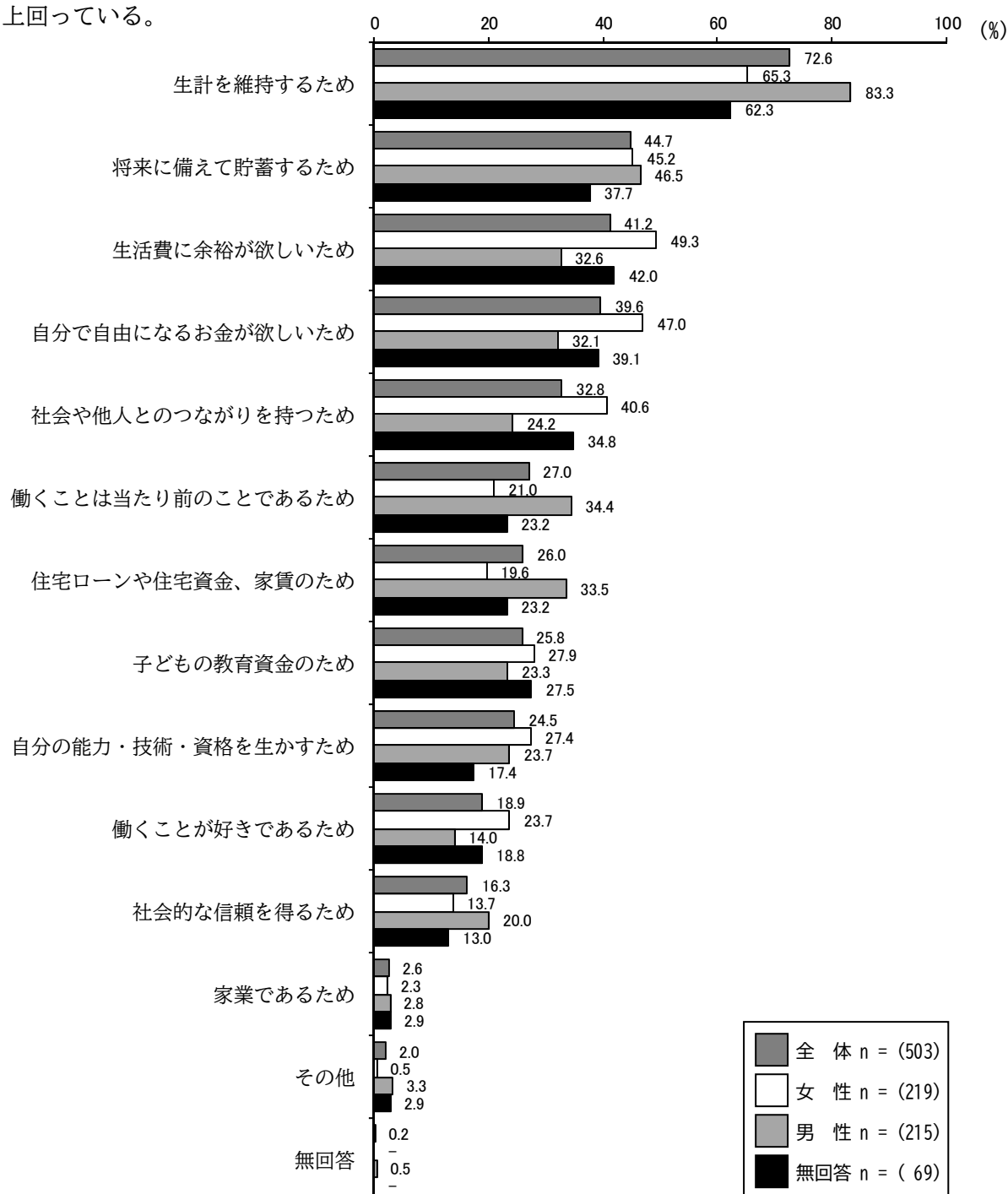
(3) 就業の理由

問2-1 仕事に就いている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「生計を維持するため」が72.6%で最も高くなっている。次いで「将来に備えて貯蓄するため」が44.7%、「生活費に余裕が欲しいため」が41.2%、「自分で自由になるお金が欲しいため」が39.6%、「社会や他人とのつながりを持つため」が32.8%となっている。

【性別】

男女差がある項目として、「生計を維持するため」は、男性（83.3%）が、女性（65.3%）に比べ、18.0ポイント高くなっている。また、「働くことは当たり前のことであるため」、「住宅ローンや住宅資金、家賃のため」は、男性が女性を大きく上回っている。一方、「生活費に余裕が欲しいため」、「自分で自由になるお金が欲しいため」、「社会や他人とのつながりを持つため」は、女性が男性を上回っている。



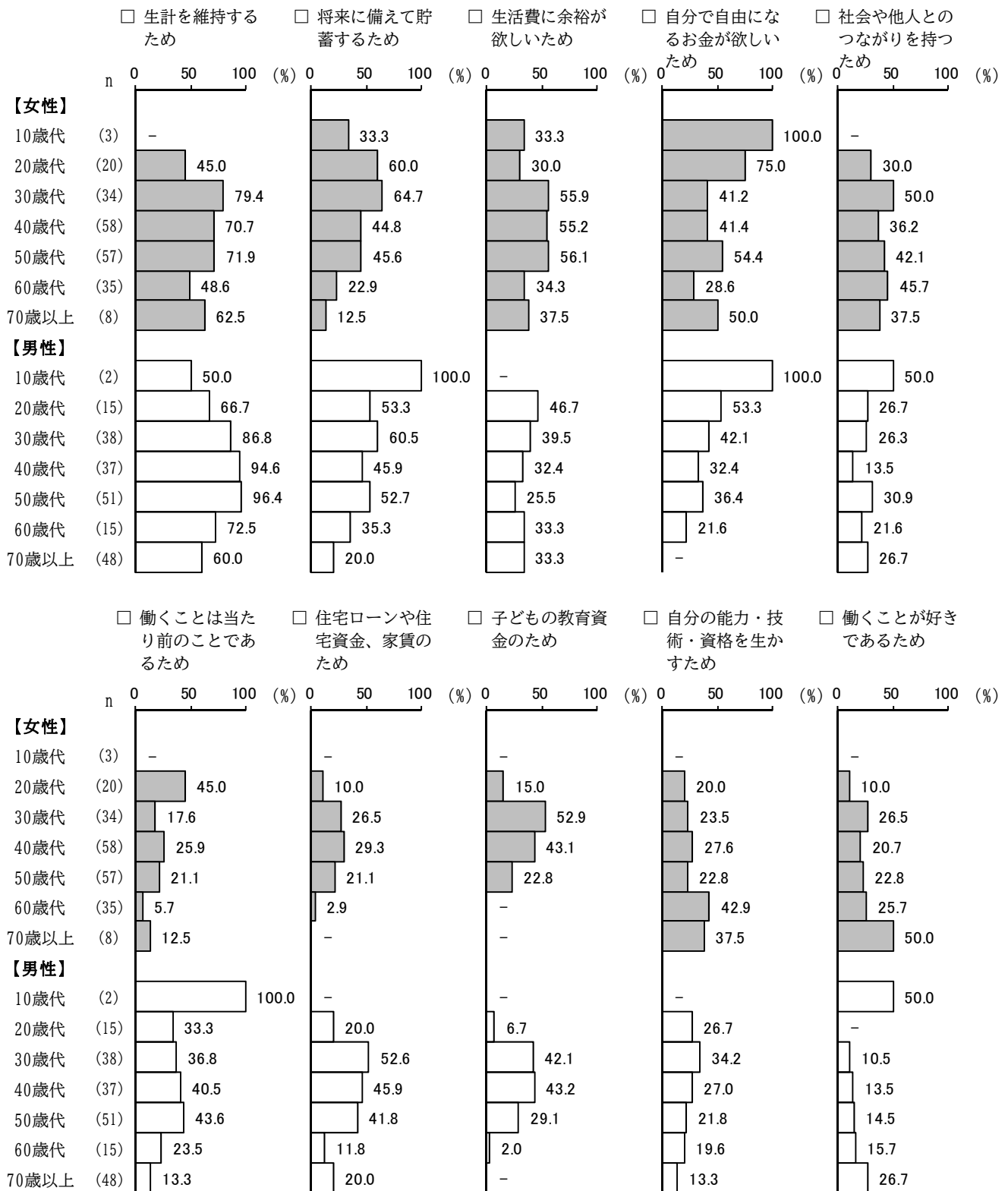
第3章 調査の結果

【性・年代別】(上位10項目)

「生計を維持するため」は、女性では30歳代以上のどの世代においても最も高く、男性では20歳代以上のどの世代においても最も高くなっている。

【女性・20歳代】では「自分で自由になるお金が欲しいため」が75.0%で最も高くなっている。

男性では、「住宅ローンや住宅資金、家賃のため」及び「子どもの教育資金のため」は、30～40歳代が他の年代より高くなっている。女性では、「働くことが好きであるため」は、70歳以上が他の年代より高くなっている。

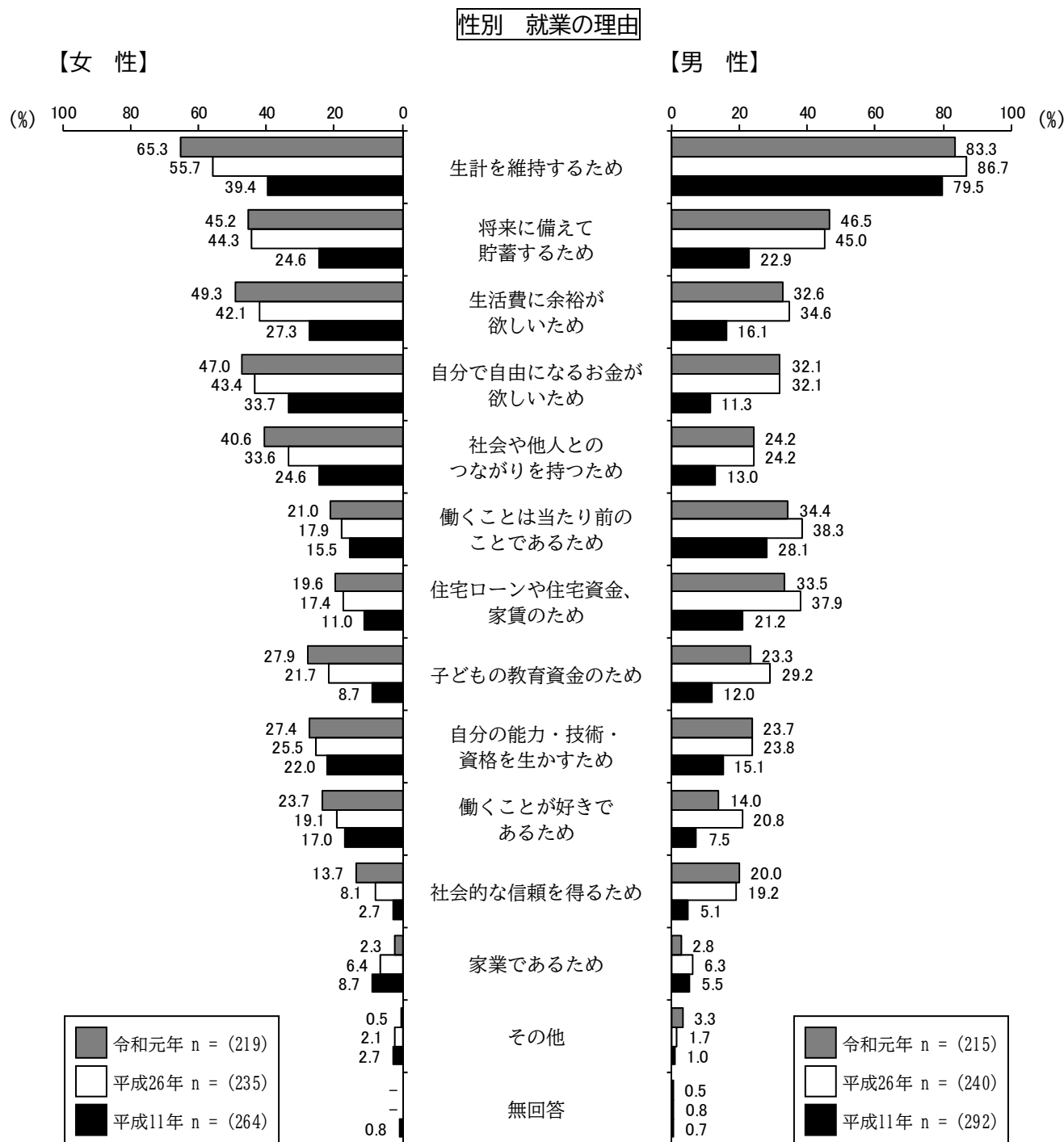


これまでの調査との比較

平成21年調査までの回答は「〇は三つまで」であったため、平成26年調査と比較する。また、平成11年調査は参考に掲載する。

女性は「家業であるため」を除くすべての項目で増加しており、特に「生計を維持するため」が[平成26年]（55.7%）より9.6ポイント増加している。

男性は「生計を維持するため」が[平成26年]（86.7%）よりわずかながら減少したが、依然として最も高くなっている。



第3章 調査の結果

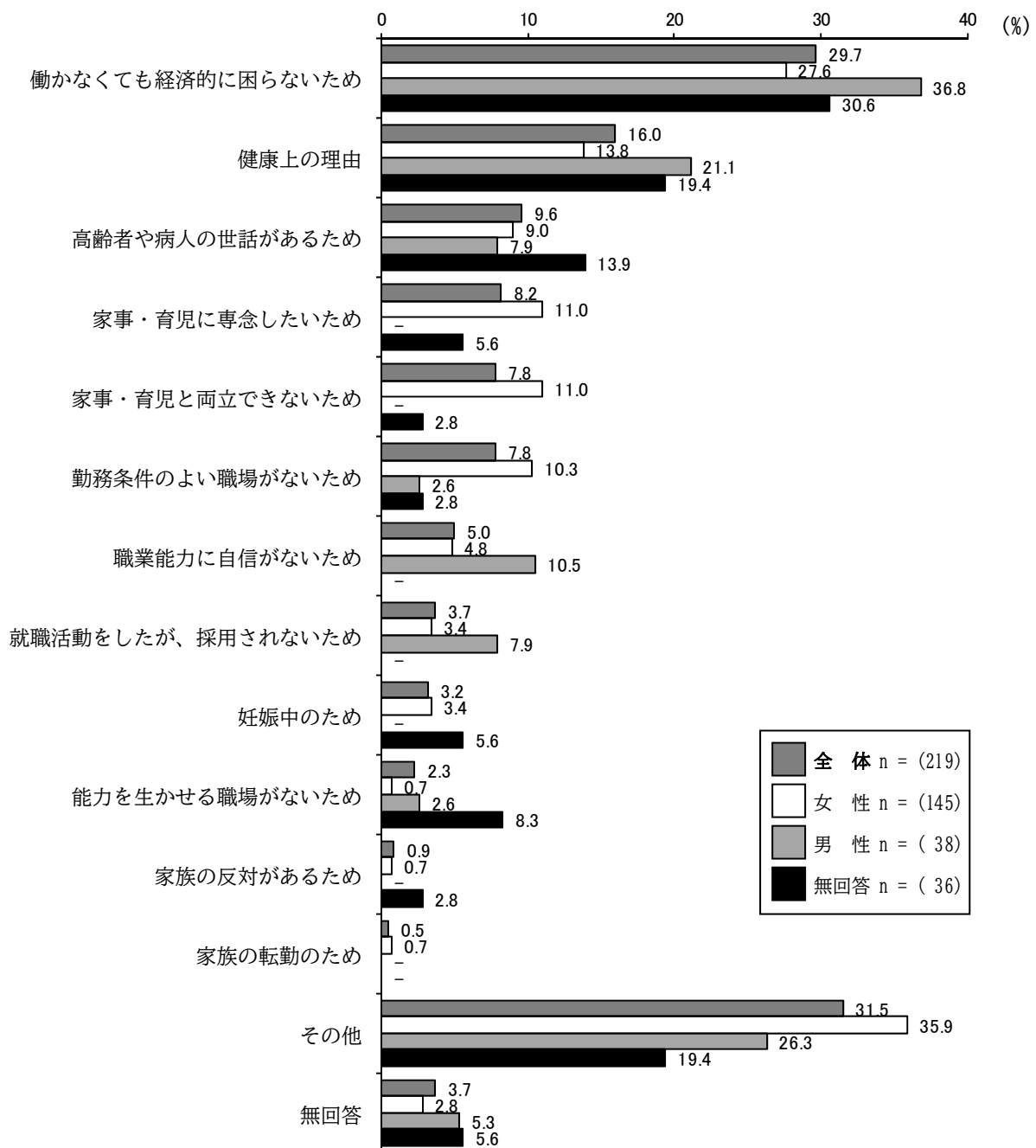
(4) 非就業の理由

問2-2 仕事に就いていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、その他を除き、「働かなくても経済的に困らないため」が29.7%で最も高く、次いで「健康上の理由」が16.0%となっている。

【性別】

男女差がある項目として、「働かなくても経済的に困らないため」は男性(36.8%)が、女性(27.6%)に比べ、9.2ポイント高くなっている。一方、「家事・育児に専念したいため」および「家事・育児と両立できないため」は女性(いずれも11.0%)が、男性(いずれも0.0%)に比べ、高くなっている。



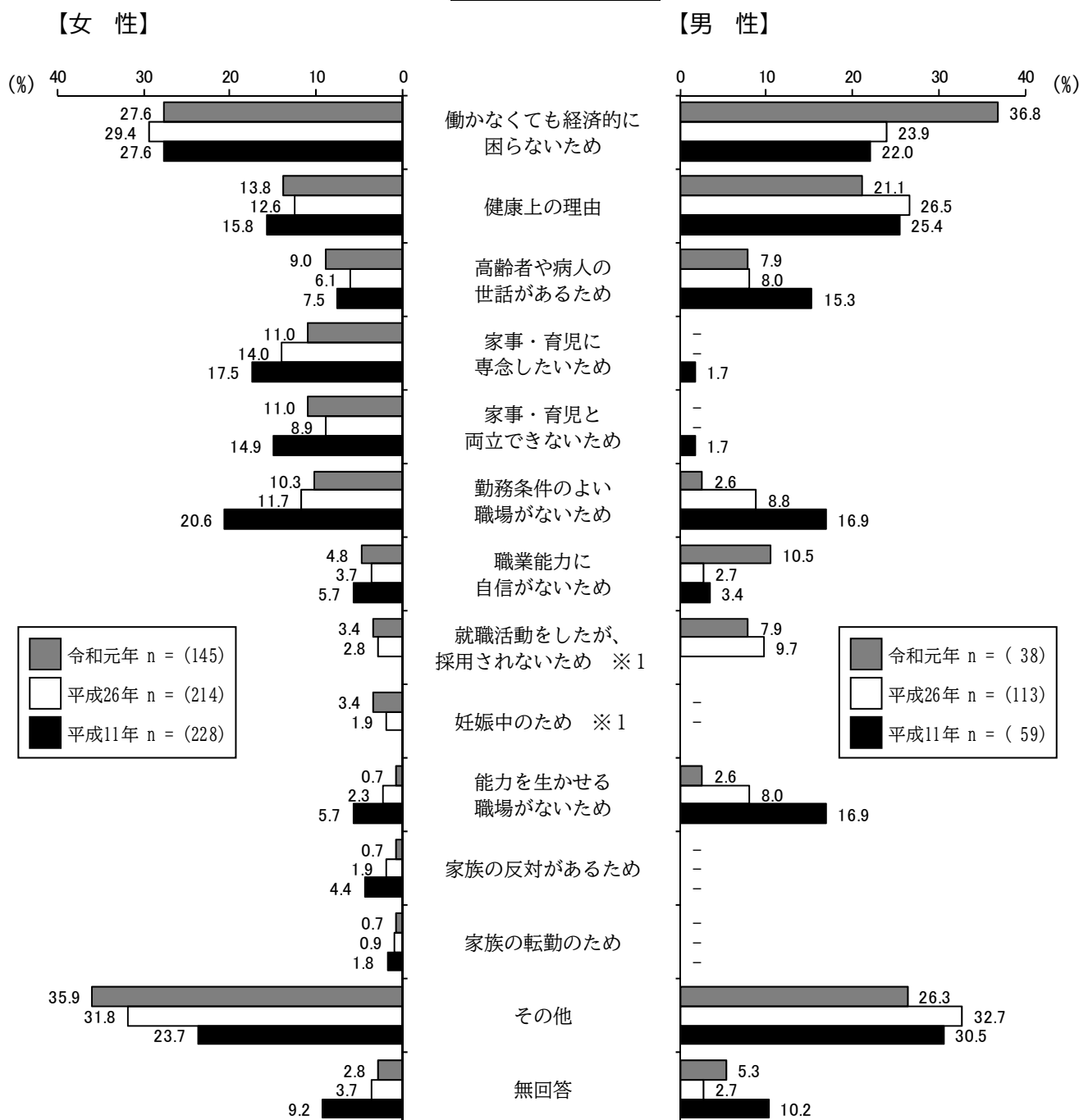
これまでの調査との比較

平成21年調査までの回答は「〇は三つまで」であったため、平成26年調査と比較する。また、平成11年調査は参考に掲載する。

男性は「働かなくても経済的に困らないため」が[平成26年] (23.9%)より12.9ポイント増加している。

女性は[平成26年] に比べ、大きな変化はみられない。

性別 非就業の理由



※1 平成26年調査から選択肢に加えた。

第3章 調査の結果

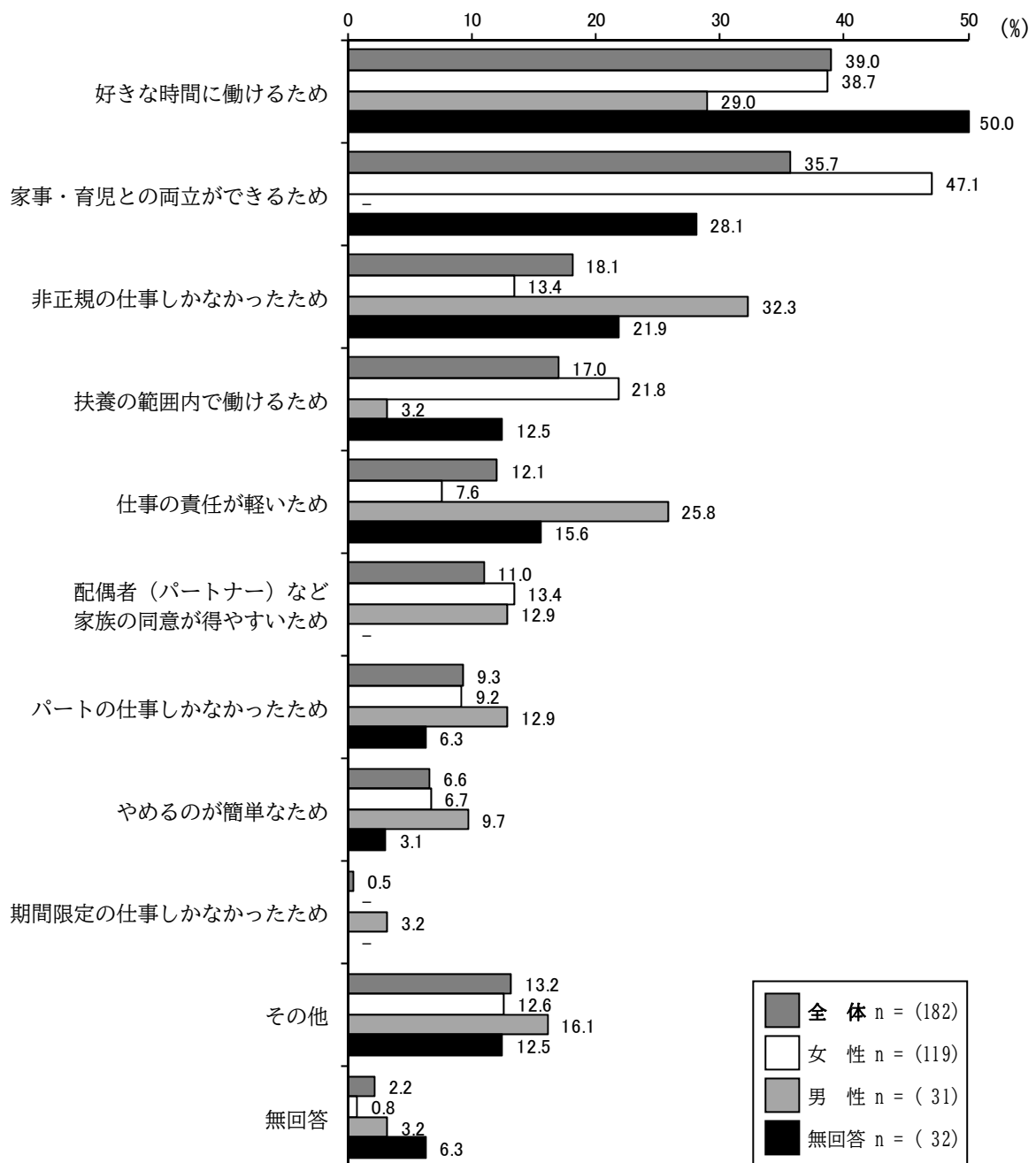
(5) 現在の仕事を選んだ理由

【問1で、「3 勤め人（フルタイムの非正規雇用（臨時・派遣・アルバイトなど）」又は「4 勤め人（パートなど、フルタイムでない非正規雇用）」と回答した方にお聞きします。】
 問3 その仕事を選んだ主な理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

全体では、「好きな時間に働けるため」が39.0%で最も高く、次いで「家事・育児との両立ができるため」が35.7%となっている。

【性別】

男女差がある項目として、「家事・育児との両立ができるため」は、女性（47.1%）が、男性（0.0%）に比べ、高くなっている。一方、「非正規の仕事しかなかったため」は、男性（32.3%）が、女性（13.4%）に比べ、18.9ポイント高くなっている。

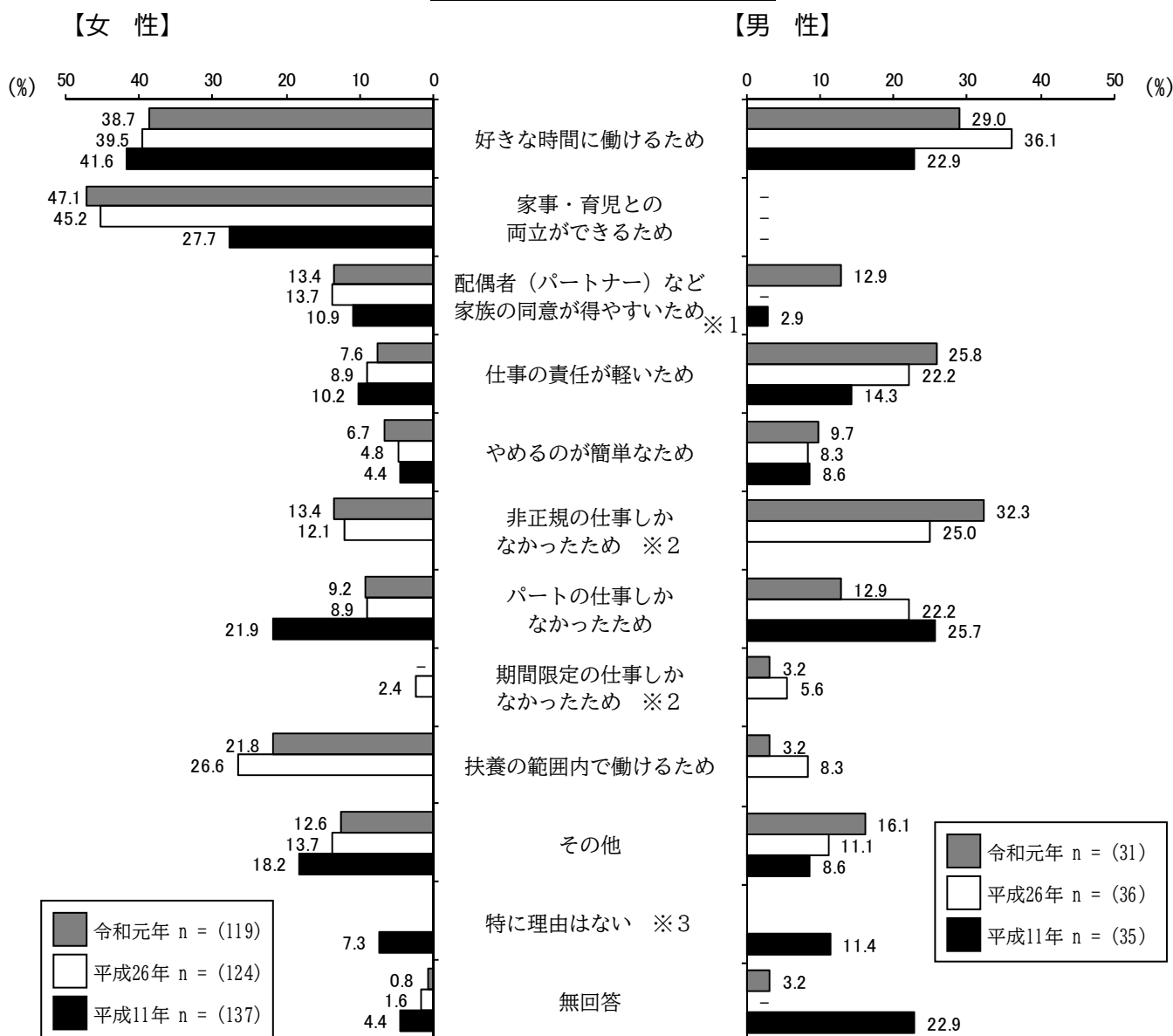


これまでの調査との比較

平成21年調査までの回答は「〇は二つまで」であったため、平成26年調査と比較する。また、平成11年調査は参考に掲載する。

増減がある項目として、男性では「パートの仕事しかなかったため」が[平成26年]（22.2%）より9.3ポイント減少している。一方、「非正規の仕事しかなかったため」が[平成26年]（25.0%）より7.3ポイント増加している。女性では、[平成26年]に比べ、大きな変化はみられない。

性別 現在の仕事を選んだ理由



※1 平成26年調査では「夫など家族の同意が得やすいため」。

※2 平成21年調査から選択肢に加えた。

※3 平成21年調査までの選択肢である。

(6) 実際の働き方

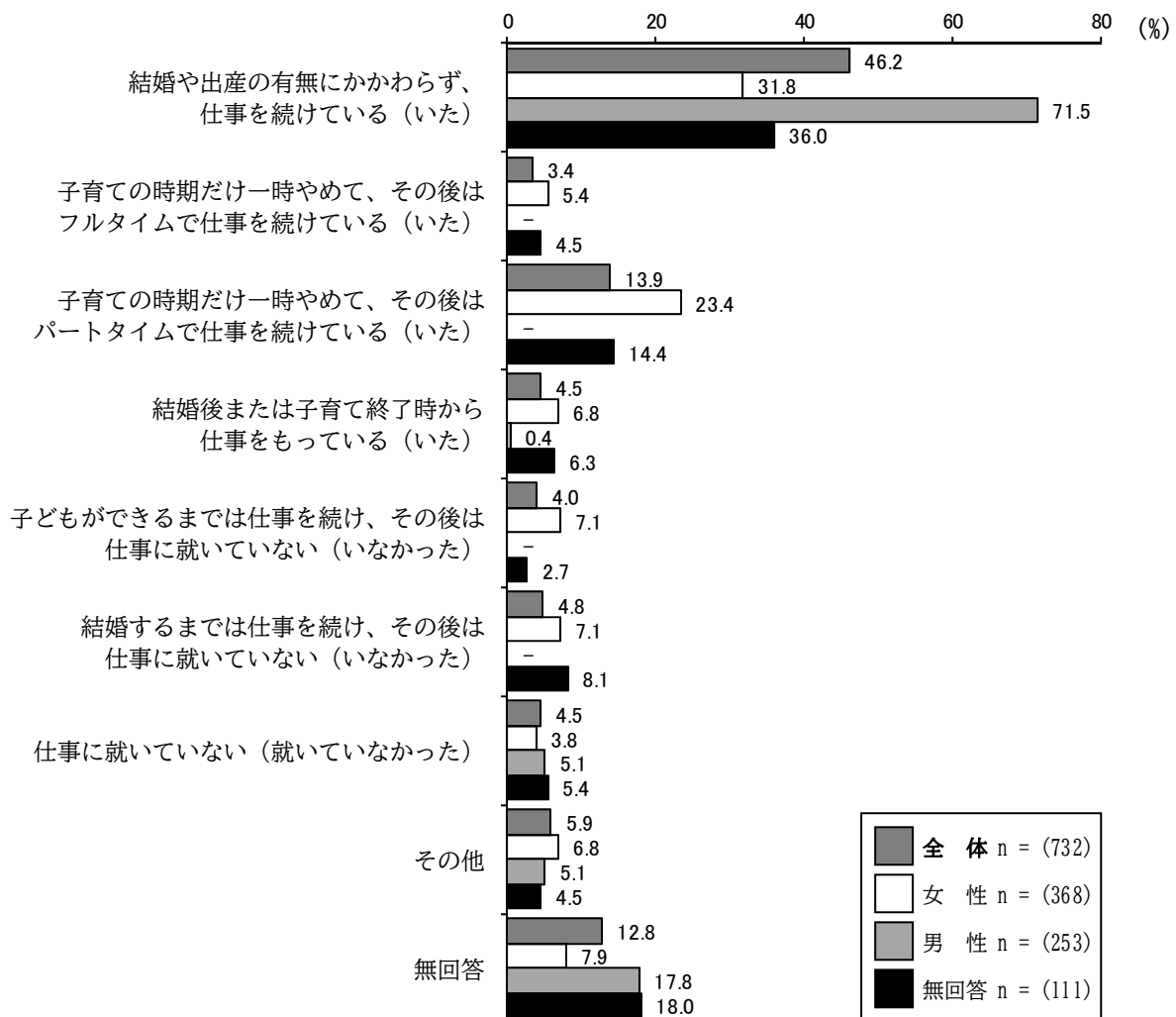
問4 あなたの実際の働き方はどうですか（どうでしたか）。もっとも近いものを選んでください。（○は一つ）

1 あなた自身について

全体では、「結婚や出産の有無にかかわらず、仕事を続けている（いた）」が46.2%で最も高く、次いで「子育ての時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事を続けている（いた）」が13.9%となっている。

【性別】

男女差がある項目として、「結婚や出産の有無にかかわらず、仕事を続けている（いた）」は、男性（71.5%）が、女性（31.8%）に比べ、39.7ポイント高くなっている。一方、「子育ての時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事を続けている（いた）」は、女性（23.4%）が、男性（0.0%）に比べ、高くなっている。

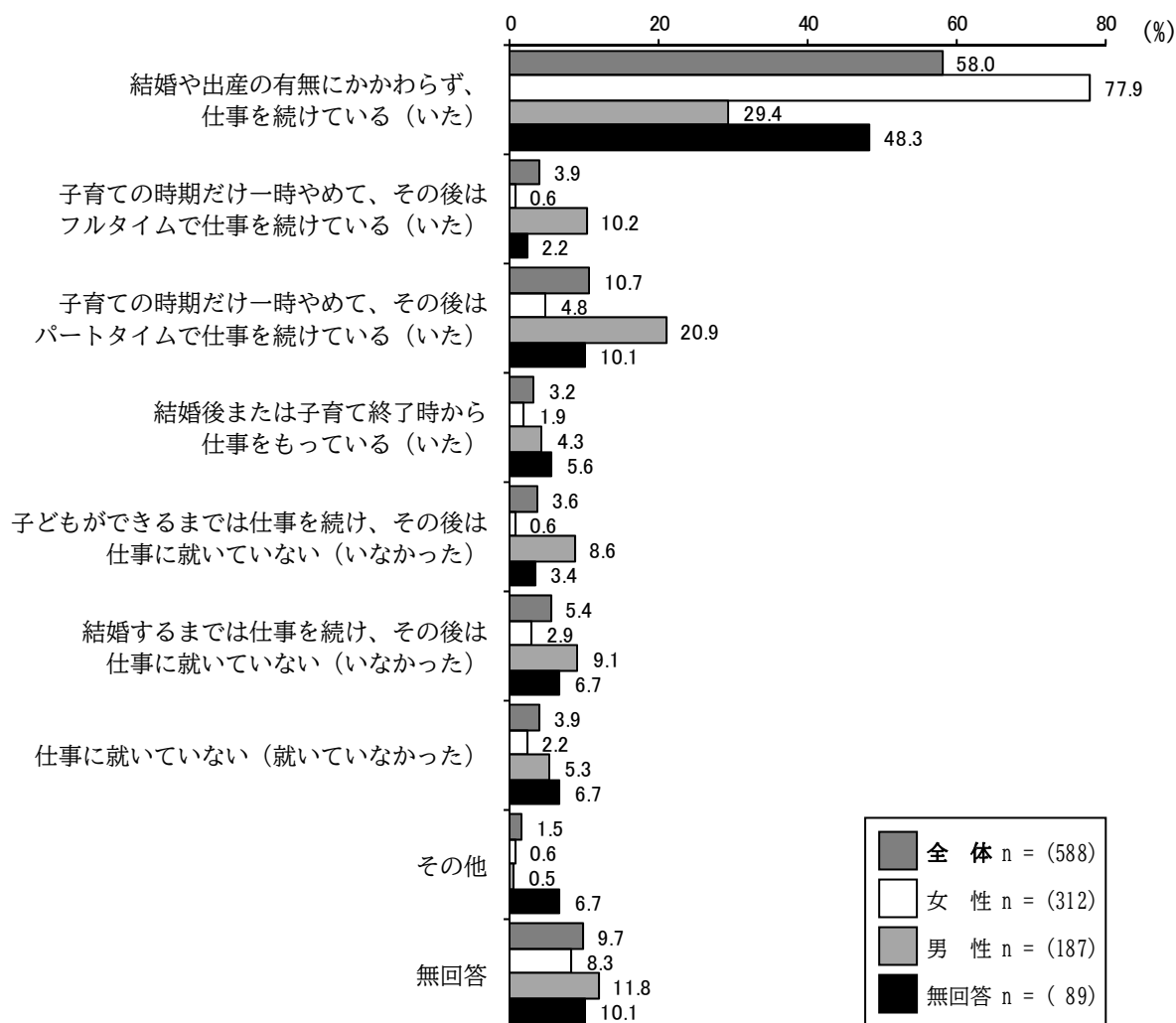


2 配偶者（パートナー）について

全体では、「結婚や出産の有無にかかわらず、仕事を続けている（いた）」が58.0%で最も高くなっている。

【性別】

男女差がある項目として、「結婚や出産の有無にかかわらず、仕事を続けている（いた）」は、女性（77.9%）が、男性（29.4%）に比べ、48.5ポイント高くなっている。一方、「子育ての時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事を続けている（いた）」は、男性（20.9%）が、女性（4.8%）に比べ、16.1ポイント高くなっている。



第3章 調査の結果

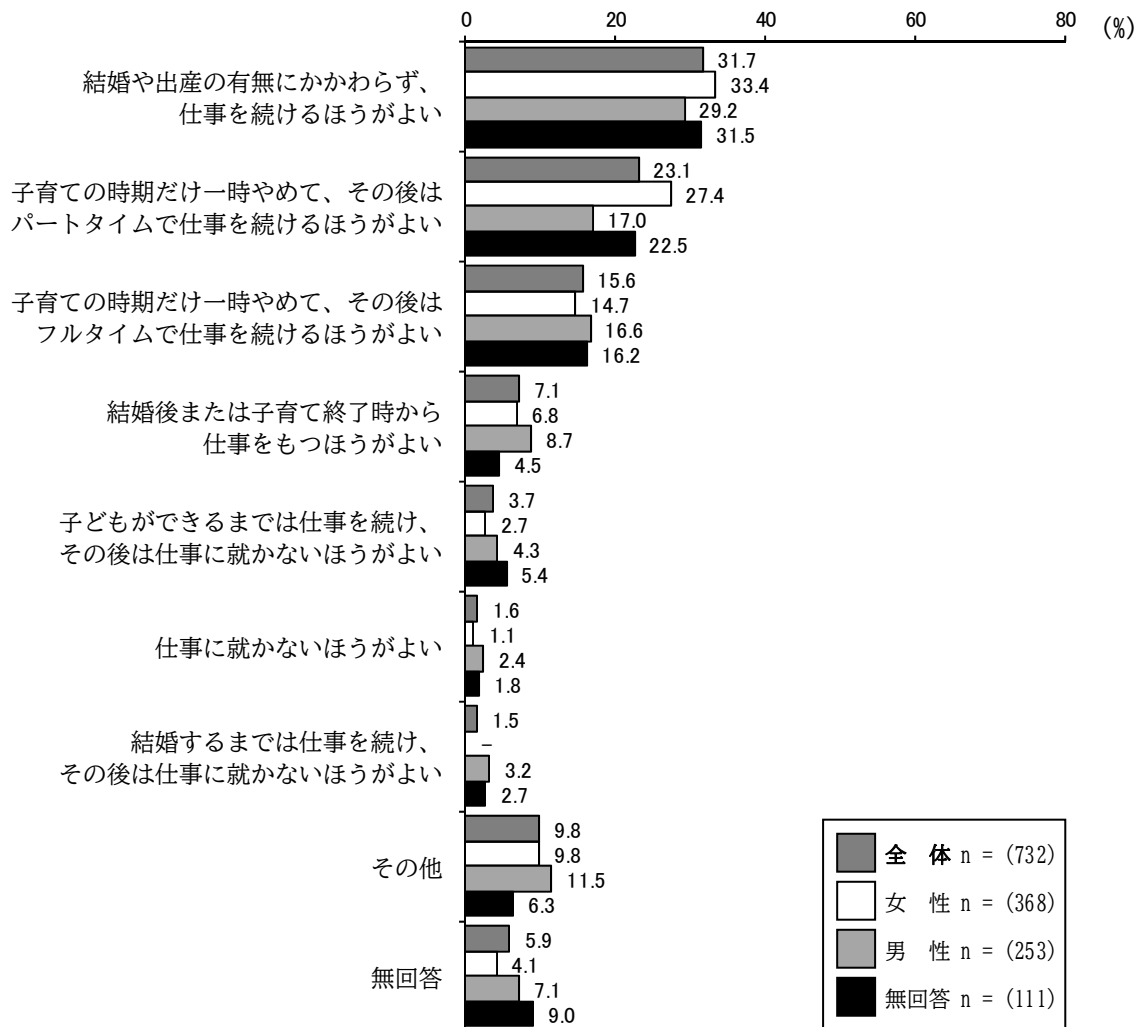
(7) 女性が働くことへの考え方

問5 女性が働くことについて、あなたの考え方にもっとも近いものを選んでください。(〇は一つ)

全体では、「結婚や出産の有無にかかわらず、仕事を続けるほうがよい」が31.7%で最も高く、次いで「子育ての時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事を続けるほうがよい」が23.1%、「子育ての時期だけ一時やめて、その後はフルタイムで仕事を続けるほうがよい」が15.6%となっている。

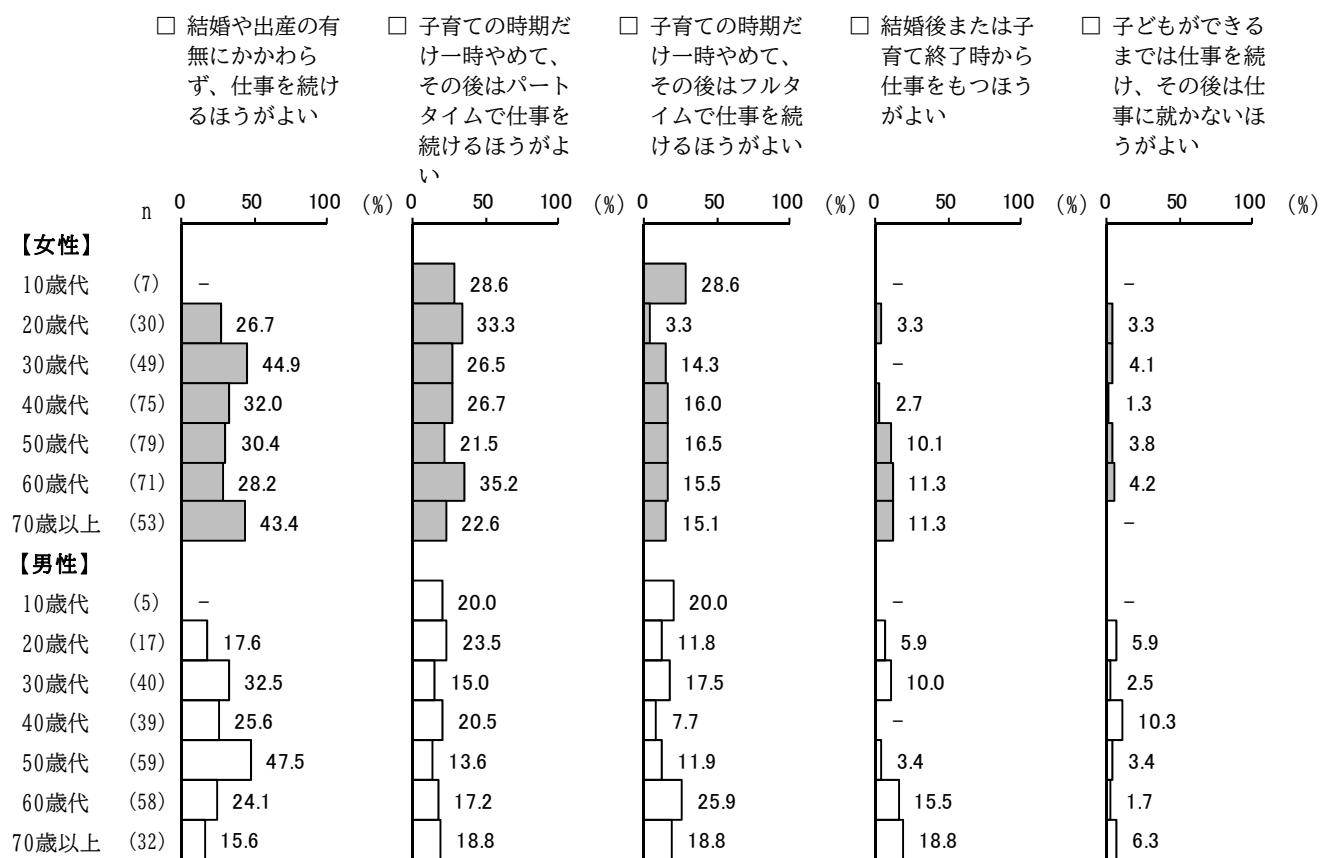
【性別】

男女差がある項目として、「子育ての時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事を続けるほうがよい」は、女性(27.4%)が、男性(17.0%)に比べ、10.4ポイント高くなっており、最も差が大きくなっている。



【性・年代別】(上位5項目)

「結婚や出産の有無にかかわらず、仕事を続けるほうがよい」は、【男性・50歳代】が47.5%と他の性・年代に比べ、高くなっている。



第3章 調査の結果

(8) 女性が働く上で男性と異なる立場に置かれることへの考え方

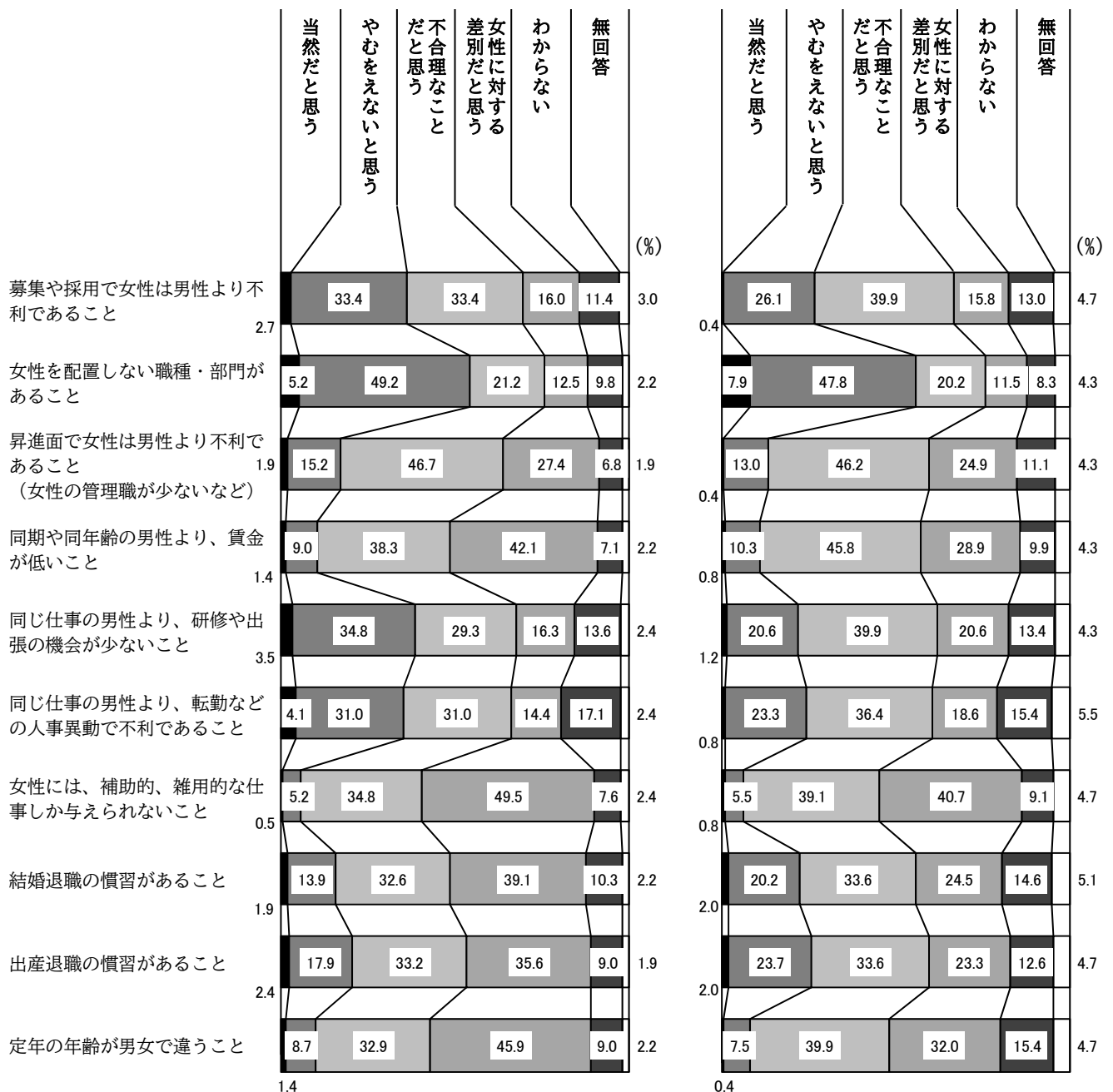
問6 女性が働く上で、さまざまな面で男性と異なる立場に置かれることについて、どのように考えますか。ア～コ各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。(○は各項目に一つ)

【性別】

男女とも「女性には、補助的、雑用的な仕事しか与えられないこと」が「女性に対する差別だと思う」割合が最も高くなっている。また、女性では、特に「結婚退職の慣習があること」、「定年の年齢が男女で違うこと」、「同期や同年齢の男性より、賃金が低いこと」が女性に対する差別だと思う割合が男性より高くなっている。

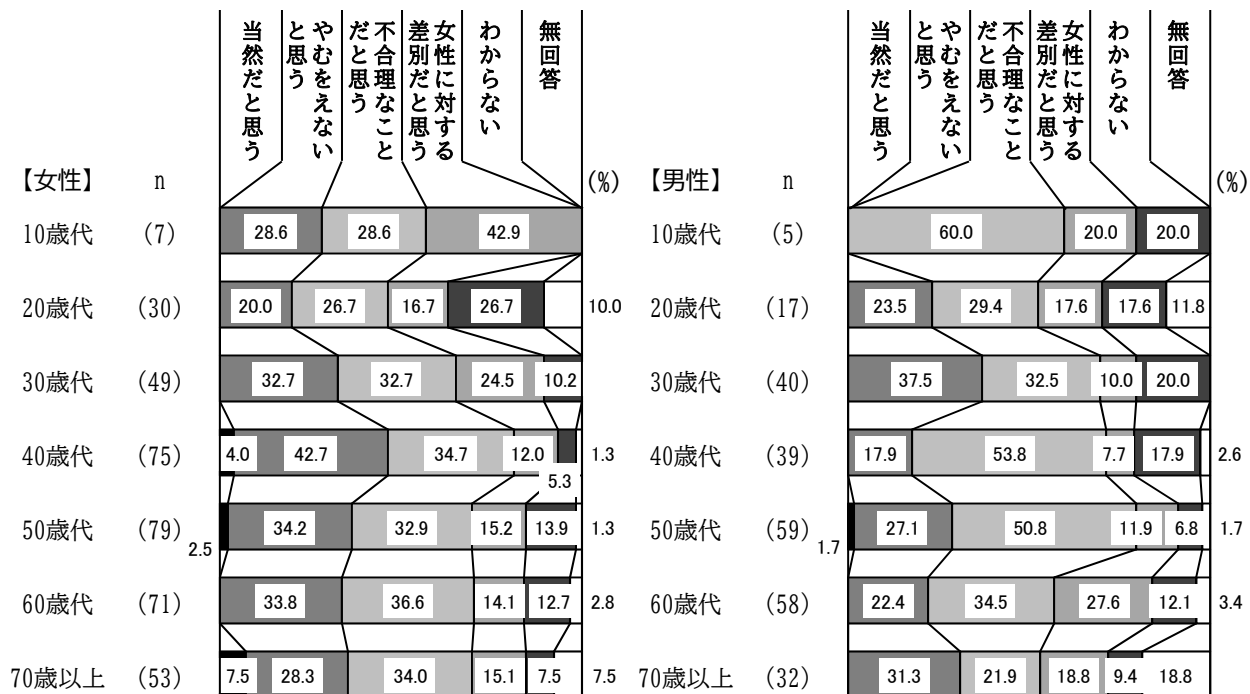
【女 性】(n=368)

【男 性】(n=253)



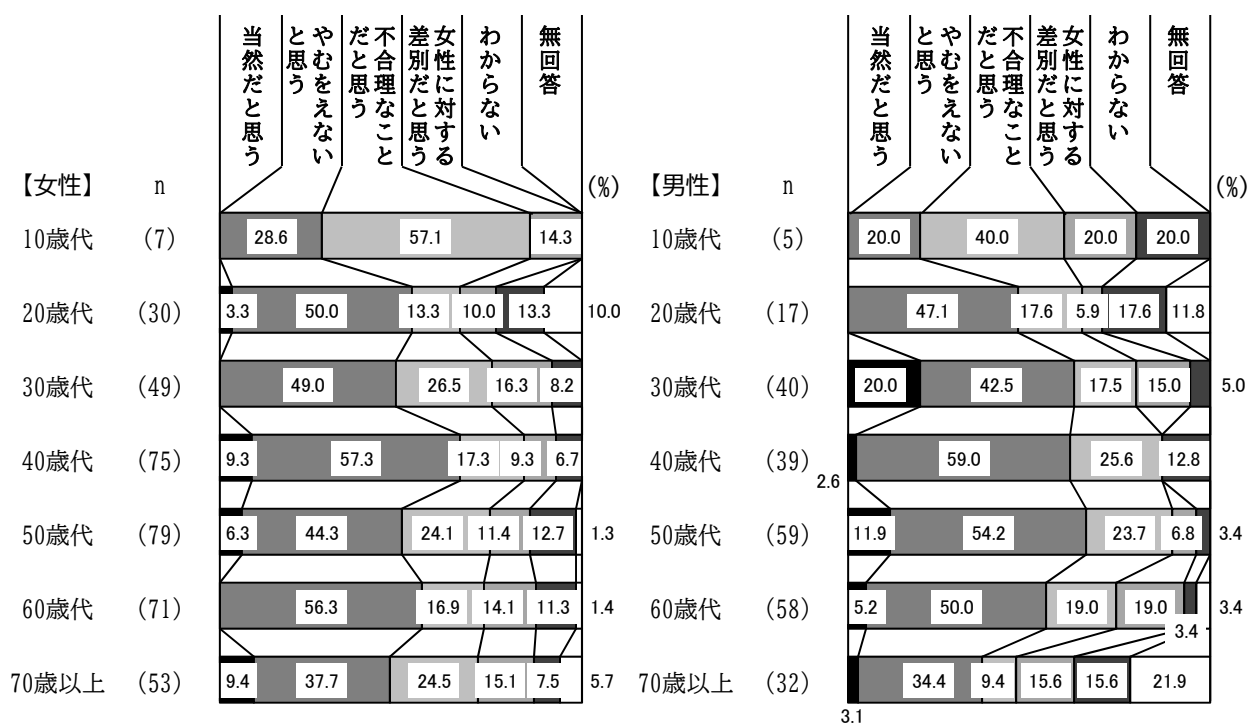
ア 募集や採用で女性は男性より不利であること

「当然だと思う」と「やむをえないと思う」の合計は、【女性・40歳代】(46.7%)が他の性・年代に比べ、高くなっている。「女性に対する差別だと思う」は、【女性・10歳代】(42.9%)が他の性・年代に比べ、高くなっている。



イ 女性を配置しない職種・部門があること

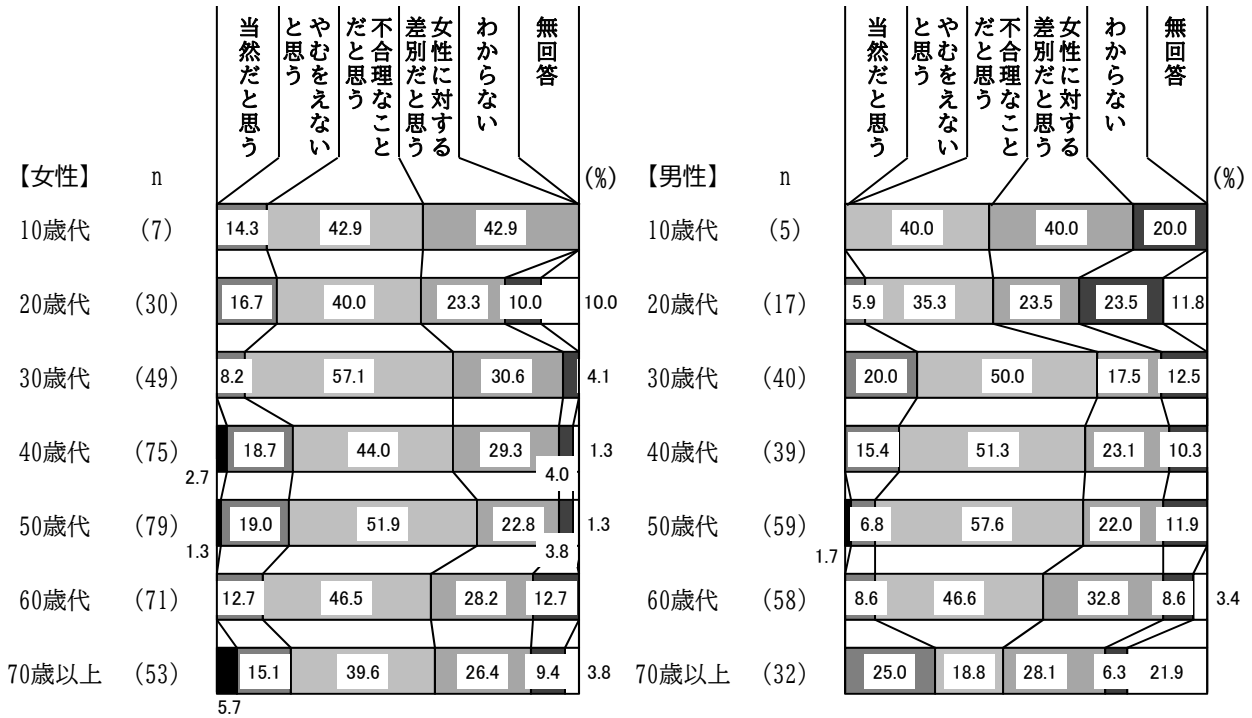
「当然だと思う」と「やむをえないと思う」の合計は、【女性・40歳代】(66.6%)および【男性・50歳代】(66.1%)が他の性・年代に比べ、高くなっている。「女性に対する差別だと思う」は、【男性・10歳代】(20.0%)が他の性・年代に比べ、高くなっている。



第3章 調査の結果

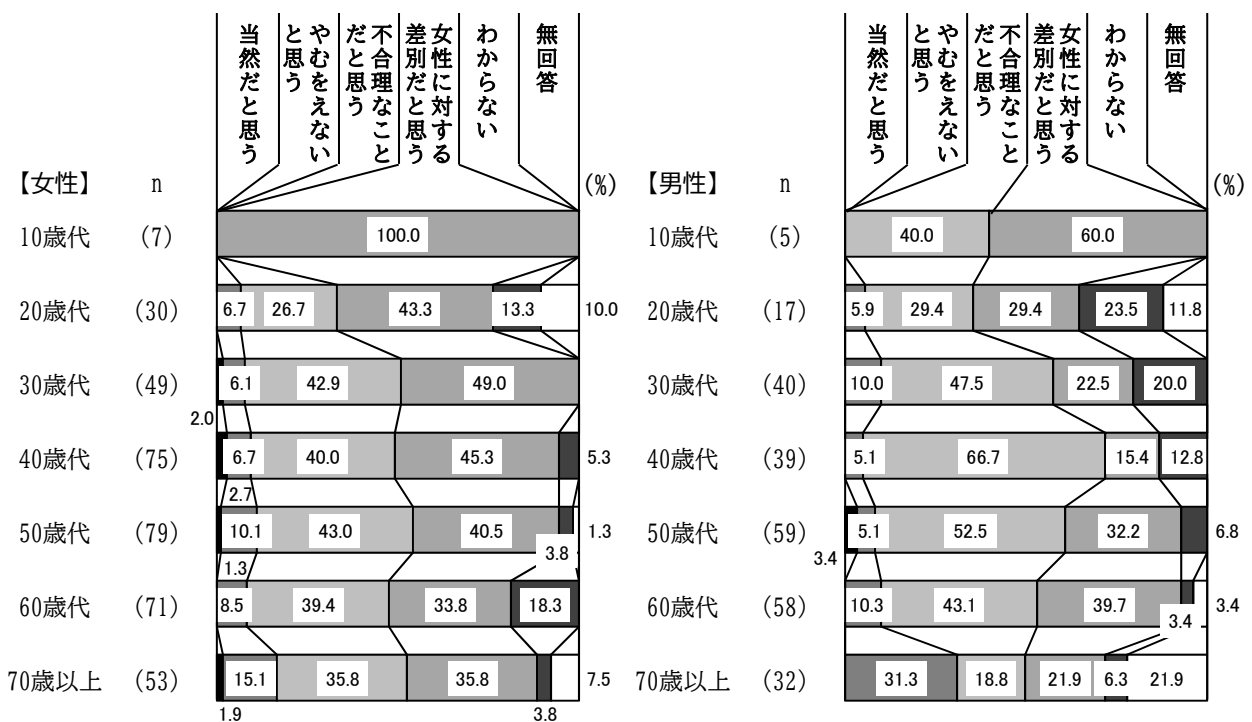
ウ 昇進面で女性は男性より不利であること（女性の管理職が少ないなど）

「当然だと思う」と「やむをえないと思う」の合計は、【男性・70歳以上】（25.0%）が他の性・年代に比べ、高くなっている。「女性に対する差別だと思う」は、【女性・10歳代】（42.9%）が他の性・年代に比べ、高くなっている。



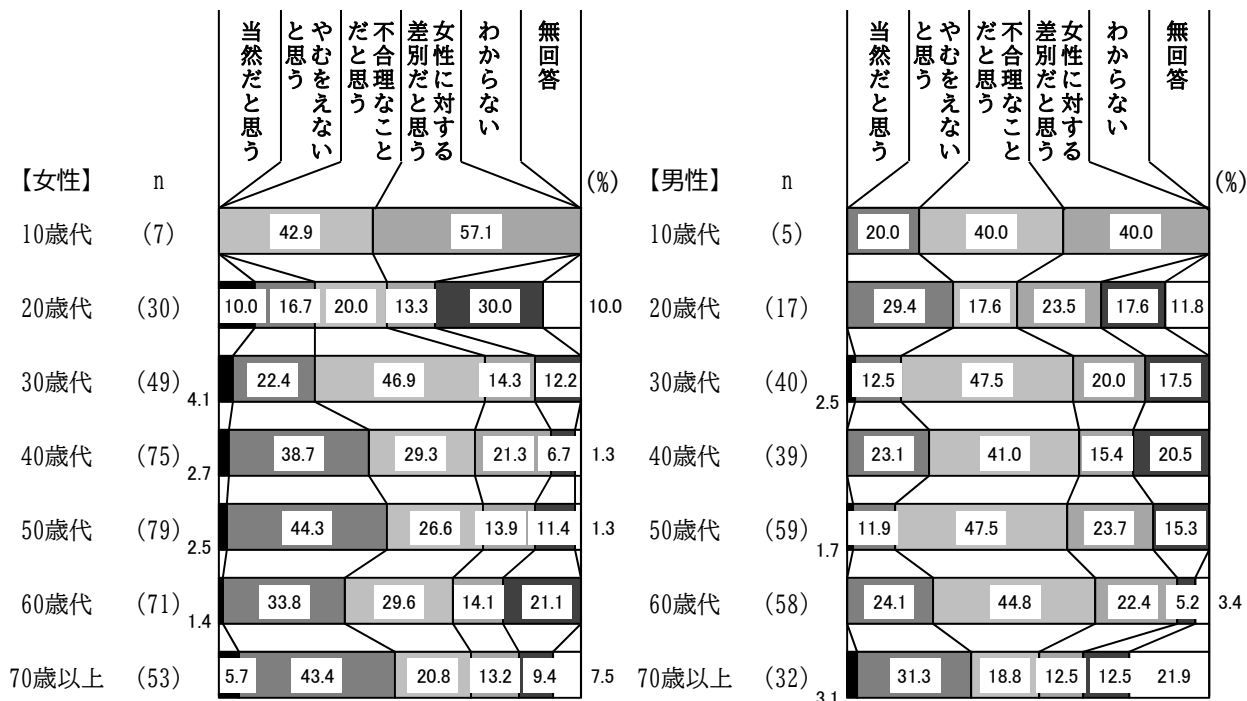
エ 同期や同年齢の男性より、賃金が低いこと

「当然だと思う」と「やむをえないと思う」の合計は、【男性・70歳以上】（31.3%）が他の性・年代に比べ、高くなっている。「女性に対する差別だと思う」は、【女性・10歳代】（100.0%）が他の性・年代に比べ、高くなっている。



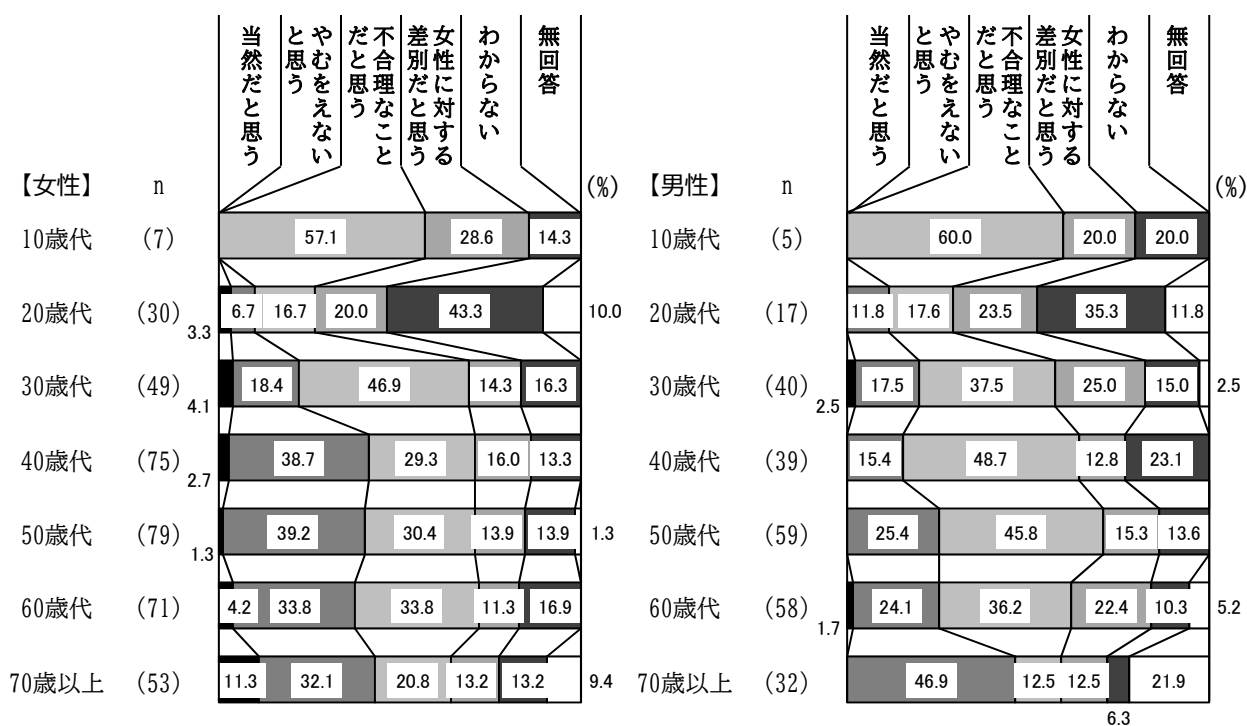
オ 同じ仕事の男性より、研修や出張の機会が少ないこと

「当然だと思う」と「やむをえないと思う」の合計は、【女性・70歳以上】(49.1%)が他の性・年代に比べ、高くなっている。「女性に対する差別だと思う」は、【女性・10歳代】(57.1%)が他の性・年代に比べ、高くなっている。



カ 同じ仕事の男性より、転勤などの人事異動で不利であること

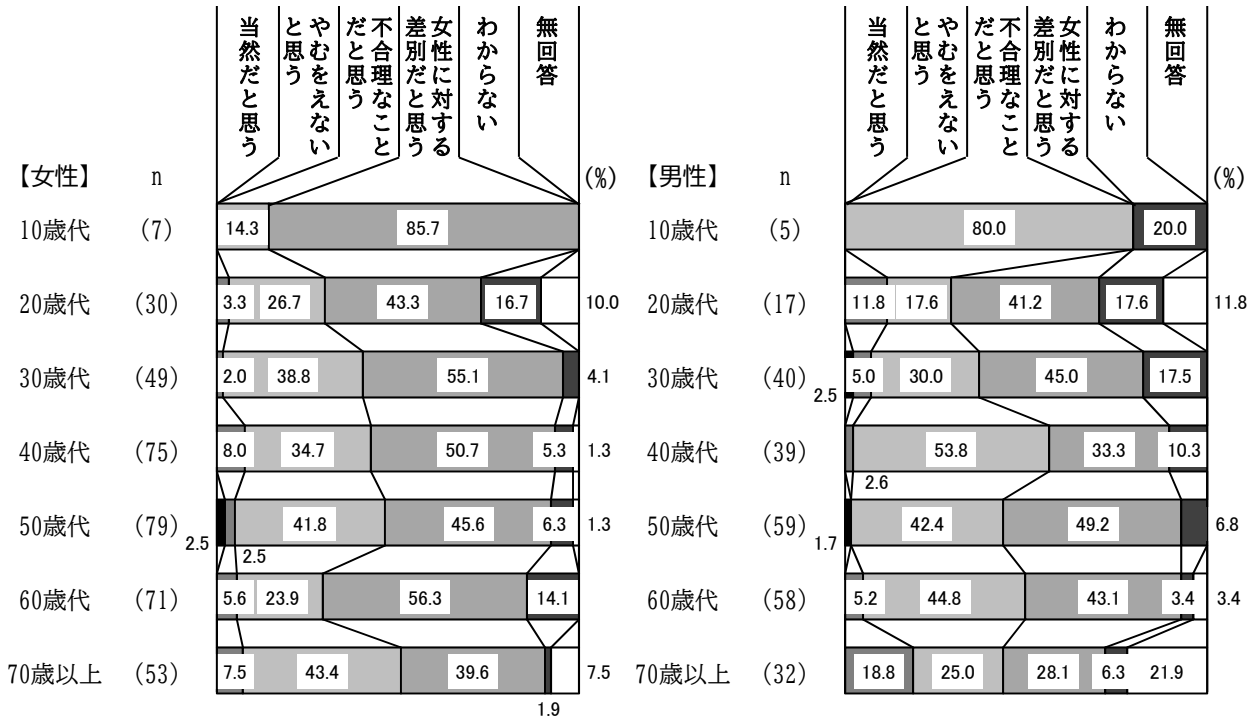
「当然だと思う」と「やむをえないと思う」の合計は、【男性・70歳以上】(46.9%)が他の性・年代に比べ、高くなっている。「女性に対する差別だと思う」は、【女性・10歳代】(28.6%)が他の性・年代に比べ、最も高くなっている。



第3章 調査の結果

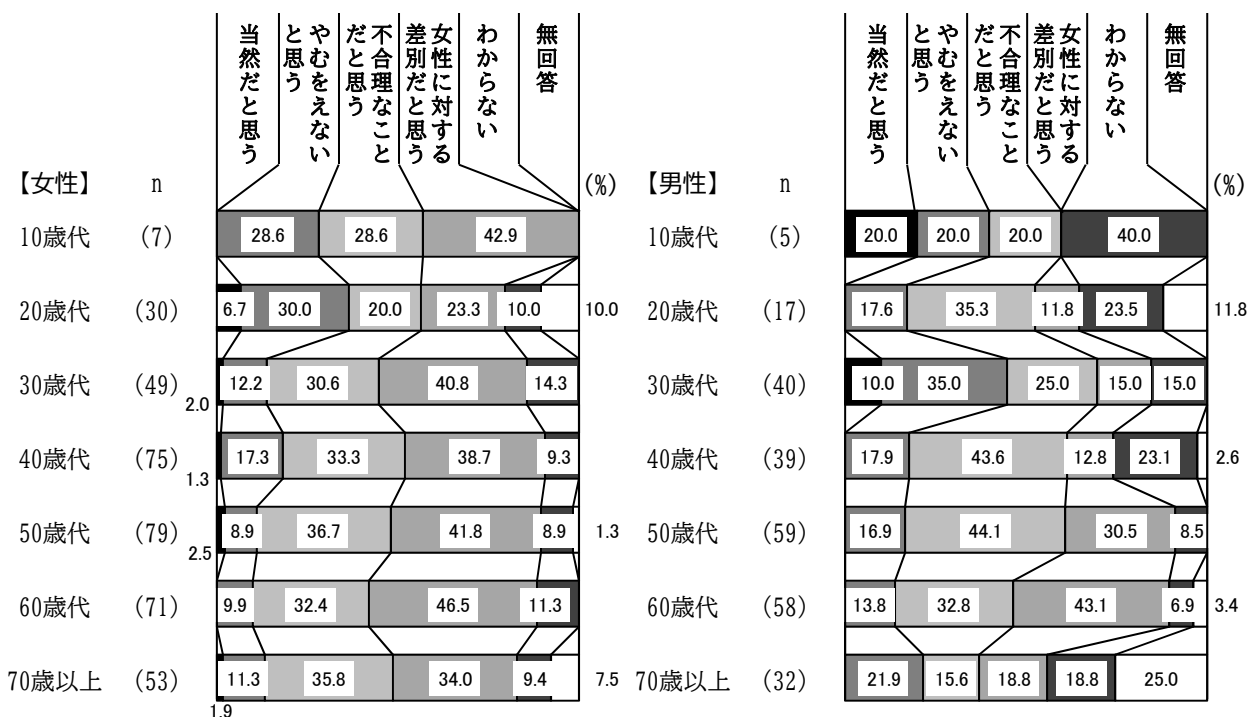
キ 女性には、補助的、雑用的な仕事しか与えられないこと

「当然だと思う」と「やむをえないと思う」の合計は、【男性・70歳以上】(18.8%)が他の性・年代に比べ、高くなっている。女性では、70歳以上を除き、「女性に対する差別だと思う」と回答した割合が最も高くなっている。



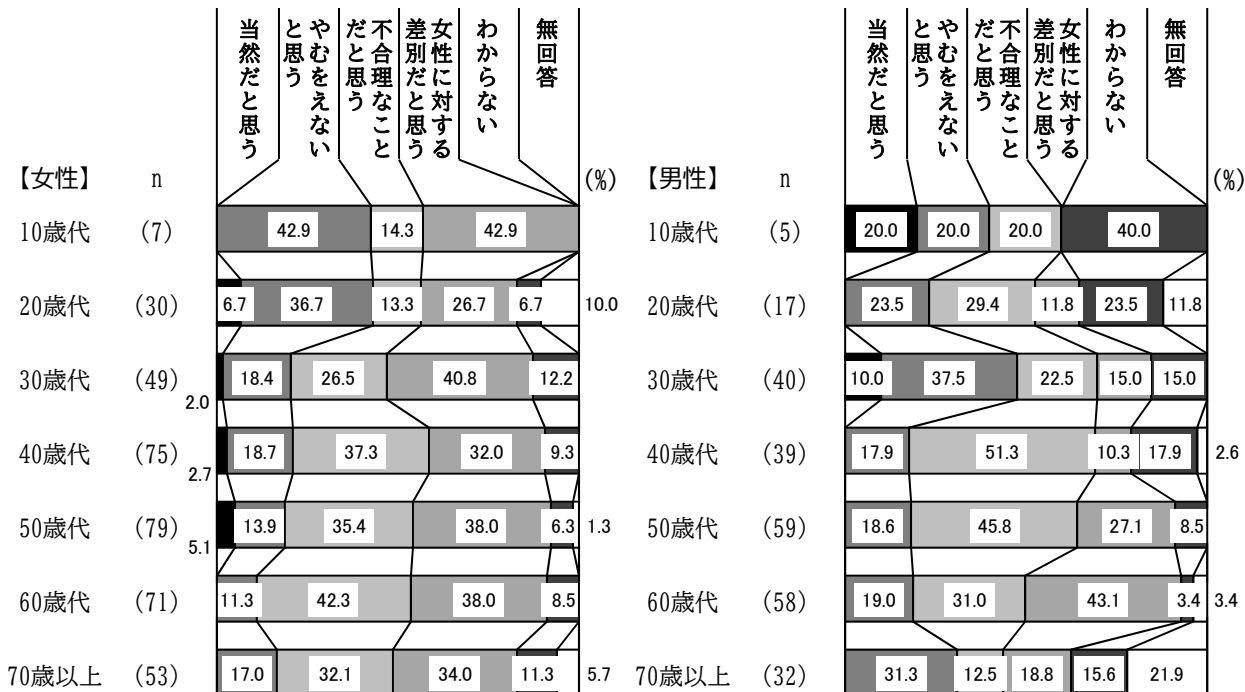
ク 結婚退職の慣習があること

「当然だと思う」と「やむをえないと思う」の合計は、【男性・30歳代】(45.0%)が他の性・年代に比べ、高くなっている。「女性に対する差別だと思う」は、【女性・60歳代】(46.5%)が他の性・年代に比べ、高くなっている。



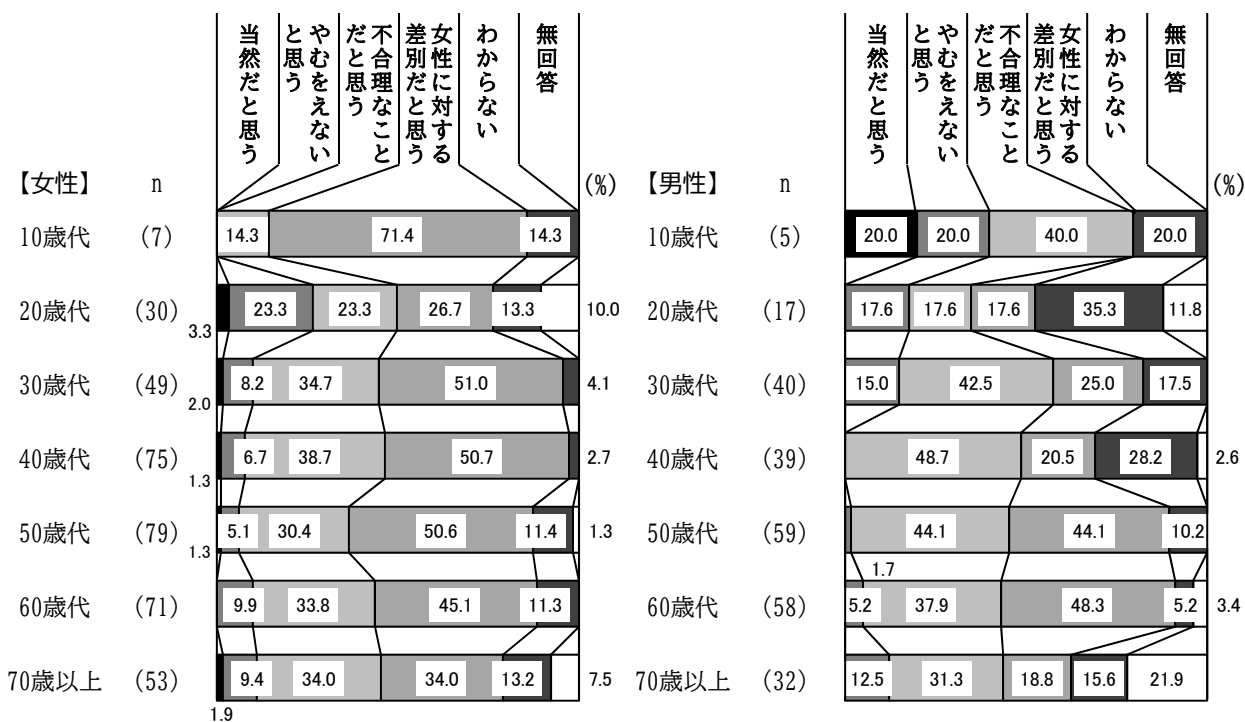
ケ 出産退職の慣習があること

「当然だと思う」と「やむをえないと思う」の合計は、【男性・30歳代】、女性の10歳代と20歳代が他の性・年代に比べ、高くなっている。「女性に対する差別だと思う」は、【男性・60歳代】（43.1%）が他の性・年代に比べ、高くなっている。



コ 定年の年齢が男女で違うこと

「当然だと思う」と「やむをえないと思う」の合計は、【男性・10歳代】（40.0%）が他の性・年代に比べ、高くなっている。「女性に対する差別だと思う」は、【女性・10歳代】（71.4%）が他の性・年代に比べ、高くなっている。

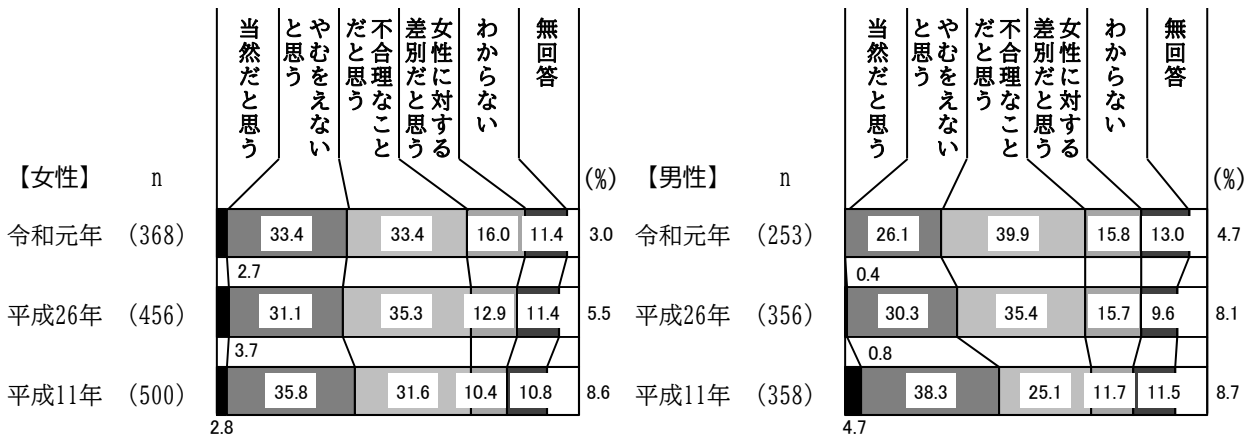


これまでの調査との比較

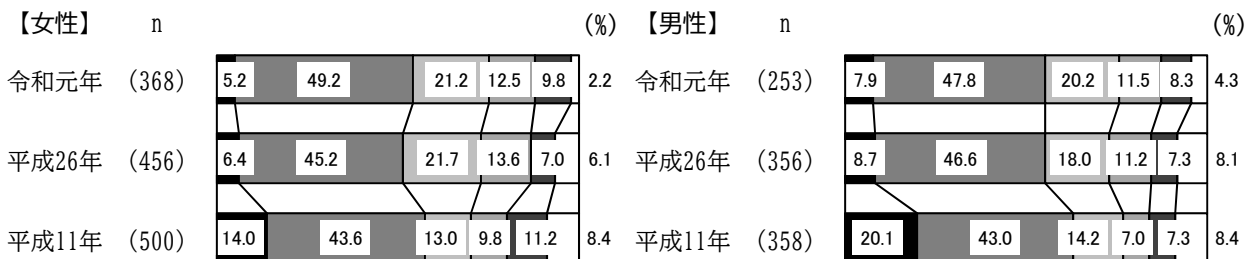
女性において、「女性に対する差別だと思う」は、「イ 女性を配置しない職種・部門があること」及び「ウ 昇進面で女性は男性より不利であること（女性の管理職が少ないなど）」を除き、[平成11年]から増加傾向がみられる。特に、「ケ 出産退職の慣習があること」（35.6%）は[平成11年]（17.6%）に比べ、18.0ポイント増加しており、「ク 結婚退職の慣習があること」（39.1%）は[平成11年]（21.6%）に比べ、17.5ポイント増加している。

性別 女性が働く上で男性と異なる立場に置かれることへの考え方

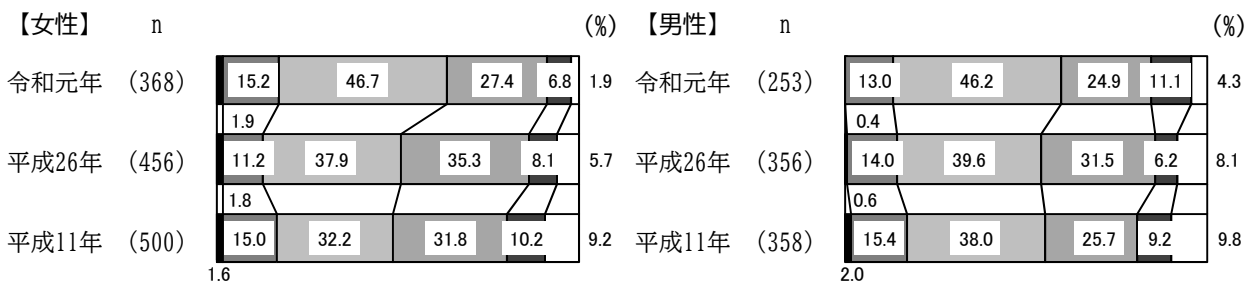
ア 募集や採用で女性は男性より不利であること



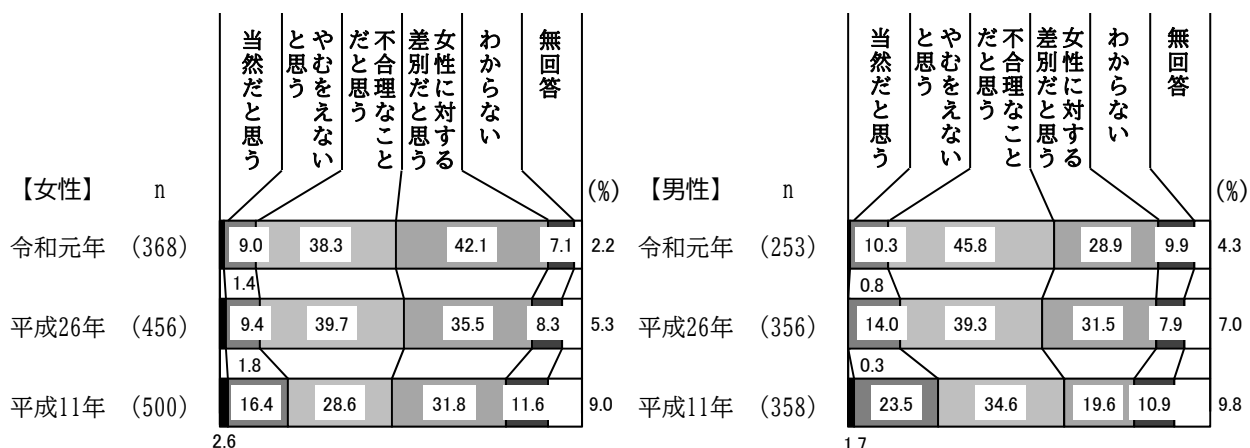
イ 女性を配置しない職種・部門があること



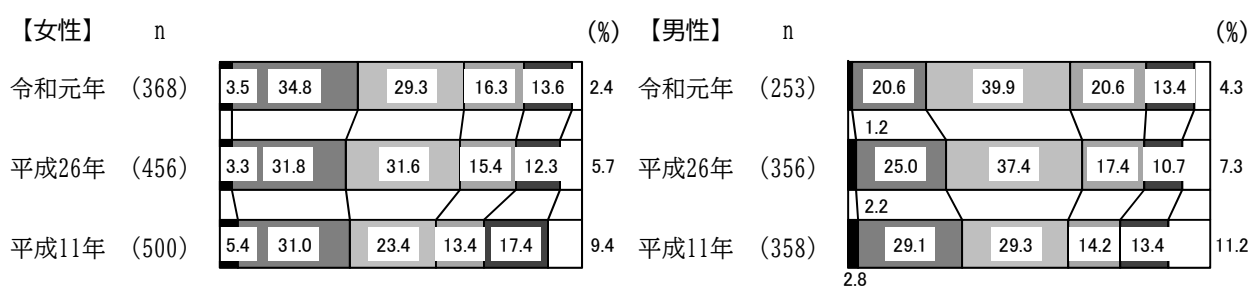
ウ 昇進面で女性は男性より不利であること（女性の管理職が少ないなど）



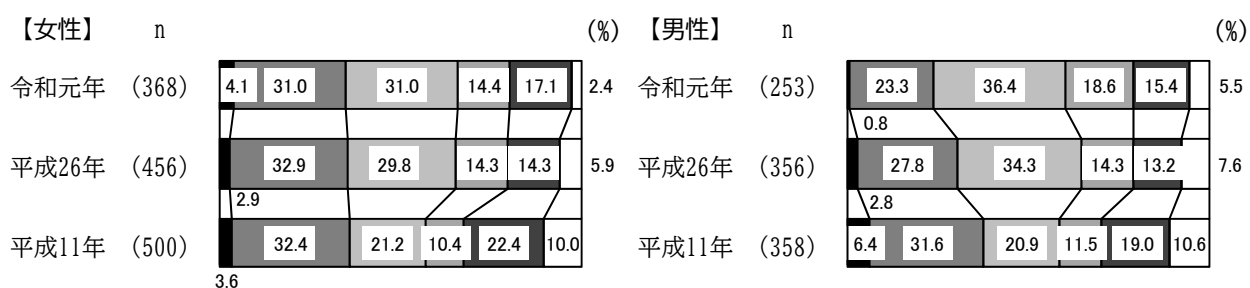
エ 同期や同年齢の男性より、賃金が低いこと



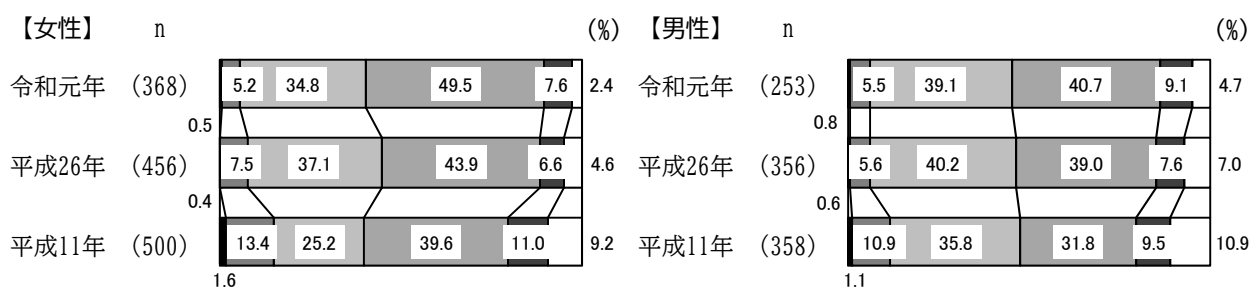
オ 同じ仕事の男性より、研修や出張の機会が少ないこと



カ 同じ仕事の男性より、転勤などの人事異動で不利であること

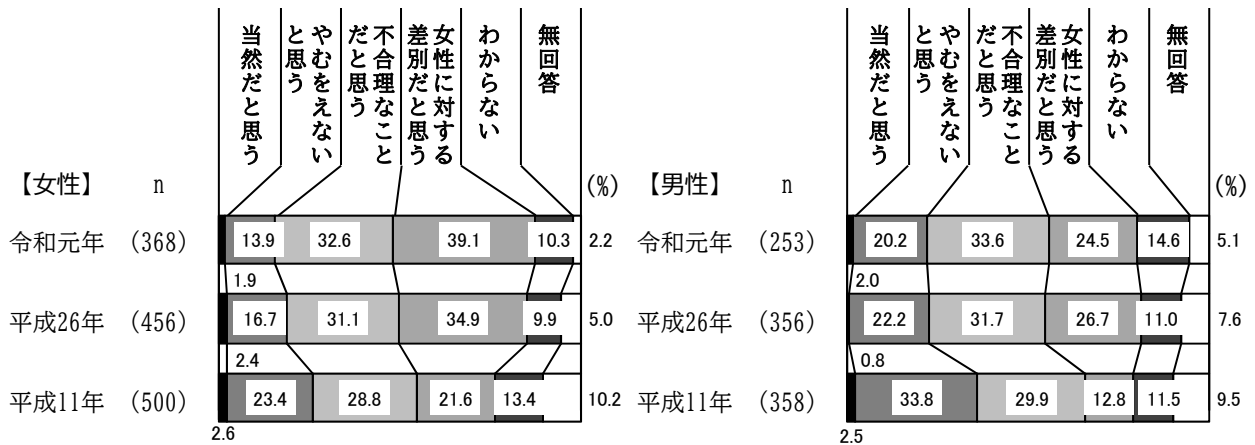


キ 女性には、補助的、雑用的な仕事しか与えられないこと

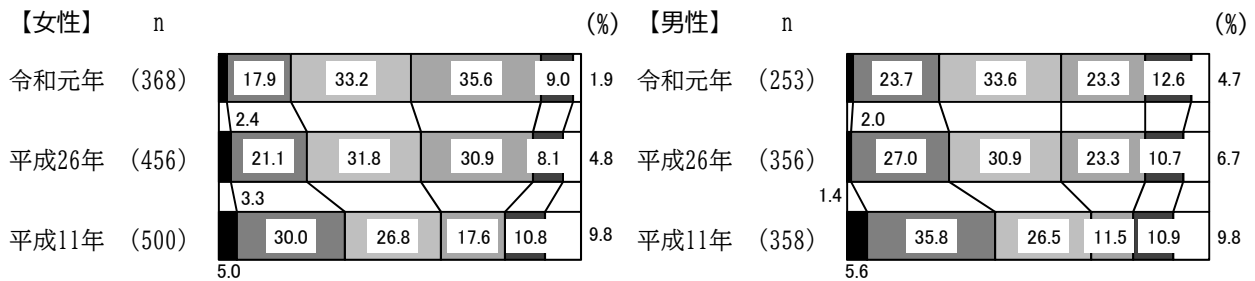


第3章 調査の結果

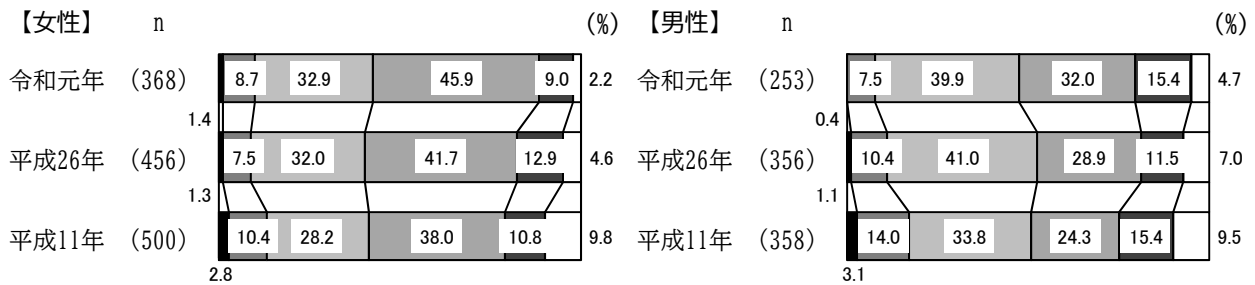
ク 結婚退職の慣習があること



ケ 出産退職の慣習があること



コ 定年の年齢が男女で違うこと



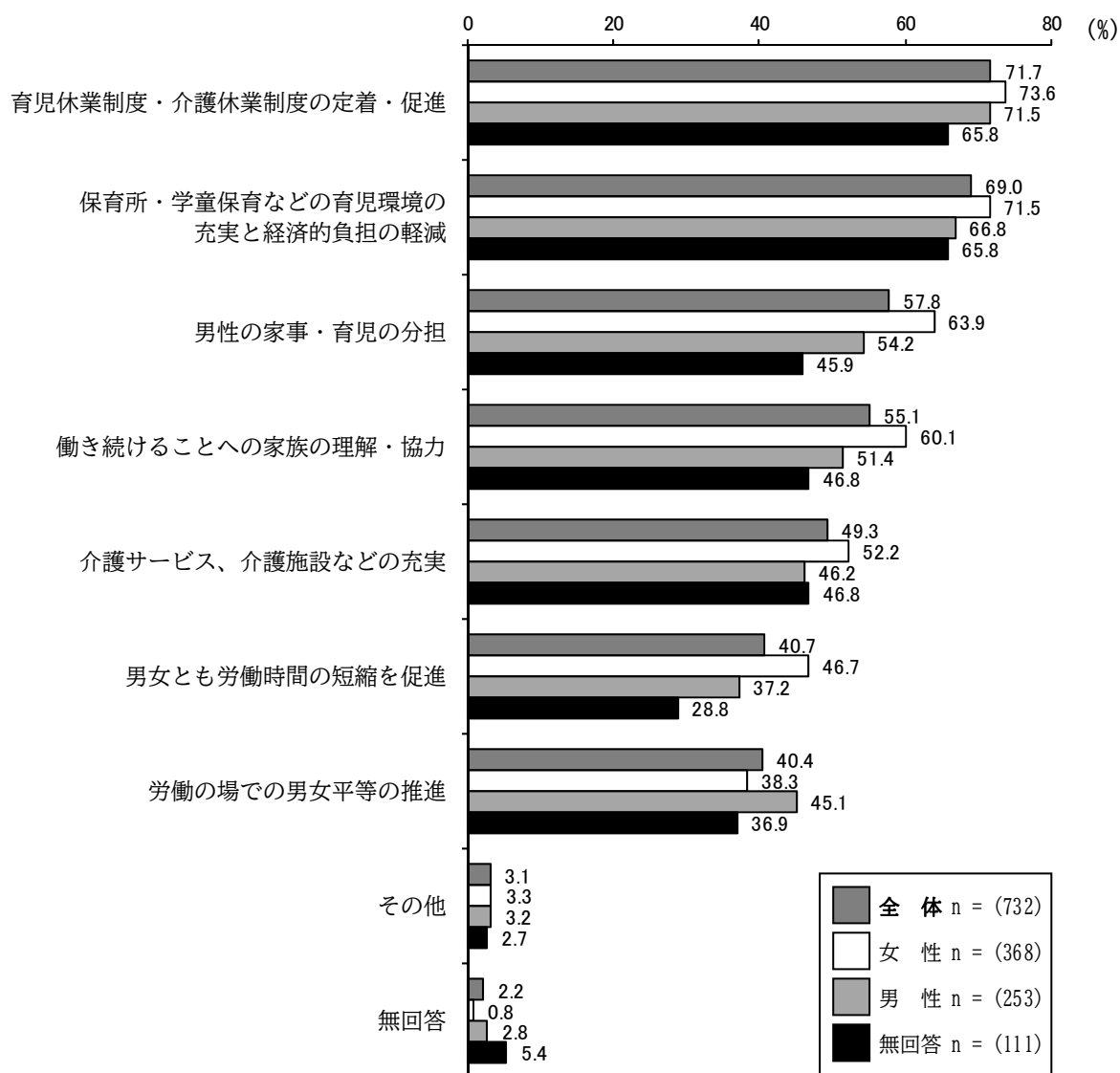
(9) 女性が働き続ける環境をつくるために必要なこと

問7 女性が働き続ける環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「育児休業制度・介護休業制度の定着・促進」が71.7%で最も高く、次いで「保育所・学童保育などの育児環境の充実と経済的負担の軽減」が69.0%、「男性の家事・育児の分担」が57.8%、「働き続けることへの家族の理解・協力」が55.1%となっている。

【性別】

男女差がある項目として、「男性の家事・育児の分担」は、女性(63.9%)が、男性(54.2%)に比べ、9.7ポイント高くなっている。また、「男女とも労働時間の短縮を促進」は、女性(46.7%)が、男性(37.2%)に比べ、9.5ポイント高くなっている。



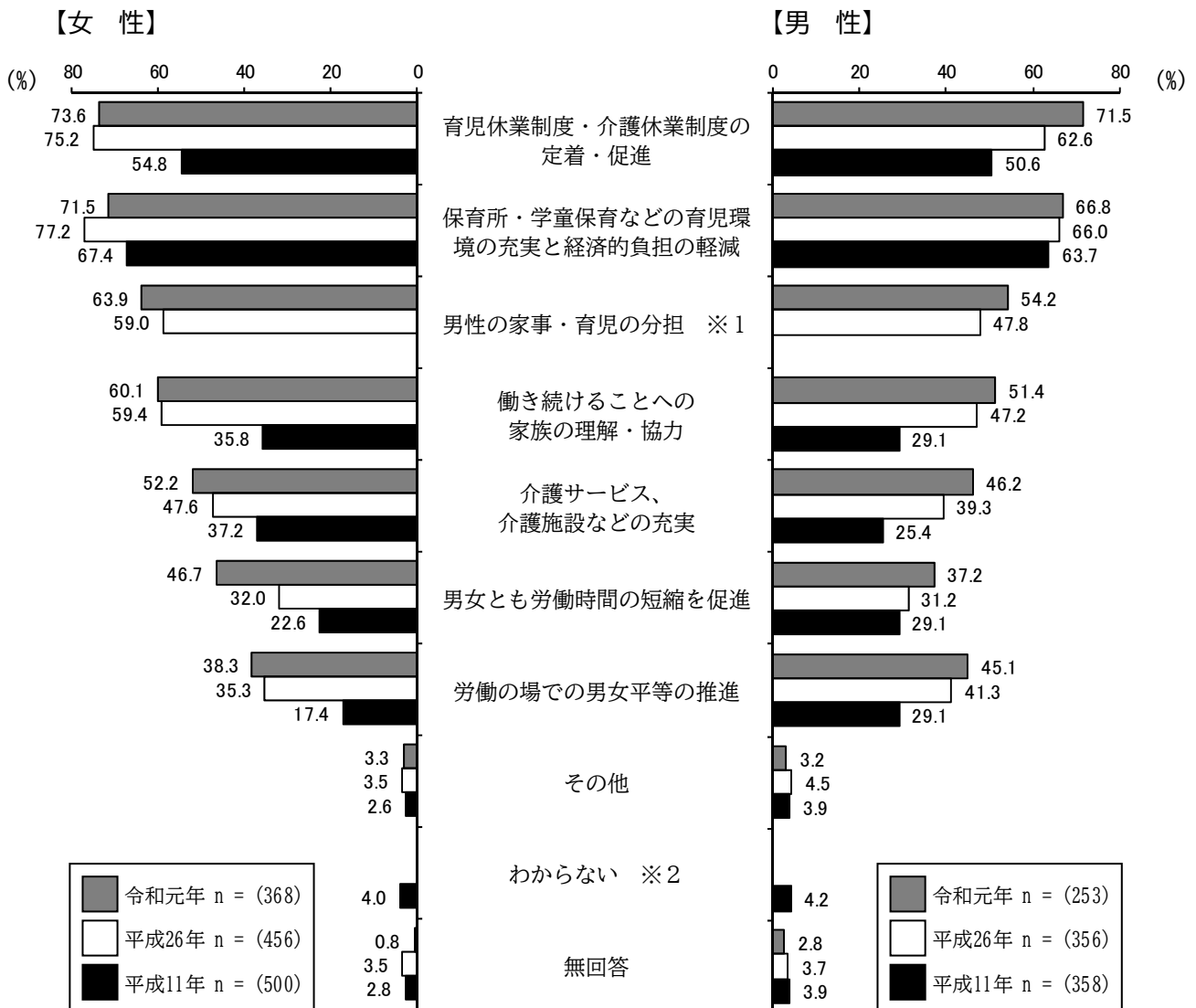
これまでの調査との比較

平成21年調査までの回答は「〇は三つまで」であったため、平成26年調査と比較する。また、平成11年調査は参考に掲載する。

増減がある項目として、女性では、「男女とも労働時間の短縮を促進」が[平成26年](32.0%)より14.7ポイント増加している。

男性では、「育児休業制度・介護休業制度の定着・促進」が[平成26年](62.6%)より8.9ポイント増加している。

性別 女性が働き続ける環境をつくるために必要なこと



※1 平成26年調査から選択肢に加えた。

※2 平成21年調査までの選択肢である。

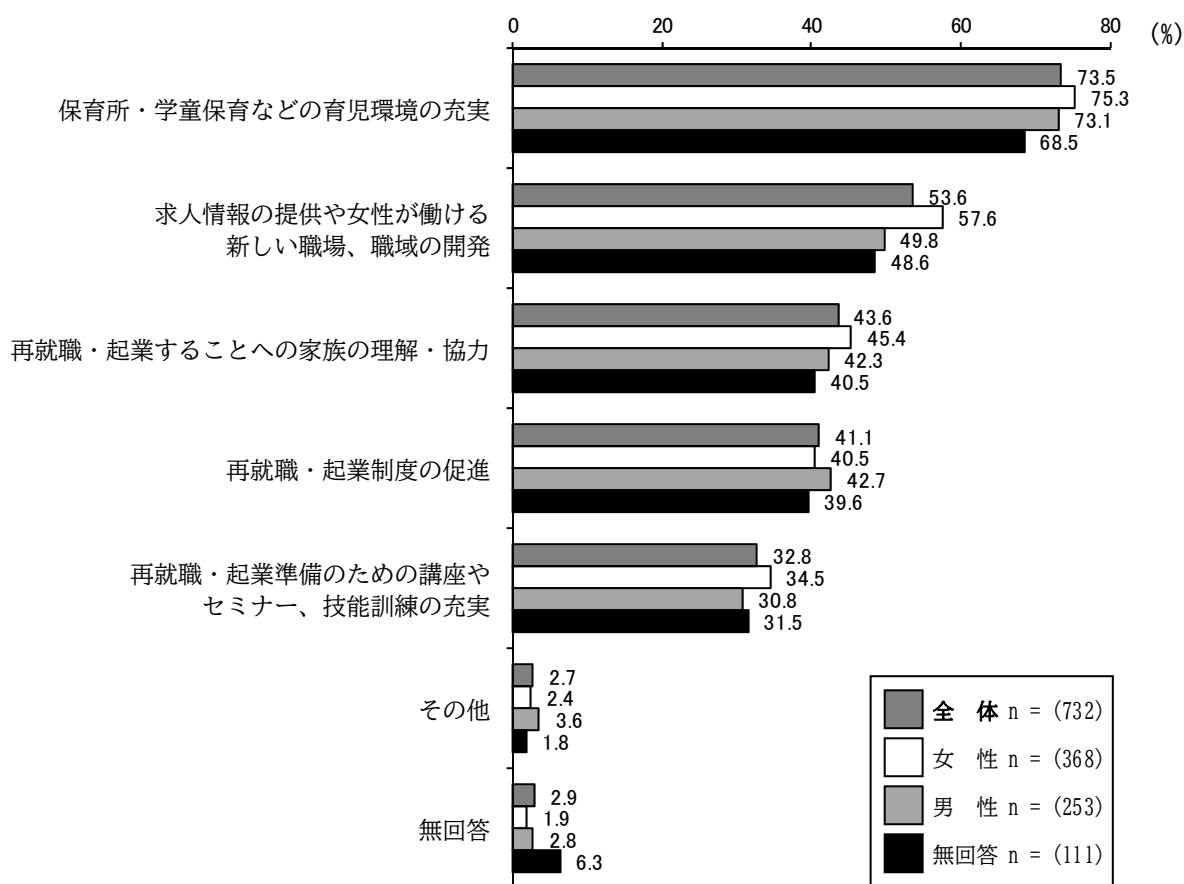
(10) 女性が再就職・起業しやすい環境をつくるために必要なこと

問8 女性が再就職・起業しやすい環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「保育所・学童保育などの育児環境の充実」が73.5%で最も高く、次いで「求人情報の提供や女性が働ける新しい職場、職域の開発」が53.6%、「再就職・起業することへの家族の理解・協力」が43.6%、「再就職・起業制度の促進」が41.1%となっている。

【性別】

男女差がある項目として、「求人情報の提供や女性が働ける新しい職場、職域の開発」は、女性（57.6%）が、男性（49.8%）に比べ、7.8ポイント高くなっている。



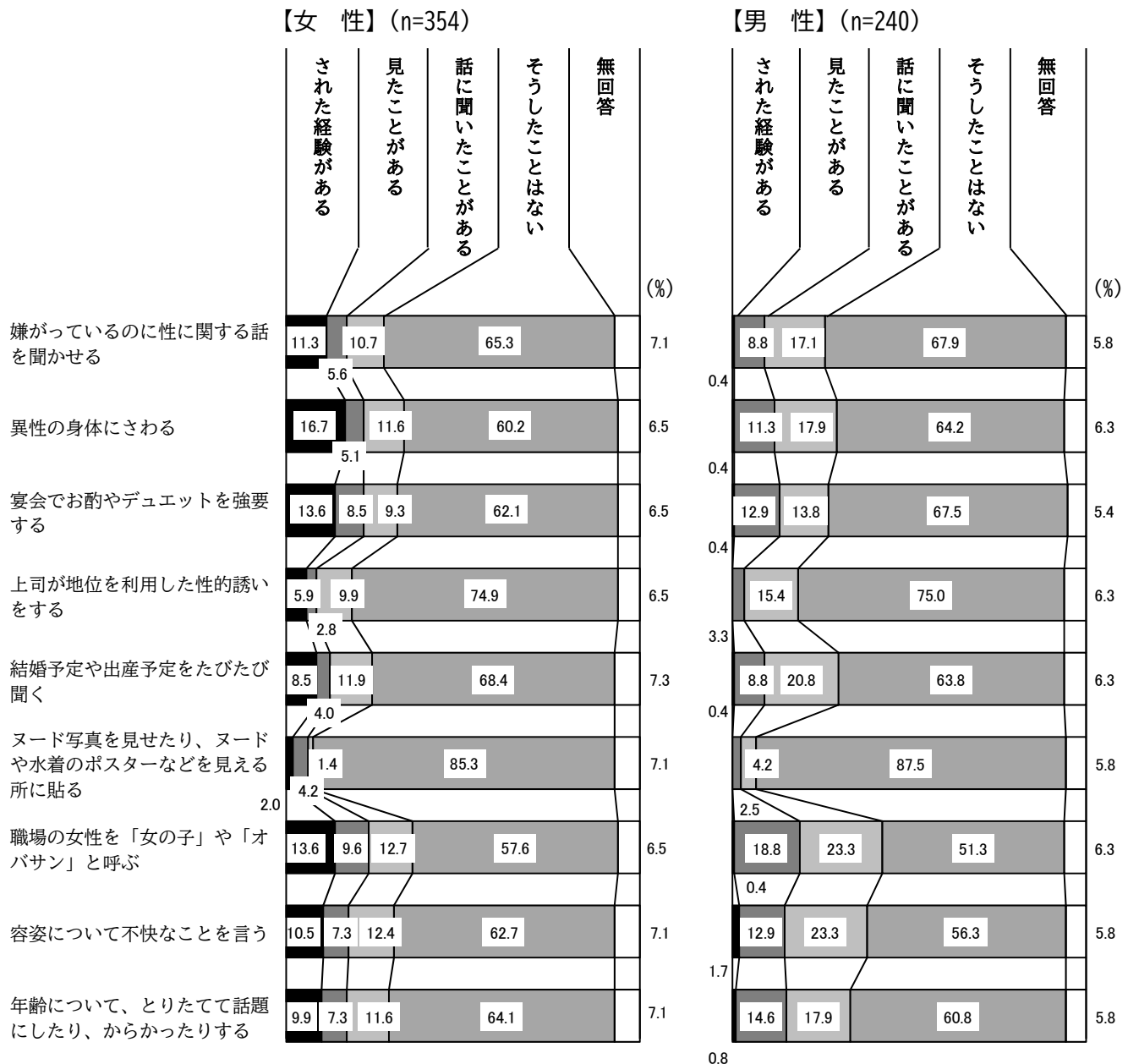
(11) 職場でのセクシュアル・ハラスメントの経験

【現在働いている方、または、働いた経験のある方にお聞きします。】

問9 セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）に関して、あなたの職場では以下のようなことがありますか。ア～コの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。（○は各項目に一つ）

【性別】

男女とも全ての項目で「そうしたことはない」が最も高くなっている。「された経験がある」はすべての項目で女性が男性に比べ、高くなっている。特に「異性の身体にさわる」（16.7%）、「宴会でお酌やデュエットを強要する」（13.6%）および「職場の女性を「女の子」や「オバサン」と呼ぶ」（13.6%）が高くなっている。一方、「話に聞いたことがある」はすべての項目で男性が女性に比べ、高くなっている。



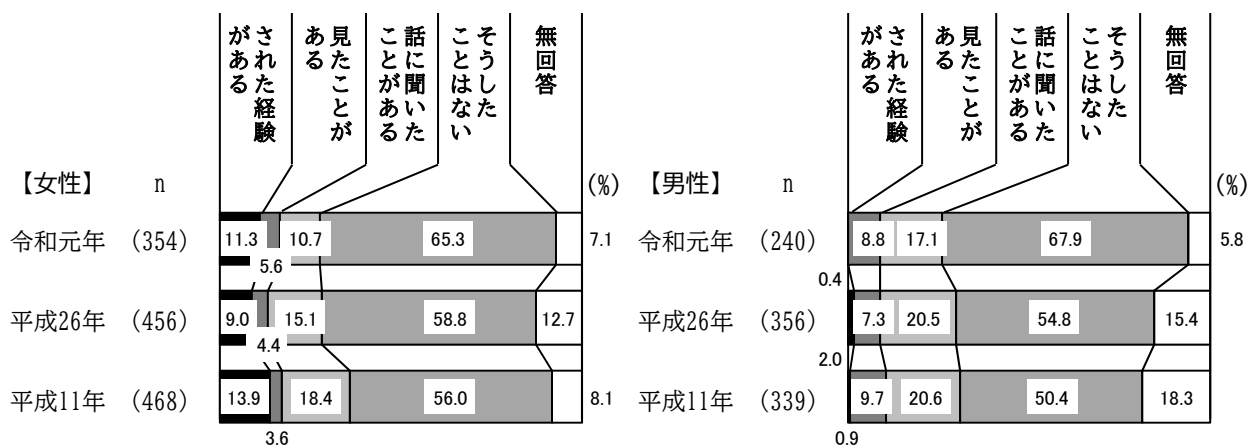
※ [その他] は、括弧内に具体的な記述のないものは集計に含めていないため、グラフに反映していない

これまでの調査との比較

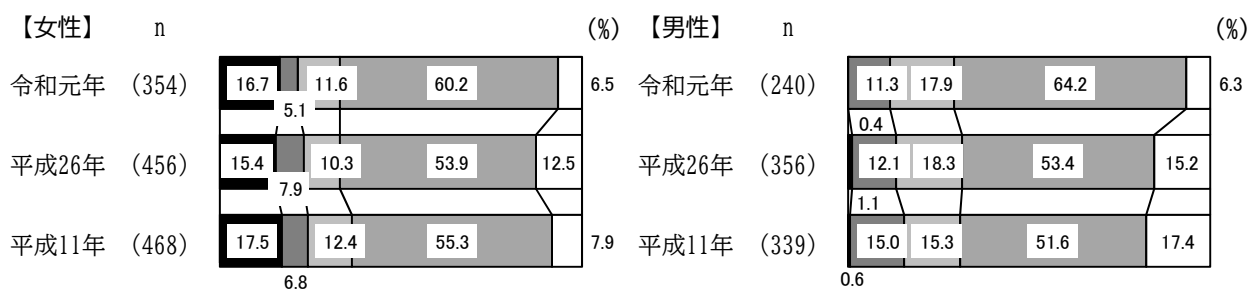
「そうしたことはない」は、男性がすべての項目で[平成11年]から増加傾向がみられる。
 増減がある項目として、「された経験がある」は、女性の「ウ 宴会でお酌やデュエットを強要する」が[平成11年]（23.7%）から減少傾向がみられ、10.1ポイント減少している。

性別 職場でのセクシュアル・ハラスメントの経験

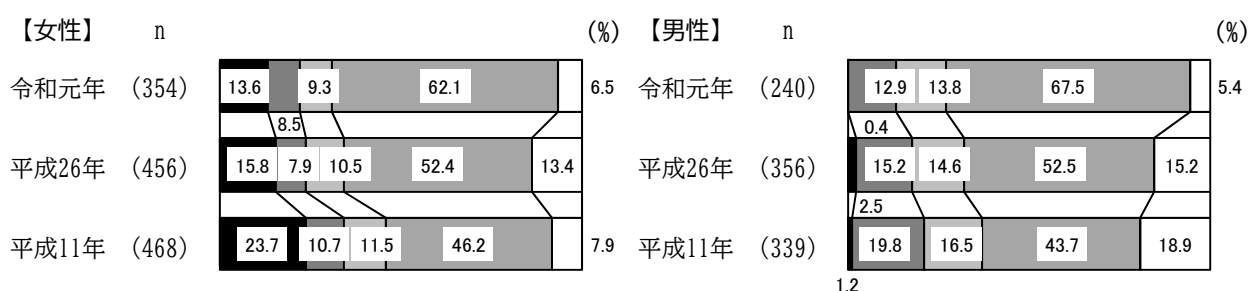
ア 嫌がっているのに性に関する話を聞かせる



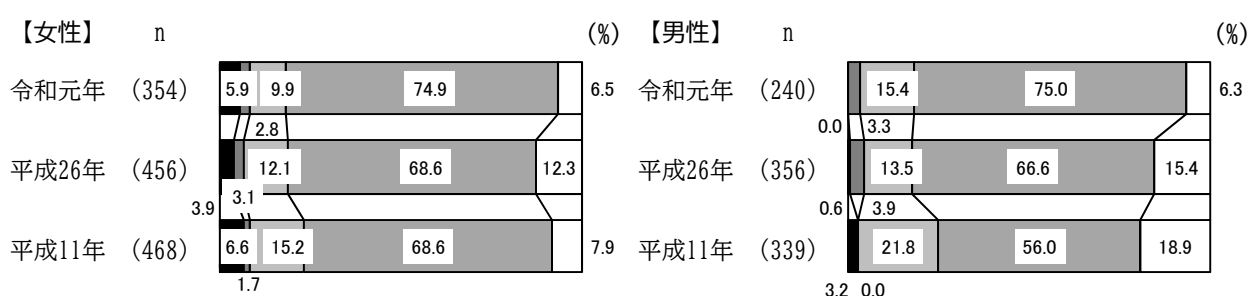
イ 異性の身体にさわる



ウ 宴会でお酌やデュエットを強要する

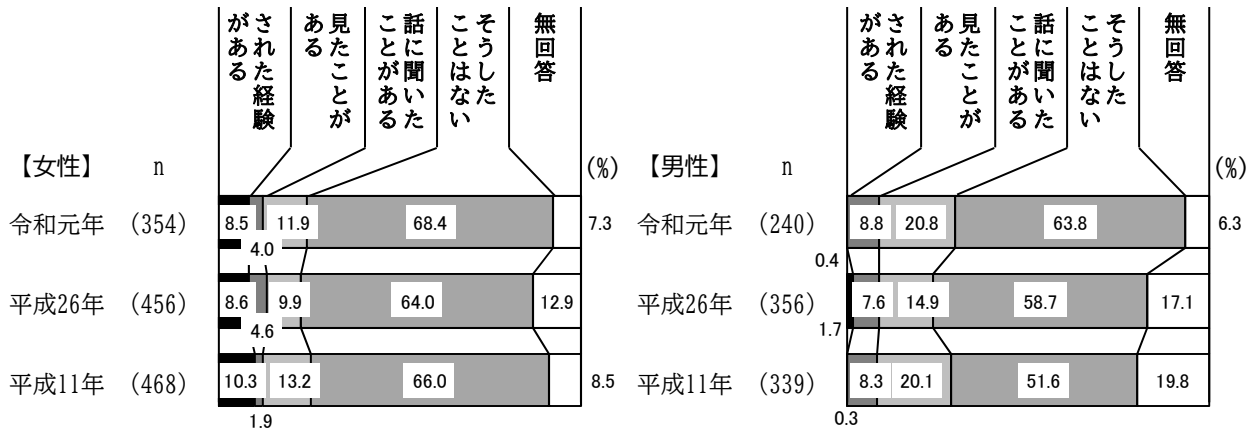


エ 上司が地位を利用した性的誘いをする

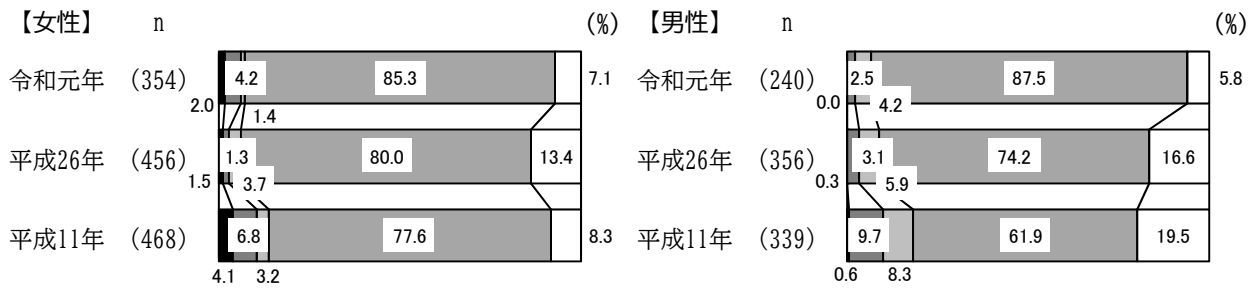


第3章 調査の結果

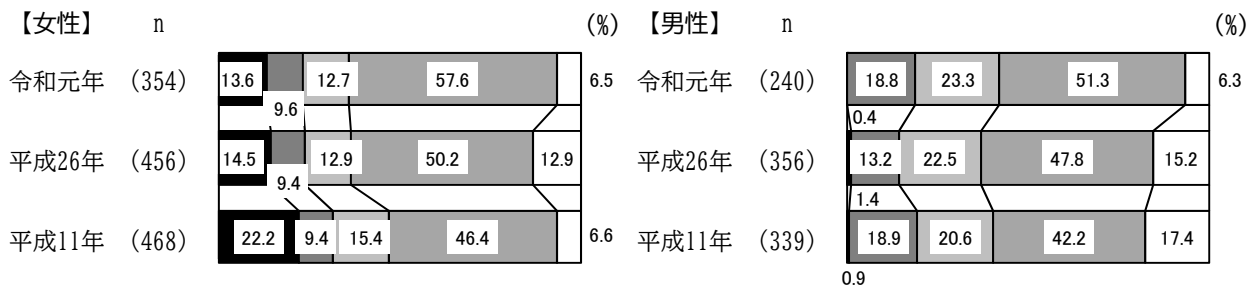
オ 結婚予定や出産予定をたびたび聞く



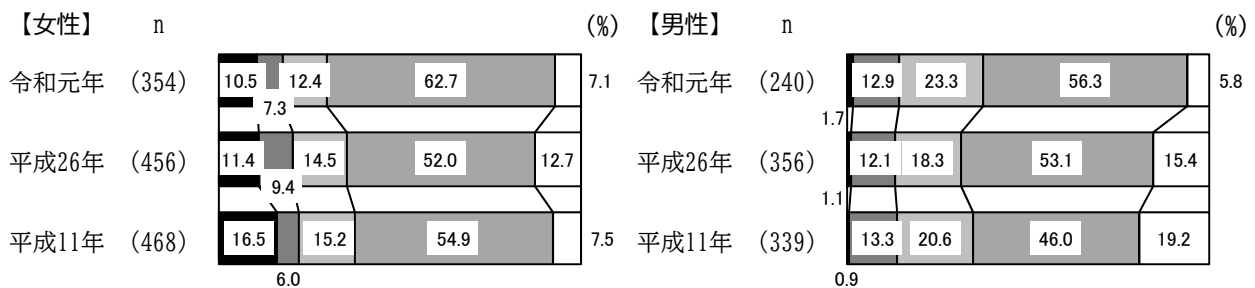
カ ヌード写真を見せたり、ヌードや水着のポスターなどを見える所に貼る



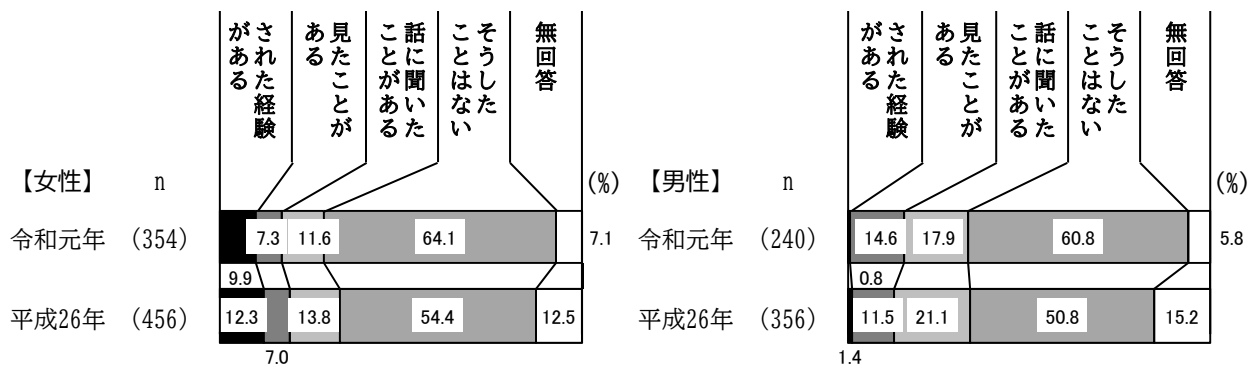
キ 職場の女性を「女の子」や「オバサン」と呼ぶ



ク 容姿について不快なことを言う



ケ 年齢について、とりたてて話題にしたり、からかったりする



※ 「ケ 年齢について、とりたてて話題にしたり、からかったりする」は平成26年調査から調査項目に追加した。

(12) 職場でのマタニティ・ハラスメントの経験

【現在働いている方、または、働いた経験のある方にお聞きします。】

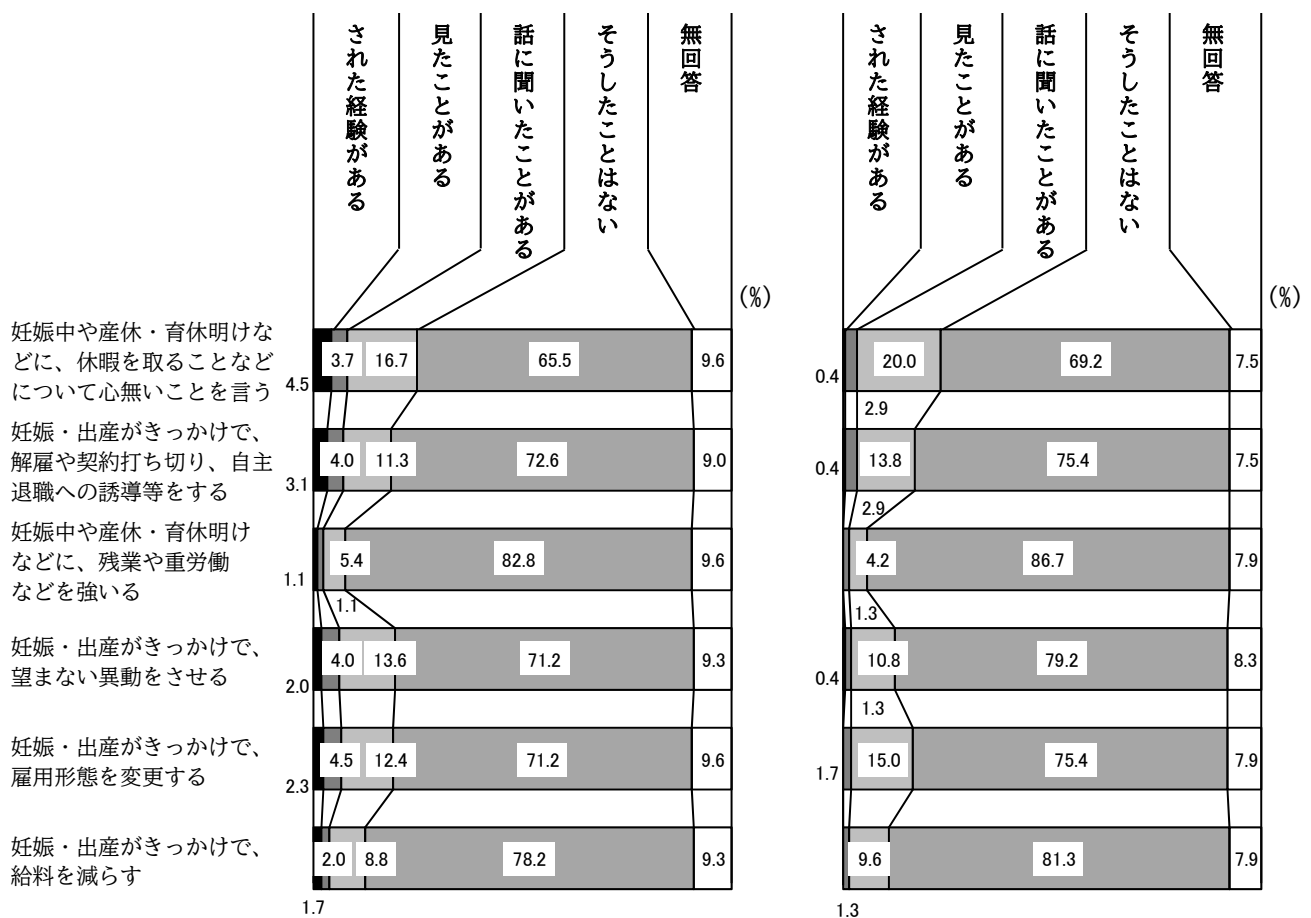
問10 マタニティ・ハラスメント（働く女性が妊娠、出産を理由に解雇、雇い止めされることや、職場で受ける精神的、肉体的な嫌がらせ）に関して、あなたの職場では以下のようなことがありますか。ア～キの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。（○は各項目に一つ）

【性別】

男女とも全ての項目で「そうしたことはない」が最も高くなっている。

【女 性】(n=354)

【男 性】(n=240)



※ [その他] は、括弧内に具体的な記述のないものは集計に含めていないため、グラフに反映していない

(13) 育児休業・介護休業の取得

問11 育児や家族介護を行うために、法律に基づき育児休業や介護休業を取得できる制度があります。あなたは、この制度を活用して、育児休業や介護休業を取得したことがありますか。(○は各項目に一つ)

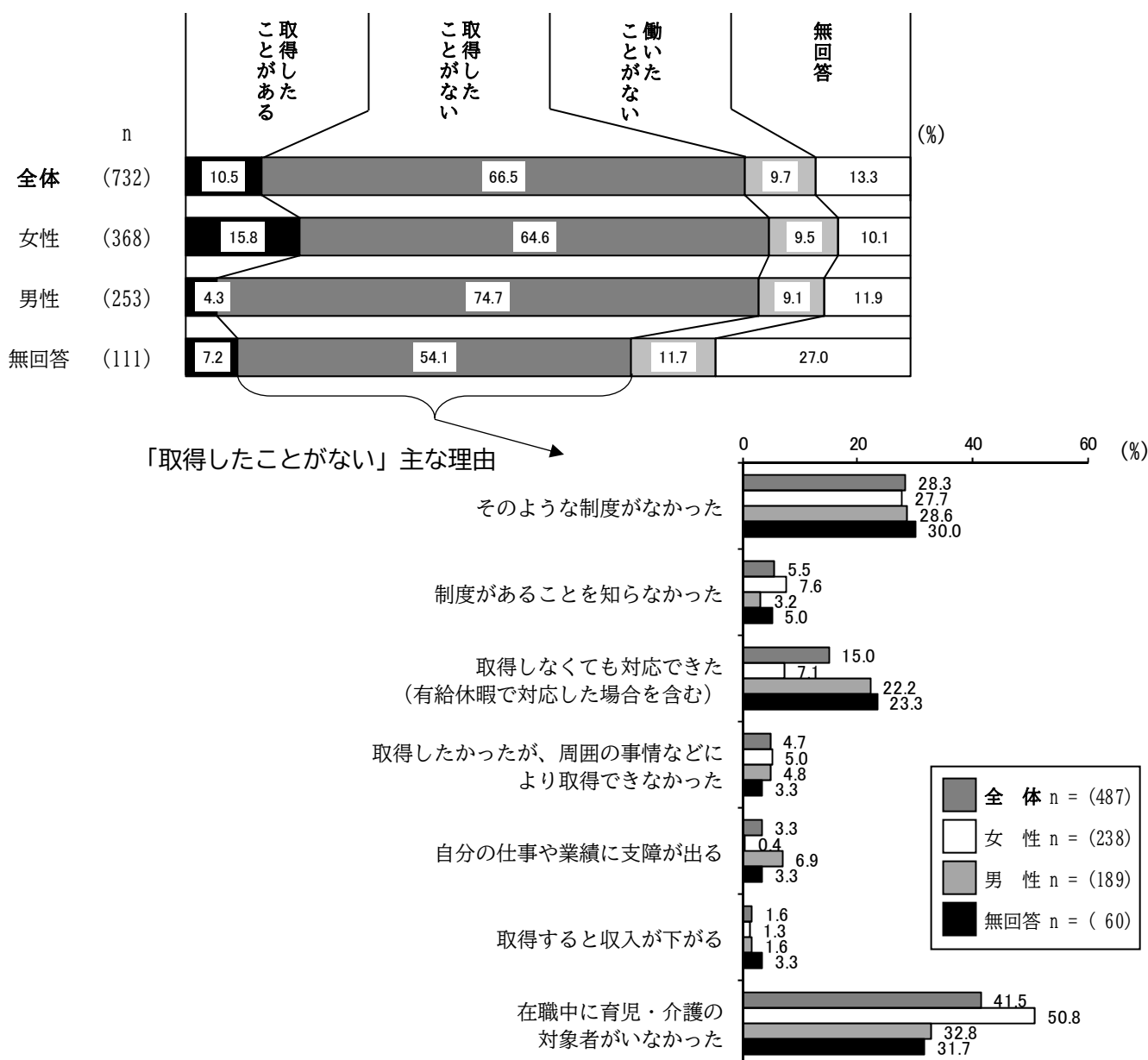
ア 育児休業

全体では、「取得したことがない」が66.5%で最も高くなっている。一方、「取得したことがある」が10.5%となっている。

取得したことがない主な理由としては、「在職中に育児・介護の対象者がいなかった」を除き、「そのような制度がなかった」が最も高くなっている。

【性別】

男女差がある項目として、「取得したことがある」は、女性(15.8%)が、男性(4.3%)に比べ、11.5ポイント高くなっている。



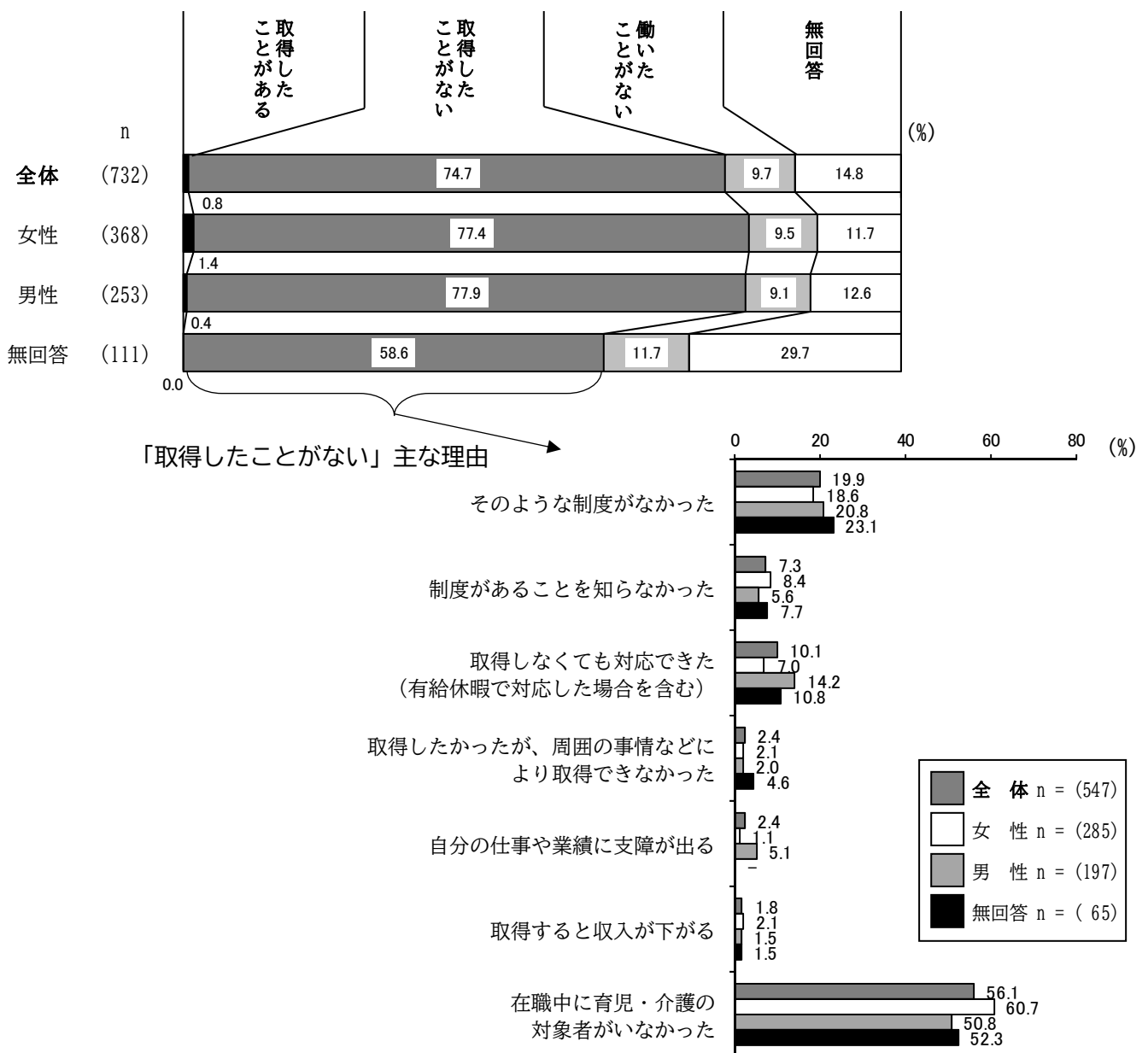
イ 介護休業

全体では、「取得したことがない」が74.7%で最も高くなっている。

取得したことがない主な理由としては、「在職中に育児・介護の対象者がいなかった」を除き、「そのような制度がなかった」が最も高くなっている。

【性別】

取得したことがない主な理由では、「在職中に育児・介護の対象者がいなかった」を除き、男女ともに「そのような制度がなかった」が最も高く、次いで女性では「制度があることを知らなかった」、男性では「取得しなくても対応できた（有給休暇で対応した場合を含む）」となっている。



3. 家庭生活

(1) 家庭生活における男女の役割分担に関する考え

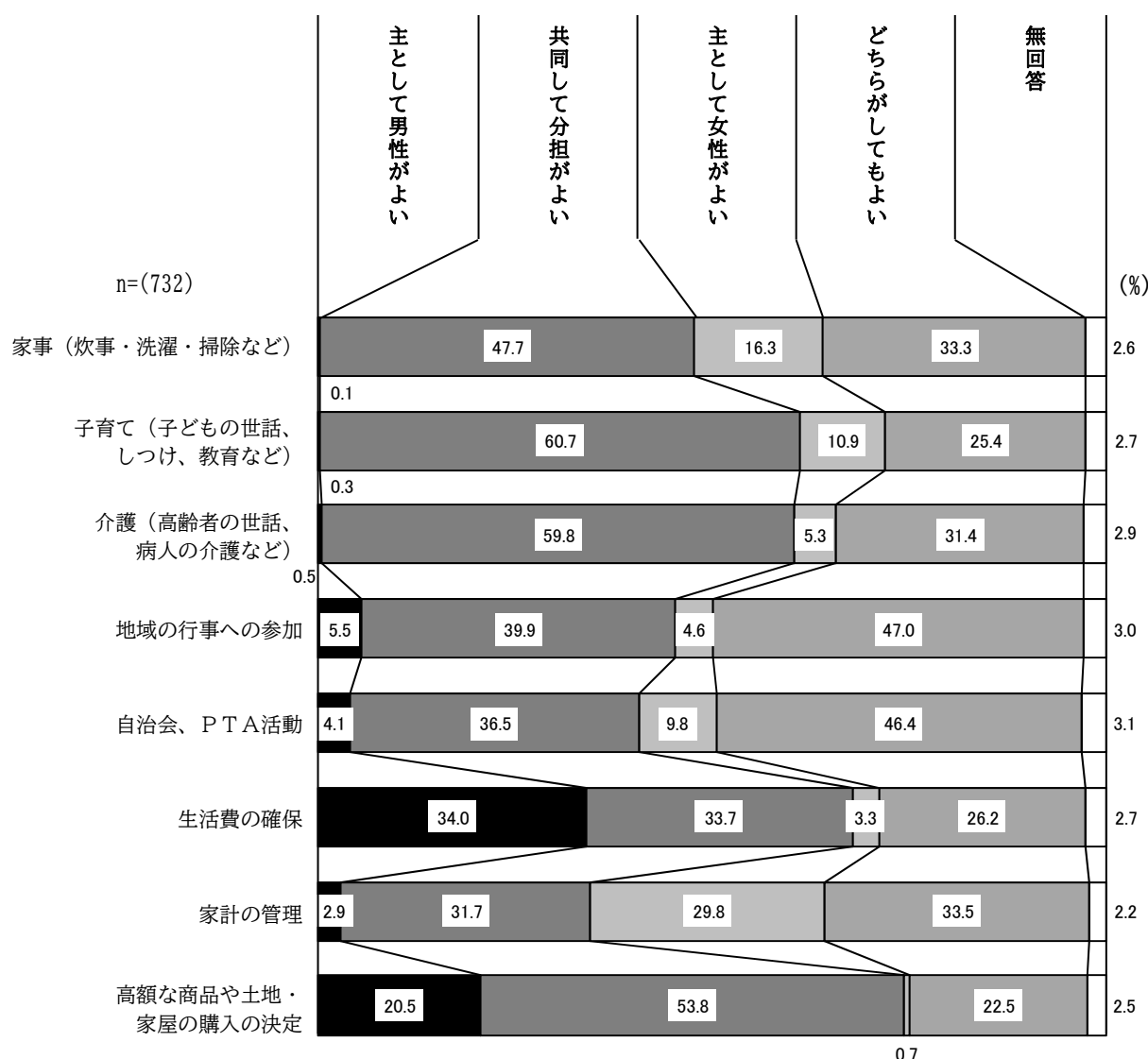
問12 家庭生活における役割分担について、どのように考えますか。ア～クの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。(○は各項目に一つ)

全体では、「共同して分担がよい」は、「子育て（子どもの世話、しつけ、教育など）」が60.7%で最も高く、次いで「介護（高齢者の世話、病人の介護など）」が59.8%、「高額な商品や土地・家屋の購入の決定」が53.8%となっている。

「主として女性がよい」は、「家計の管理」が29.8%と他の項目に比べ、高くなっている。

「どちらがしてもよい」は、「地域の行事への参加」が47.0%、「自治会、PTA活動」が46.4%と他の項目に比べ、高くなっている。

「主として男性がよい」は、「生活費の確保」が34.0%、「高額な商品や土地・家屋の購入の決定」が20.5%と他の項目に比べ、高くなっている。

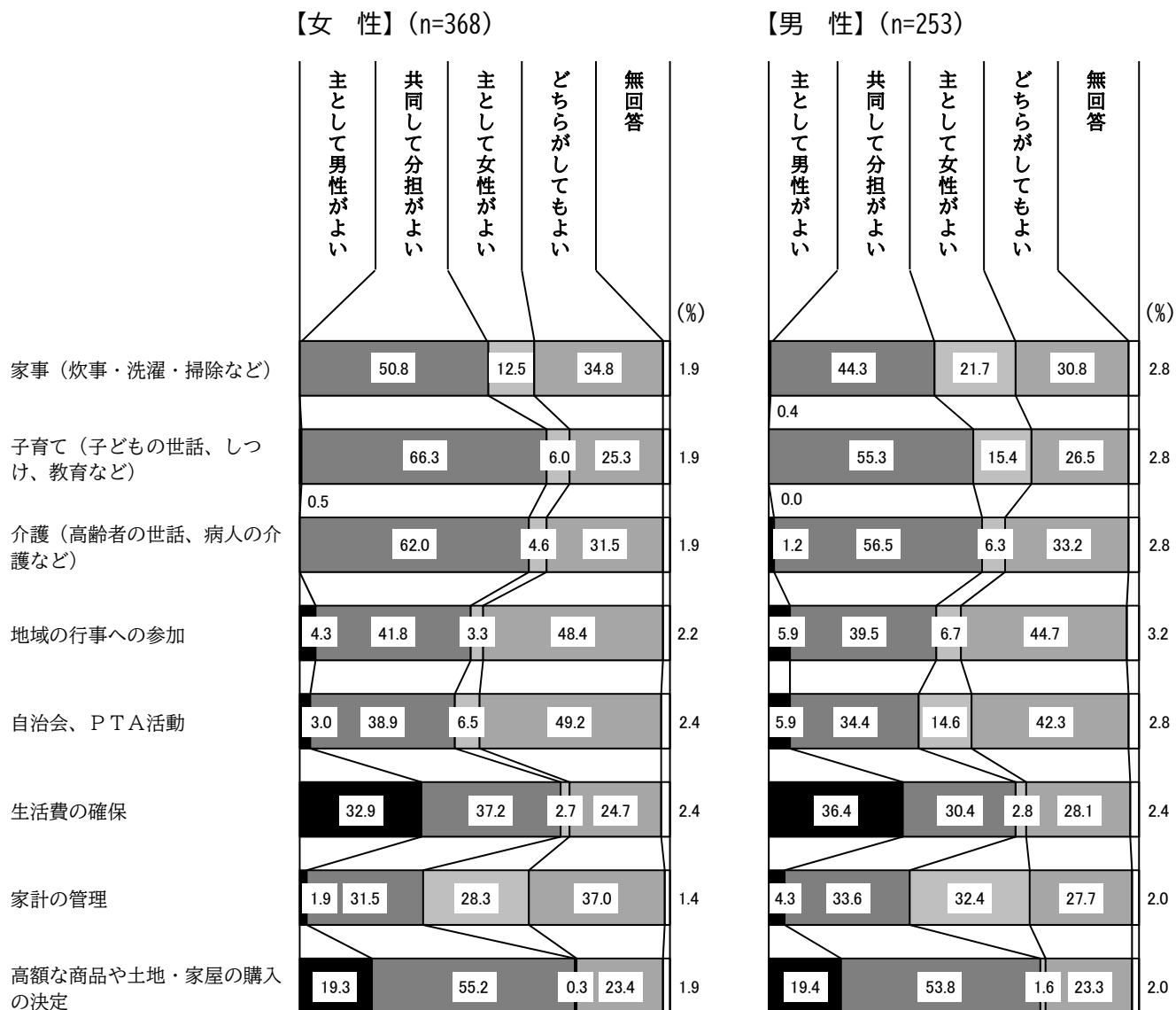


第3章 調査の結果

【性別】

いずれの項目も「主として女性がよい」は、男性が女性に比べ、高くなっている。

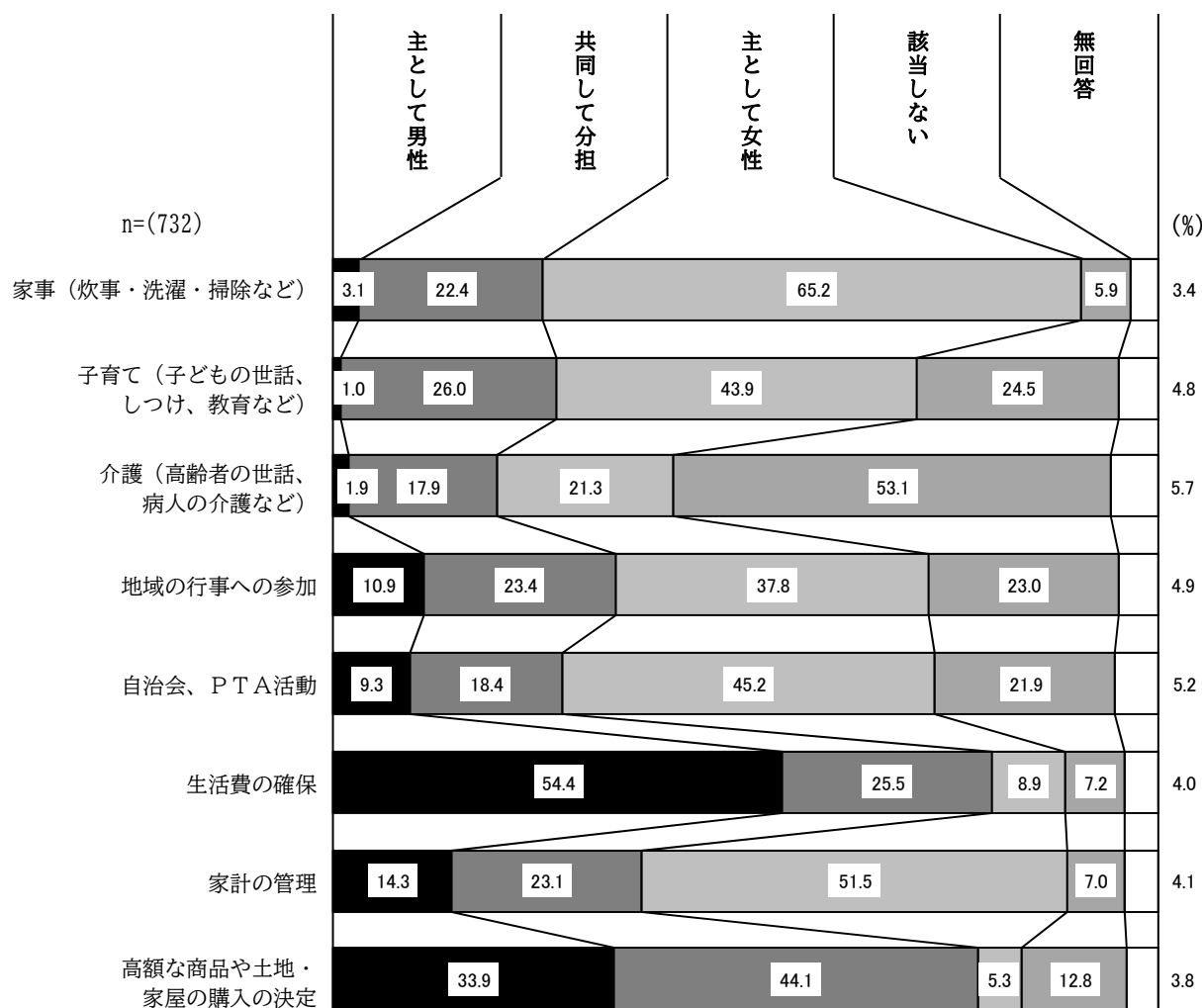
「共同して分担がよい」は、「家計の管理」を除く、すべての項目で女性が男性に比べ高く、特に「子育て（子どもの世話、しつけ、教育など）」の「共同して分担がよい」は、女性（66.3%）が、男性（55.3%）に比べ、11.0ポイント高くなっている。



(2) 家庭生活における男女の役割分担の状況

問13 あなたの家庭での実際の役割分担はどうか。ア～クの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。(○は各項目に一つ)

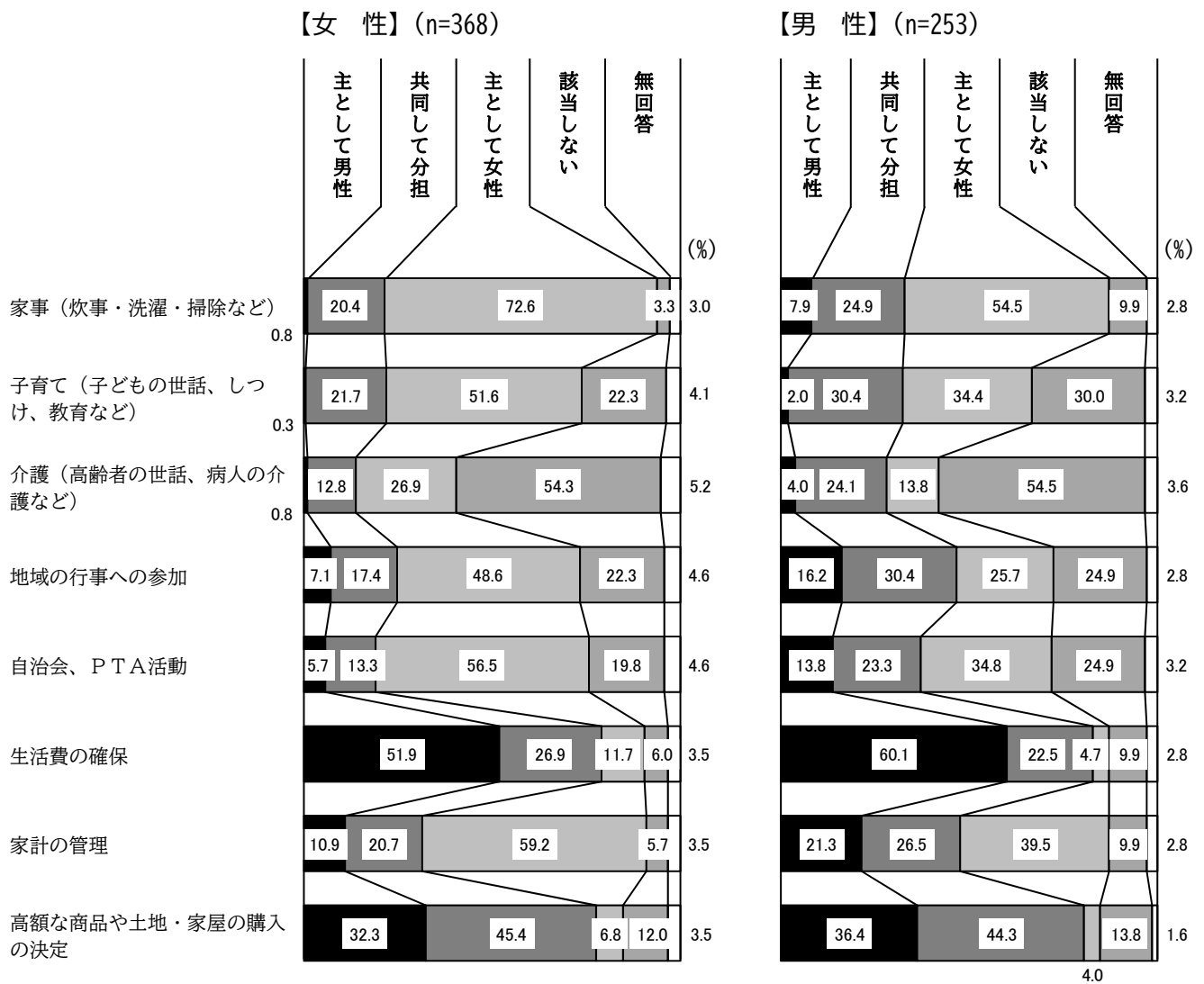
全体では、「主として男性」は、「生活費の確保」が54.4%で最も高くなっている。「主として女性」は、「家事(炊事・洗濯・掃除など)」(65.2%)で最も高く、次いで「家計の管理」が51.5%となっている。「共同して分担」は、「高額な商品や土地・家屋の購入の決定」が44.1%で最も高くなっている。



第3章 調査の結果

【性別】

いずれの項目も「主として女性」は、女性が男性に比べ高く、特に「地域の行事への参加」は、女性（48.6%）が、男性（25.7%）に比べ、22.9ポイント高くなっている。また、「自治会、PTA活動」の「主として女性」は、女性（56.5%）が、男性（34.8%）に比べ、21.7ポイント高くなっている。一方、「家計の管理」の「主として男性」は、男性（21.3%）が、女性（10.9%）に比べ、10.4ポイント高くなっている。



(3) 家庭生活の考え方

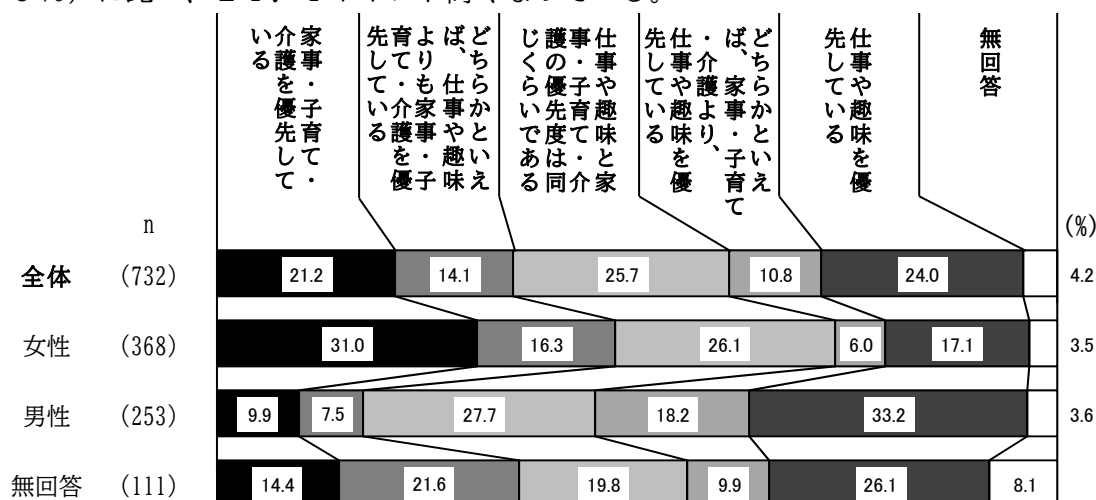
問14 家庭生活の考え方について、あなたは「実生活」では何を優先していますか。また、「希望」では何を優先したいですか。(○は各項目に一つ)

1 実生活

全体では、「仕事や趣味と家事・子育て・介護の優先度は同じくらいである」が25.7%で最も高く、次いで「仕事や趣味を優先している」が24.0%、「家事・子育て・介護を優先している」が21.2%となっている。

【性別】

男女差がある項目として、「家事・子育て・介護を優先している」は女性(31.0%)が、男性(9.9%)に比べ、21.1ポイント高くなっている。

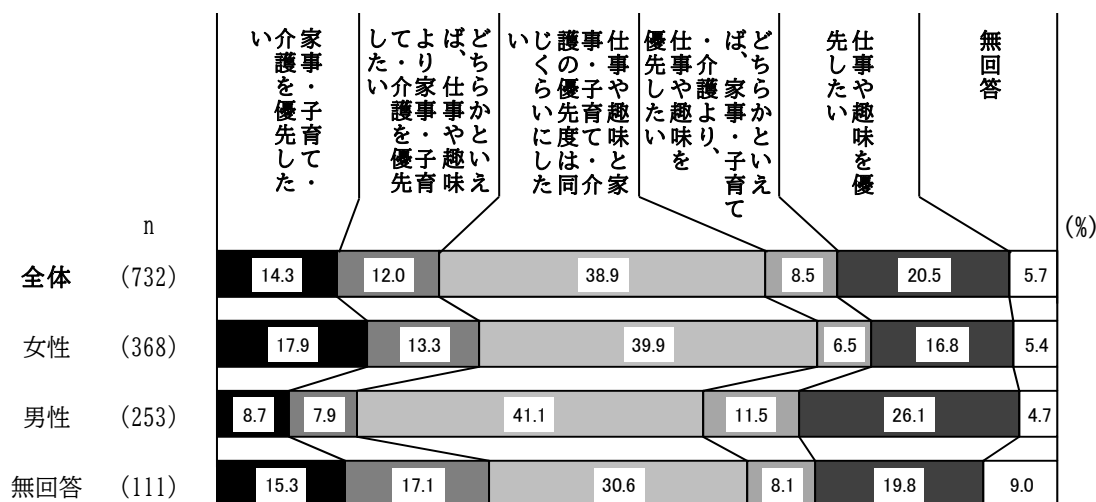


2 希望

全体では「仕事や趣味と家事・子育て・介護の優先度は同じくらいにしたい」が38.9%で最も高くなっている。

【性別】

男女差がある項目として、「仕事や趣味を優先したい」は男性(26.1%)が、女性(16.8%)に比べ、9.3ポイント高くなっている。「家事・子育て・介護を優先したい」は女性(17.9%)が、男性(8.7%)に比べ、9.2ポイント高くなっている。



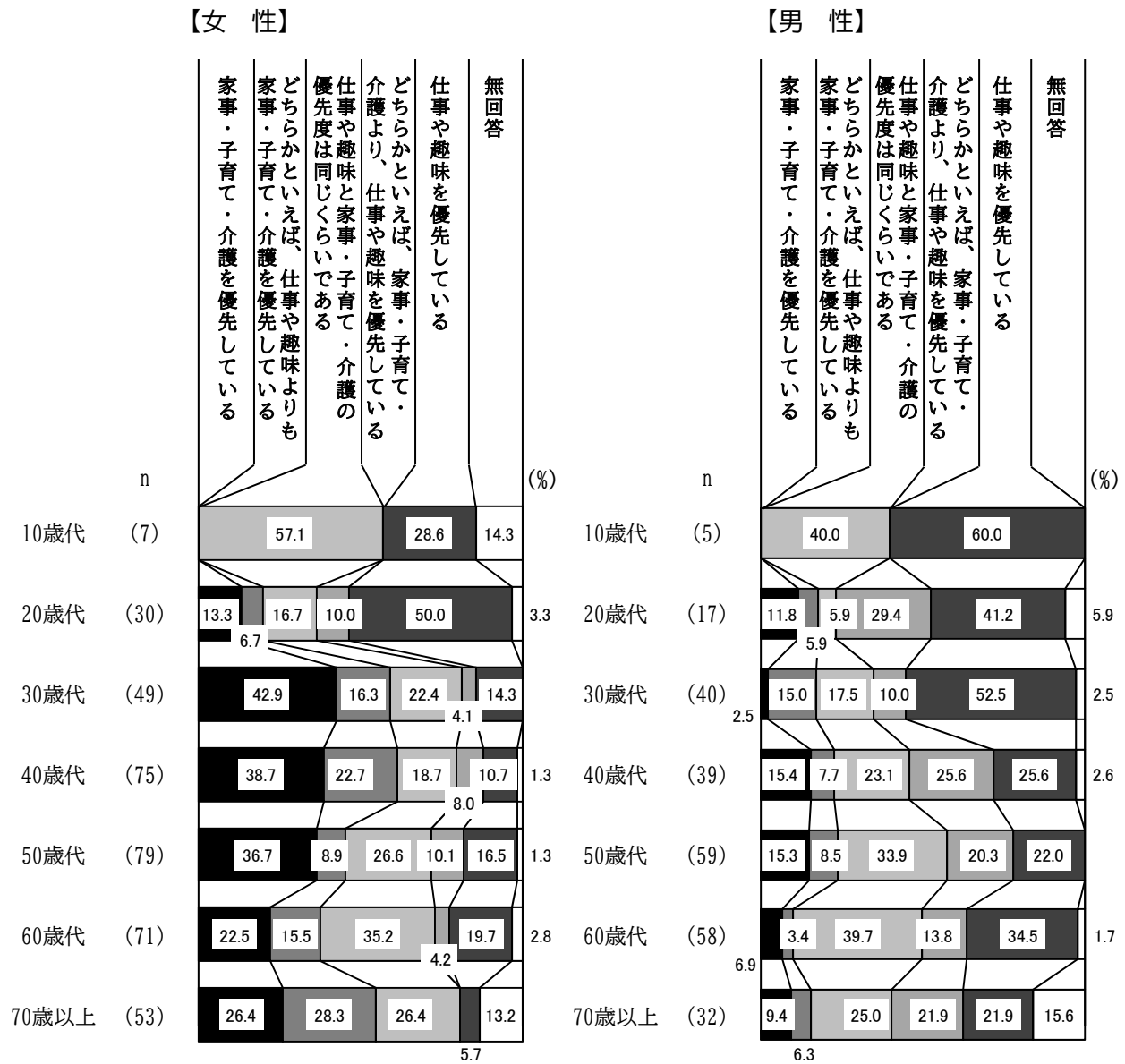
第3章 調査の結果

1 実生活【性・年代別】

「家事・子育て・介護を優先している」と「どちらかといえば、仕事や趣味よりも家事・子育て・介護を優先している」の合計は、いずれの年代も女性が男性に比べ、高くなっている。

「家事・子育て・介護を優先している」は、女性の30歳代から50歳代が他の性・年代に比べ、高くなっている。

「仕事や趣味を優先している」は、【男性・10歳代】(60.0%)と、【男性・30歳代】(52.5%)が他の性・年代に比べ、高くなっている。

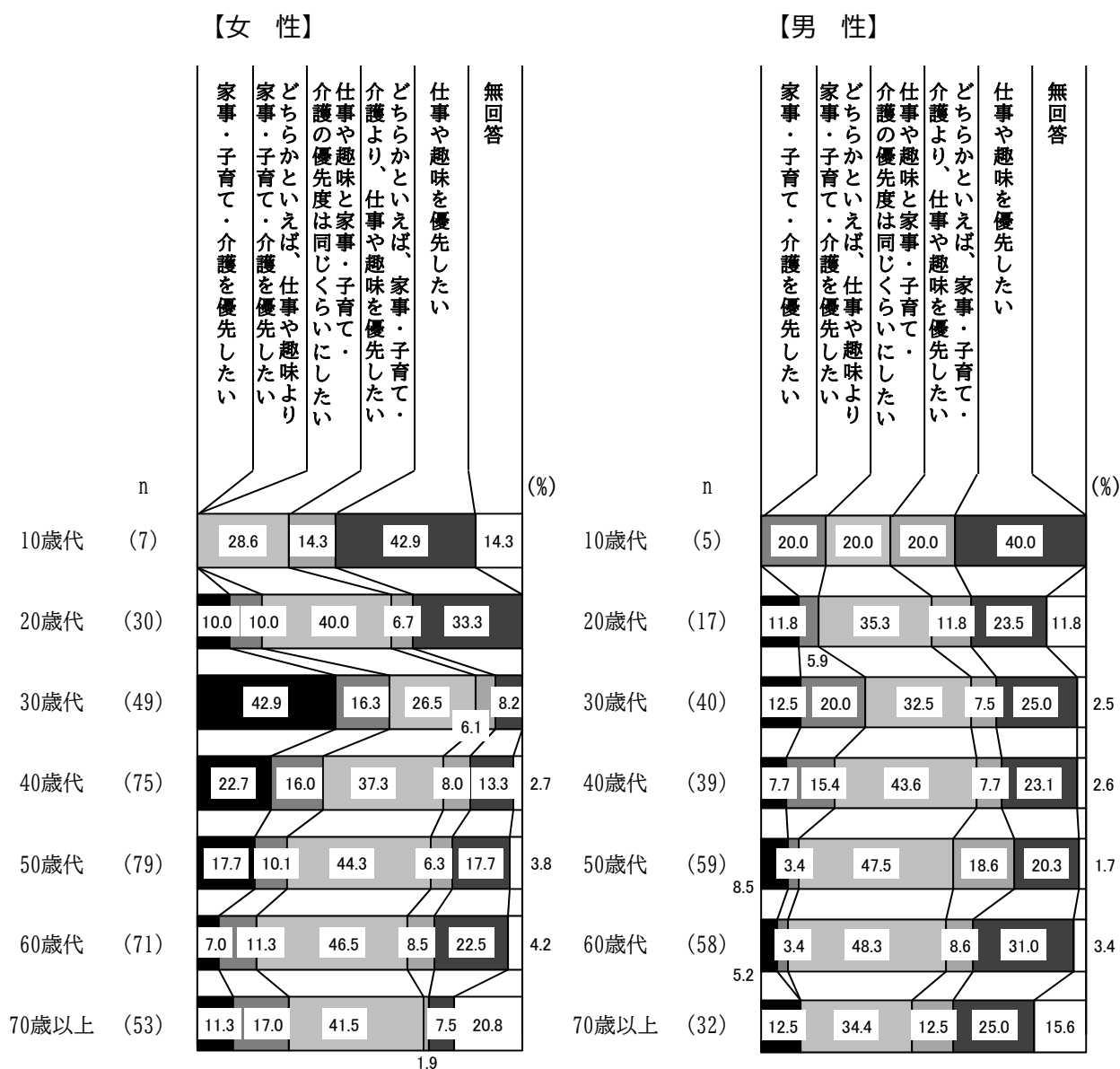


2 希望【性・年代別】

「家事・子育て・介護を優先したい」と「どちらかといえば、仕事や趣味より家事・子育て・介護を優先したい」の合計は、10歳代を除く年代で女性が男性に比べ、高くなっている。

「家事・子育て・介護を優先したい」は、【女性・30歳代】(42.9%)が他の性・年代に比べ、高くなっている。

「仕事や趣味と家事・子育て・介護の優先度は同じくらいにしたい」は、10歳代と女性の30歳代を除くすべての性・年代で高くなっている。特に【男性・60歳代】(48.3%)が最も高く、次いで【男性・50歳代】(47.5%)、【女性・60歳代】(46.5%)となっている。



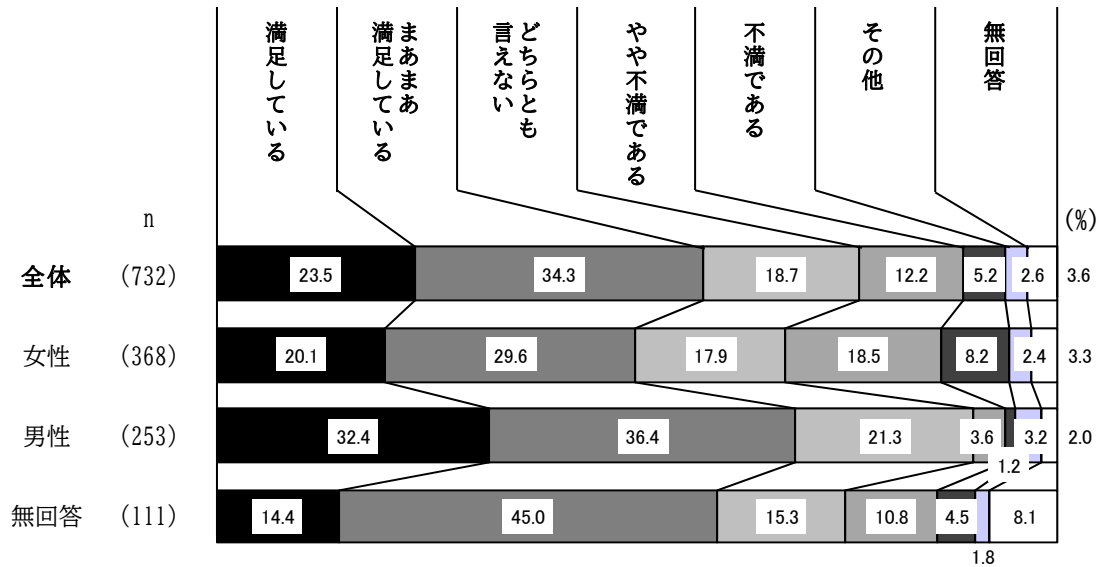
(4) 家庭での家事分担の状況の満足度

問15 あなたの家庭での家事分担の状況について、あなたはどのように思いますか。(〇は一つ)

全体では、「満足している」(23.5%)と「まあまあ満足している」(34.3%)を合わせた『満足している』が57.8%となっている。

【性別】

『満足している』は男性(68.8%)が、女性(49.7%)に比べ、19.1ポイント高くなっている。



その理由について、ご自由にお書きください。

その理由について (抜粋・要約)

『満足』(「満足している」、「まあまあ満足している」)

- ・夫が仕事を休み子どもを見てくれたり協力してくれる。
- ・分担して協力あっているから。
- ・夫も協力的である。しいていえば、“協力”と思わず自分もやるべきことと認識してもらいたい。

「どちらとも言えない」

- ・お互いの考えに差がある。
- ・女性に主な家の事をやらせる風習は良くないが、男性の収入(働き方)に頼っているのも事実。
- ・面倒なときもあれば、そうではないときもあるので、どちらとも言えません。

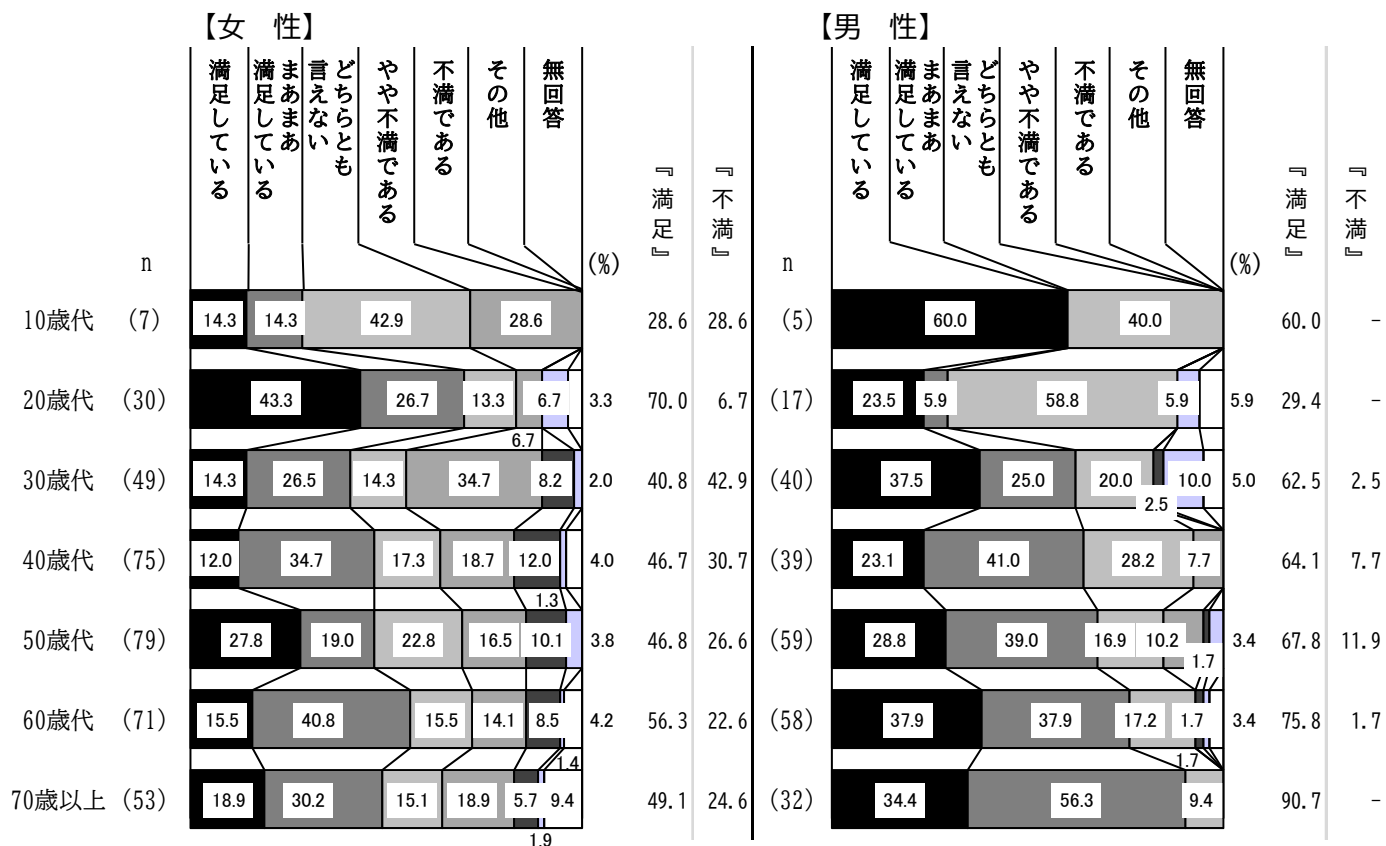
『不満』(「やや不満である」、「不満である」)

- ・結局細かいことは全て女性がやるはめになる。
- ・同じようにフルタイムで働いているのに、家事量が全然違う。夜飲みに行ったり、帰ってこなかったりして負担が増える。
- ・「家事は女性がするもの」と考えている夫の家事分担は、「手伝い」意識で行っているため“きたらしい仕事”で上達もしない。
- ・仕事から帰ると食事・洗濯・雑務が寝るまで続く。

【性・年代別】

『満足』は、20歳代を除く年代で男性が女性に比べ、高くなっている。特に70歳以上で男性（90.7%）が、女性の同年代（49.1%）に比べ、41.6ポイント高くなっている。

「やや不満である」と「不満である」を合わせた『不満』は、【女性・30歳代】（42.9%）が他の性・年代に比べ、高くなっている。

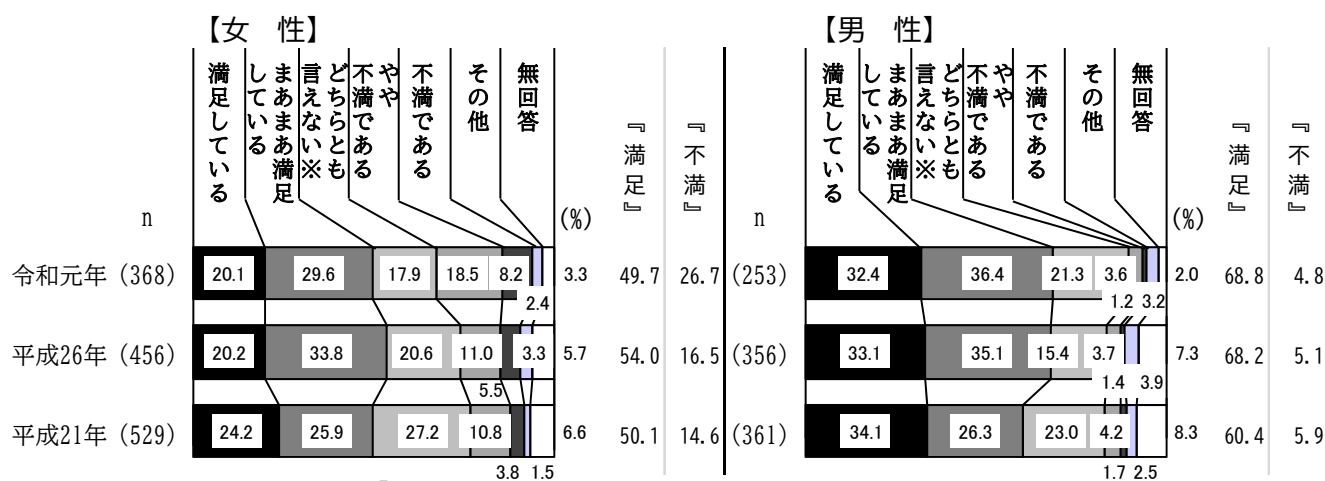


これまでの調査との比較

平成21年調査から調査項目に追加された。

平成26年調査についても選択肢が異なり、単純な比較はできないため、参考としている。

性別 家庭での家事分担の状況の満足度



※ 平成26年調査までは「仕方がない」

第3章 調査の結果

(5) 子育てへのかかわりの評価

【子育て中の方、または、子育て経験のある方にお聞きします。】

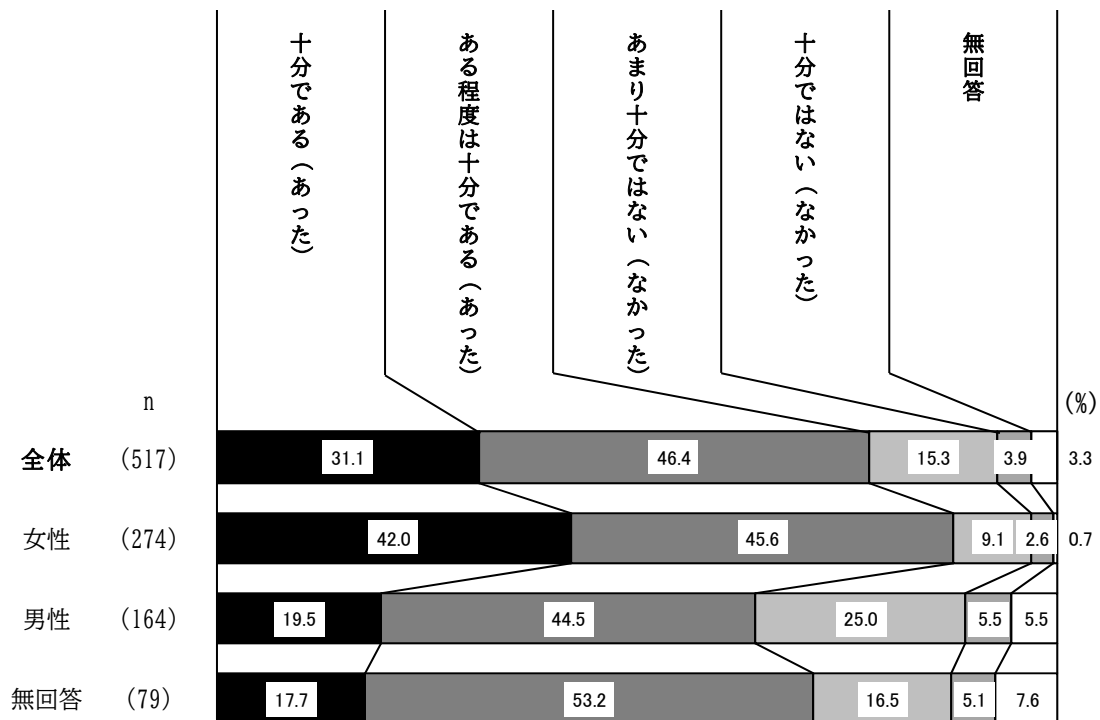
問16 あなたと配偶者（パートナー）の子育てのかかわりは十分である（あった）と思いますか。（○は各項目に一つ）

1 あなた自身について

全体では、「十分である（あった）」（31.1%）と「ある程度は十分である（あった）」（46.4%）を合わせた『十分』が77.5%となっている。

【性別】

『十分』は、女性（87.6%）が、男性（64.0%）に比べて23.6ポイント高くなっている。



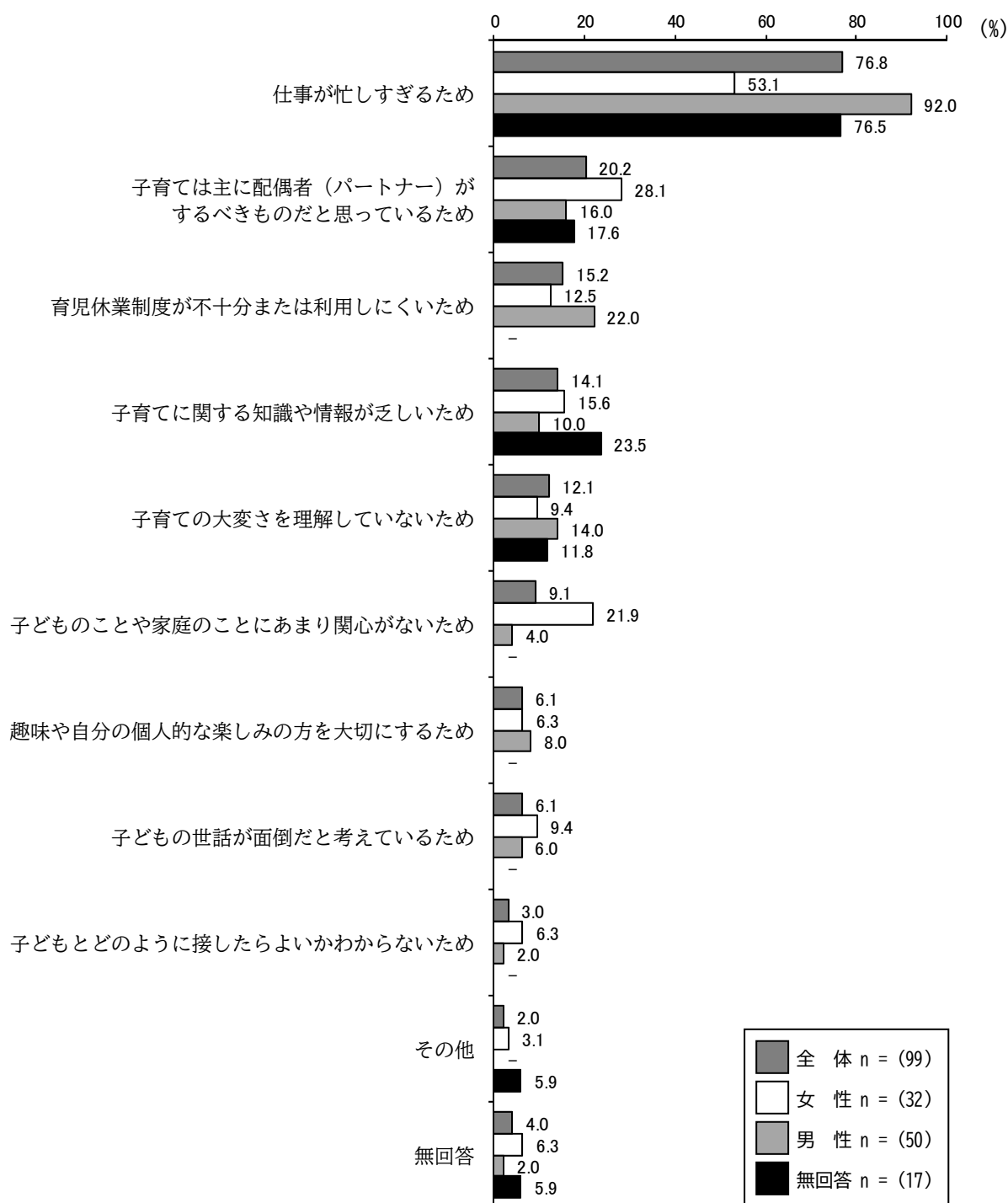
(1 あなた自身について)

かわりが十分でない(なかった)のは何が原因だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「仕事が忙しすぎるため」が76.8%で最も高くなっている。

【性別】

男女差がある項目として、「仕事が忙しすぎるため」は、男性(92.0%)が、女性(53.1%)に比べ、38.9ポイント高くなっている。一方、「子どものことや家庭のことにあまり関心がないため」は、女性(21.9%)が、男性(4.0%)に比べ、17.9ポイント高くなっている。



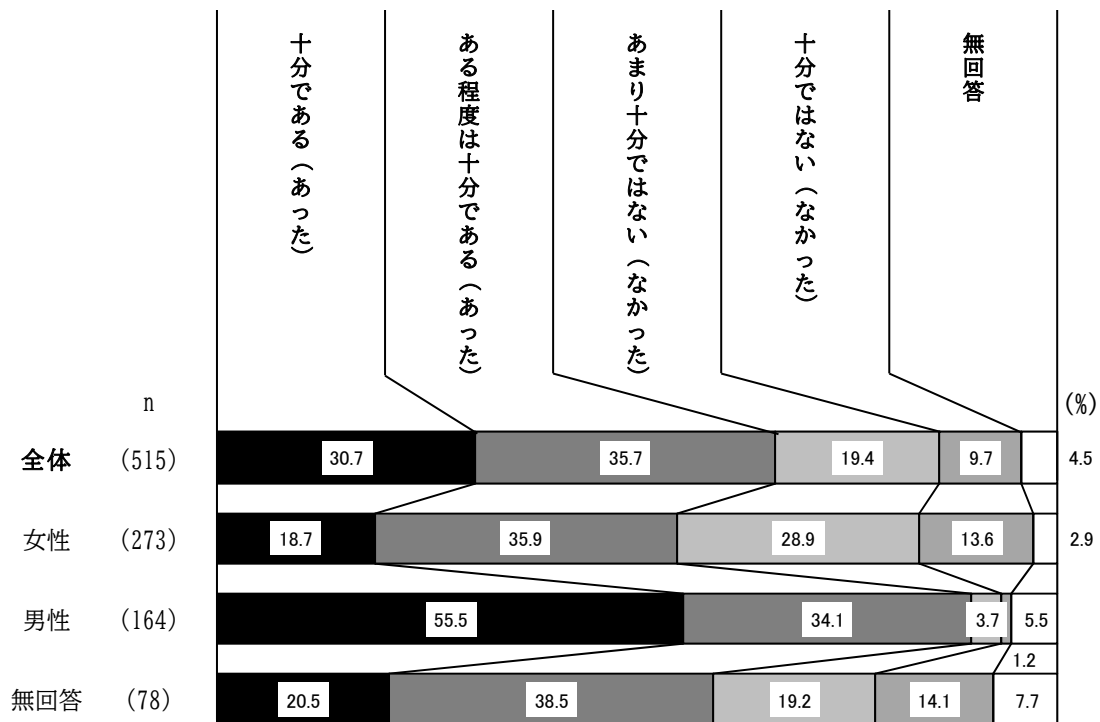
第3章 調査の結果

2 配偶者（パートナー）について

全体では、「十分である（あった）」（30.7%）と「ある程度は十分である（あった）」（35.7%）を合わせた『十分』が66.4%となっている。

【性別】

『十分』は、男性（89.6%）が、女性（54.6%）に比べて35.0ポイント高くなっている。



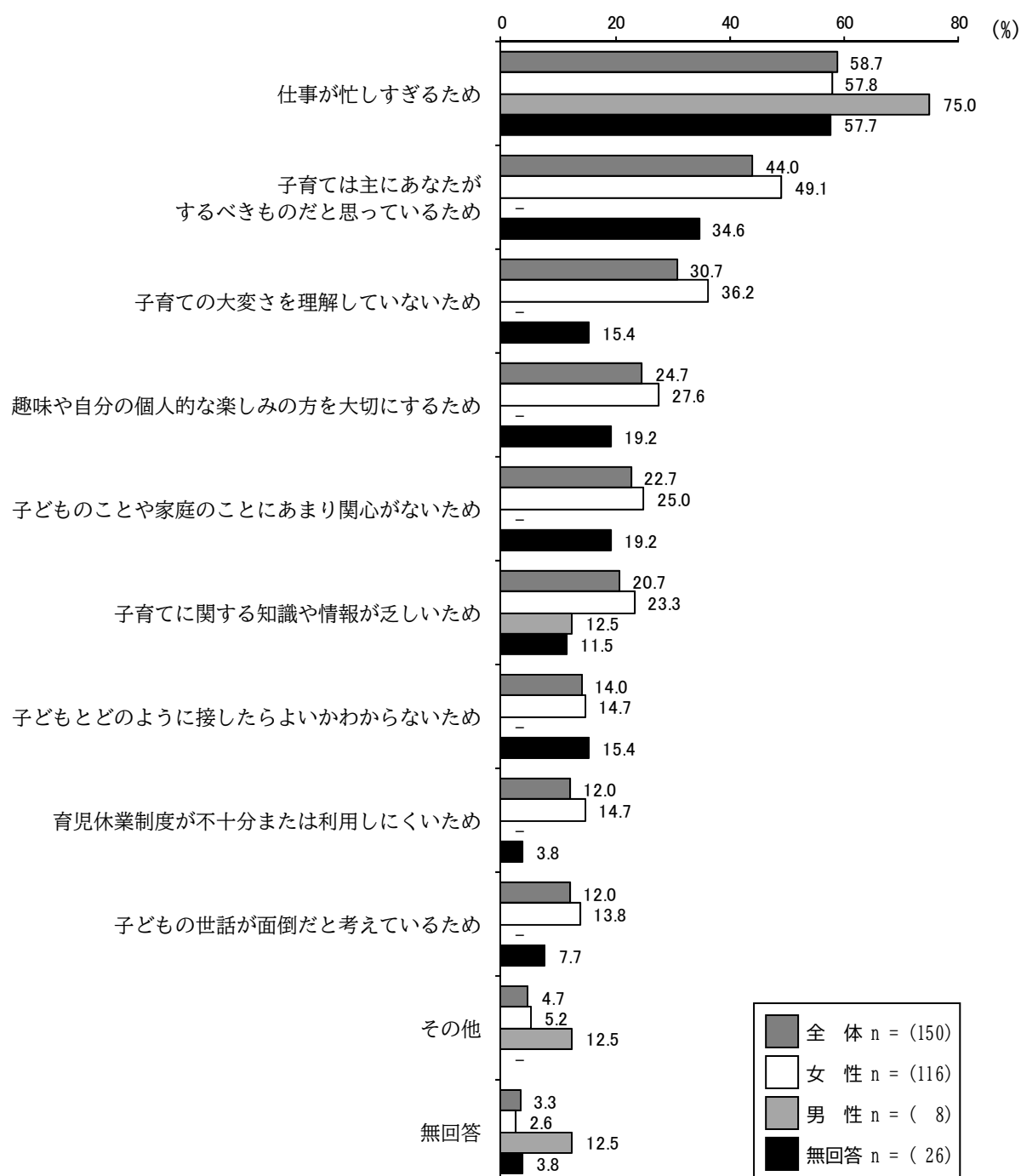
(2 配偶者 (パートナー) について)

かわりが十分でない (なかった) のは何が原因だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「仕事が忙しすぎるため」が58.7%で最も高く、次いで「子育ては主にあなたがすべきものだと思っているため」が44.0%、「子育ての大変さを理解していないため」が30.7%となっている。

【性別】

男女差がある項目として、「子育ては主にあなたがすべきものだと思っているため」は、女性(49.1%)が、男性(0.0%)に比べ、高くなっている。また、「子育ての大変さを理解していないため」も、女性(36.2%)が、男性(0.0%)に比べ、高くなっている。



(6) 家庭での子育て分担の状況の満足度

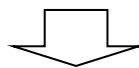
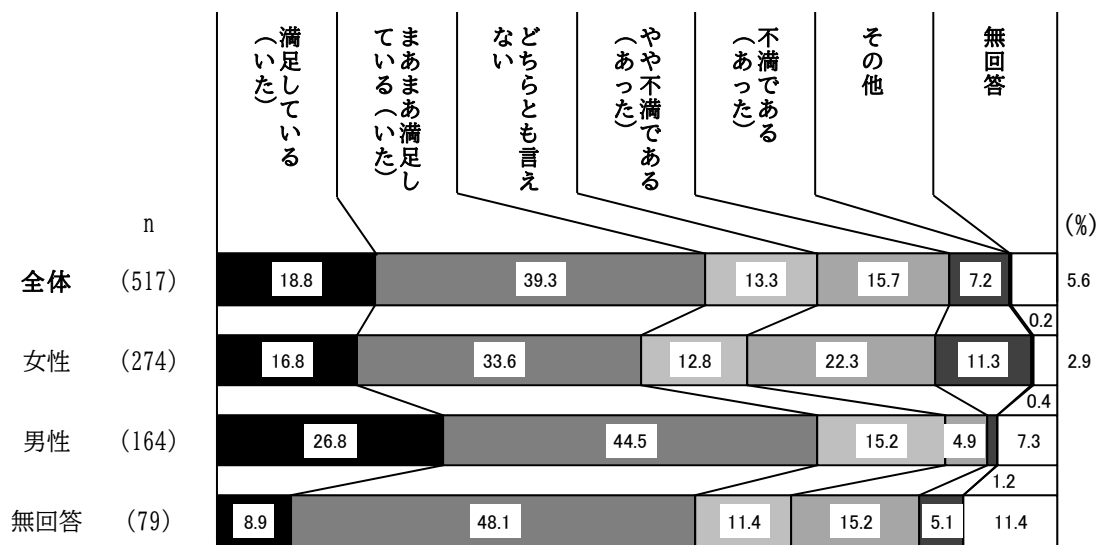
【子育て中の方、または、子育て経験のある方にお聞きします。】

問17 あなたの家庭での子育て分担の状況について、あなたは満足していますか（していましたか）。（○は一つ）

全体では、「満足している（いた）」（18.8%）と「まあまあ満足している（いた）」（39.3%）を合わせた『満足』が58.1%となっている。

【性別】

『満足』は男性（71.3%）が、女性（50.4%）に比べ、20.9ポイント高くなっている。



その理由について、ご自由にお書きください。

その理由について（抜粋・要約）

『満足』（「満足している」、「まあまあ満足している」）

- ・夫も育休をとってくれて、子育ての大変な部分も分かりあえているから。
- ・子ども好きで時間が許す限り子どもと接していた。必要な時にきちんと子どもと向き合い話をしていた。
- ・保育園の送りは夫、迎えは自分、など、ある程度分担していた。
- ・共働きであったので、ある程度分担してやれたと思っている。

「どちらとも言えない」

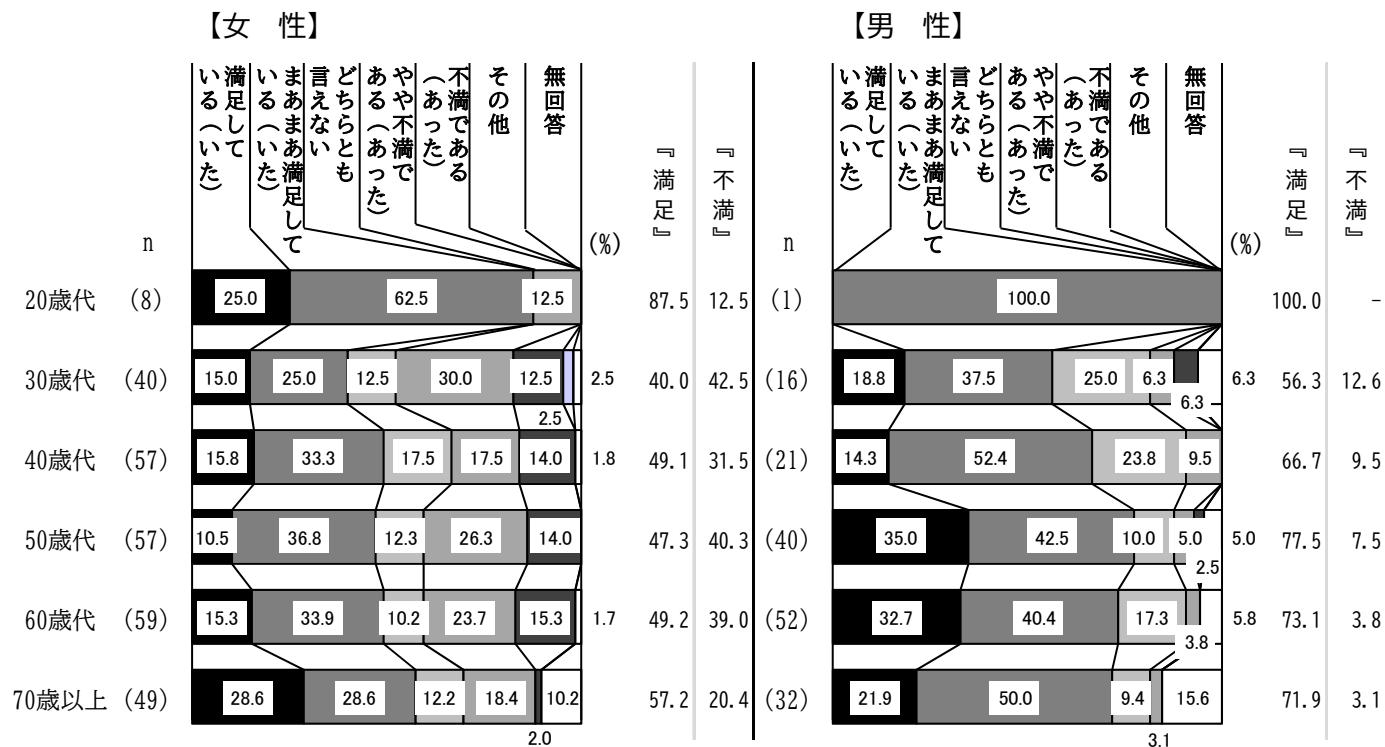
- ・男の人は自分目線でものごとを見るが、女は、子供中心で物事を見るから。
- ・子供（自分）の機嫌が良い時しか対応していなかった気がする。
- ・それぞれできることをしていると思います。

『不満』（「やや不満である」、「不満である」）

- ・主人が仕事でいなすぎる。休みもほぼない。
- ・仕事を理由に子育てに、あまり参加できなかったから。
- ・子育てを「手伝う」という考え方で行うため。子供は見えていないと命にかかわるという事を理解していないため。

【性・年代別】

『満足』の割合は全ての年代で男性が女性に比べ、高くなっている。一方、「やや不満である（あった）」と「不満である（あった）」を合わせた『不満』の割合は【女性・30歳代】（42.5%）が他の性・年代に比べ、高くなっている。



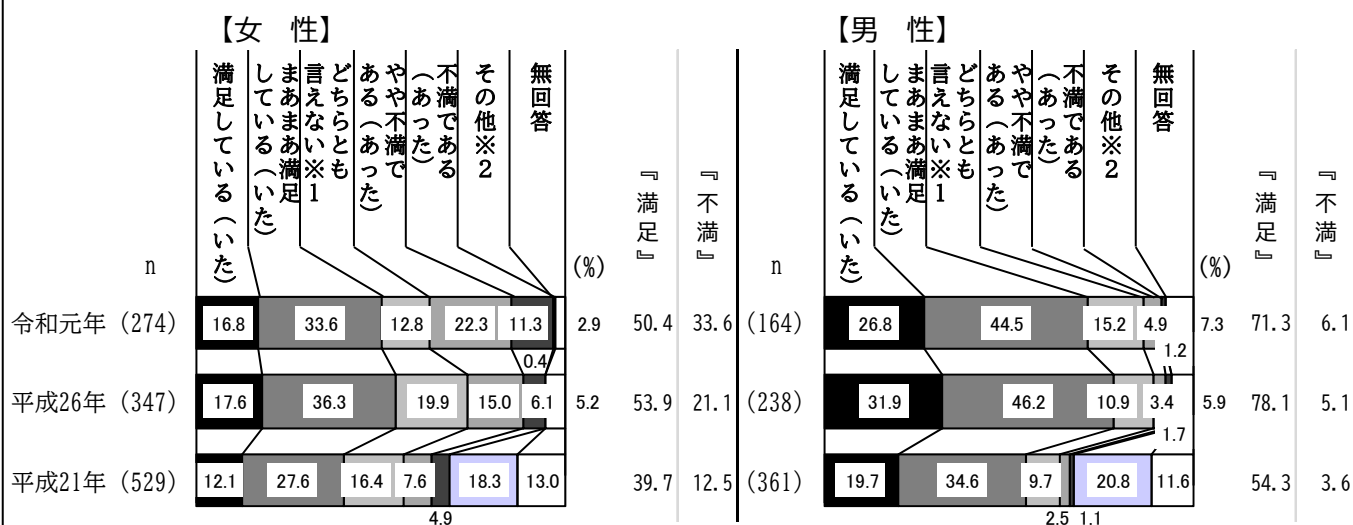
※女性、男性ともに10歳代は回答なし

これまでの調査との比較

平成21年調査から調査項目に追加されたが、子どもがいない対象にも調査しているため、参考として掲載する。

平成26年調査についても選択肢が異なり、単純な比較はできないため、参考としている。

性別 家庭での子育て分担の状況の満足度



※1 平成26年調査までは「仕方がない」

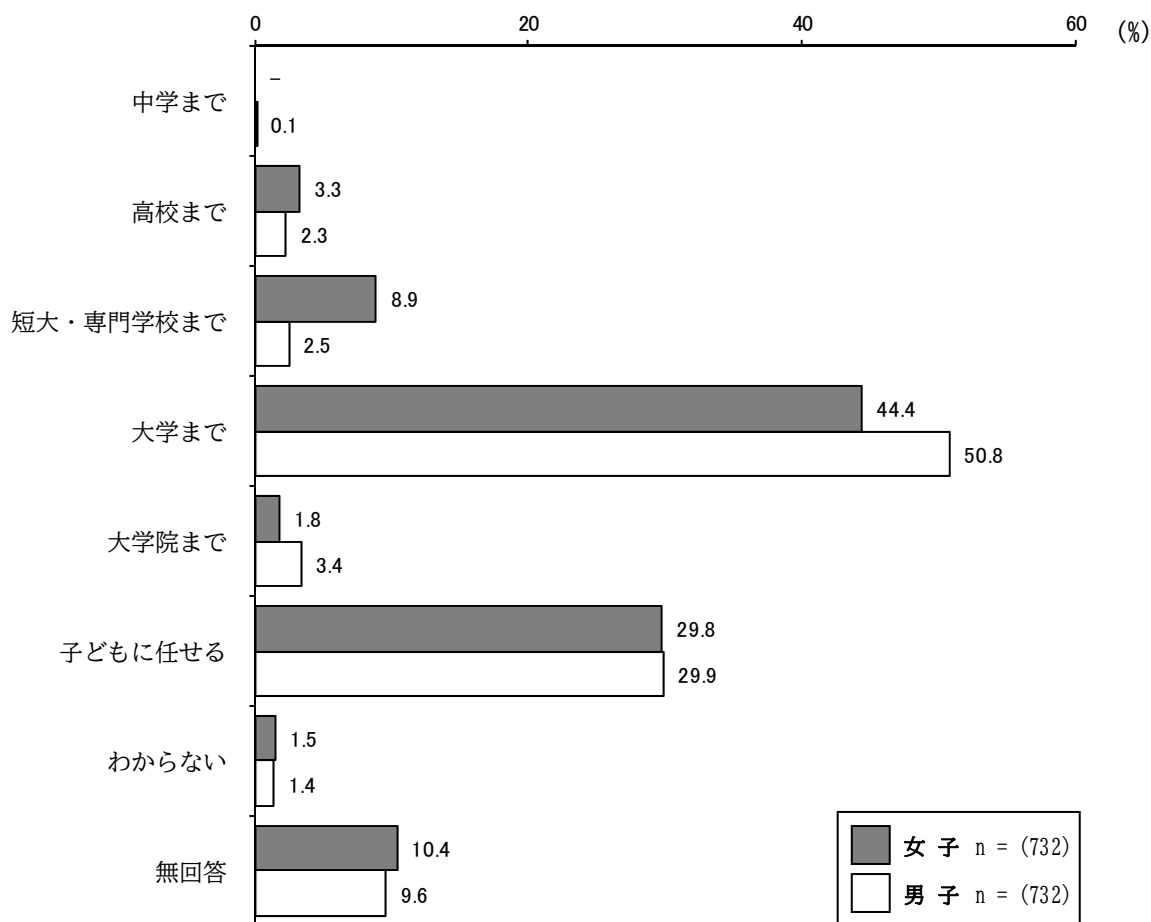
※2 令和元年度調査から「その他」を追加。平成21年調査では「子どもはいない」

4. 教育

(1) 子どもに受けさせたい教育程度

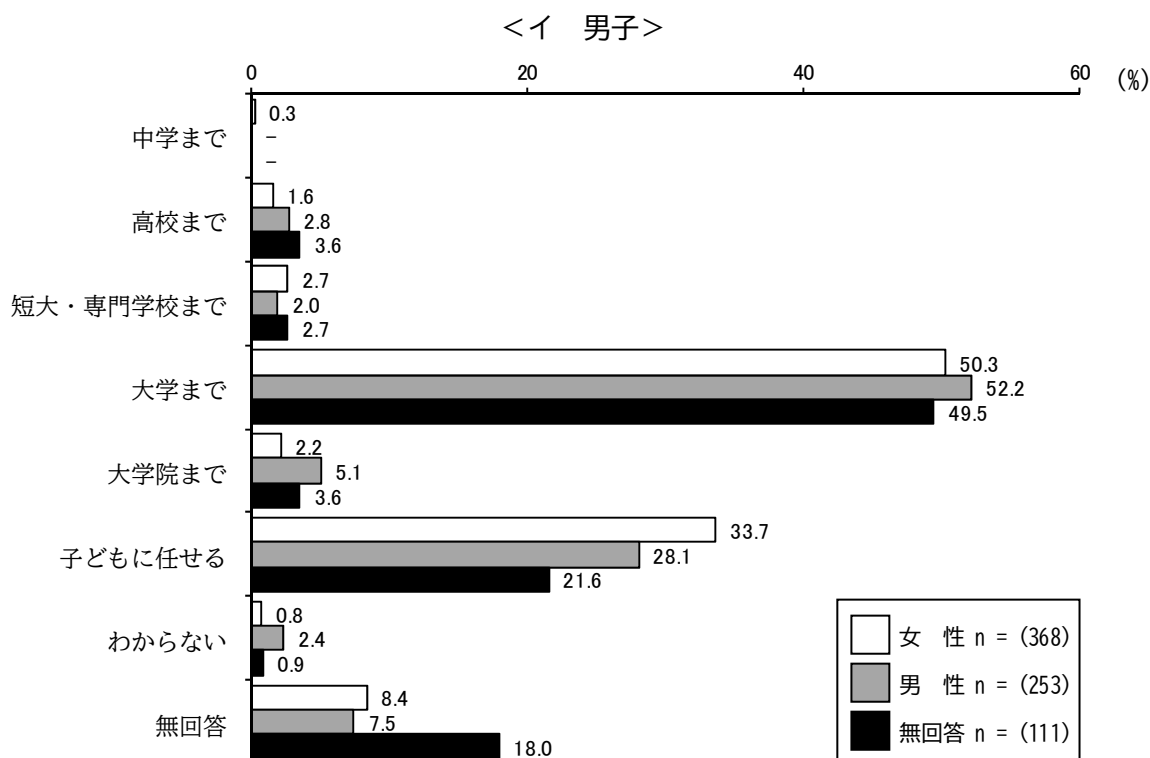
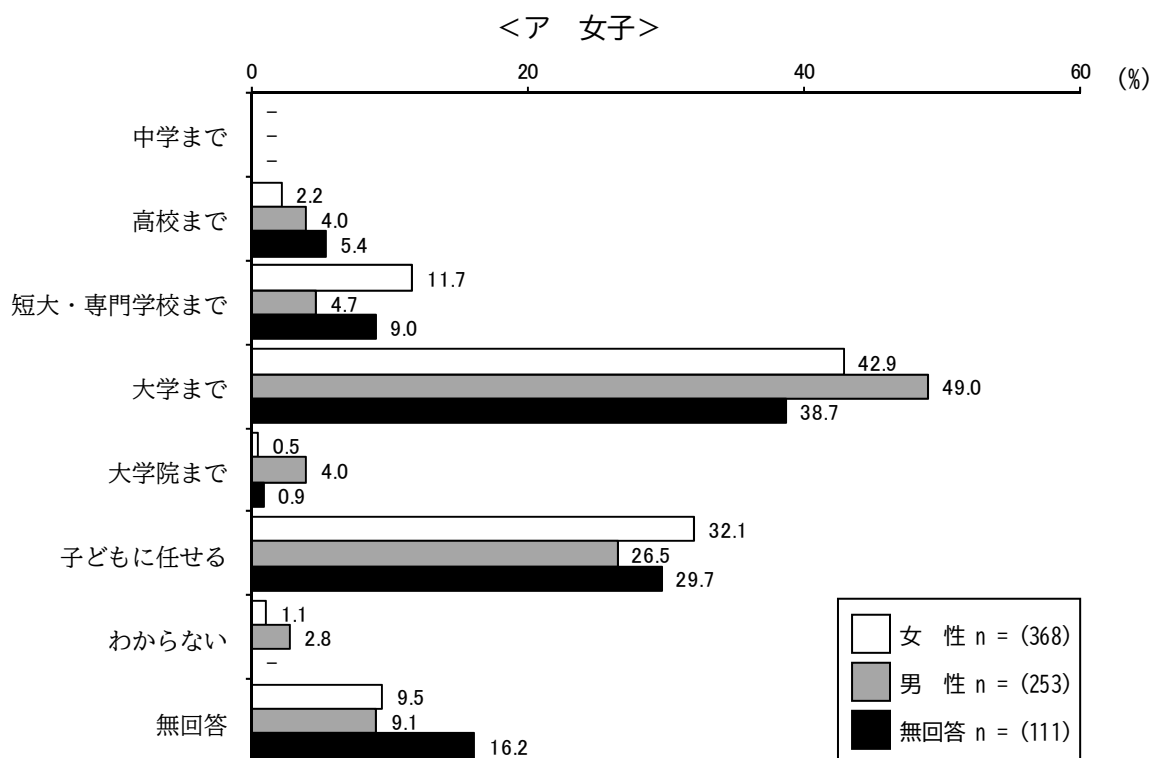
問18 子どもにどの程度の教育を受けさせたいと思いますか。女子と男子に分けて、あてはまる番号を選んでください。子どもがいない場合は、子どもがいると仮定して選んでください。(○は一つ)

女子、男子ともに「大学まで」が最も高く、男子が50.8%、女子が44.4%となっている。次いで、女子、男子ともに「子どもに任せる」が、女子(29.8%)、男子(29.9%)となっている。



【性別】

男女ともに「大学まで」が最も高く、＜男子＞、＜女子＞ともに男性が女性に比べ、高くなっている。特に＜女子＞において「大学まで」は男性（49.0%）が、女性（42.9%）に比べ、6.1ポイント高くなっている。



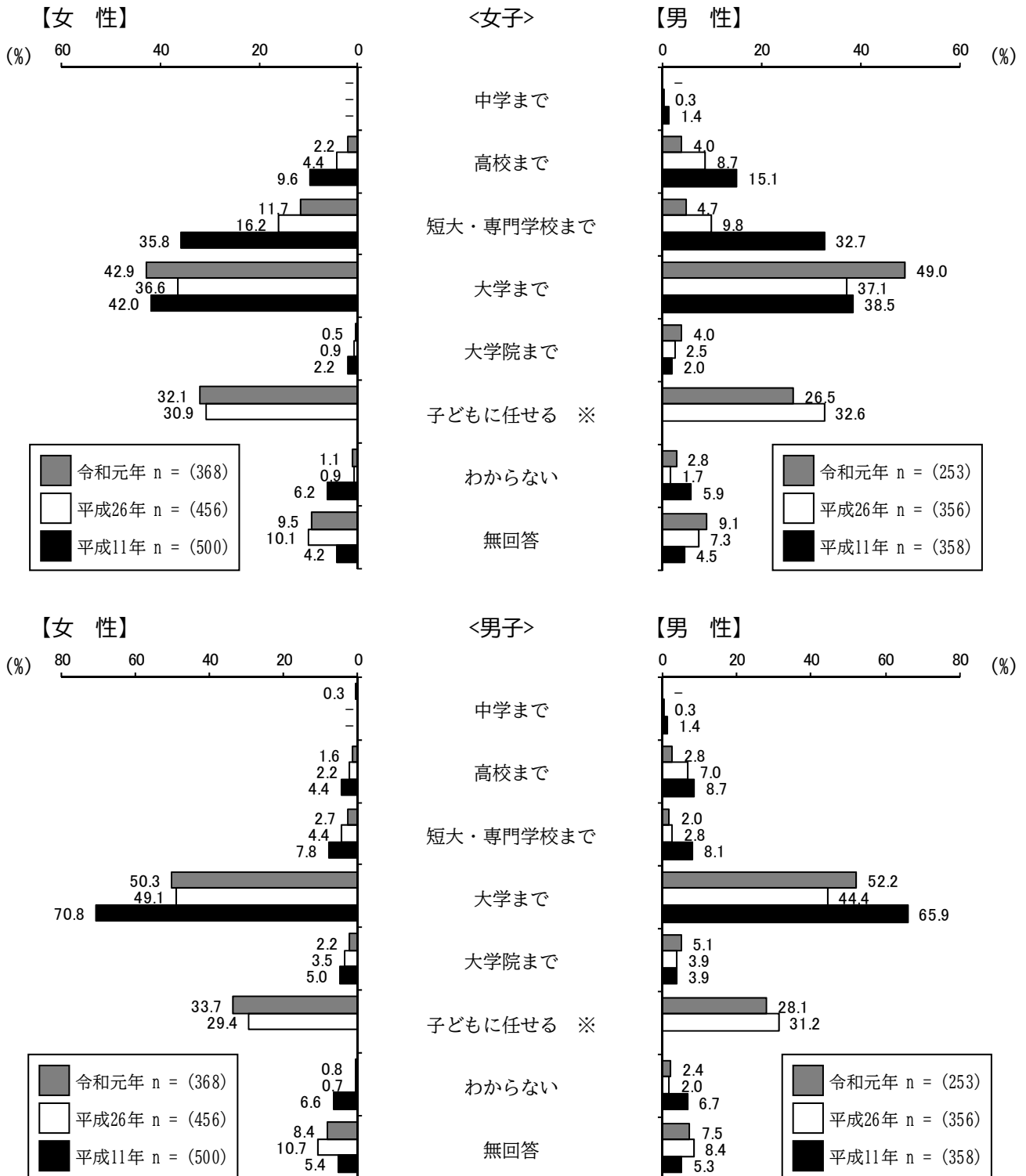
これまでの調査との比較

平成26年調査から選択肢が追加されたため、平成11年調査は参考に掲載する。

<女子>において、女性の「大学まで」が[平成26年](36.6%)と比較し、6.3ポイント増加している。男性の「大学まで」も[平成26年](37.1%)と比較し、11.9ポイント増加している。

<男子>において、男性の「大学まで」が[平成26年](44.4%)と比較し、7.8ポイント増加している。

性別 子どもに受けさせたい教育程度



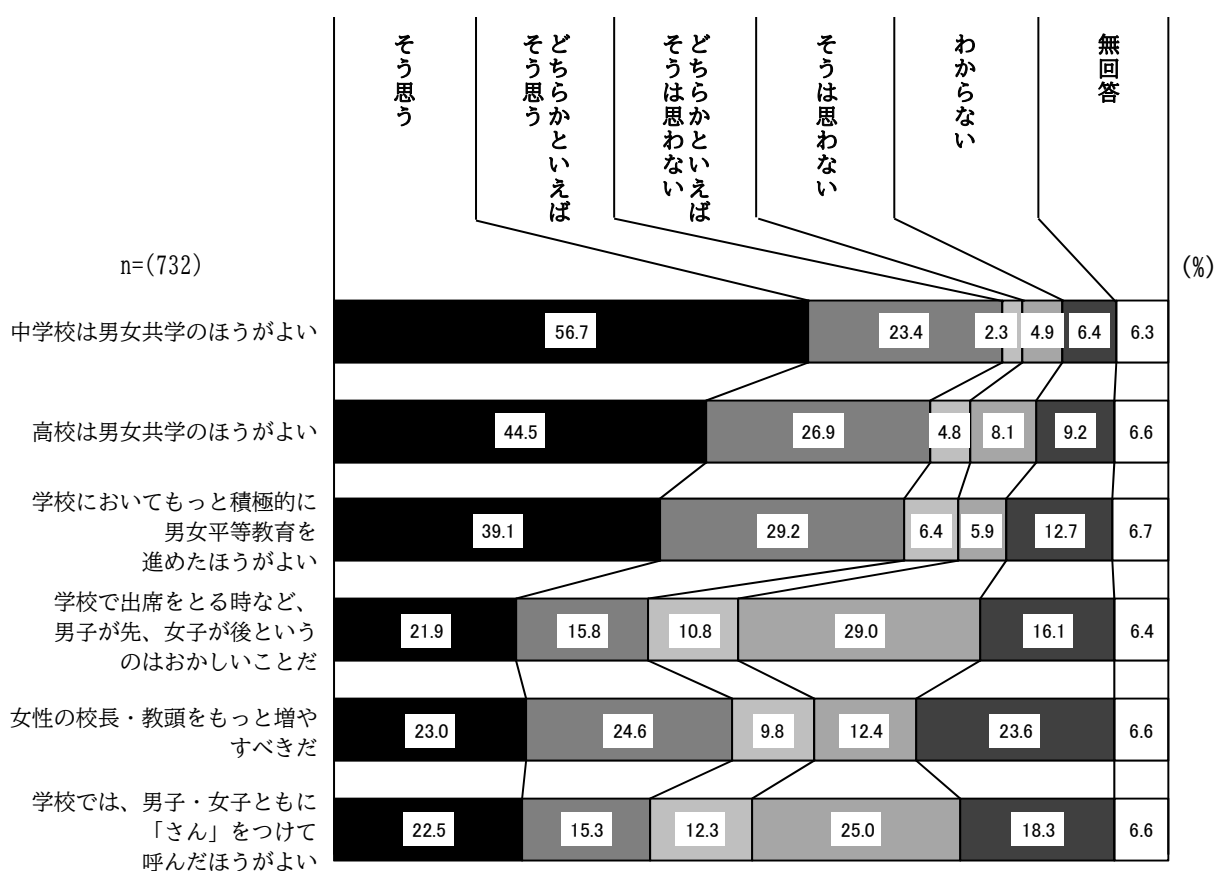
※ 平成26年調査から選択肢に加えた。

(2) 学校教育についての考え方

問19 学校教育についてどのように考えますか。ア～カの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。(○は各項目に一つ)

全体では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』は、「中学校は男女共学のほうがよい」が80.1%で最も高く、次いで「高校は男女共学のほうがよい」が71.4%、「学校においてもっと積極的に男女平等教育を進めたほうがよい」が68.3%となっている。

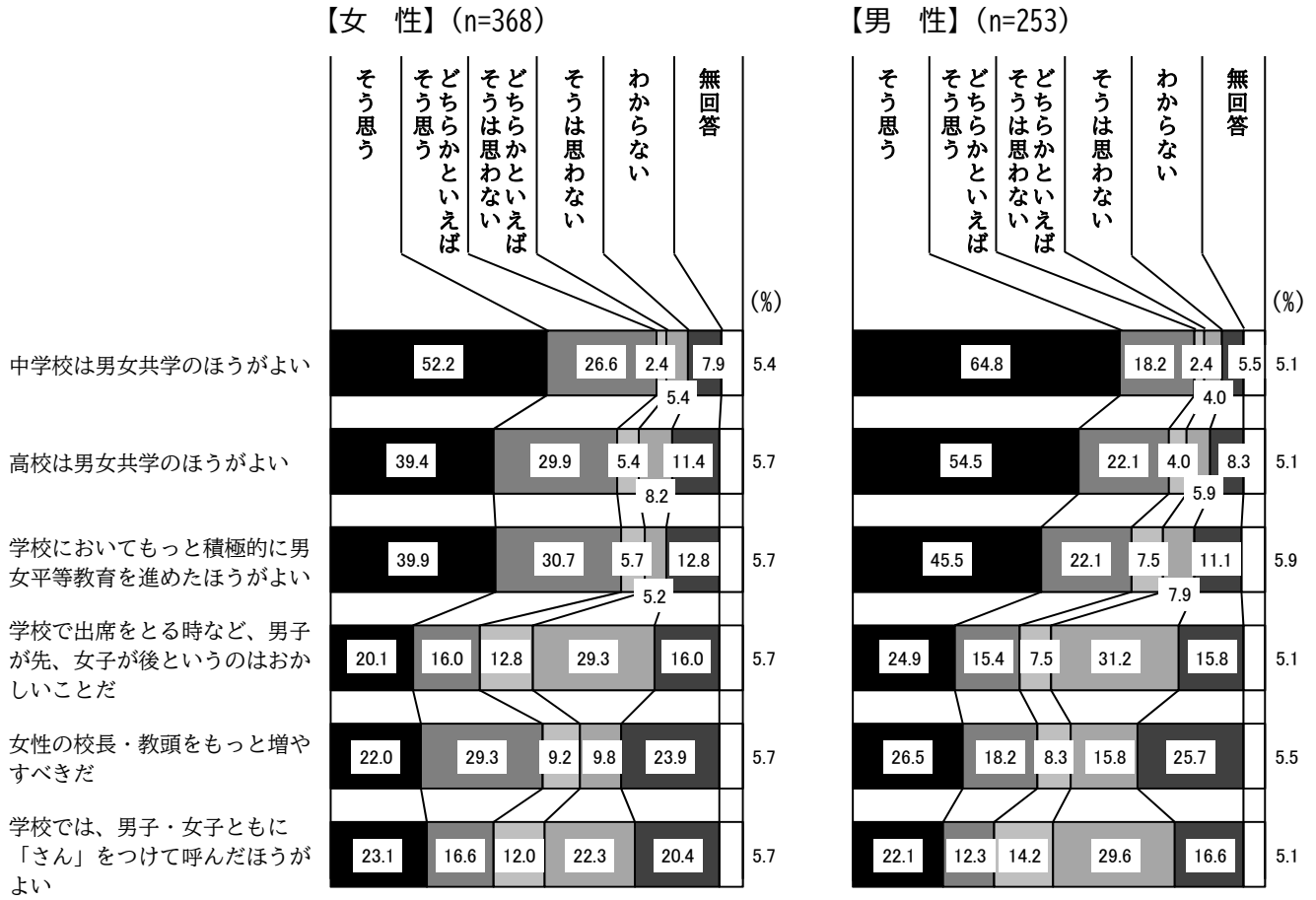
一方、「どちらかといえばそうは思わない」と「そうは思わない」を合わせた『そう思わない』は、「学校で出席をとる時など、男子が先、女子が後というのはおかしいことだ」が39.8%で最も高く、次いで「学校では、男子・女子ともに「さん」をつけて呼んだほうがよい」が37.3%となっている。



第3章 調査の結果

【性別】

男女差がある項目として、「高校は男女共学のほうがよい」の『そう思う』は、男性（76.6%）が、女性（69.3%）に比べ、7.3ポイント高くなっている。



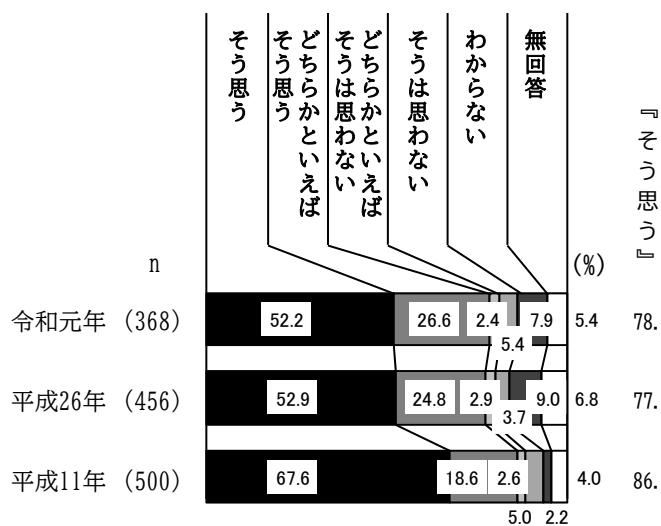
これまでの調査との比較

増減がある項目として、女性における『そう思う』は、「オ 女性の校長・教頭をもっと増やすべきだ」(51.3%)が[平成26年](44.3%)に比べ、7.0ポイント増加している。

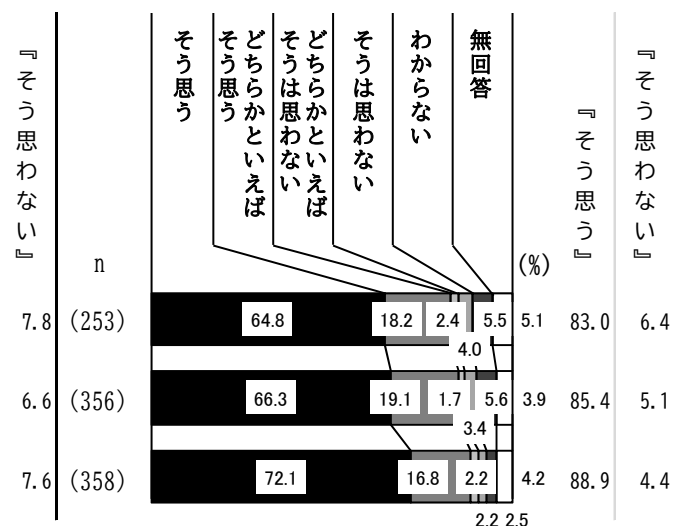
性別 学校教育についての考え方

ア 中学校は男女共学のほうがよい

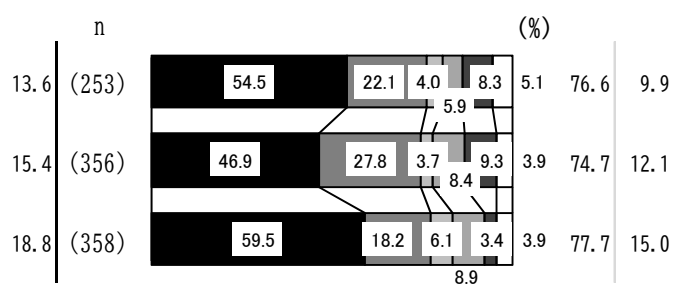
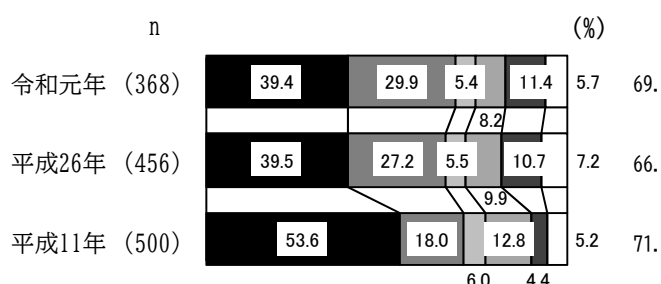
【女性】



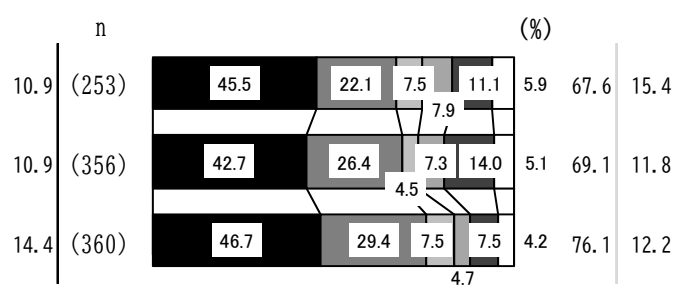
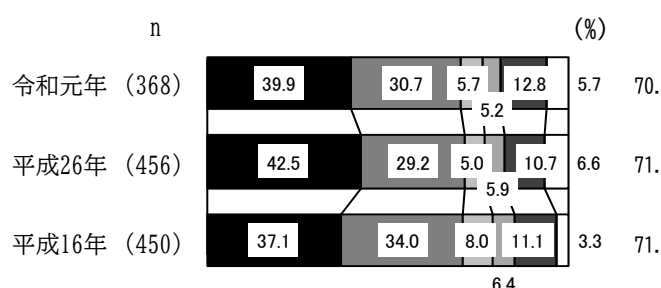
【男性】



イ 高校は男女共学のほうがよい

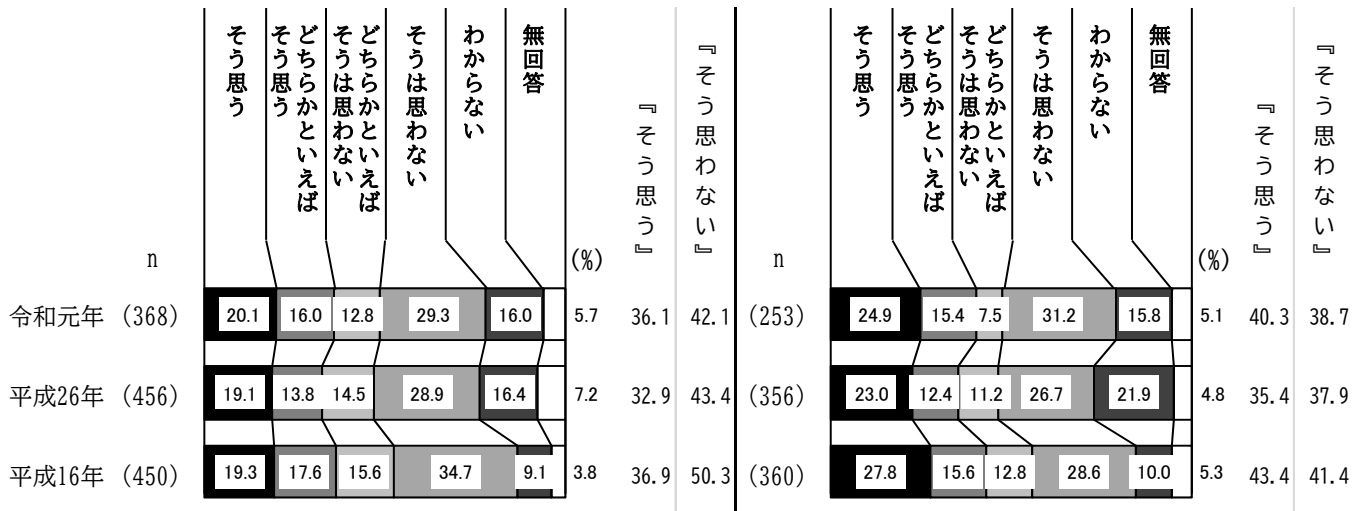


ウ 学校においてもっと積極的に男女平等教育を進めたほうがよい



※ 平成16年調査から調査項目に追加された。

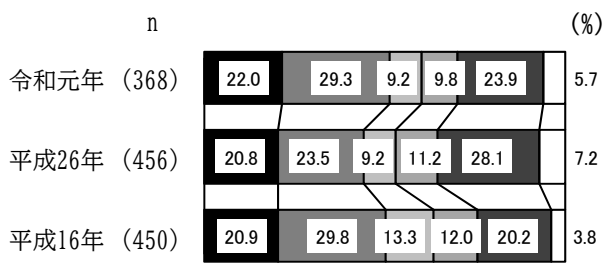
エ 学校で出席をとる時など、男子が先、女子が後というのはおかしいことだ



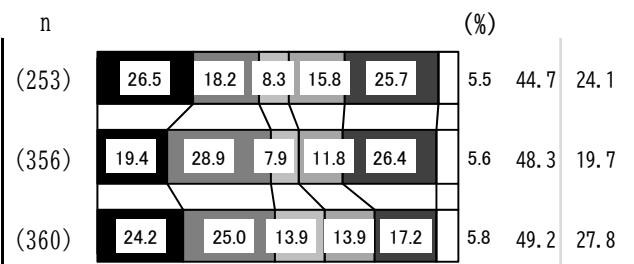
※ 平成16年調査から調査項目に追加された。

オ 女性の校長・教頭をもっと増やすべきだ

【女性】

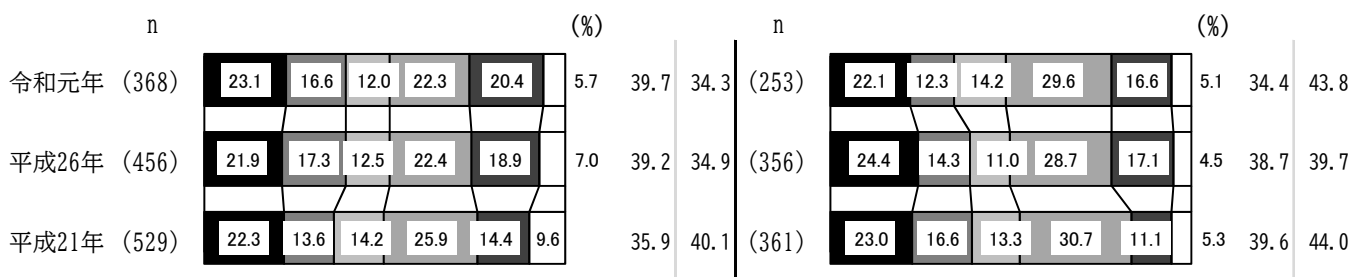


【男性】



※ 平成16年調査から調査項目に追加された。

カ 学校では、男子・女子ともに「さん」をつけて呼んだほうがよい



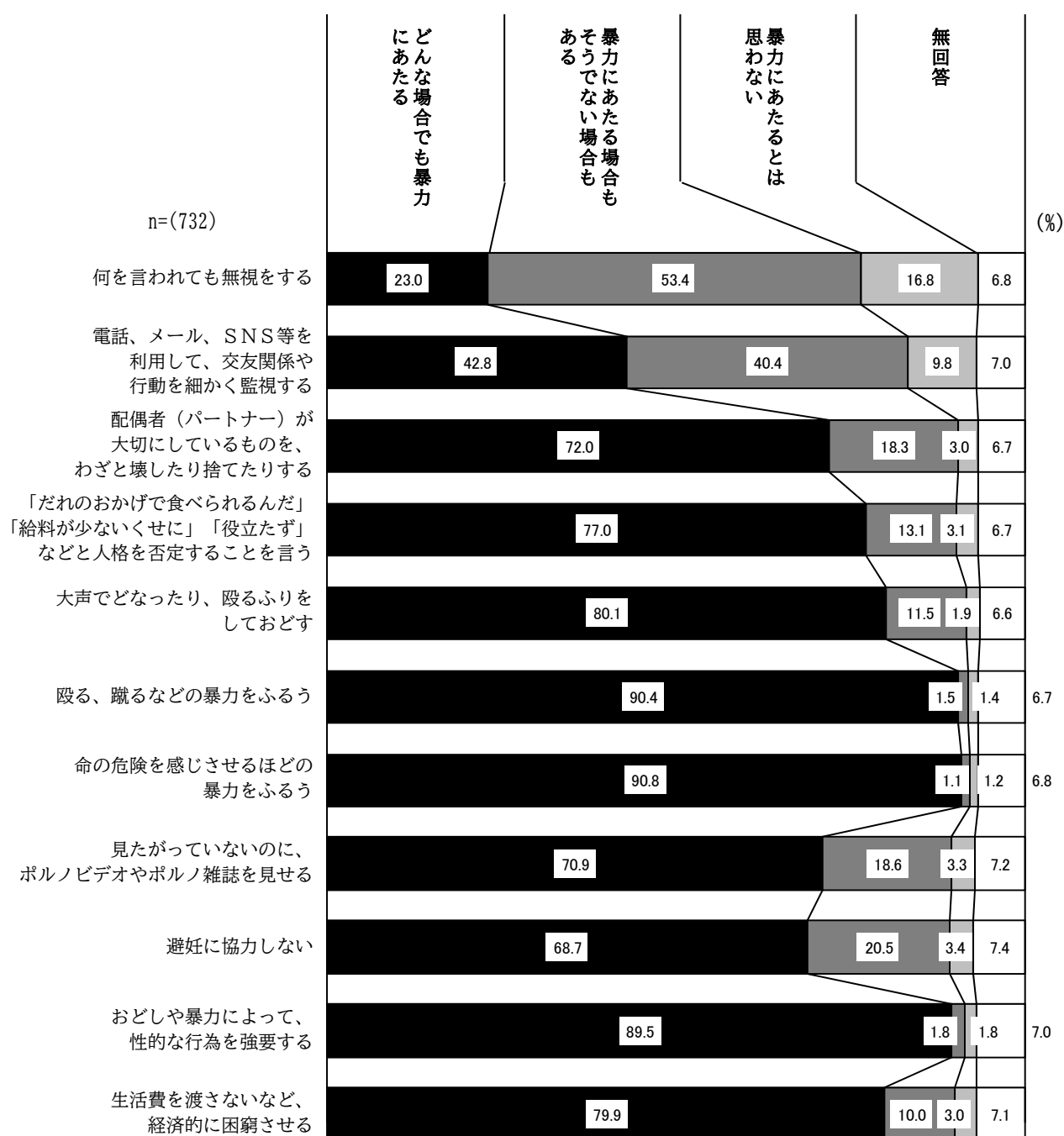
※ 平成21年調査から調査項目に追加された。

5. 配偶者（パートナー）や交際相手からの暴力

(1) 配偶者（パートナー）や交際相手からの暴力について

問20 次のようなことが配偶者（パートナー）の間で行われた場合、それをどのように感じますか。ア～サの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。（○は各項目に一つ）

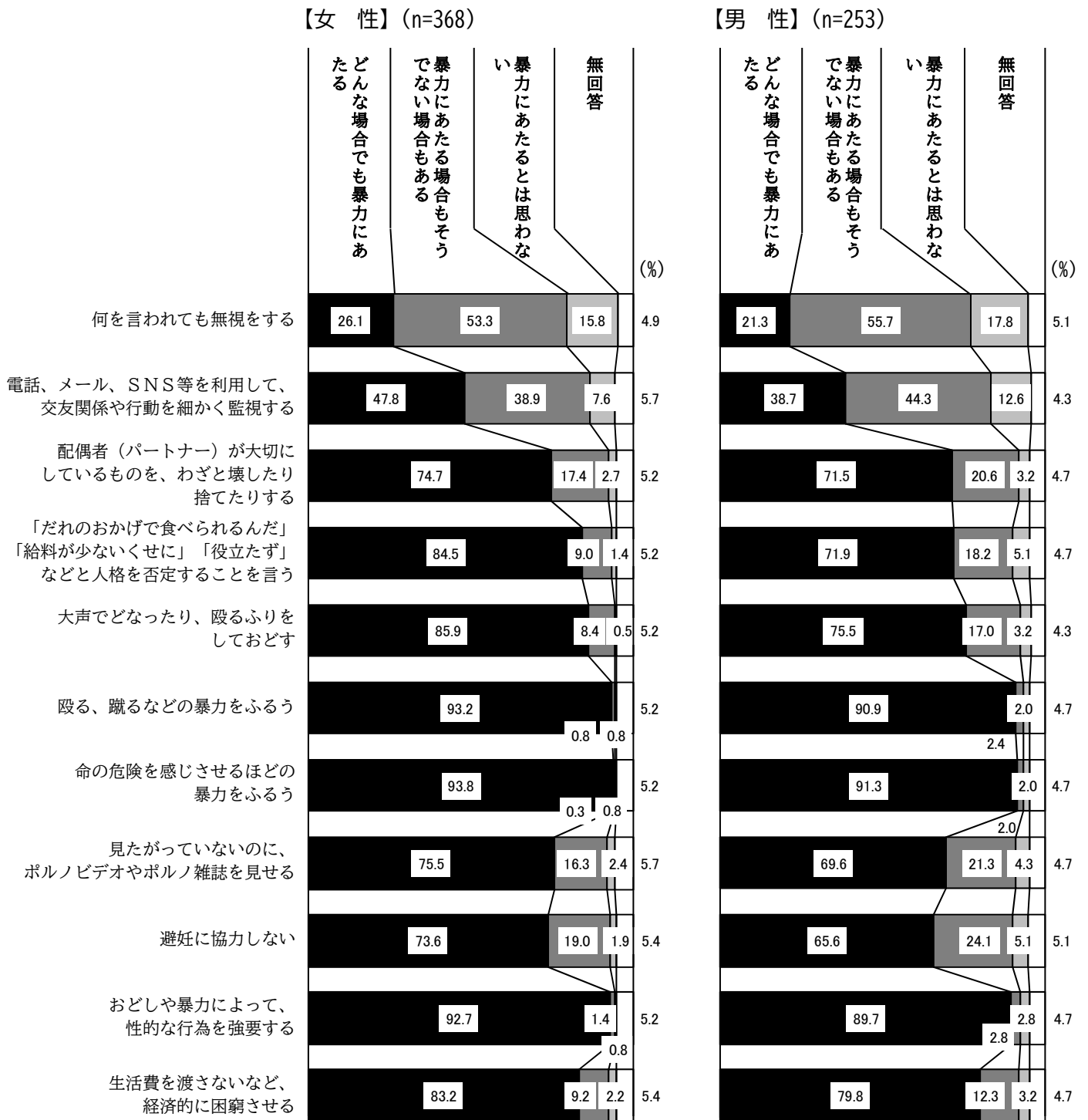
全体では、「どんな場合でも暴力にあたる」は、「命の危険を感じさせるほどの暴力をふるう」が90.8%、「殴る、蹴るなどの暴力をふるう」が90.4%と高く、「何を言われても無視をする」（23.0%）、「電話、メール、SNS等を利用して、交友関係や行動を細かく監視する」（42.8%）が他の項目に比べ、低くなっている。



第3章 調査の結果

【性別】

「どんな場合でも暴力にあたる」は、いずれの項目も女性が男性に比べ、高くなっている。特に「だれのおかげで食べられるんだ」「給料が少ないくせに」「役立たず」などと人格を否定することを言う」は、女性（84.5%）が、男性（71.9%）に比べ、12.6ポイント高くなっている。



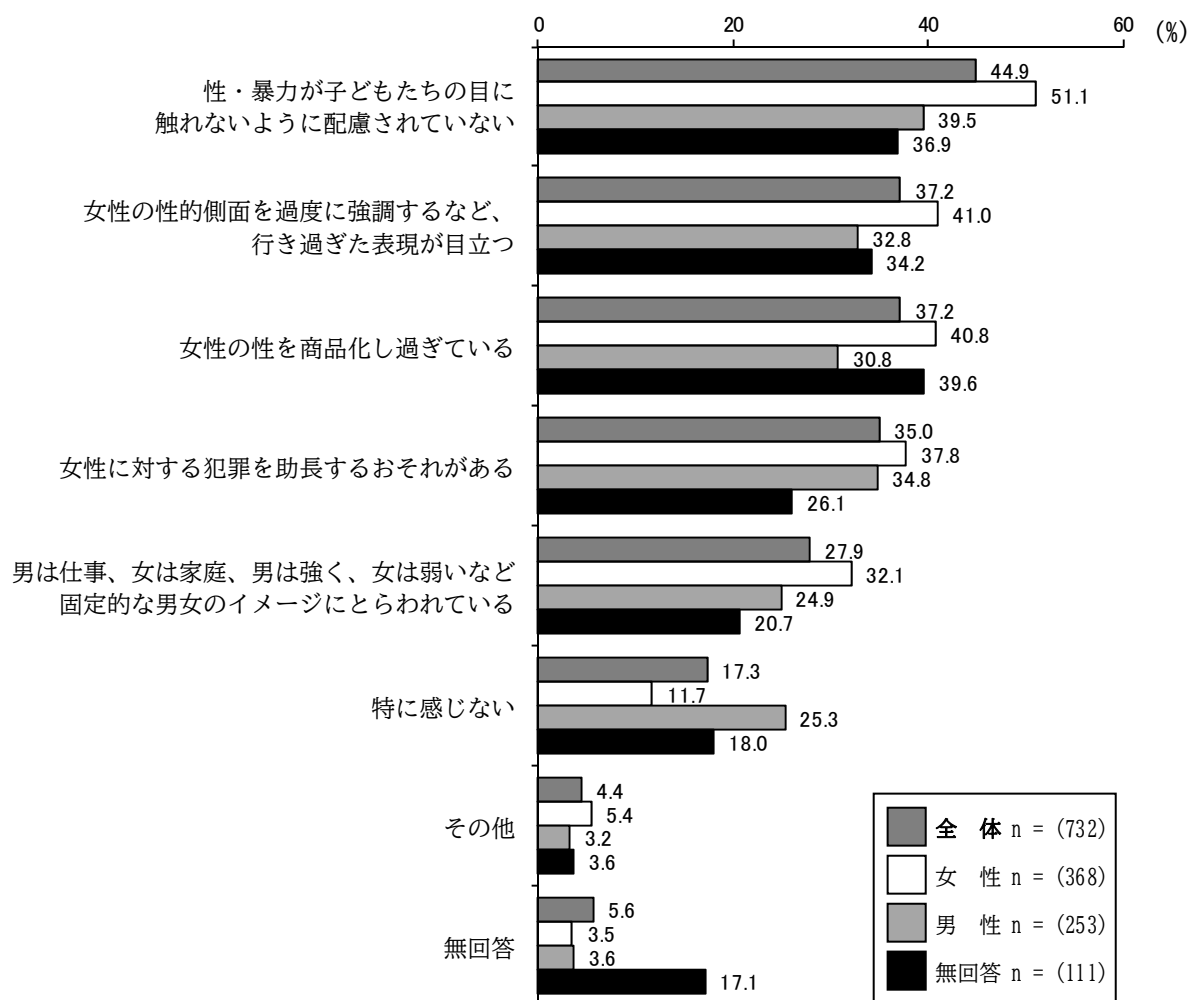
(2) メディアにおける性・暴力表現についての考え方

問21 新聞・雑誌・テレビ・インターネット（パソコン・携帯電話）などのメディアにおける性・暴力表現についてどのように思いますか。（あてはまるものすべてに○）

全体では、「性・暴力が子どもたちの目に触れないように配慮されていない」が44.9%で最も高く、次いで「女性の性的側面を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ」および「女性の性を商品化し過ぎている」がともに37.2%、「女性に対する犯罪を助長するおそれがある」が35.0%となっている。

【性別】

男女差がある項目として、「性・暴力が子どもたちの目に触れないように配慮されていない」は、女性（51.1%）が、男性（39.5%）に比べ、11.6ポイント高くなっている。一方、「特に感じない」は、男性（25.3%）が、女性（11.7%）に比べ、13.6ポイント高くなっている。



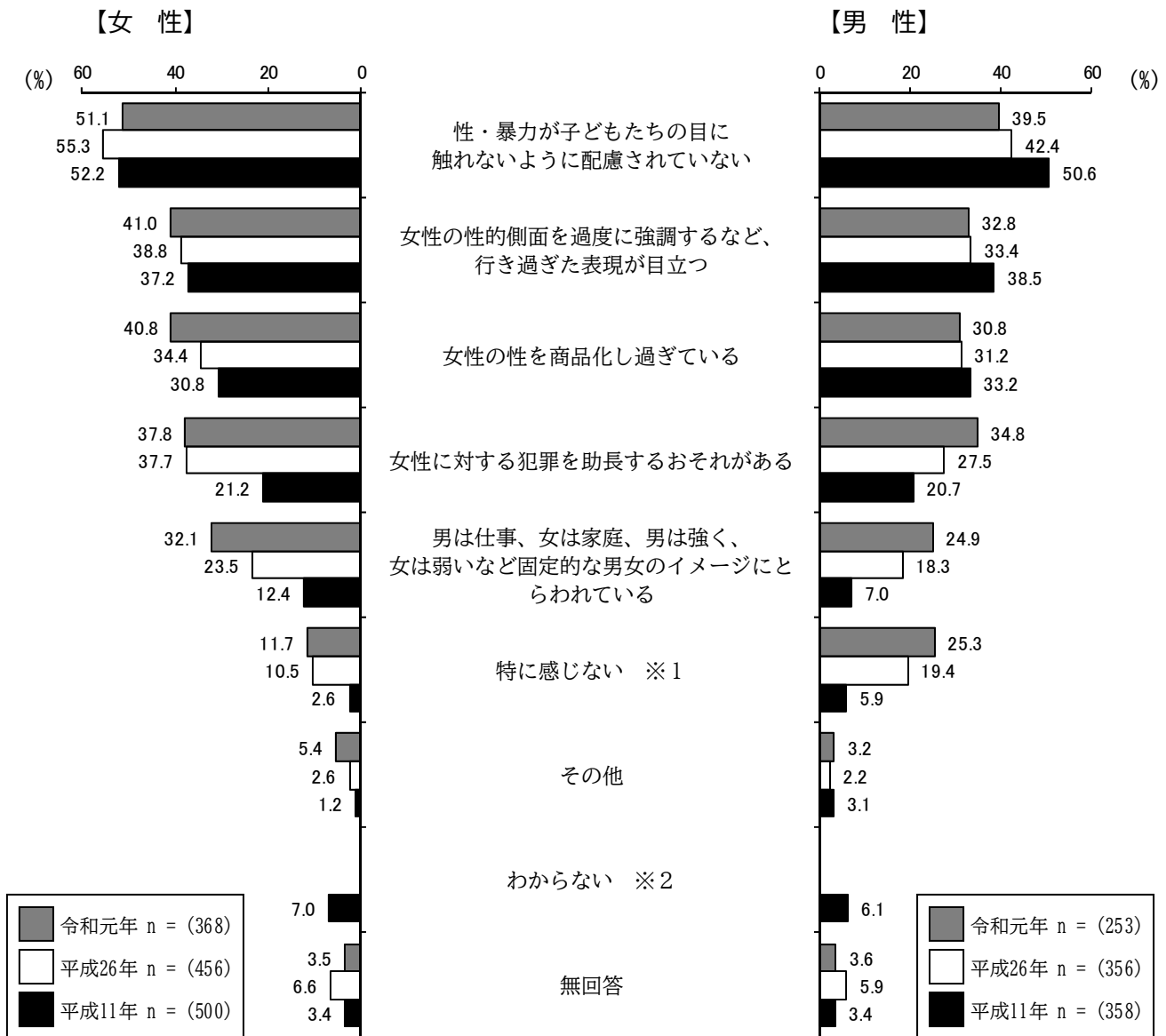
これまでの調査との比較

平成21年調査までの回答は「〇は二つまで」であったため、平成26年調査と比較する。また、平成11年調査は参考に掲載する。

増減がある項目として、女性では、「男は仕事、女は家庭、男は強く、女は弱いなど固定的な男女のイメージにとらわれている」が[平成26年](23.5%)に比べ、8.6ポイント増加している。

男性では、「女性に対する犯罪を助長するおそれがある」が[平成26年](27.5%)に比べ、7.3ポイント増加している。

性別 メディアにおける性・暴力表現についての考え方



※1 平成21年調査までは「特に問題はない」。

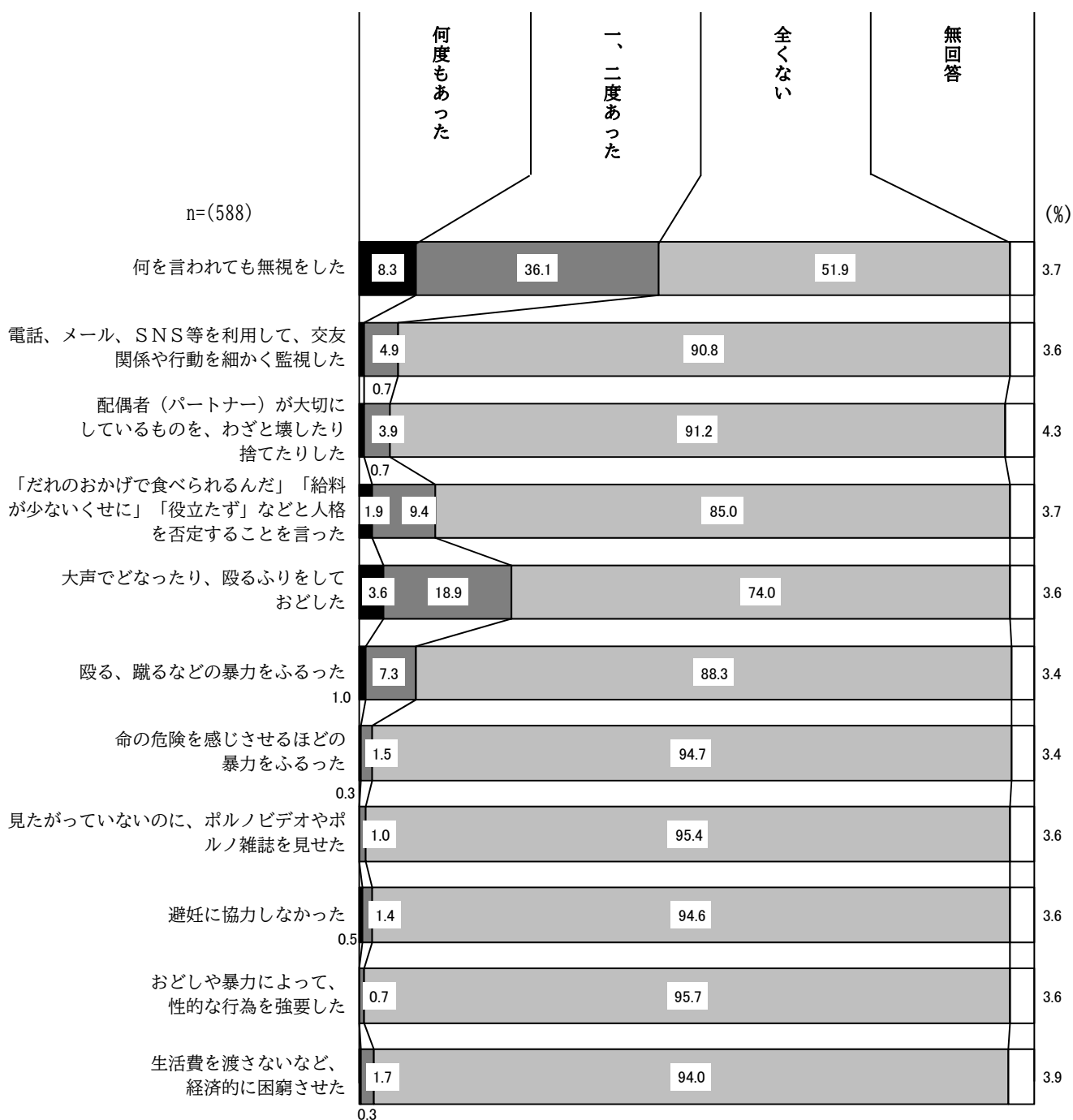
※2 平成21年調査までの選択肢である。

(3) DV加害経験

【配偶者（パートナー）がいる（いた）方にお聞きします。】

問22 これまでに、あなたの配偶者（パートナー）に対して、次のようなことをしたことがありますか。ア～サの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。（○は各項目に一つ）

全体では、「何を言われても無視をした」は「何度もあった」が8.3%、「一、二度あった」が36.1%、「全くない」が51.9%でいずれも最も高くなっている。



第3章 調査の結果

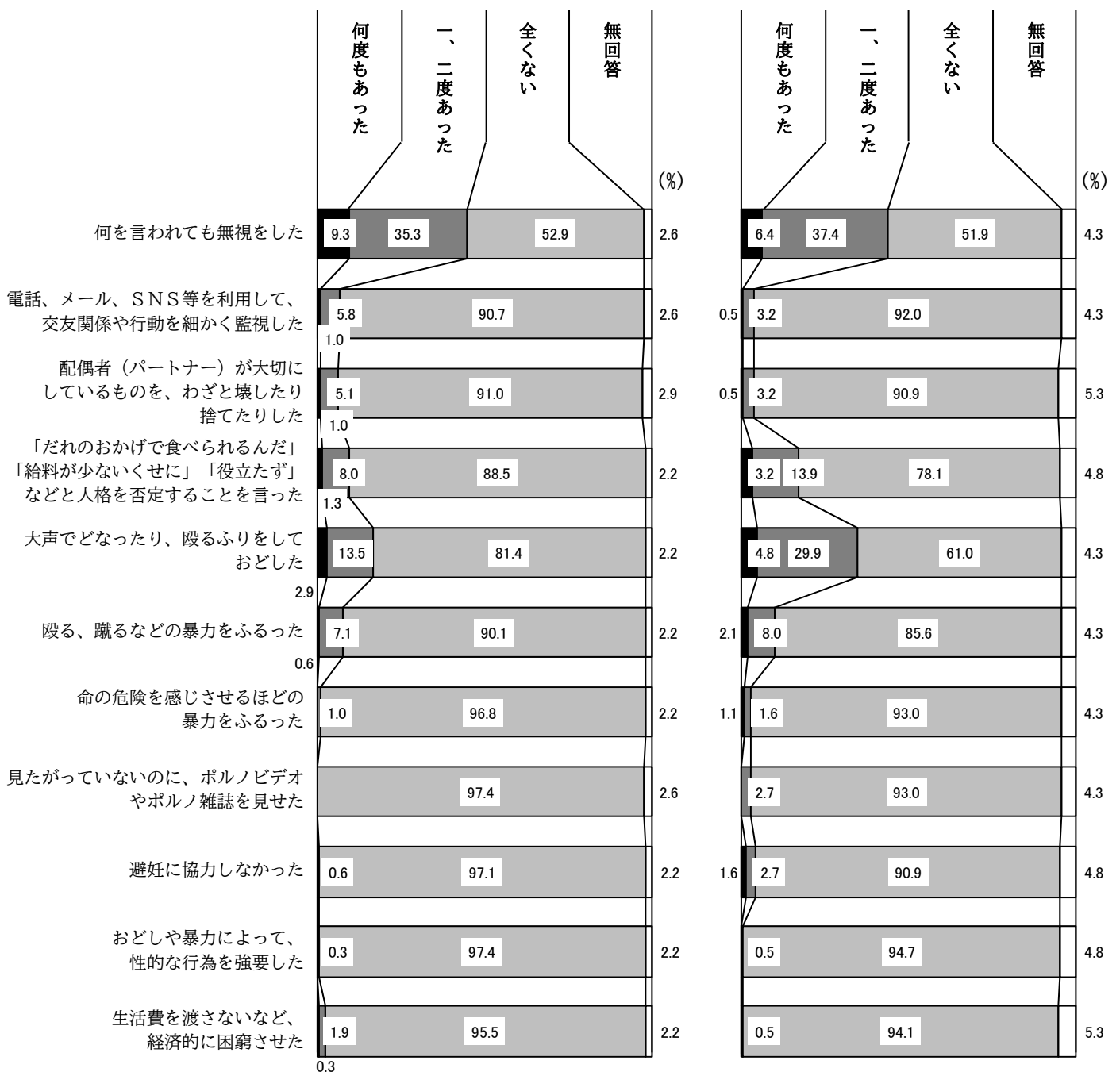
【性別】

「何度もあった」と「一、二度あった」の合計では、「何を言われても無視をした」、「電話、メール、SNS等を利用して、交友関係や行動を細かく監視した」、「配偶者（パートナー）が大切にしているものを、わざと壊したり捨てたりした」、「生活費を渡さないなど、経済的に困窮させた」を除く項目において、男性が女性に比べ、高くなっている。

男女差がある項目として、「大声でどなったり、殴るふりをしておどした」において、「一、二度あった」は、男性（29.9%）が、女性（13.5%）に比べ、16.4ポイント高くなっている。

【女性】(n=312)

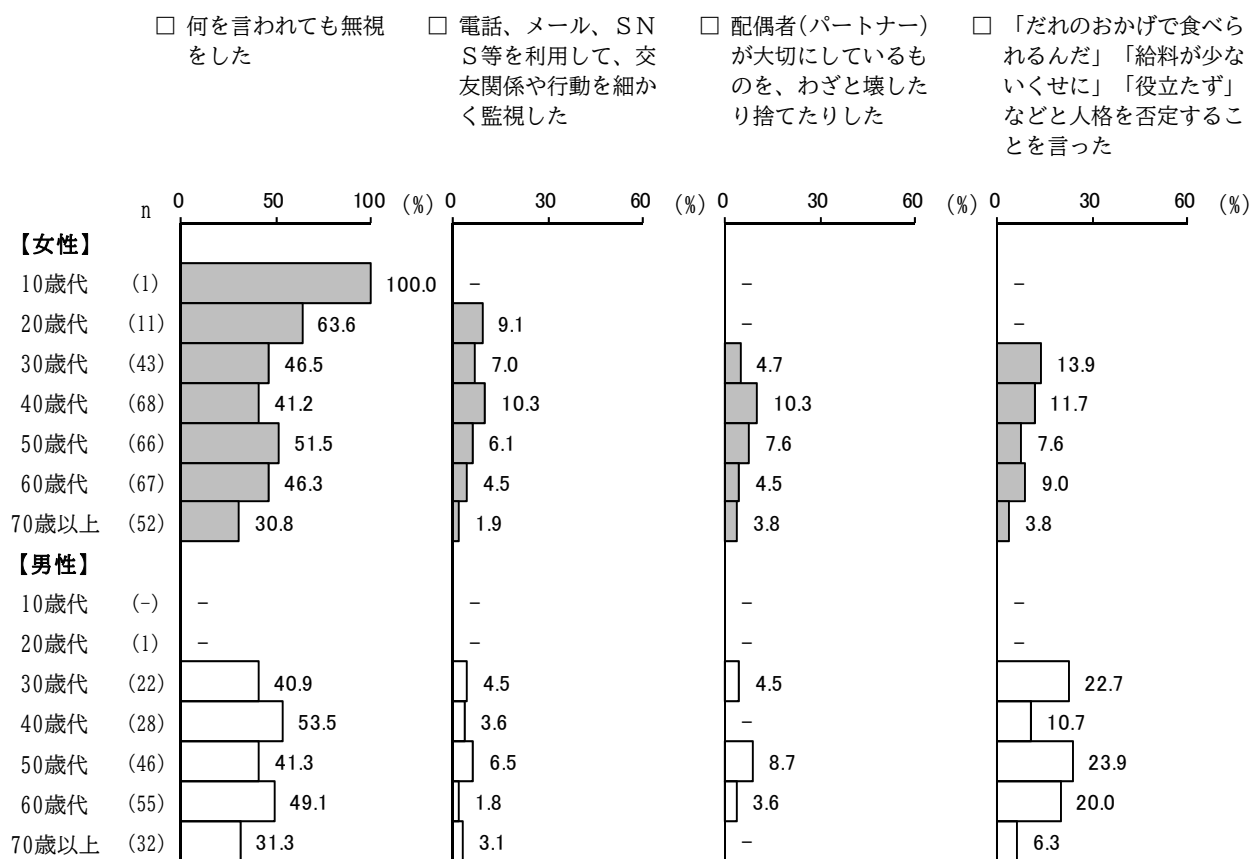
【男性】(n=187)



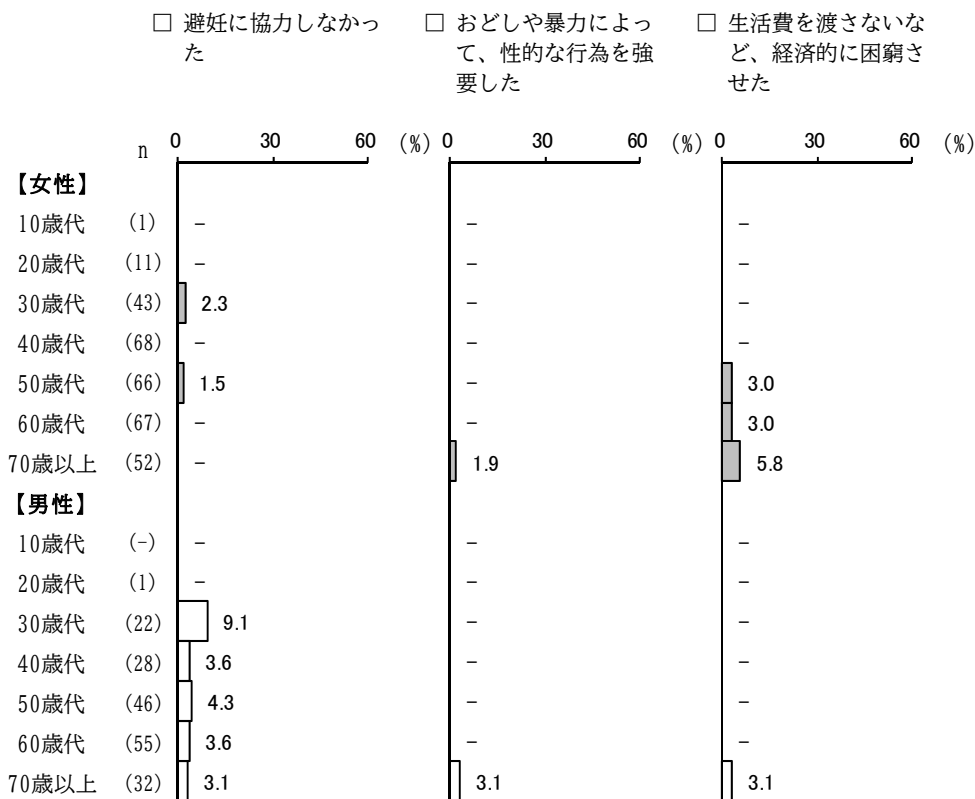
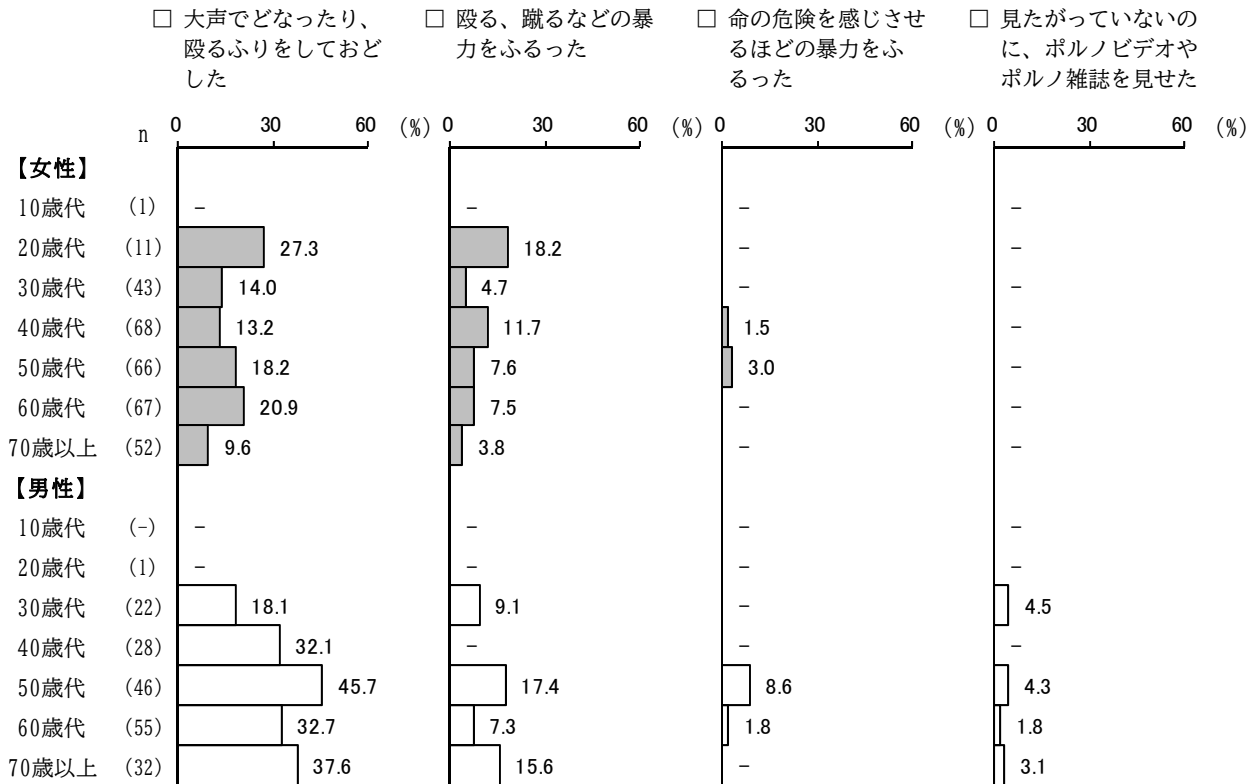
【性・年代別】

「何度もあった」と「一、二度あった」の合計では、女性のすべての年代で「何を言われても無視をした」が最も高くなっている。男性の50歳代および70歳以上は、「大声でどなったり、殴るふりをしておどした」が最も高くなっている。

「だれのおかげで食べられるんだ」「給料が少ないくせに」「役立たず」などと人格を否定することを言った」は、男性の30歳代（22.7%）、40歳代（23.9%）および60歳代（20.0%）が他の性・年代に比べ、高くなっている。

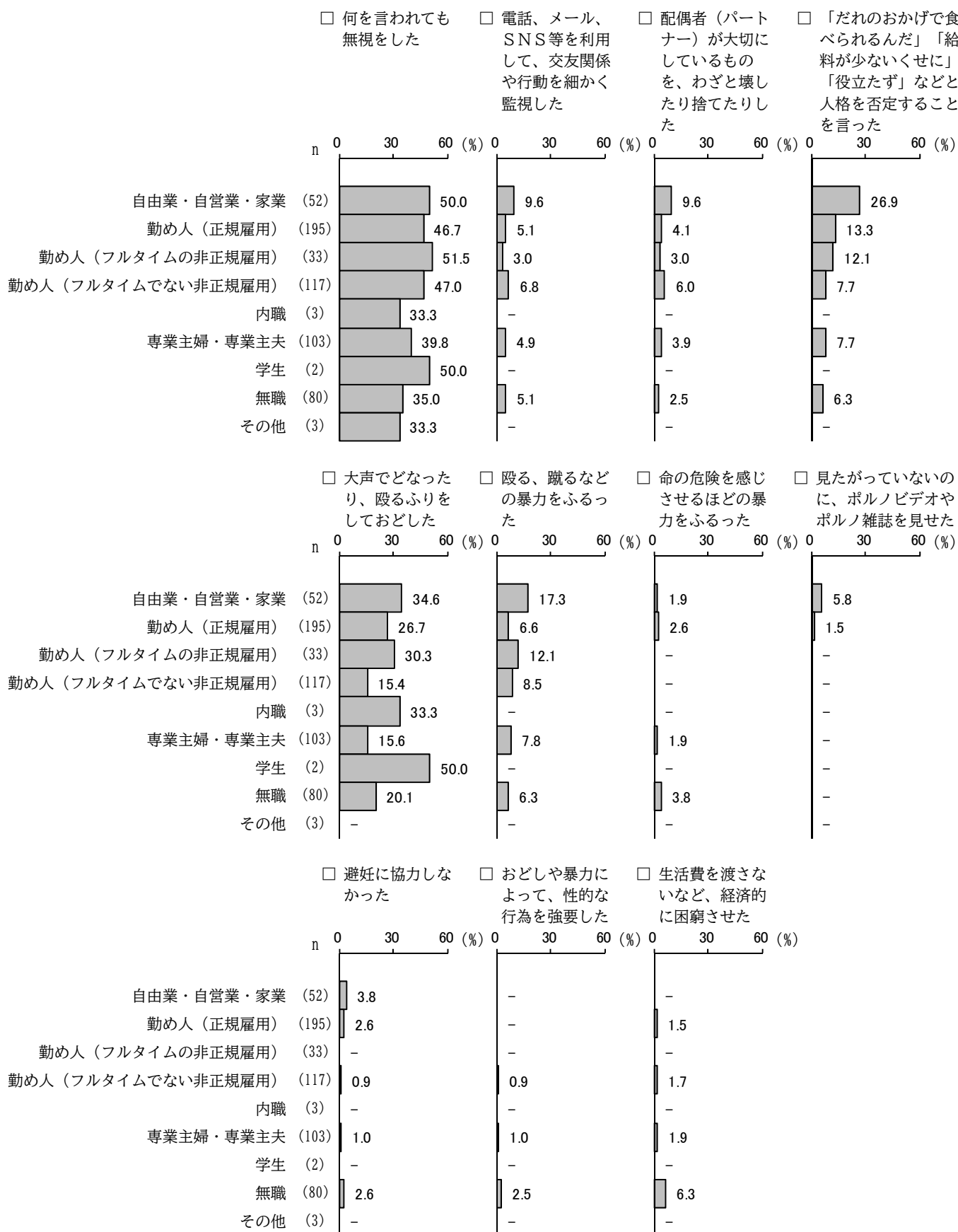


第3章 調査の結果



【職業別】

すべての職業で「何度もあった」と「一、二度あった」の合計では、「何を言われても無視をした」が最も高く、次いで「大声でどなったり、殴るふりをしておどした」が高くなっている。



これまでの調査との比較

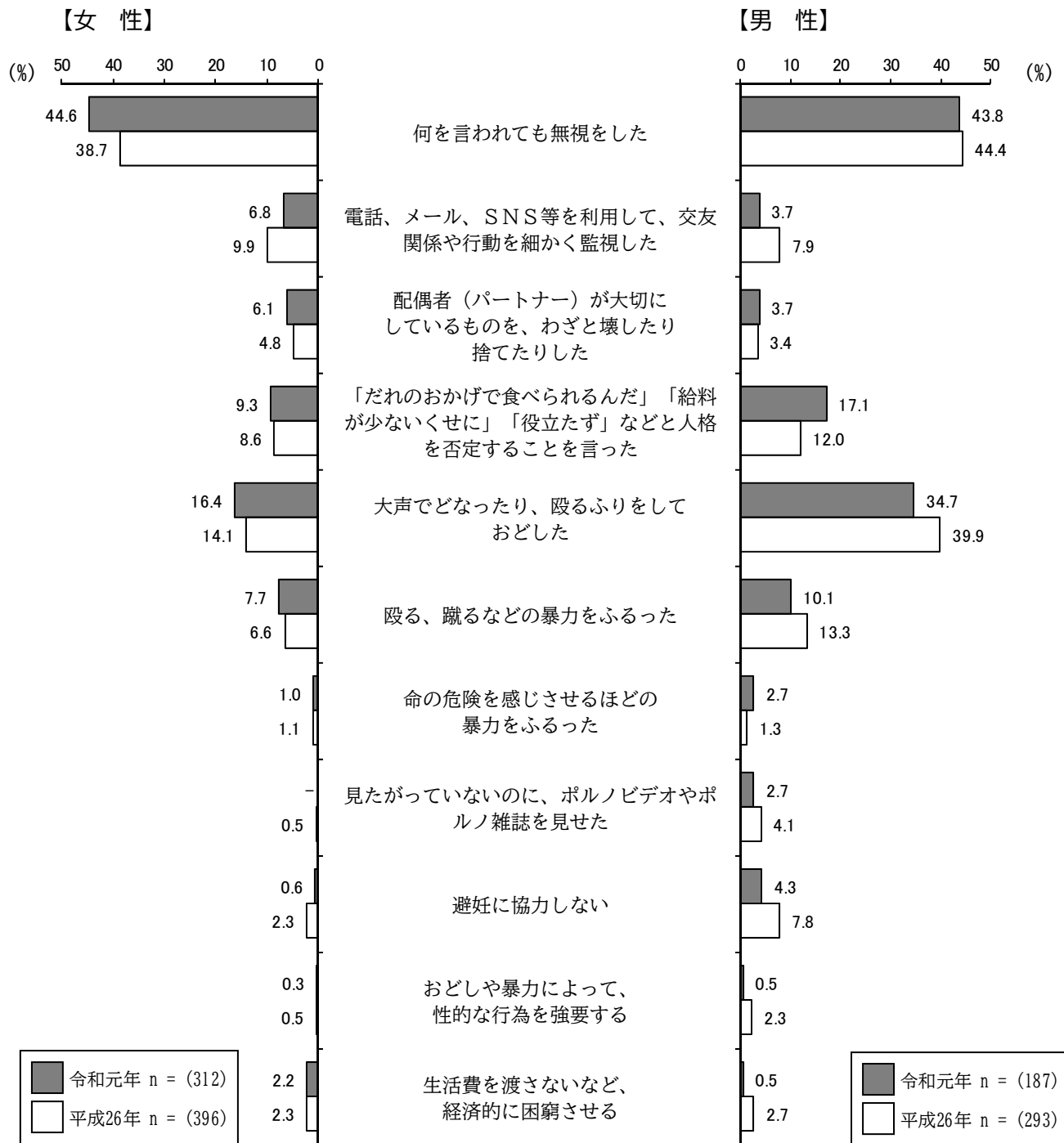
平成26年調査から調査項目に追加された。

各項目で、「何度もあった」と「一、二度あった」の合計値を平成26年調査と比較している。

増減がある項目として、女性では、「何を言われても無視をした」が、[平成26年]（38.7%）に比べ、5.9ポイント増加している。

男性では、「大声でどなったり、殴るふりをしておどした」が、[平成26年]（39.9%）に比べ、5.2ポイント減少している。

性別 DV加害経験



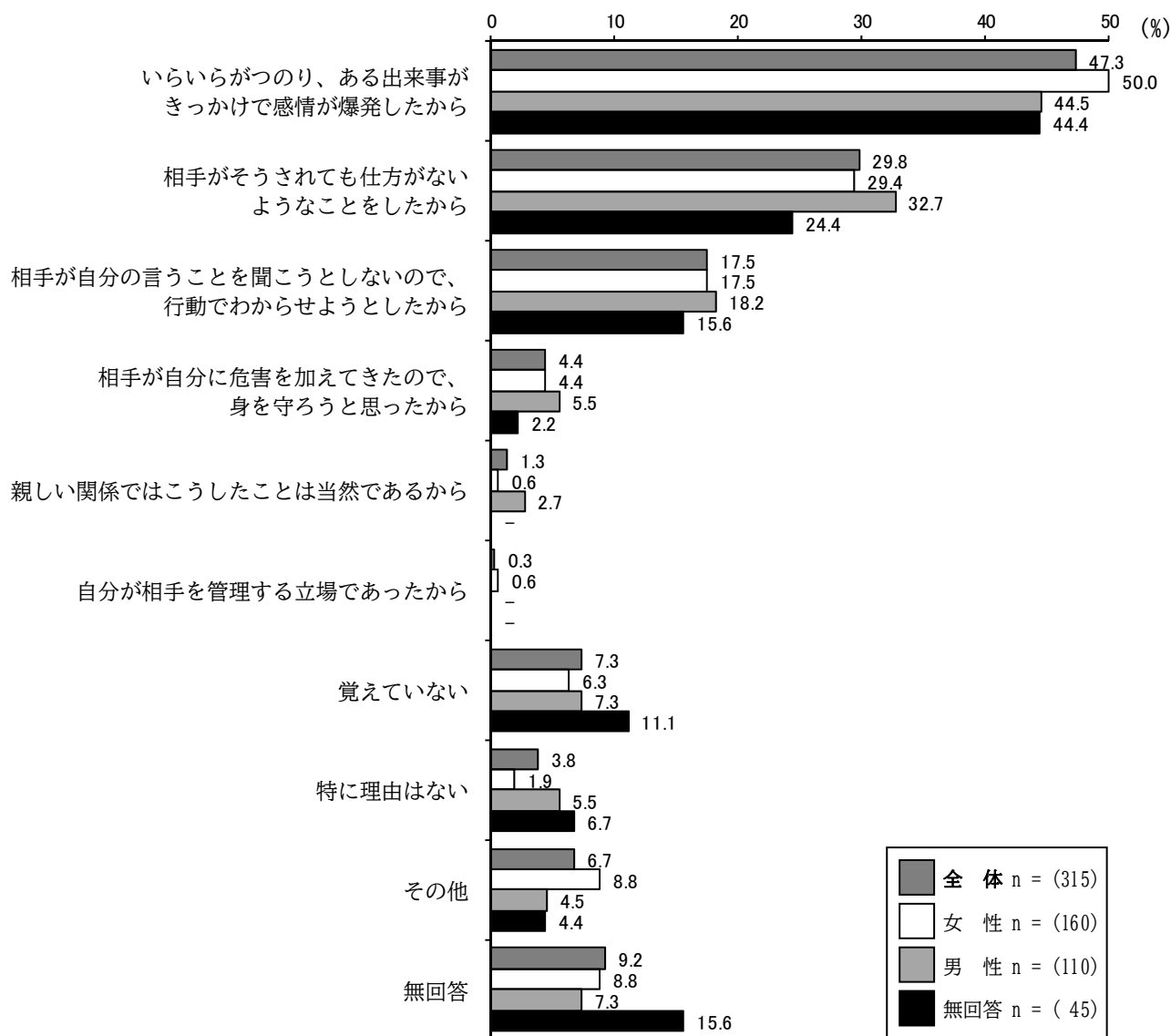
(4) DV加害の理由

【問22で、「何度もあった」、または、「1、2度あった」に一つでも回答した方にお聞きします。】
 問23 そのようなことをするに至った理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「いらいらがつのり、ある出来事がきっかけで感情が爆発したから」が47.3%で最も高く、次いで「相手がそうされても仕方がないようなことをしたから」が29.8%、「相手が自分の言うことを聞こうとしないので、行動でわからせようとしたから」が17.5%となっている。

【性別】

「いらいらがつのり、ある出来事がきっかけで感情が爆発したから」は、男女ともに最も高く、女性(50.0%)が、男性(44.5%)に比べ、5.5ポイント高くなっている。



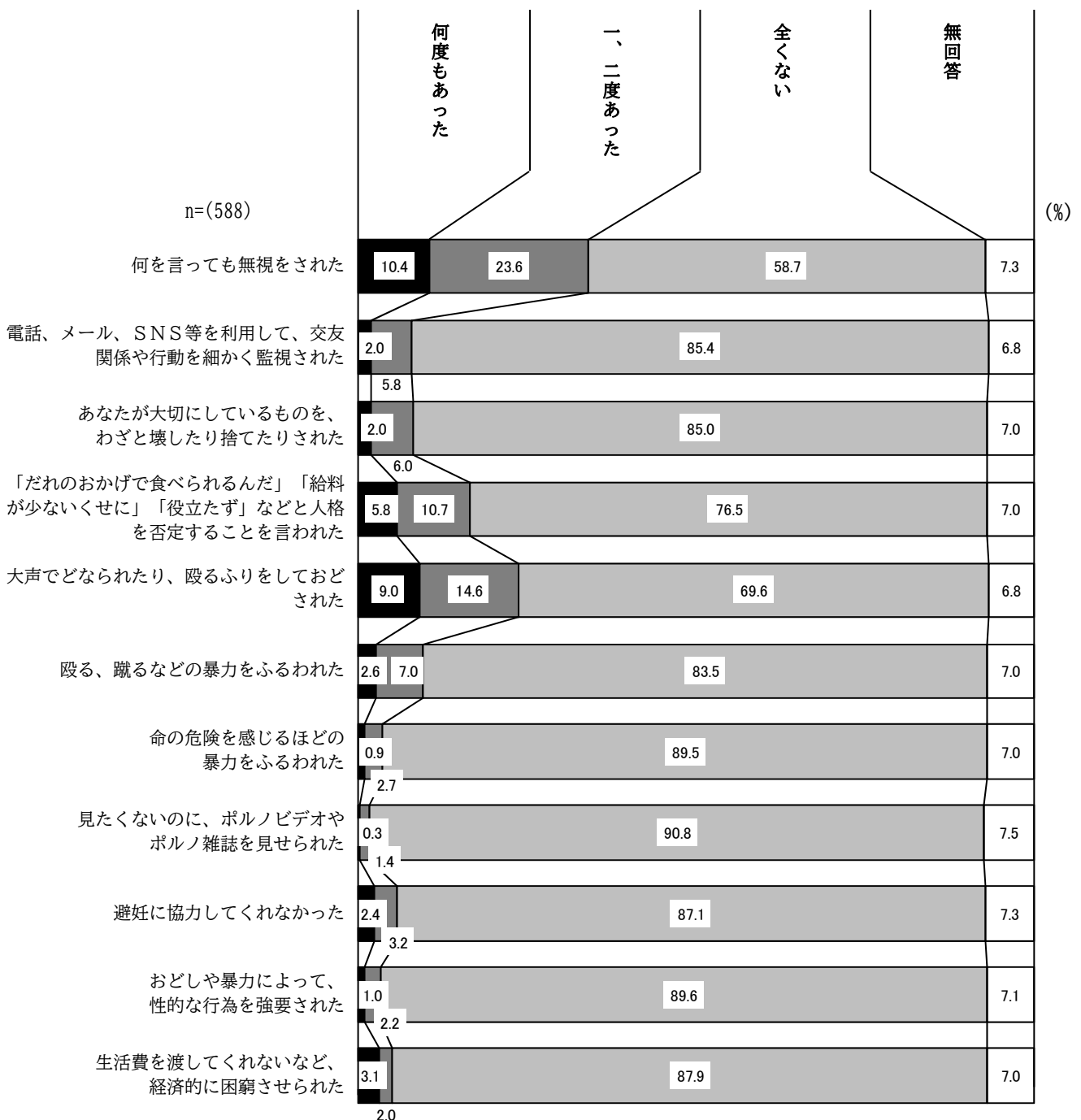
第3章 調査の結果

(5) DV被害経験

【配偶者（パートナー）がいる（いた）方にお聞きします。】

問24 これまでに、あなたの配偶者（パートナー）から、次のようなことをされたことがありますか。ア～サの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。（○は各項目に一つ）

全体では、「何度もあった」は、「何を言っても無視をされた」が10.4%で最も高く、次いで「大声でどなられたり、殴るふりをしておどされた」が9.0%となっている。



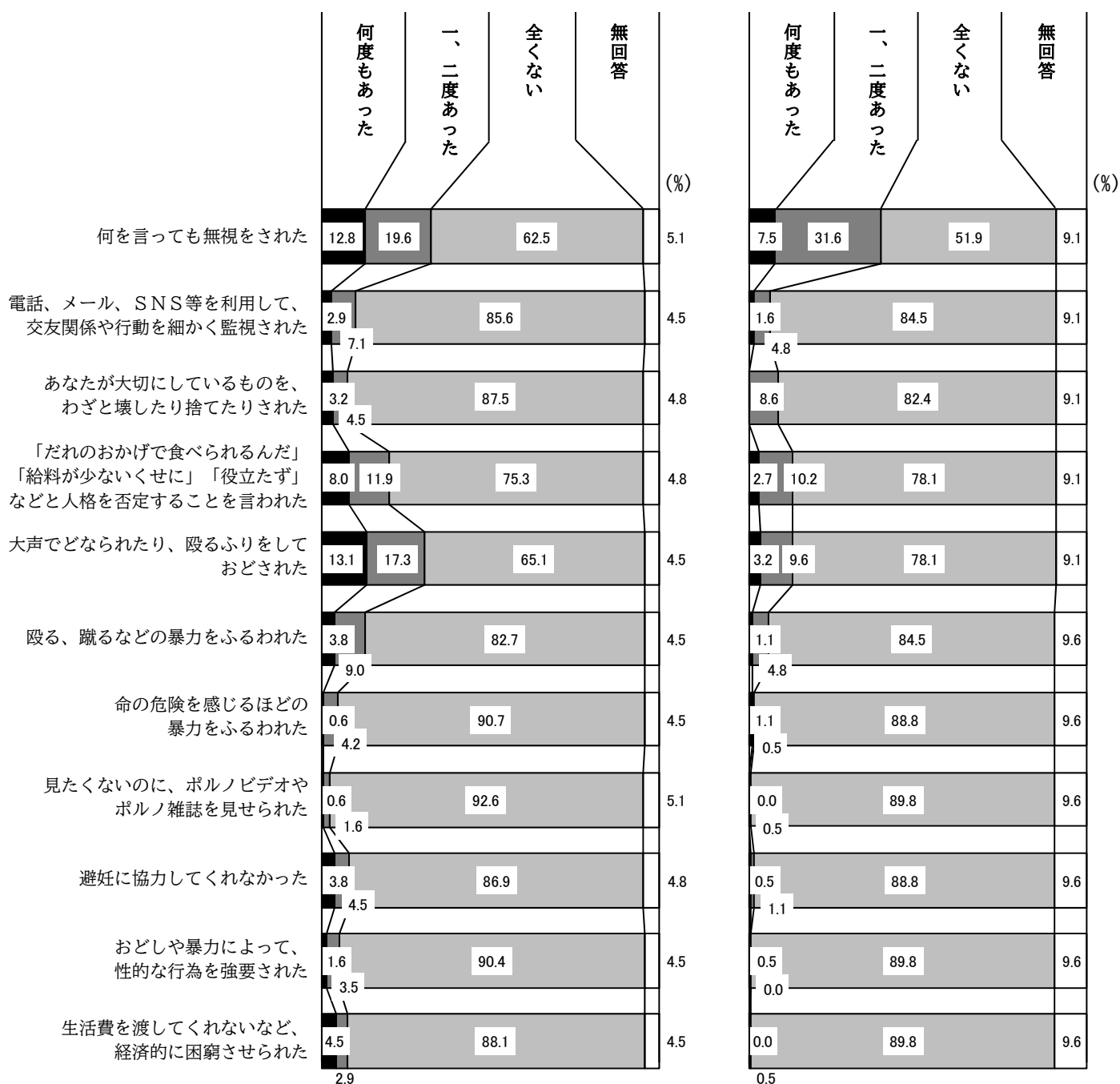
【性別】

男女差がある項目として、「大声でどなられたり、殴るふりをしておどされた」において、「何度もあった」は、女性（13.1%）が、男性（3.2%）に比べ、9.9ポイント高くなっている。

「何度もあった」と「一、二度あった」を合わせると、「何を言っても無視をされた」において、男性（39.1%）が、女性（32.4%）に比べ、6.7ポイント高くなっている。

【女性】(n=312)

【男性】(n=187)

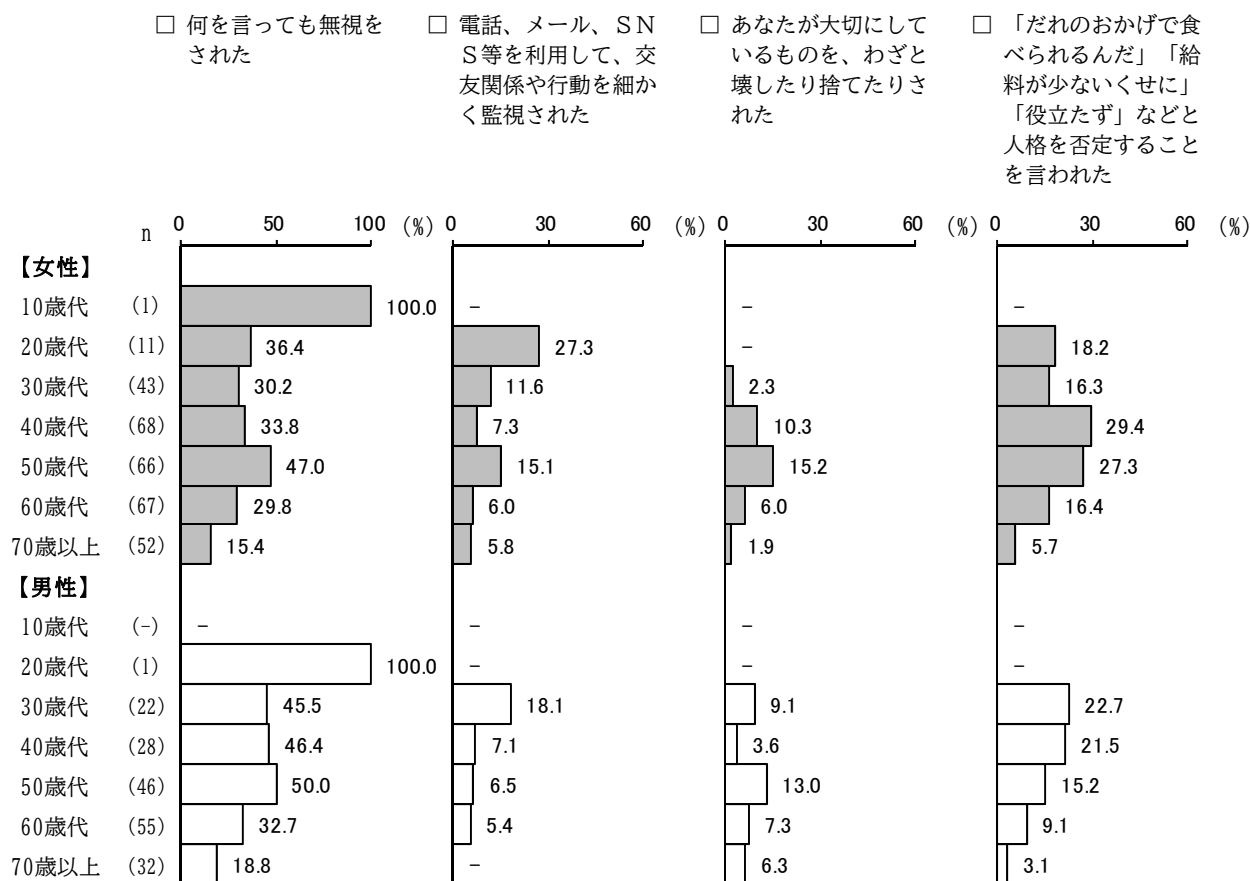


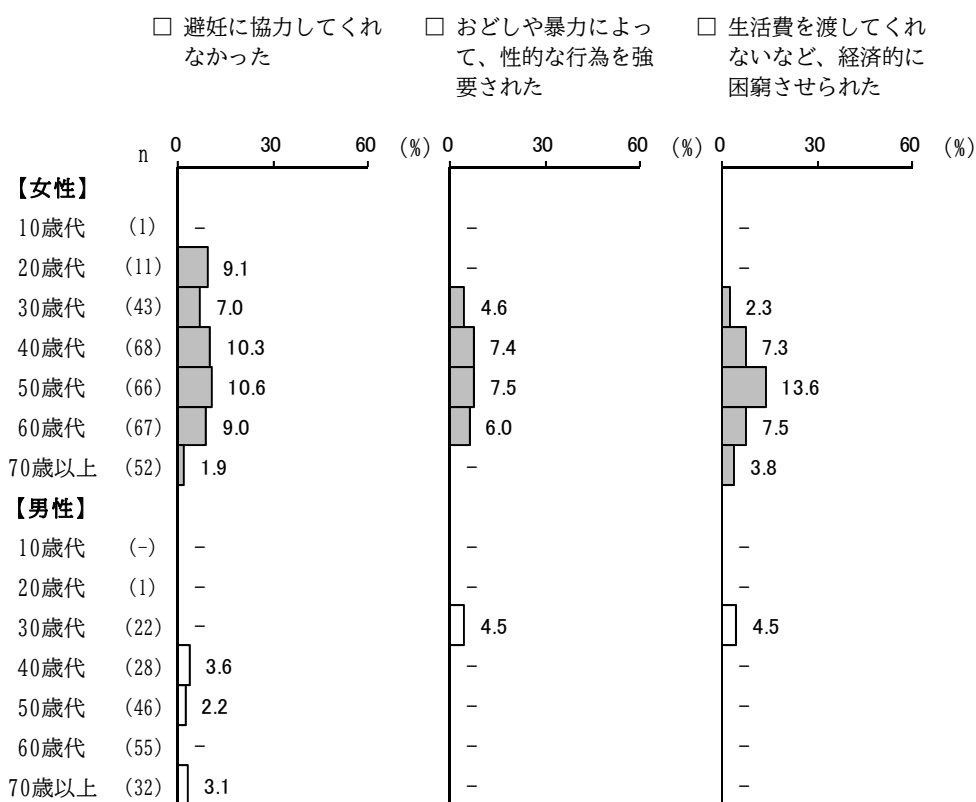
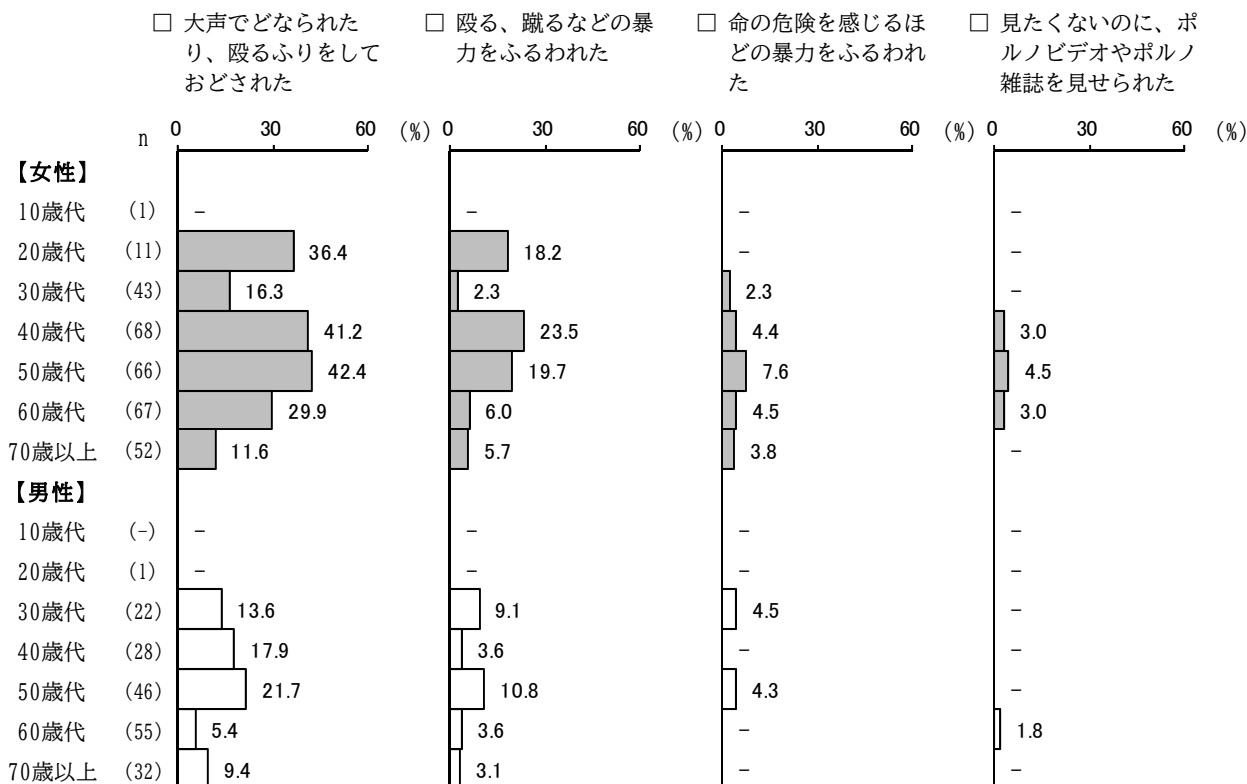
第3章 調査の結果

【性・年代別】

「何度もあった」と「一、二度あった」の合計では、男性のすべての年代で「何を言っても無視をされた」が最も高くなっている。女性の40歳代および60歳代は、「大声でどなられたり、殴るふりをしておどされた」が最も高くなっている。

「電話、メール、SNS等を利用して、交友関係や行動を細かく監視された」は、【女性・20歳代】(27.3%)が他の性・年代に比べ、高くなっている。

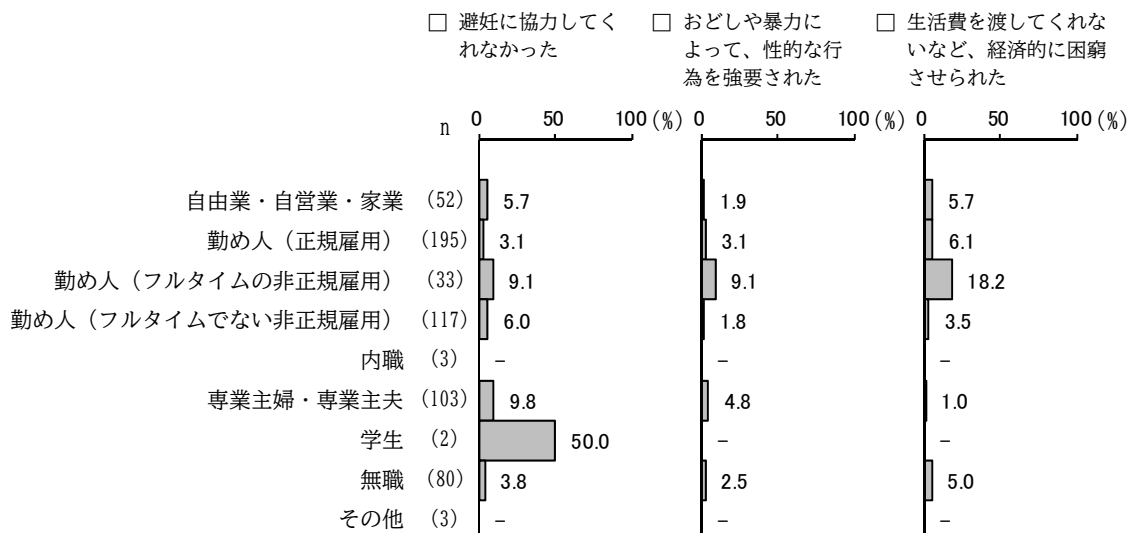
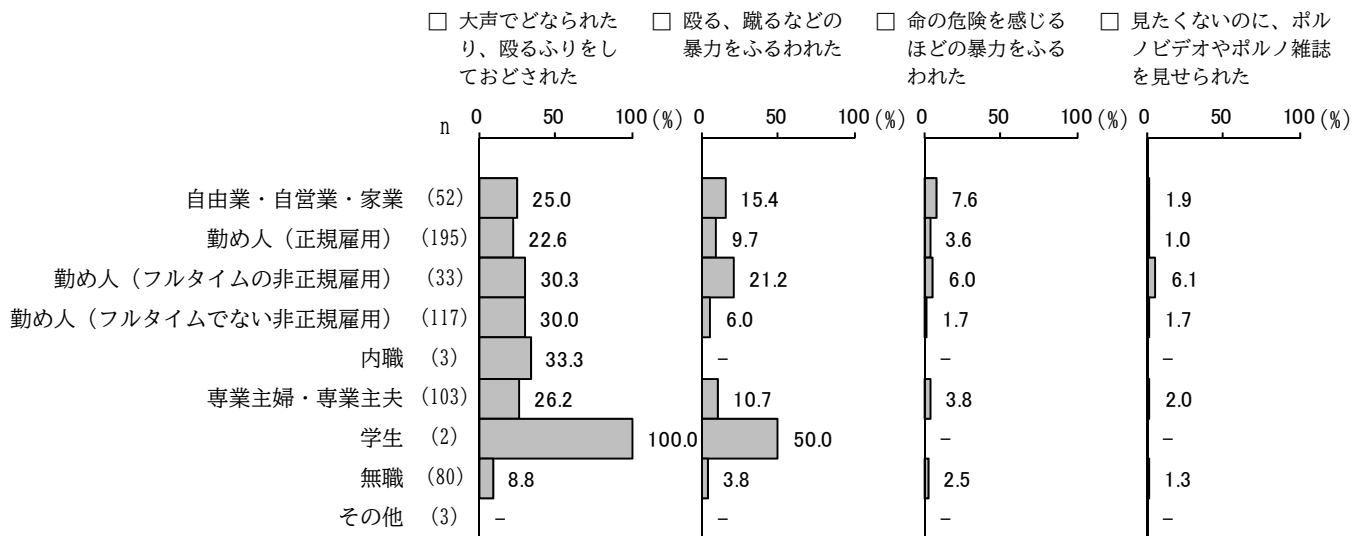
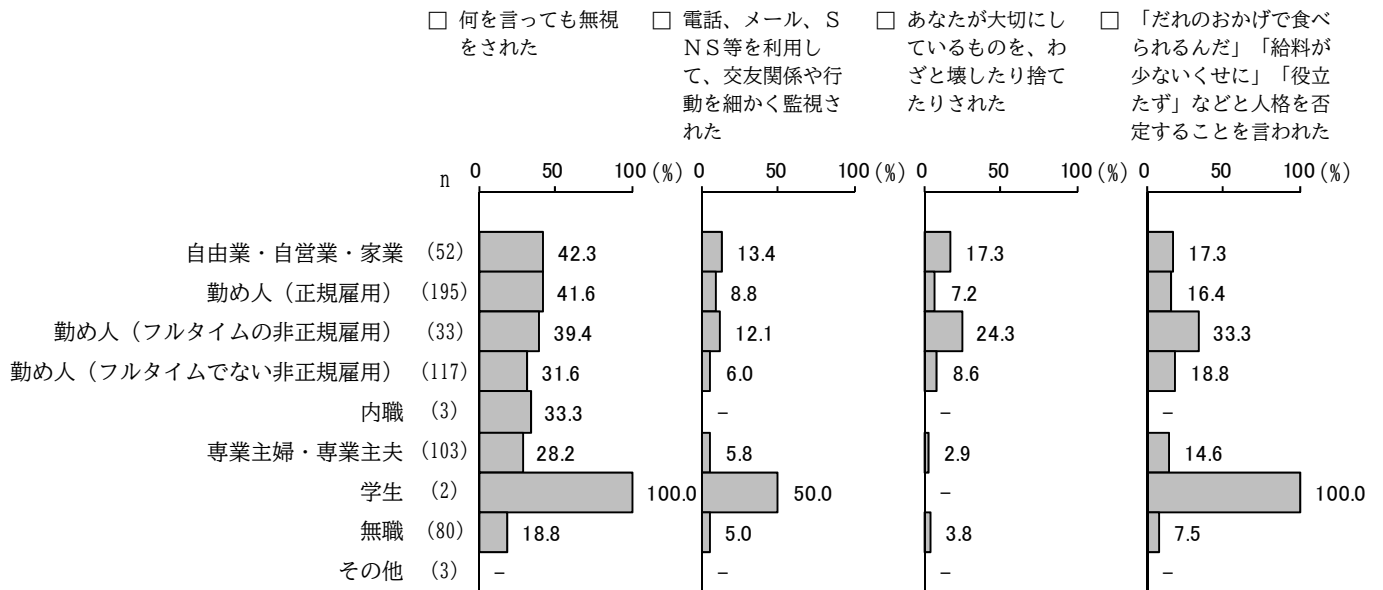




第3章 調査の結果

【職業別】

「内職」と「学生」を除くすべての職業で「何度もあった」と「一、二度あった」の合計では「何を言われても無視をされた」が最も高くなっている。



これまでの調査との比較

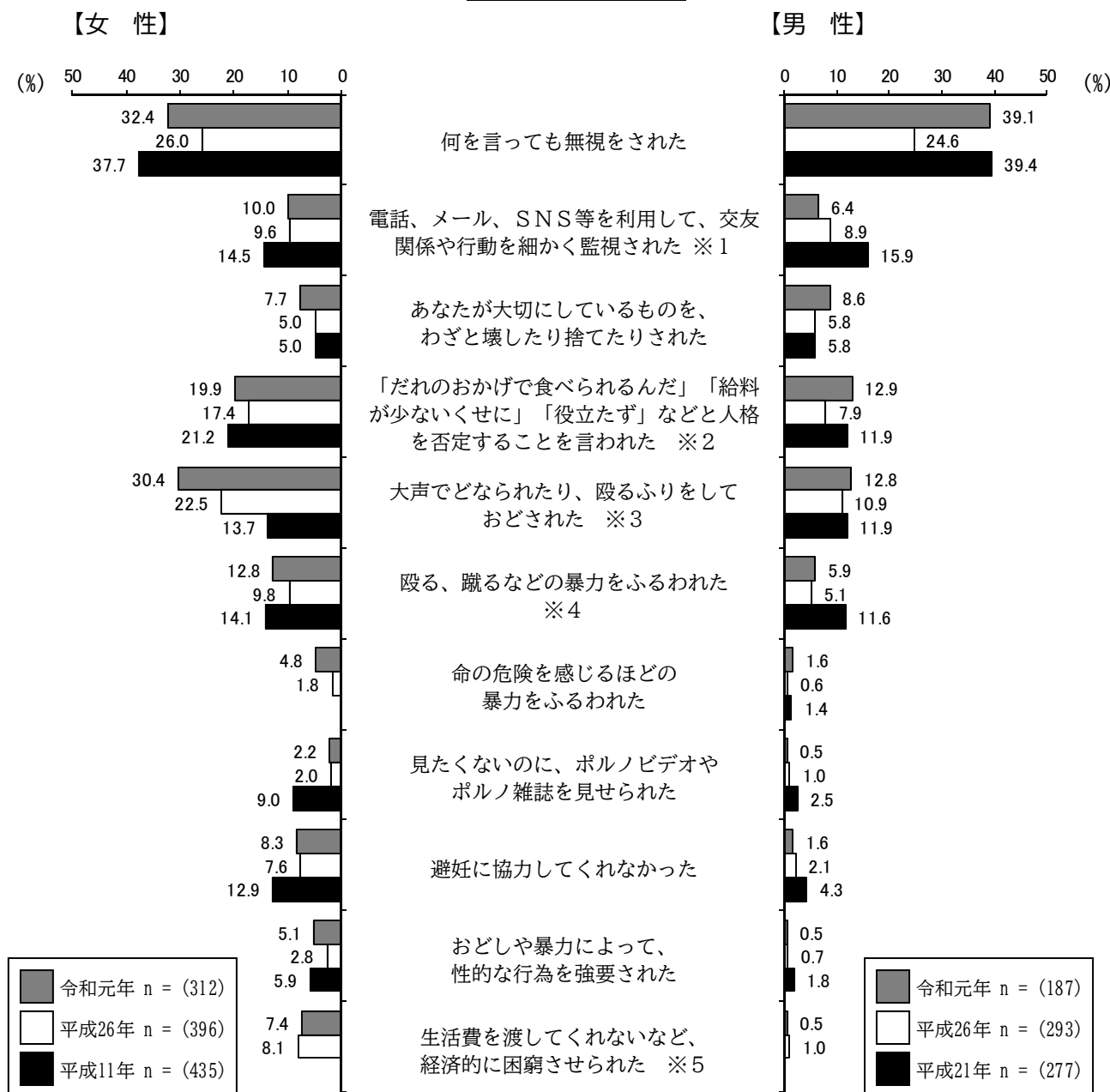
男性は平成21年調査から調査項目に追加された。

各項目で、「何度もあった」と「一、二度あった」の合計値を平成26年調査と比較している。

増減がある項目として、女性では、「大声でどなられたり、殴るふりをしておどされた」が[平成26年](22.5%)に比べ、7.9ポイント増加している。

男性では、「何を言っても無視をされた」が[平成26年](24.6%)に比べ、14.5ポイント増加している。

性別 DV被害経験



※1 平成26年調査までは「交友関係や電話、行動を細かく監視された」。
 ※2 平成21年調査までは「だれのおかげで食べられるんだなどと言う」。
 ※3 平成21年調査までは「げんこつや、身体を傷つける可能性のある物で、殴るふりをしておどす」。
 ※4 平成11年調査では「あなたを、平手で打つ」
 ※5 平成26年調査から項目として追加。

(6) DV被害を受けた時の子どもの目撃状況

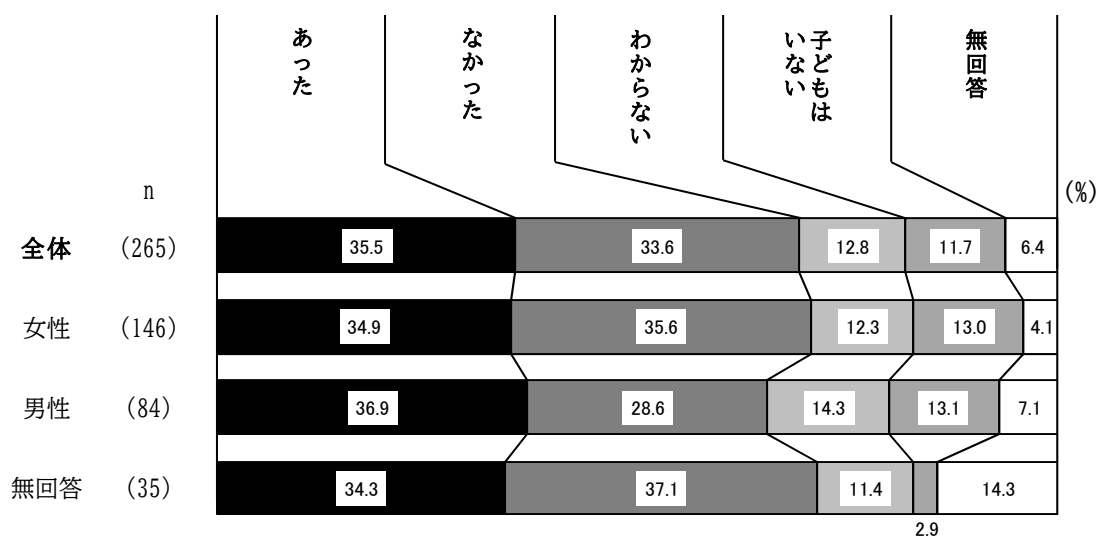
【問24で、「何度もあった」、または、「1、2度あった」に一つでも回答した方にお聞きします。】
 問25 問24のことをされた時に、子ども（18歳未満）はそれを見たことはありましたか。
 (〇は一つ)

全体では、「あった」が35.5%で最も高く、次いで「なかった」が33.6%となっている。

【性別】

「あった」は性別による大きな差はみられない。

「なかった」は女性(35.6%)が、男性(28.6%)に比べ、7.0ポイント高くなっている。



(7) 子どもに対するDV

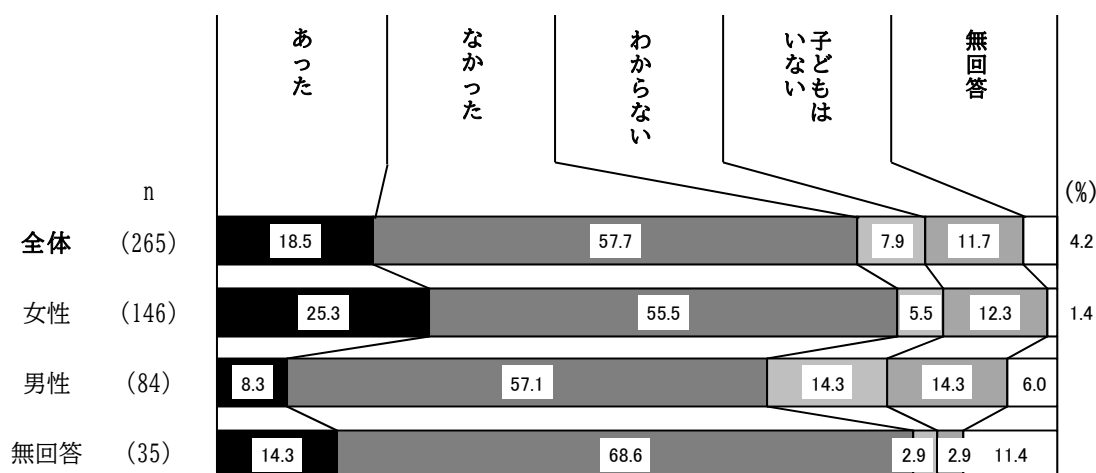
【問24で、「何度もあった」、または、「1、2度あった」に一つでも回答した方にお聞きします。】

問26 配偶者（パートナー）は、子ども（18歳未満）に対して、あなたがされていたことと同じことをしたことがありますか。（○は一つ）

全体では、「なかった」が57.7%で最も高くなっている。

【性別】

「あった」は、女性（25.3%）が男性（8.3%）に比べ、17.0ポイント高くなっている。



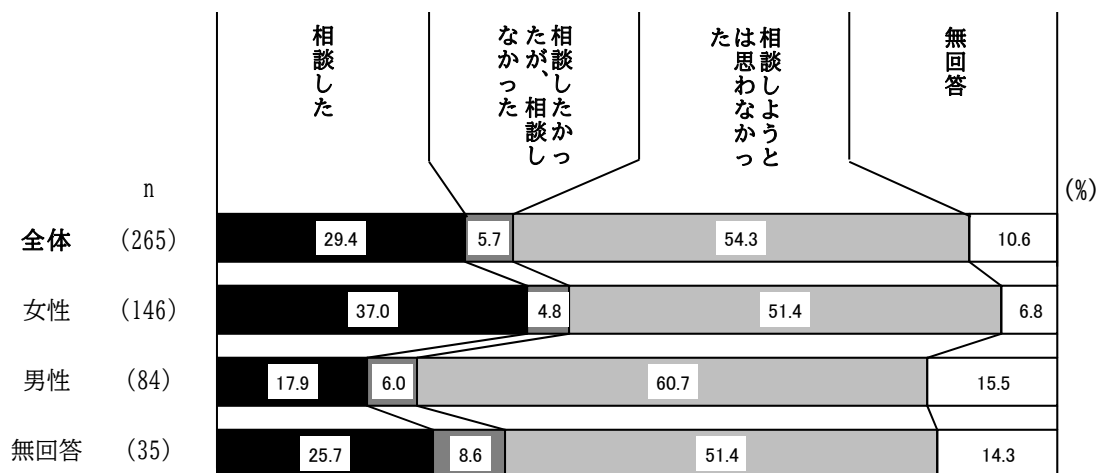
(8) 被害時の相談状況

【問24で、「何度もあった」、または、「1、2度あった」に一つでも回答した方にお聞きします。】
 問27 問24のことをされた時に、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。（○は一つ）

全体では、「相談しようとは思わなかった」が54.3%で最も高くなっている。

【性別】

男女差がある項目として、「相談した」は、女性（37.0%）が、男性（17.9%）に比べ、19.1ポイント高くなっている。一方、「相談しようとは思わなかった」は、男性（60.7%）が、女性（51.4%）に比べ、9.3ポイント高くなっている。

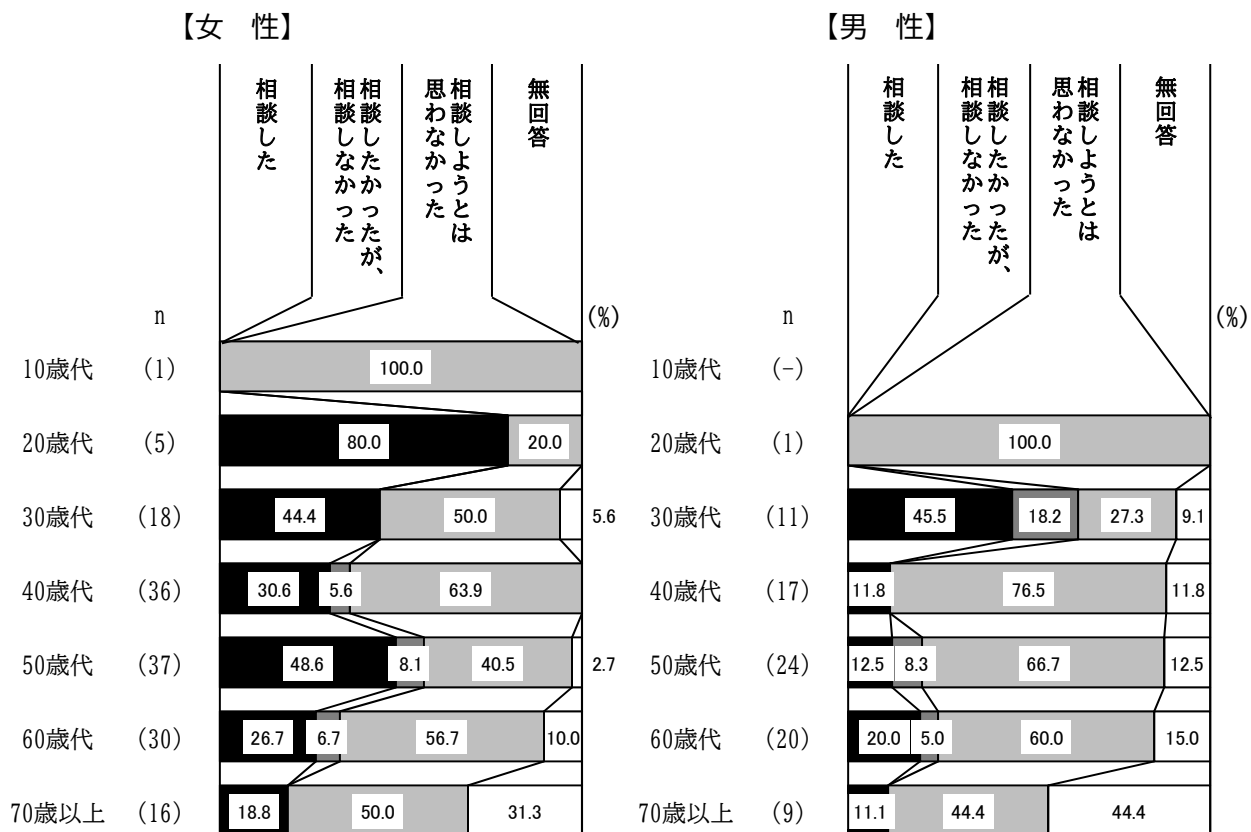


第3章 調査の結果

【性・年代別】

「相談した」は、【女性・20歳代】が80.0%で最も高く、次いで【女性・50歳代】(48.6%)、【男性・30歳代】(45.5%)、【女性・30歳代】(44.4%)となっている。

「相談しようとは思わなかった」は、【女性・20歳代】、【女性・50歳代】および【男性・30歳代】を除き、各性・年代において高くなっている。



※男性・10歳代は回答なし

(9) 被害時の相談先

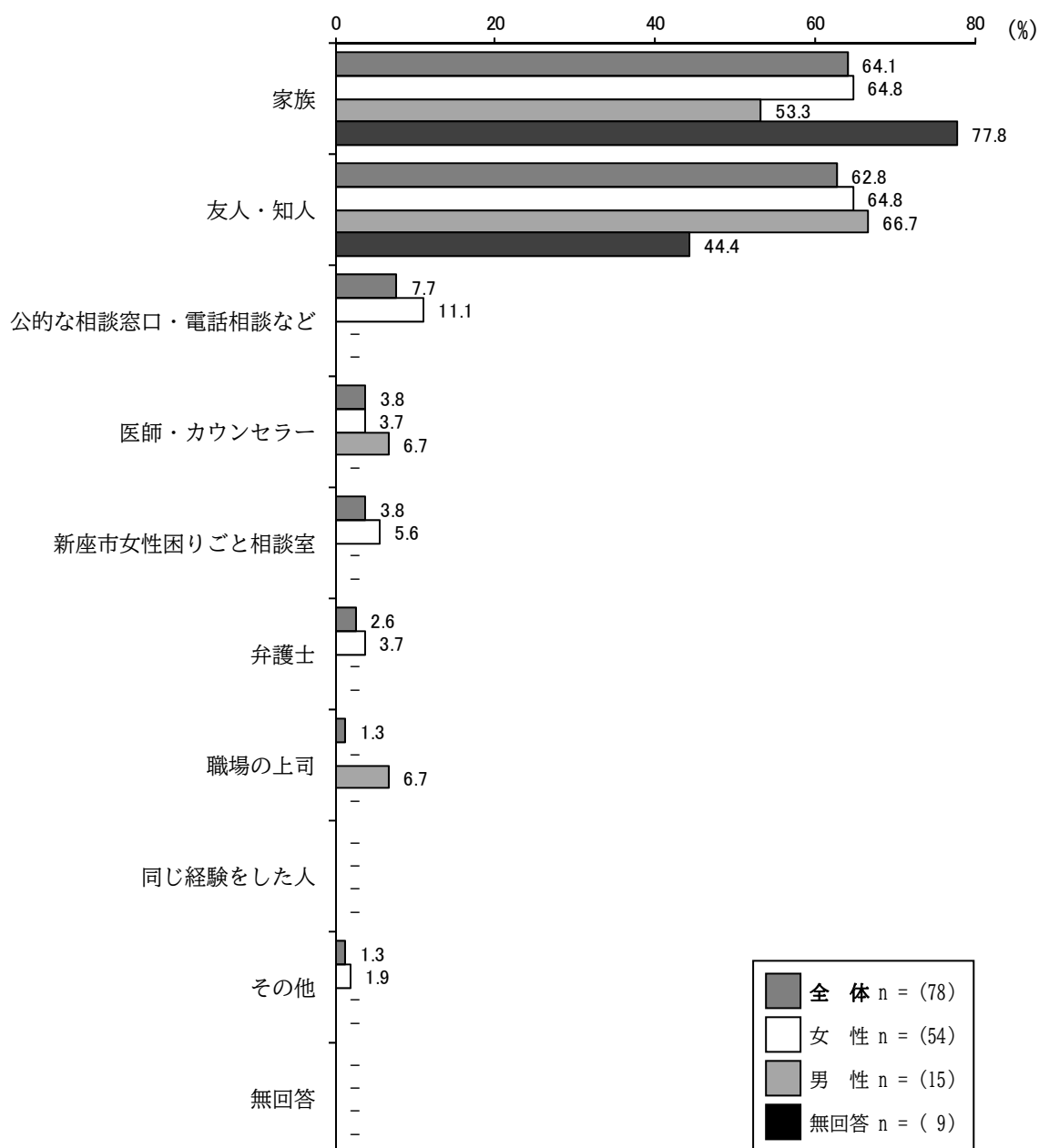
【問27で、「1 相談した」と回答した方にお聞きします。】

問27-1 実際に、だれ（どこ）に相談しましたか。（あてはまるものすべてに○）

全体では、「家族」が64.1%で最も高く、次いで「友人・知人」が62.8%となっている。

【性別】

男女差がある項目として、「家族」は、女性（64.8%）が、男性（53.3%）に比べ、11.5ポイント高くなっている。また、「公的な相談窓口・電話相談など」は、女性（11.1%）が、男性（0.0%）に比べ、高くなっている。



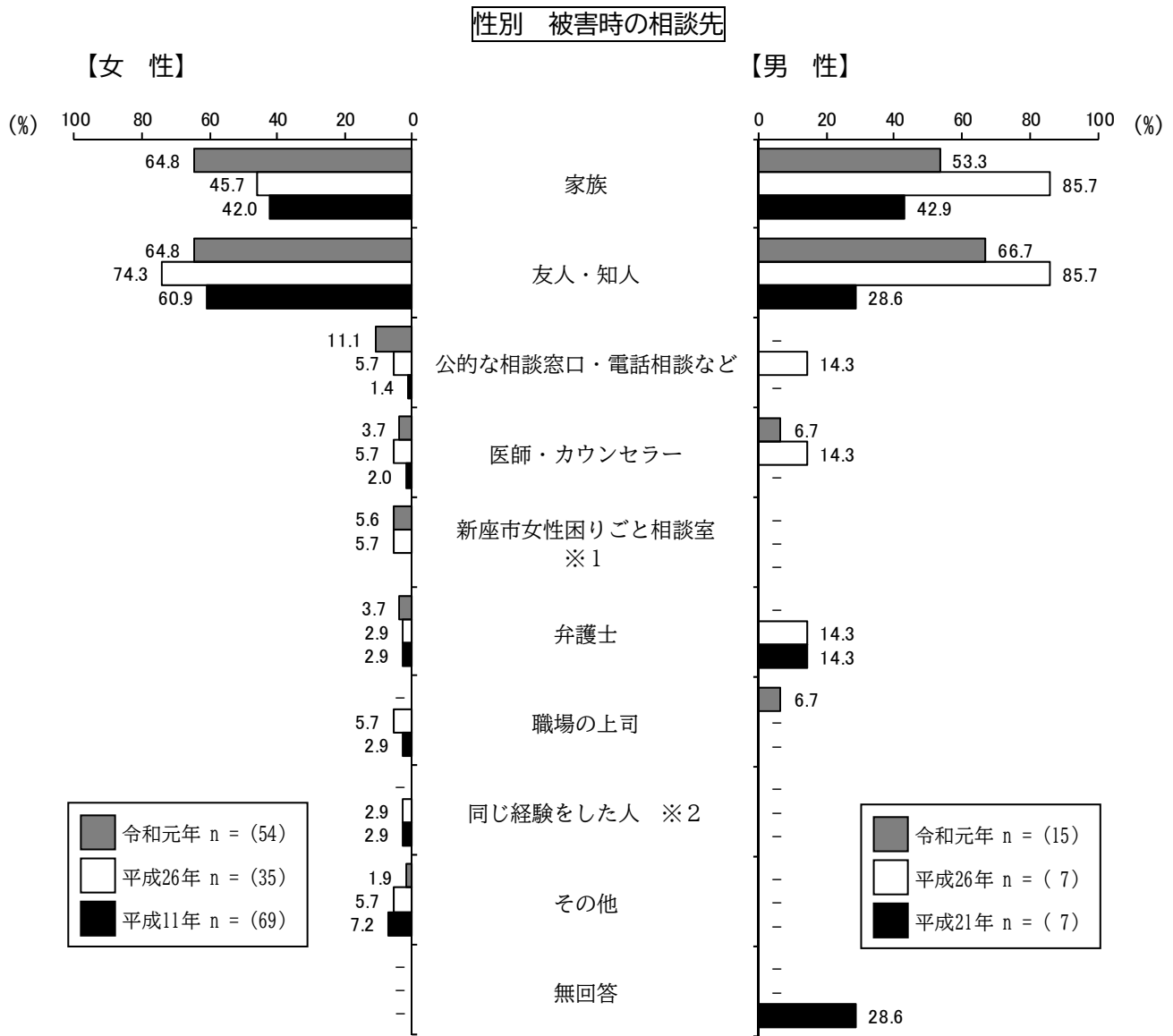
第3章 調査の結果

これまでの調査との比較

男性は平成21年調査から調査項目に追加された。

増減がある項目として、女性では、「家族」が[平成26年] (45.7%) に比べ、19.1ポイント増加している。

一方、男性では、「家族」が[平成26年] (85.7%) に比べ、32.4ポイント減少している。



※1 平成16調査から選択肢に加えた。

※2 平成16年調査までは、「同じ経験をした女性」。

(10) 被害時に相談できなかった理由

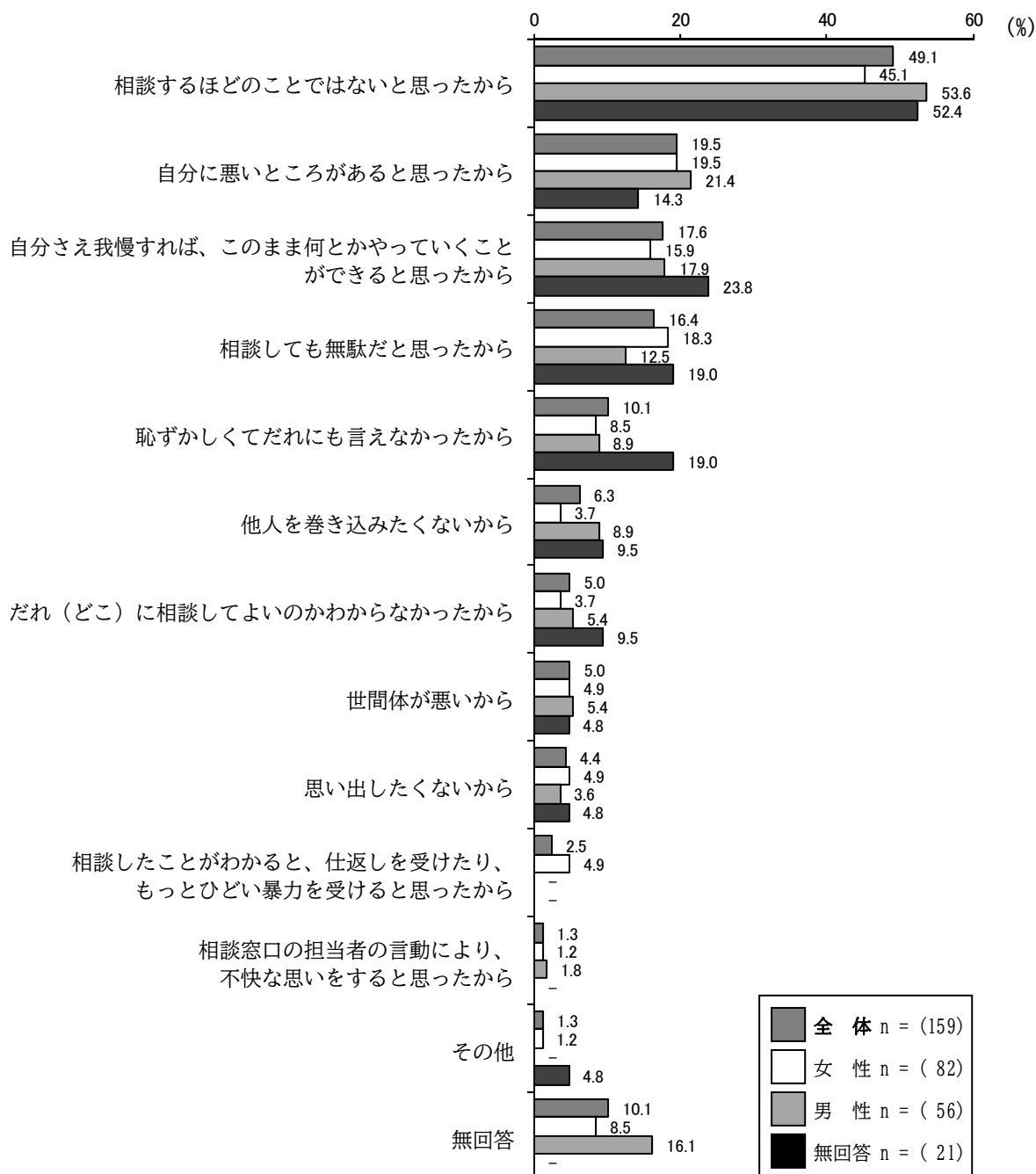
【問27で、「2 相談したかったが、相談しなかった」、または「3 相談しようとは思わなかった」と回答した方にお聞きします。】

問27-2 だれ(どこ)にも相談できなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「相談するほどのことではないと思ったから」が49.1%で最も高く、次いで「自分に悪いところがあると思ったから」が19.5%、「自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思ったから」が17.6%、「相談しても無駄だと思ったから」が16.4%となっている。

【性別】

男女差がある項目として、「相談するほどのことではないと思ったから」は、男性(53.6%)が、女性(45.1%)に比べ、8.5ポイント高くなっている。



(11) 10代から20代時の交際相手の有無

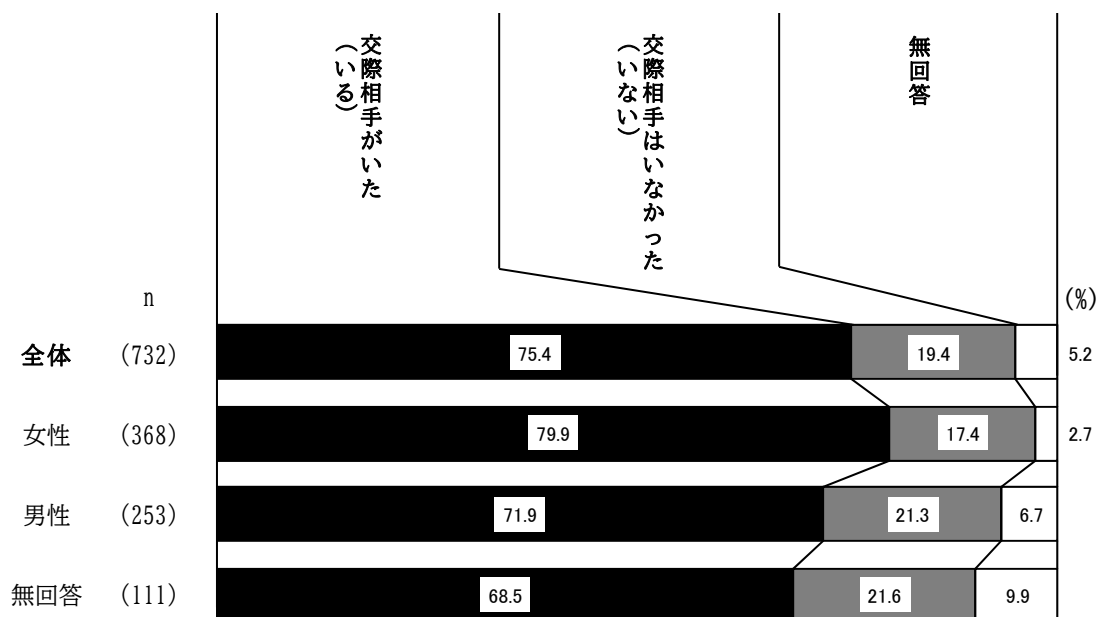
【あなたの10代から20代の経験についてお聞きします。結婚している方、結婚したことのある方については、結婚前についてお答えください。】

問28 10代から20代の時に、交際相手がありましたか。(○は一つ)

全体では、「交際相手があった(いる)」が75.4%で最も高くなっている。一方、「交際相手はなかった(いない)」が19.4%となっている。

【性別】

「交際相手があった(いる)」は、女性(79.9%)が、男性(71.9%)に比べ、8.0ポイント高くなっている。

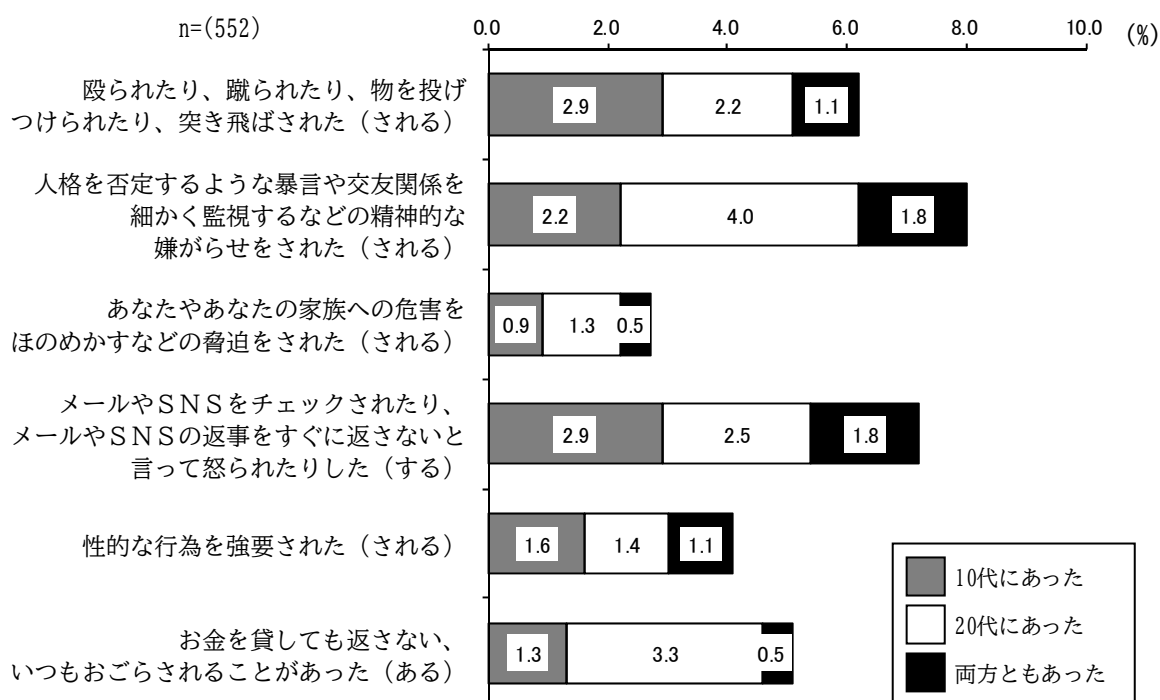


(12) デートDVの被害状況

【問28で、「1 交際相手がいた (いる)」と回答した方にお聞きます】

問29 10代、20代の時に、交際相手からア～カのようなことをされたことがありますか。
(○は各項目に一つ)

「人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせをされた (される)」、「メールやSNSをチェックされたり、メールやSNSの返事をすぐに返さないと言って怒られたりした (する)」が「10代にあった」と「20代にあった」と「両方ともあった」の合計が他の項目に比べ、高くなっている。

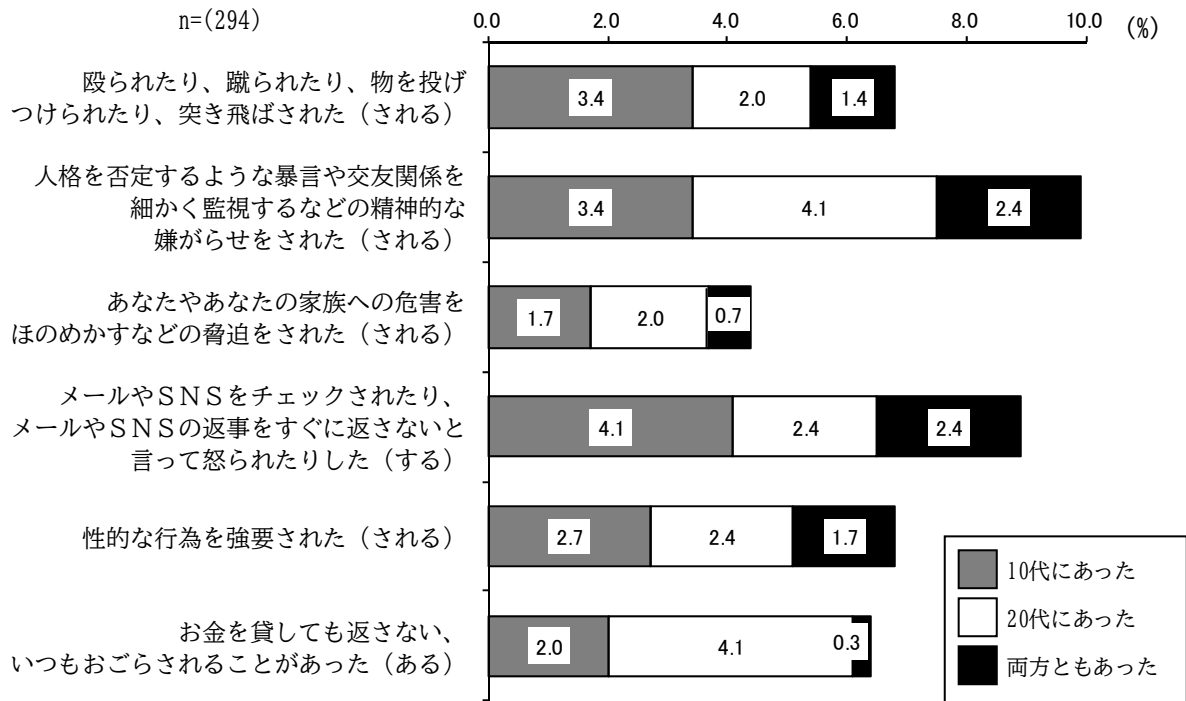


第3章 調査の結果

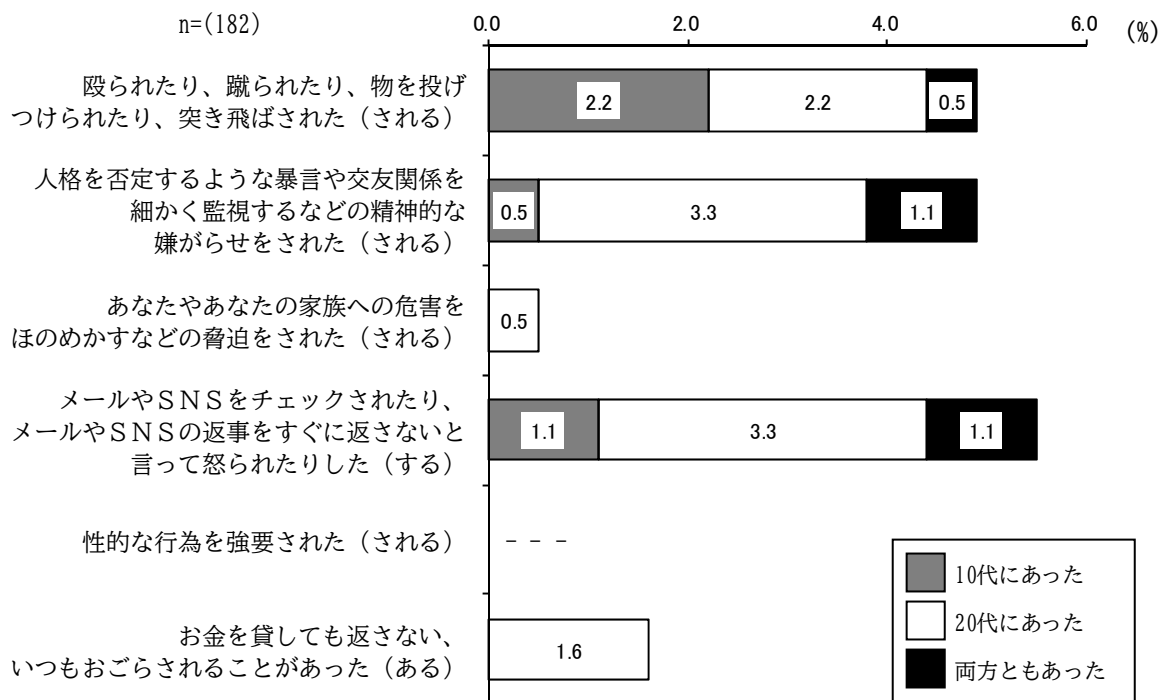
【性別】

デートDVの被害状況（「10代にあった」＋「20代にあった」＋「両方ともあった」）はいずれの項目も女性が男性に比べ、高くなっている。

【女性】



【男性】



(13) デートDVの相談状況

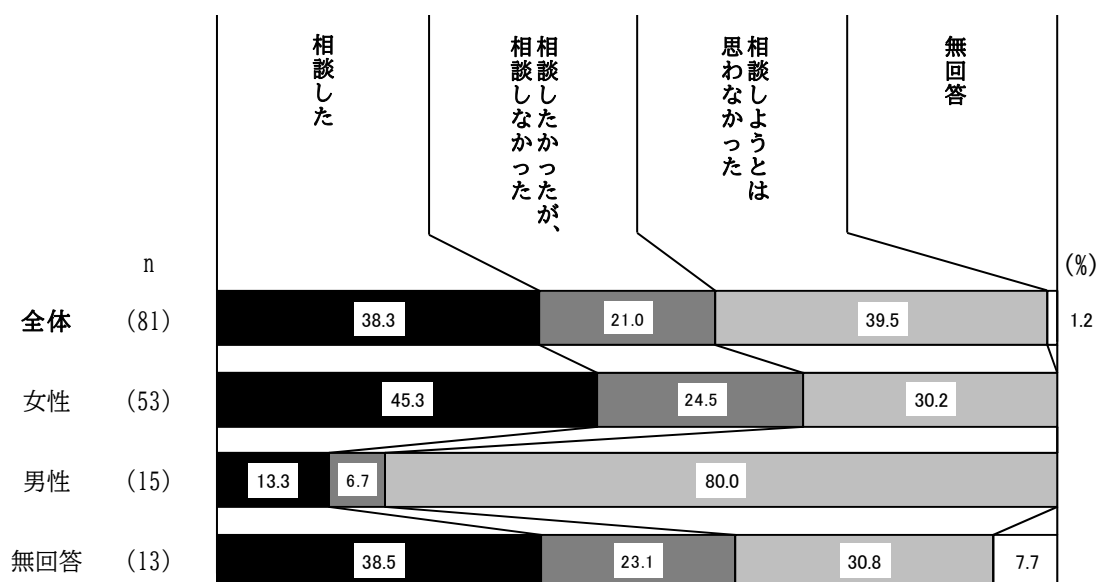
【問29で「10代にあった」、「20代にあった」、または、「両方ともあった」に一つでも回答した方にお聞きします】

問30 問29のことをされた時に、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。(○は一つ)

全体では、「相談しようとは思わなかった」が39.5%で最も高く、次いで「相談した」が38.3%、「相談したかったが、相談しなかった」が21.0%となっている。

【性別】

男女差がある項目として、「相談しようとは思わなかった」は、男性(80.0%)が、女性(30.2%)に比べ、49.8ポイント高くなっている。一方、「相談した」は、女性(45.3%)が、男性(13.3%)に比べ、32.0ポイント高くなっている。



(14) デートDVの相談先

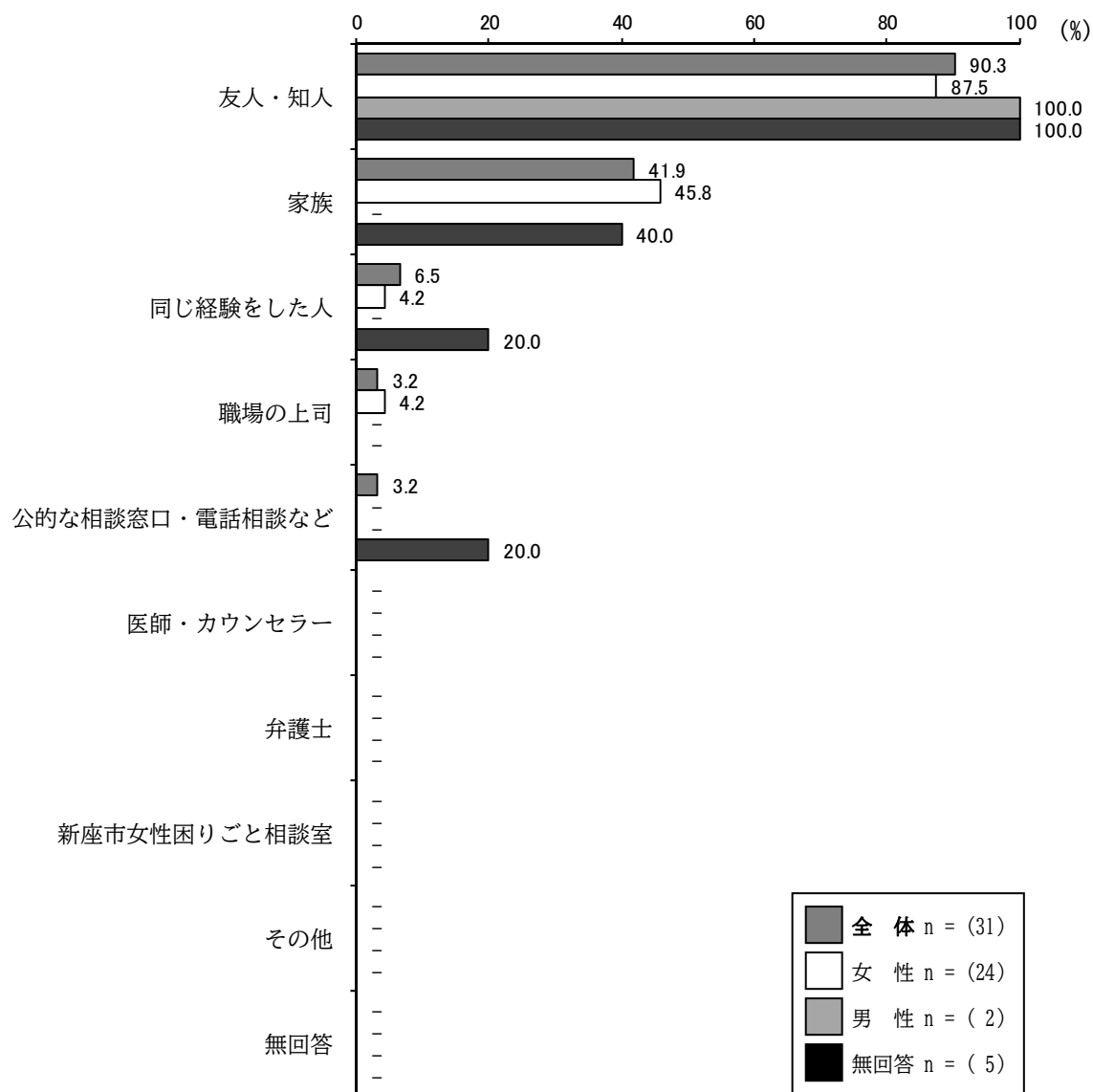
【問30で、「1 相談した」と回答した方にお聞きします。】

問31 実際に、だれ（どこ）に相談しましたか。（あてはまるものすべてに○）

全体では、「友人・知人」が90.3%で最も高く、次いで「家族」が41.9%となっている。

【性別】

男女ともに「知人・友人」が最も高くなっている。



6. 社会参加

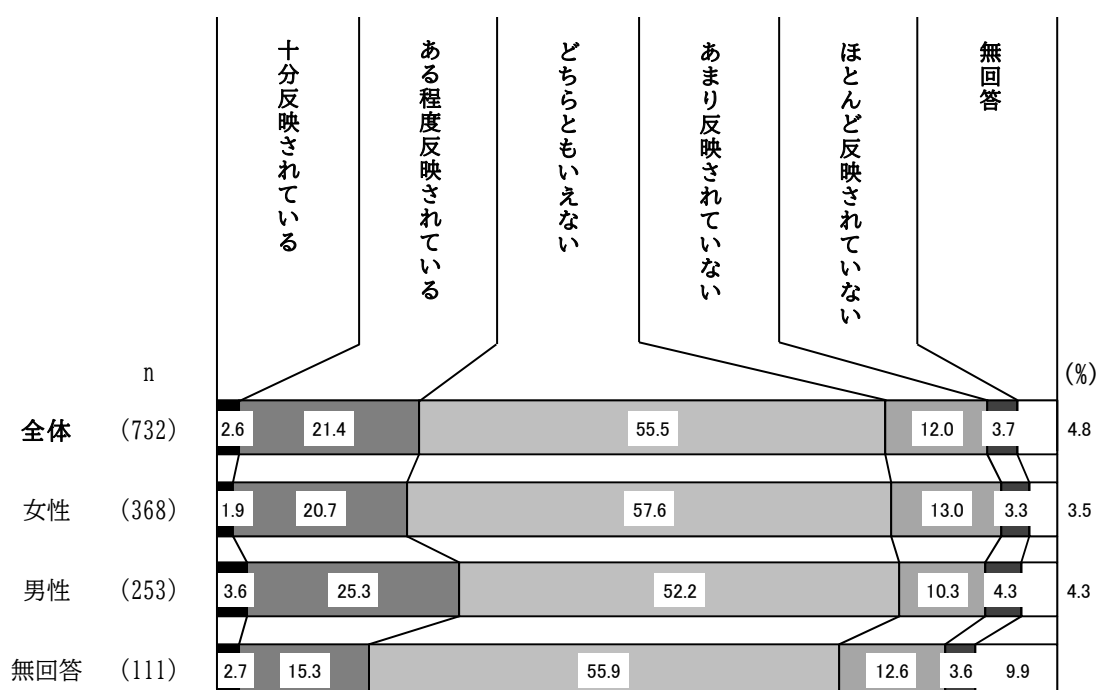
(1) 市の施策への女性の意見や考え方の反映

問32 あなたは、市の施策について女性の意見や考え方がどの程度反映されていると思いますか。(○は一つ)

全体では、「十分反映されている」(2.6%)と「ある程度反映されている」(21.4%)を合わせた『反映されている』が24.0%、「あまり反映されていない」(12.0%)と「ほとんど反映されていない」(3.7%)を合わせた『反映されていない』が15.7%となっている。

【性別】

『反映されている』は、男性(28.9%)が、女性(22.6%)に比べ、6.3ポイント高くなっている。



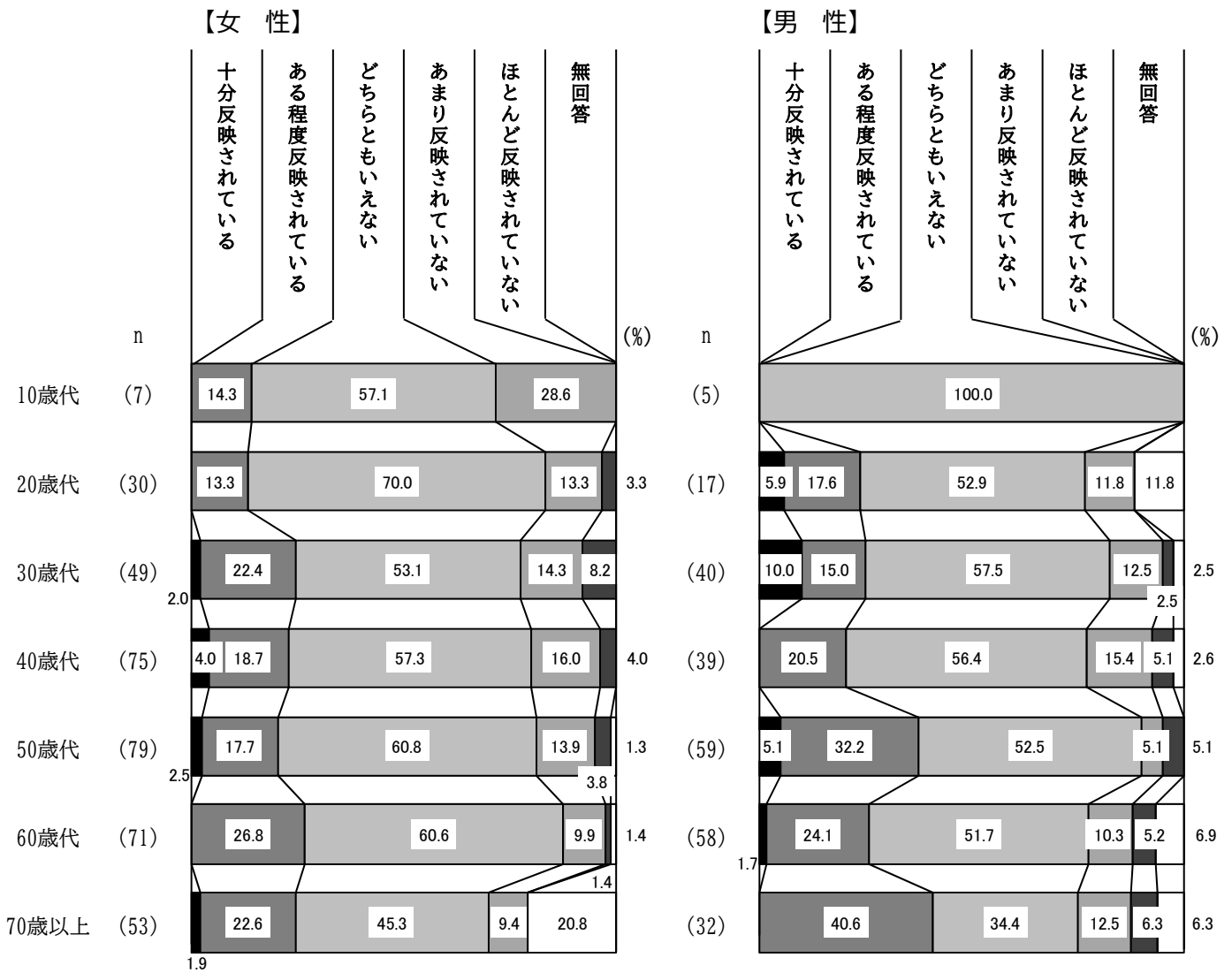
第3章 調査の結果

【性・年代別】

『反映されている』は、【男性・70歳以上】が40.6%で他の性・年代に比べ、高くなっている。

『反映されていない』は、【女性・10歳代】が28.6%で他の性・年代に比べ、高くなっている。

【男性・70歳以上】を除き、男女ともに「どちらともいえない」が最も高くなっている。



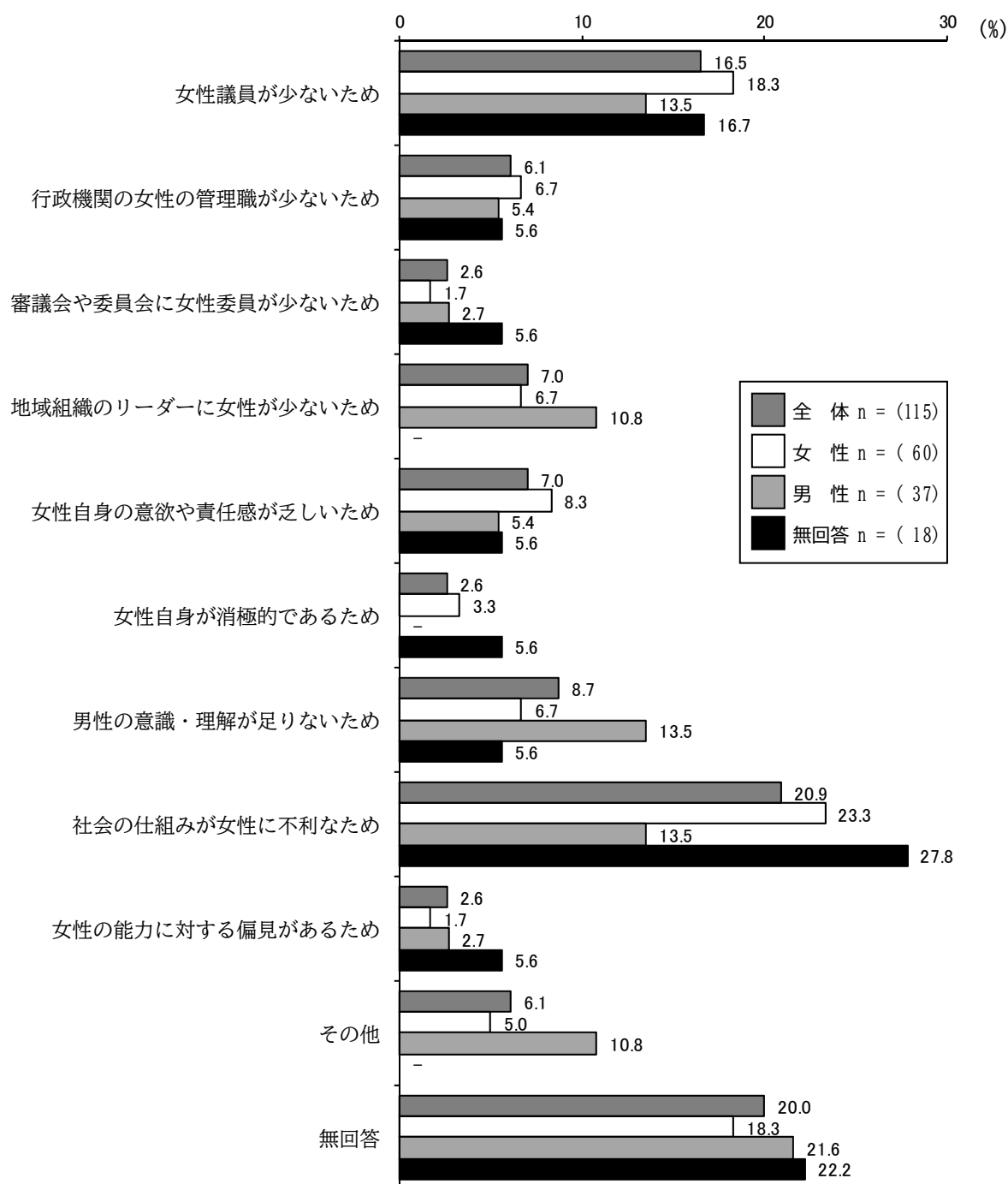
(2) 市の施策に女性の意見や考え方が反映されていないと思う理由

【問32で、「4 あまり反映されていない」、または「5 ほとんど反映されていない」と回答した方にお聞きします。】
 そう思う理由は何ですか。(〇は一つ)

全体では、無回答を除き、「社会の仕組みが女性に不利なため」が20.9%で最も高く、次いで「女性議員が少ないため」が16.5%となっている。

【性別】

男女差がある項目として、「社会の仕組みが女性に不利なため」は、女性(23.3%)が、男性(13.5%)に比べ、9.8ポイント高くなっている。



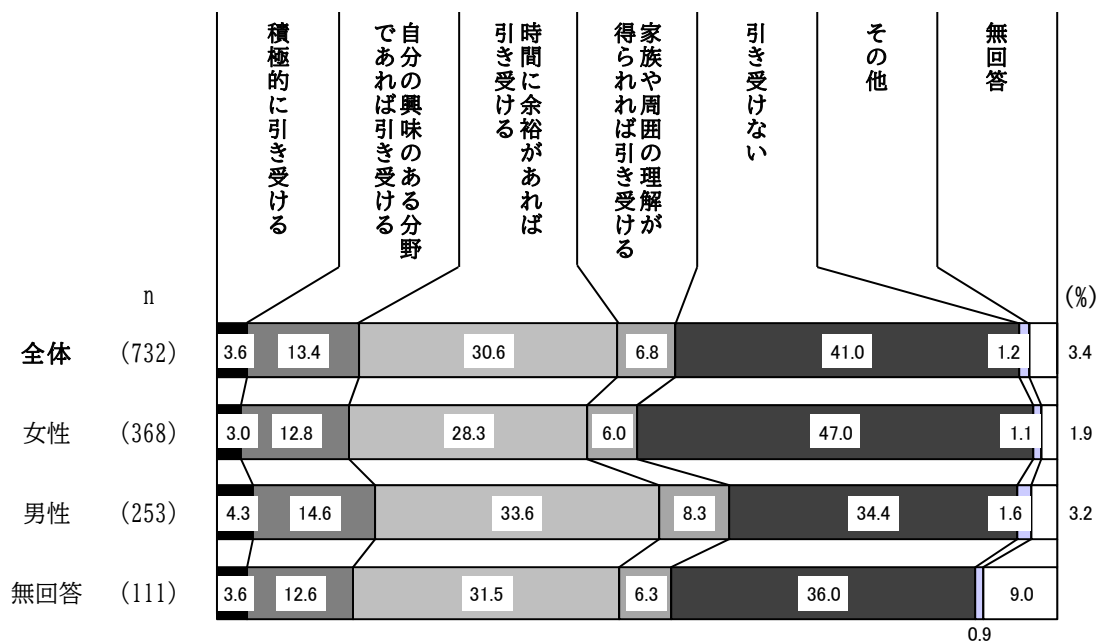
(3) 協議会、審議会、委員会への就任意向

問33 市には各種の協議会、審議会、委員会があり、市民の方に委員をお願いしていますが、このような委員への就任依頼があった場合、あなたはどうしますか。(○は一つ)

全体では、「引き受けない」が41.0%で最も高く、次いで「時間に余裕があれば引き受ける」が30.6%、「自分の興味のある分野であれば引き受ける」が13.4%となっている。

【性別】

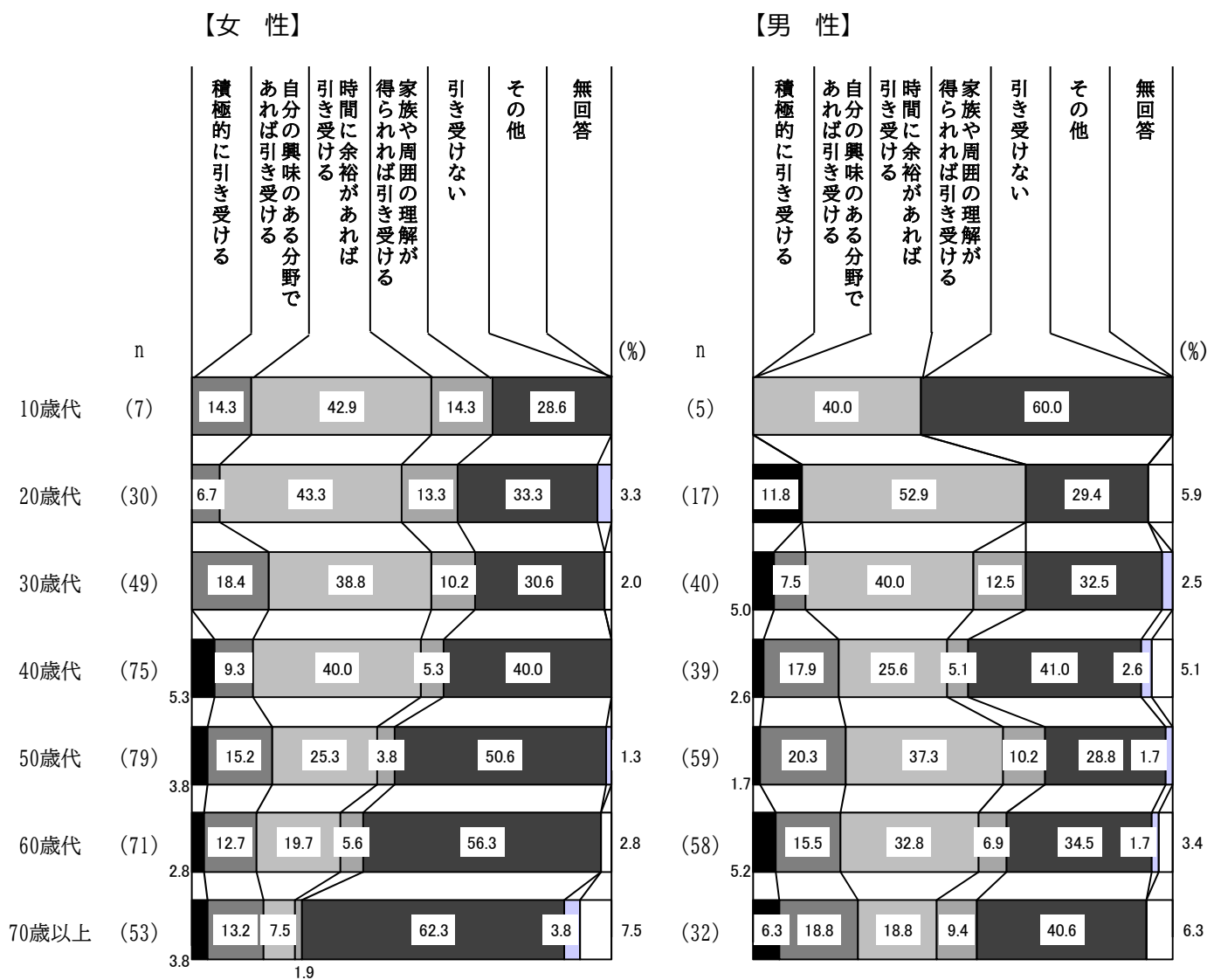
男女差がある項目として、「引き受けない」は、女性(47.0%)が、男性(34.4%)に比べ、12.6ポイント高くなっている。



【性・年代別】

「引き受けない」は、女性の50歳代以上で半数を超え、70歳以上（62.3%）が特に高くなっている。

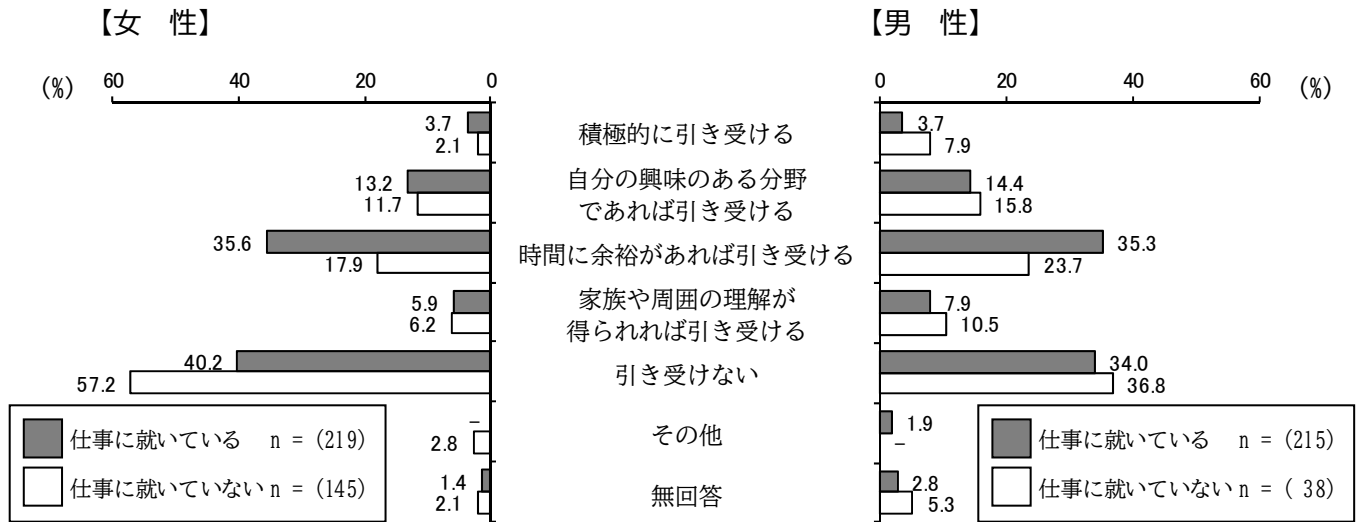
「積極的に引き受ける」、「自分の興味のある分野であれば引き受ける」、「時間に余裕があれば引き受ける」、「家族や周囲の理解が得られれば引き受ける」の合計では【女性・10歳代】が71.5%で最も高く、次いで【男性・50歳代】（69.5%）となっている。



第3章 調査の結果

【性・就労状況別】

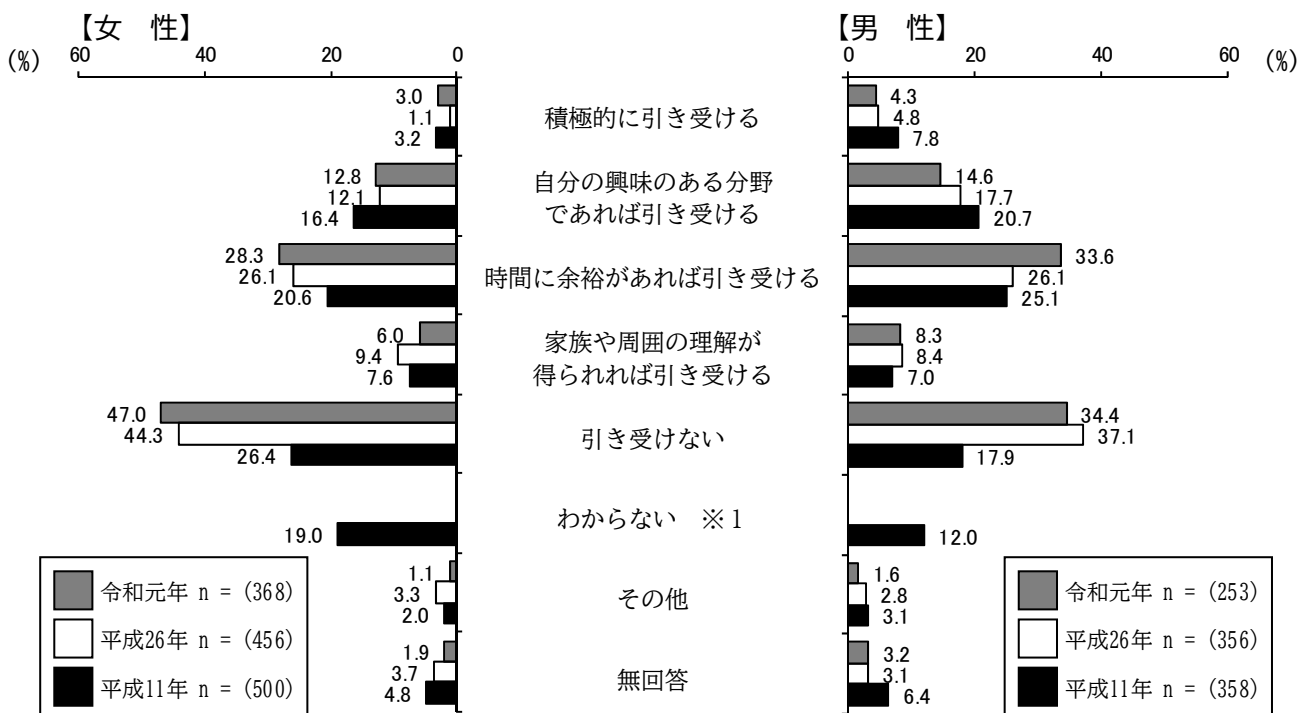
男女ともに「時間に余裕があれば引き受ける」は、【仕事に就いている】が【仕事に就いていない】に比べ、高くなっている。



これまでの調査との比較

増減がある項目として、「時間に余裕があれば引き受ける」は、男性が [平成26年] (26.1%) に比べ、7.5ポイント増加している。

性別 協議会、審議会、委員会への就任意向



※1 平成21年調査までの選択肢である。

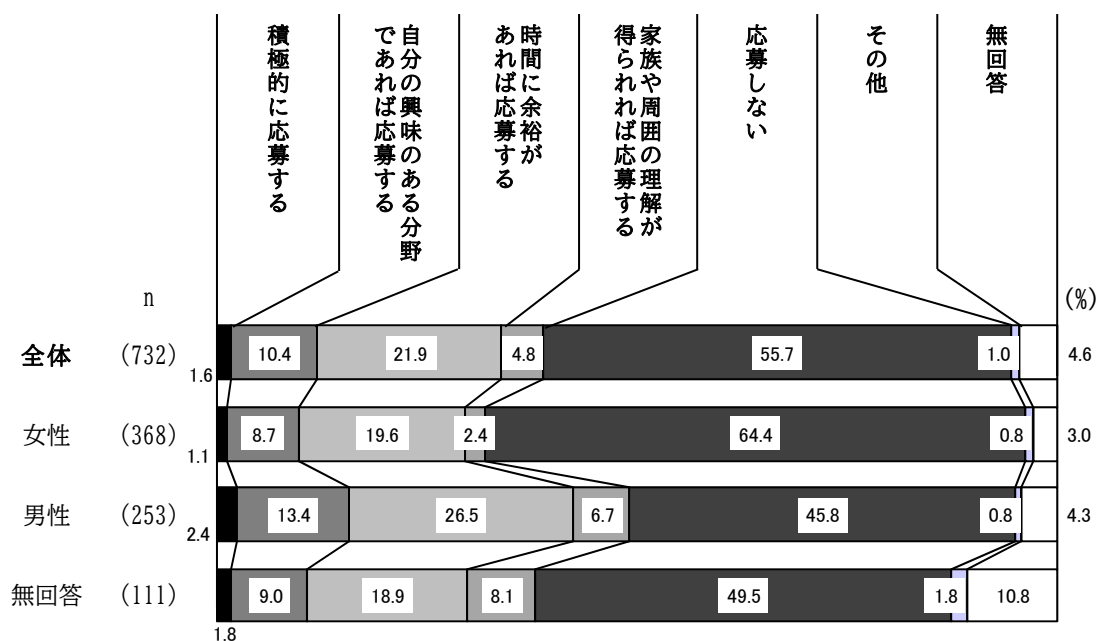
(4) 協議会、審議会、委員会以外の委員への就任意向

問34 問33の場合以外に、市では、委員を募集する場合があります。このような募集があった場合、あなたはどのようにしますか。(○は一つ)

全体では、「応募しない」が55.7%で最も高く、次いで「時間に余裕があれば応募する」が21.9%となっている。

【性別】

男女差がある項目として、「応募しない」は、女性(64.4%)が、男性(45.8%)に比べ、18.6ポイント高くなっている。

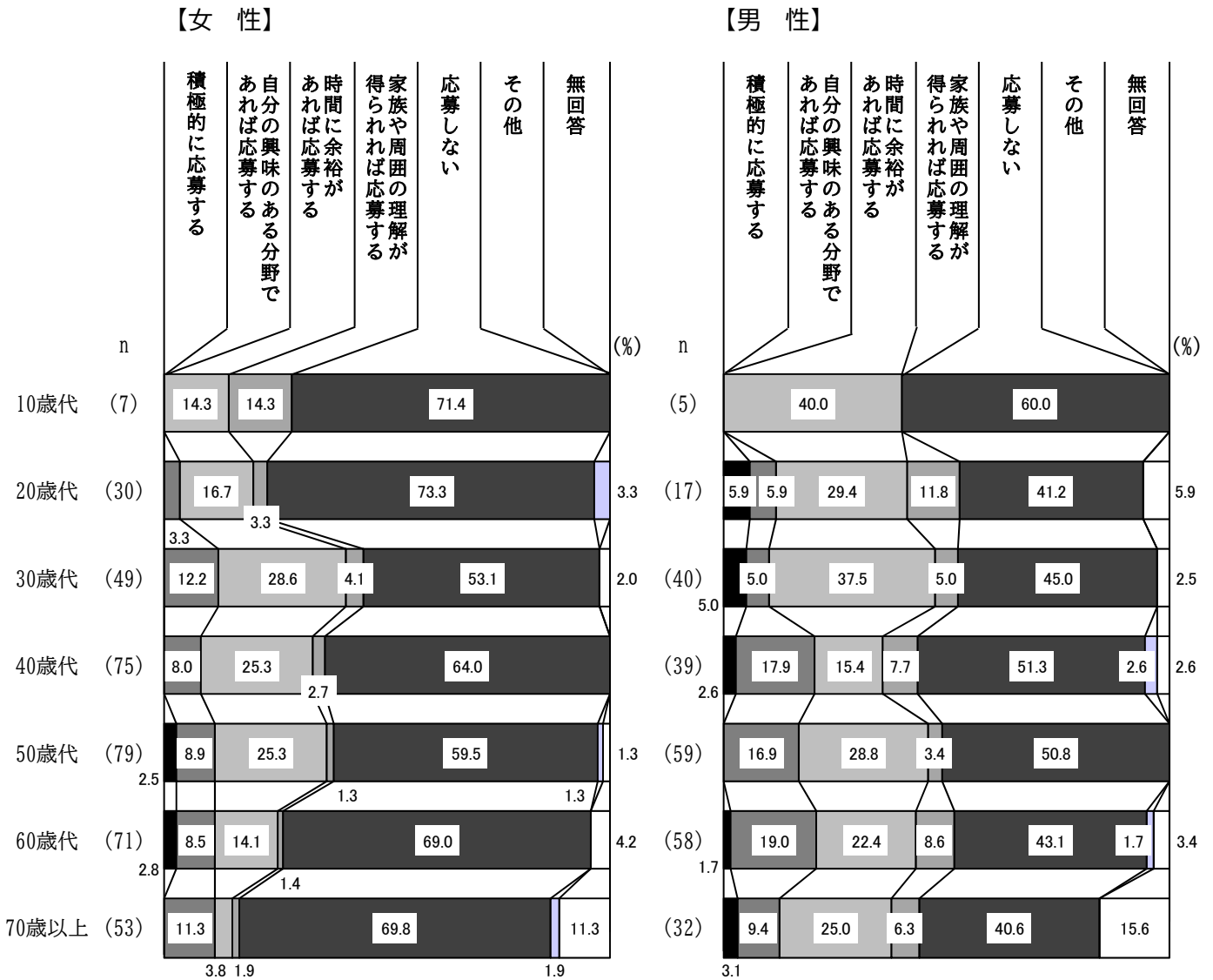


第3章 調査の結果

【性・年代別】

すべての年代で「応募しない」は女性が男性に比べ、高くなっている。

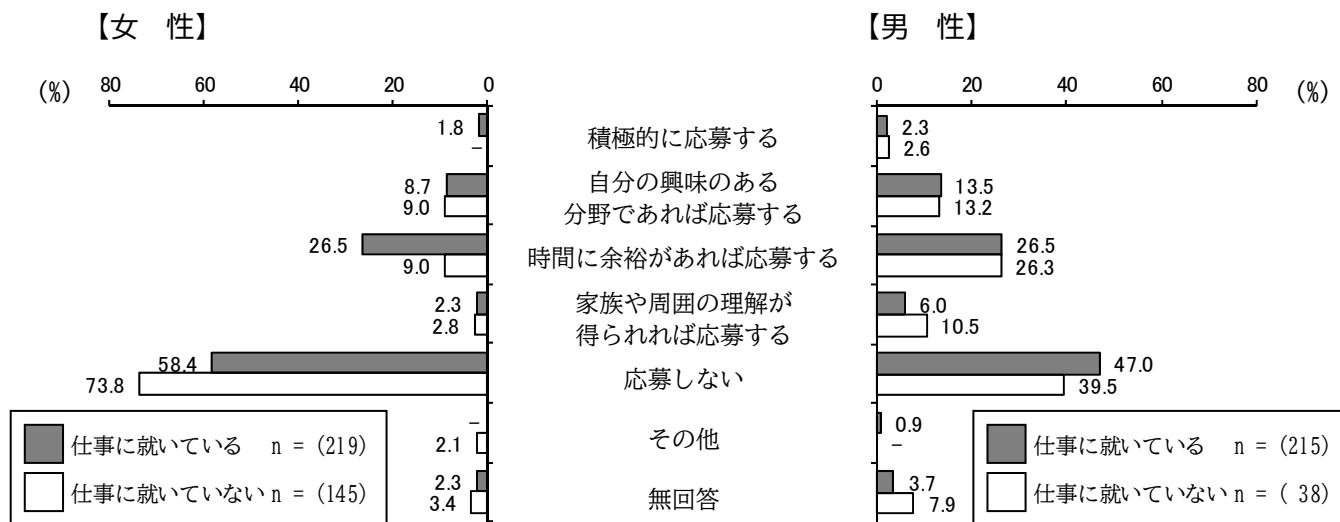
「時間に余裕があれば応募する」は、【男性・10歳代】が40.0%、「応募しない」は、【女性・20歳代】が73.3%で他の性・年代に比べ、高くなっている。



【性・就労状況別】

女性において、「時間に余裕があれば応募する」は、【仕事に就いている】（26.5%）が、【仕事に就いていない】（9.0%）に比べ、17.5ポイント高くなっている。

一方、男性において「応募しない」は、【仕事に就いている】（47.0%）が、【仕事に就いていない】（39.5%）に比べ、7.5ポイント高くなっている。

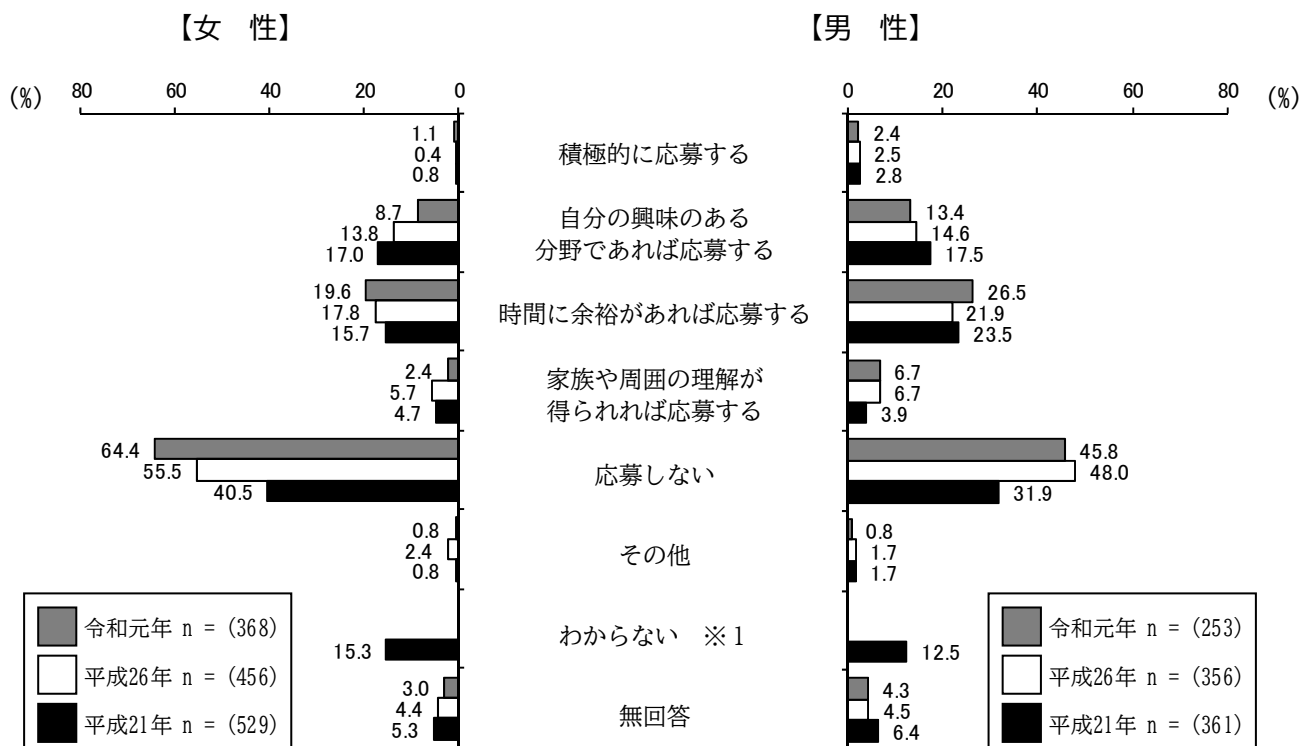


これまでの調査との比較

平成21年調査から調査項目に追加された。

「応募しない」は、女性が[平成26年]（55.5%）に比べ、8.9ポイント増加している。

性別 協議会、審議会、委員会以外の委員への就任意向



※1 平成21年調査までの選択肢である。

7. 防災

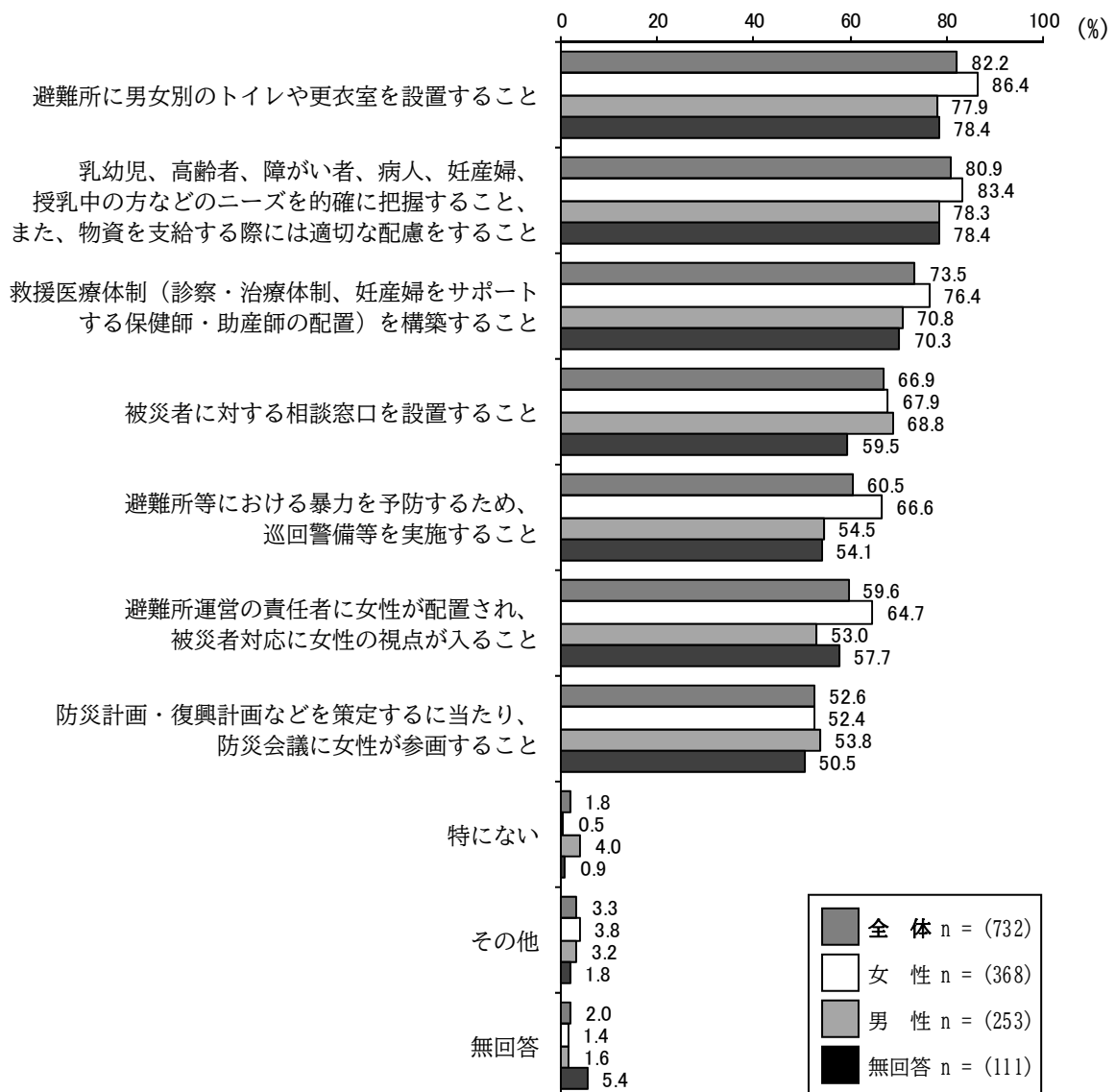
(1) 防災・災害復興対策で配慮すべきこと

問35 防災・災害復興対策で配慮して取り組む必要があると思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「避難所に男女別のトイレや更衣室を設置すること」が82.2%で最も高く、次いで「乳幼児、高齢者、障がい者、病人、妊産婦、授乳中の方などのニーズを的確に把握すること、また、物資を支給する際には適切な配慮をすること」が80.9%、「救援医療体制（診察・治療体制、妊産婦をサポートする保健師・助産師の配置）を構築すること」が73.5%、「被災者に対する相談窓口を設置すること」が66.9%となっている。

【性別】

男女差がある項目として、「避難所等における暴力を予防するため、巡回警備等を実施すること」は女性（66.6%）が、男性（54.5%）を12.1ポイント、「避難所運営の責任者に女性が配置され、被災者対応に女性の視点が入ること」は女性（64.7%）が、男性（53.0%）を11.7ポイント上回っている。



8. 男女平等

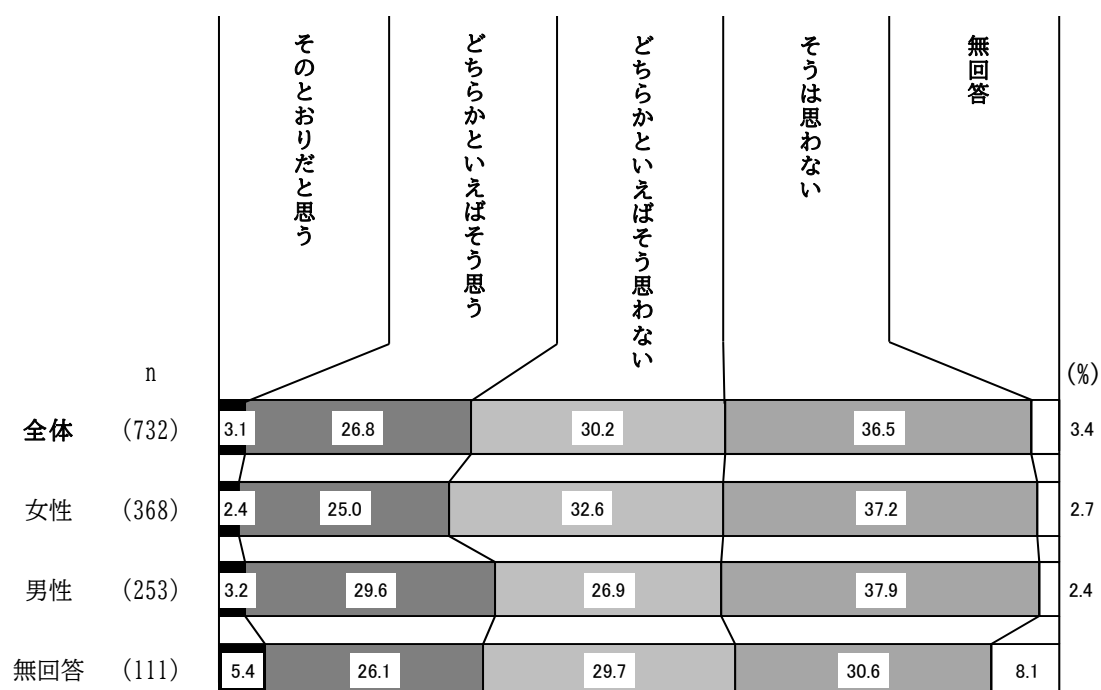
(1) 性別役割分担意識

問36 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。(○は一つ)

全体では、「そのとおりだと思う」(3.1%)と「どちらかといえばそう思う」(26.8%)を合わせた『そう思う』が29.9%、「どちらかといえばそう思わない」(30.2%)と「そうは思わない」(36.5%)を合わせた『そう思わない』が66.7%となっている。

【性別】

『そう思う』は、男性(32.8%)が、女性(27.4%)に比べ、5.4ポイント高くなっている。



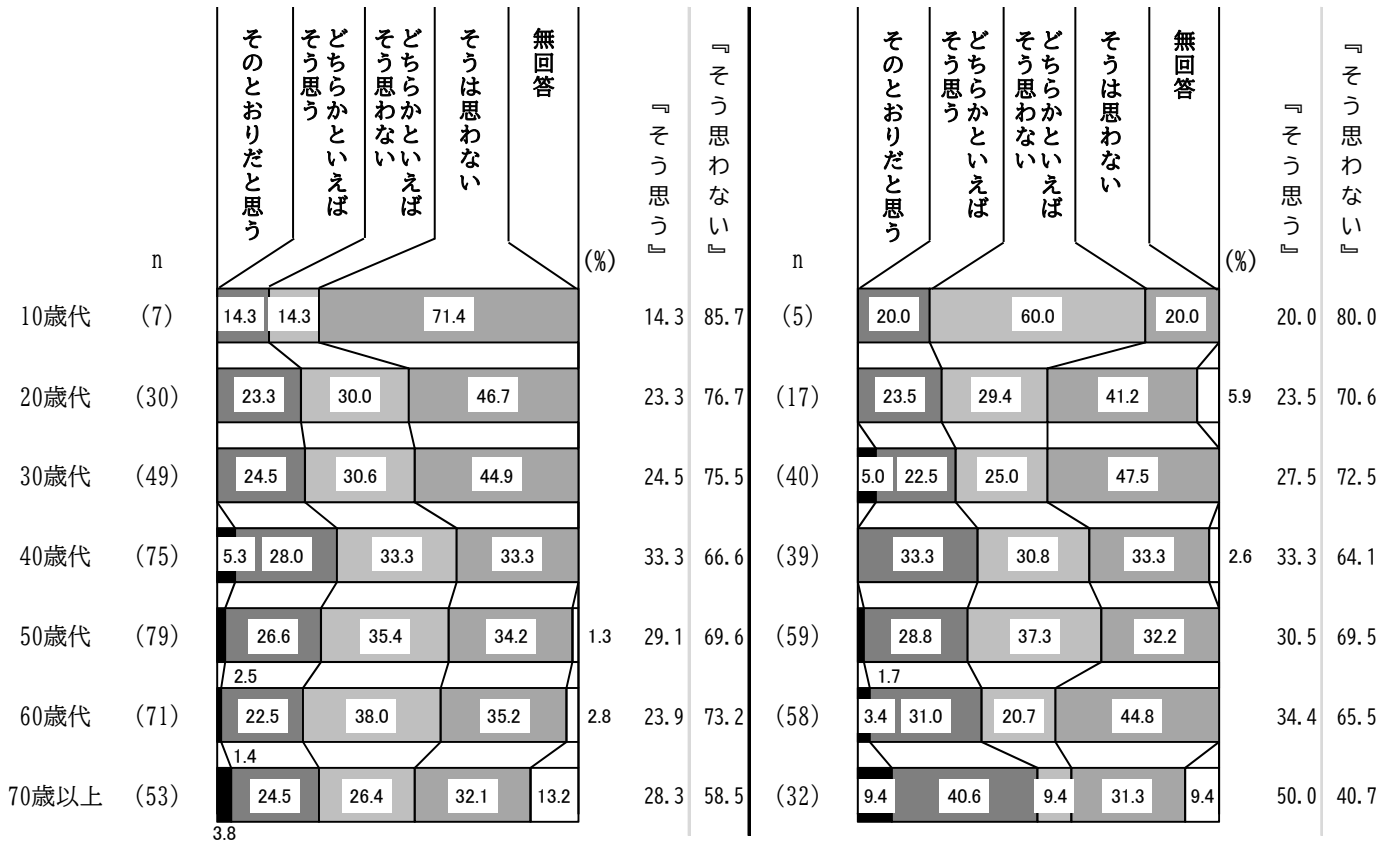
第3章 調査の結果

【性・年代別】

【男性・70歳以上】を除く、すべての性・年代で『そう思わない』が『そう思う』よりも高くなっている。

【女性】

【男性】

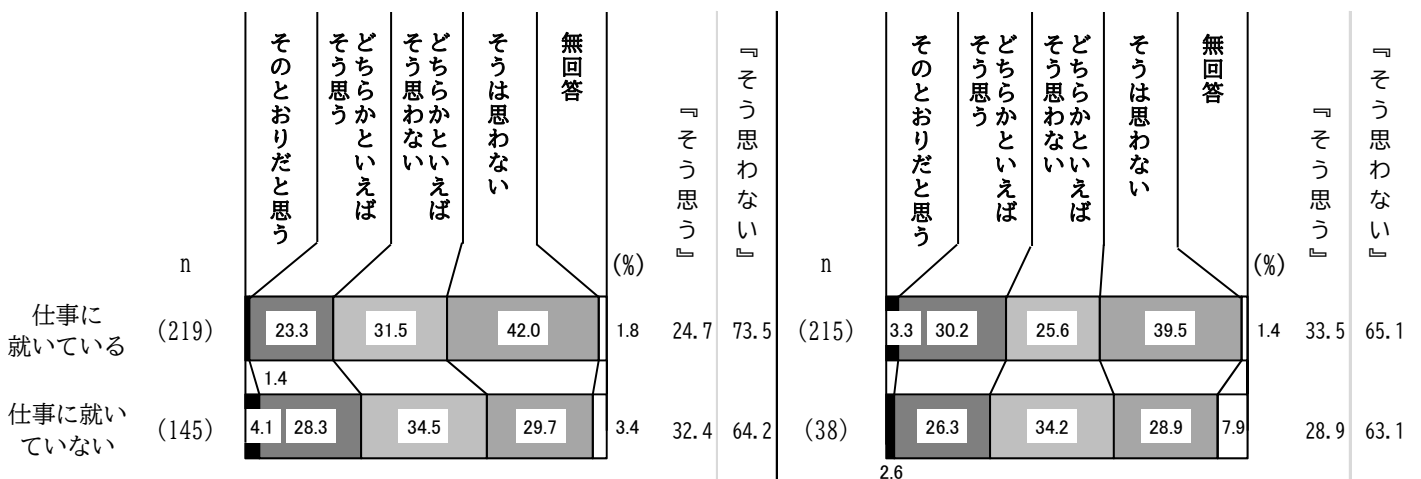


【性・就労状況別】

『そう思わない』は、男性・女性ともに【仕事に就いている】が【仕事に就いていない】に比べ、高くなっている。

【女性】

【男性】



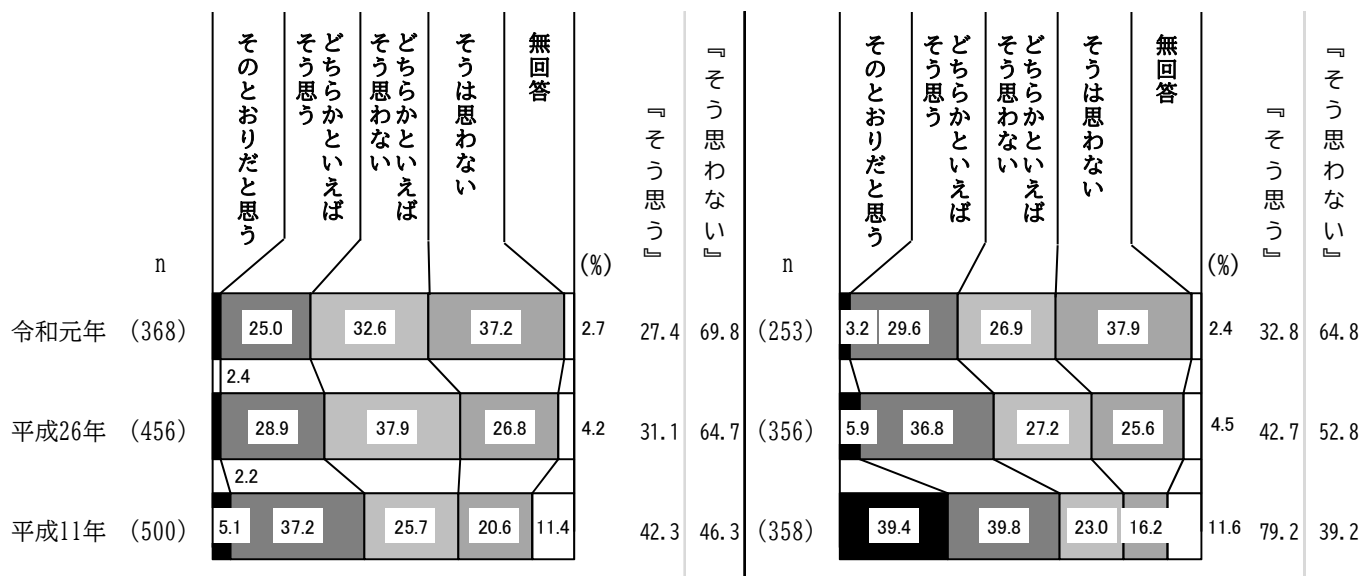
これまでの調査との比較

『そう思わない』は、男女とも増加傾向にあり、[平成11年]に比べ、それぞれ20ポイント以上増加している。

性別 性別役割分担意識

【女性】

【男性】



第3章 調査の結果

(2) 賛成の理由

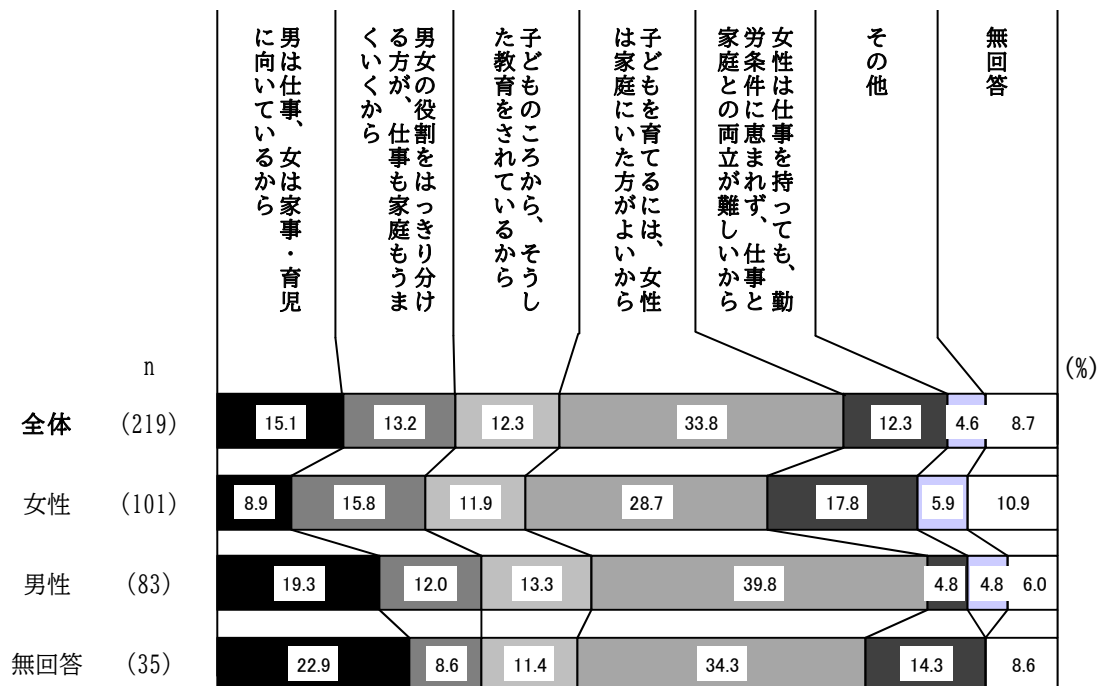
【問36で、「1 そのとおりだと思う」、または「2 どちらかといえばそう思う」と回答した方にお聞きします。】

問36-1 その理由は何ですか。(○は一つ)

全体では、「子どもを育てるには、女性は家庭にいた方がよいから」が33.8%で最も高く、次いで「男は仕事、女は家事・育児に向いているから」が15.1%、「男女の役割をはっきり分ける方が、仕事も家庭もうまくいくから」が13.2%、「子どものころから、そうした教育をされているから」および「女性は仕事を持っても、勤労条件に恵まれず、仕事と家庭との両立が難しいから」がともに12.3%となっている。

【性別】

男女差がある項目として、「女性は仕事を持っても、勤労条件に恵まれず、仕事と家庭との両立が難しいから」は、女性(17.8%)が、男性(4.8%)に比べ、13.0ポイント高くなっている。



(3) 反対の理由

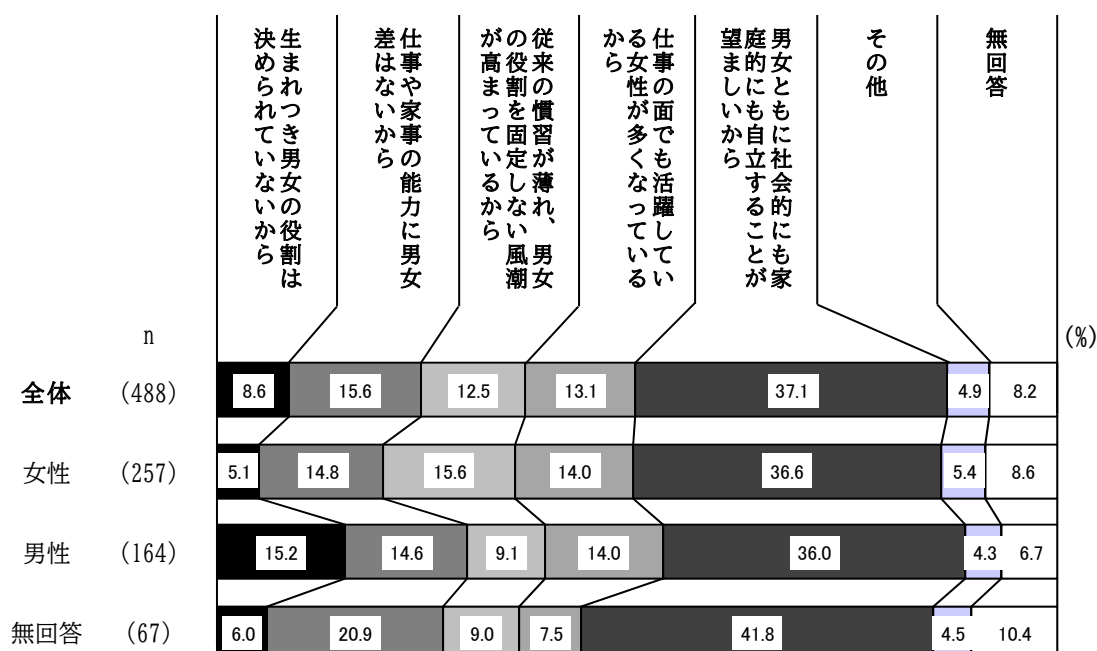
【問36で、「3 どちらかといえばそう思わない」、または「4 そうは思わない」と回答した方にお聞きします。】

問36-2 その理由は何ですか。(〇は一つ)

全体では、「男女ともに社会的にも家庭的にも自立することが望ましいから」が37.1%で最も高く、次いで「仕事や家事の能力に男女差はないから」が15.6%、「仕事の面でも活躍している女性が多くなっているから」が13.1%、「従来の慣習が薄れ、男女の役割を固定しない風潮が高まっているから」が12.5%となっている。

【性別】

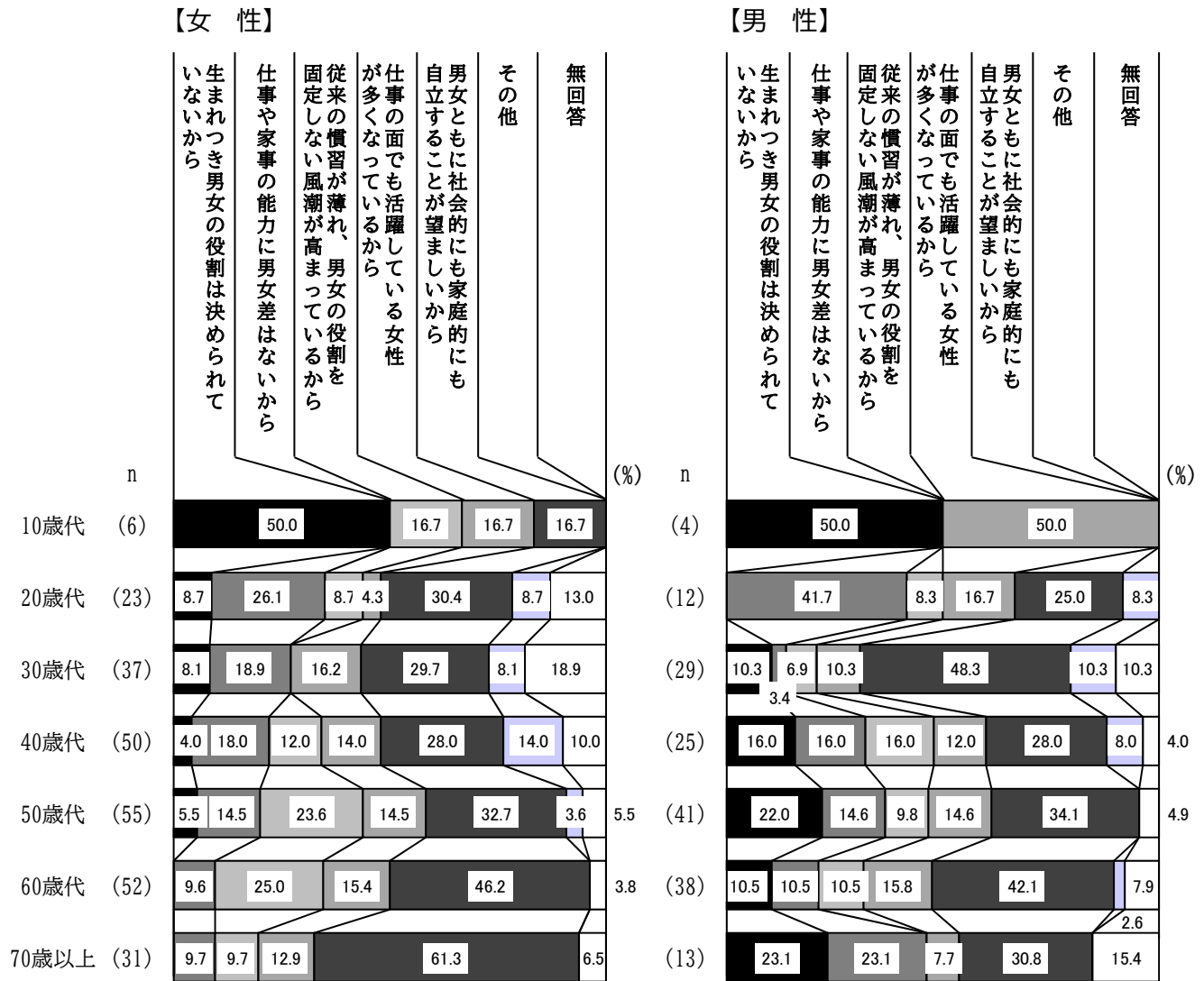
男女差がある項目として、「生まれつき男女の役割は決められていないから」は、男性(15.2%)が、女性(5.1%)に比べ、10.1ポイント高くなっている。



第3章 調査の結果

【性・年代別】

10歳代および【男性・20歳代】を除くすべての性・年代で「男女ともに社会的にも家庭的にも自立することが望ましいから」が最も高く、特に【女性・70歳以上】が61.3%と他の性・年代に比べ、高くなっている。



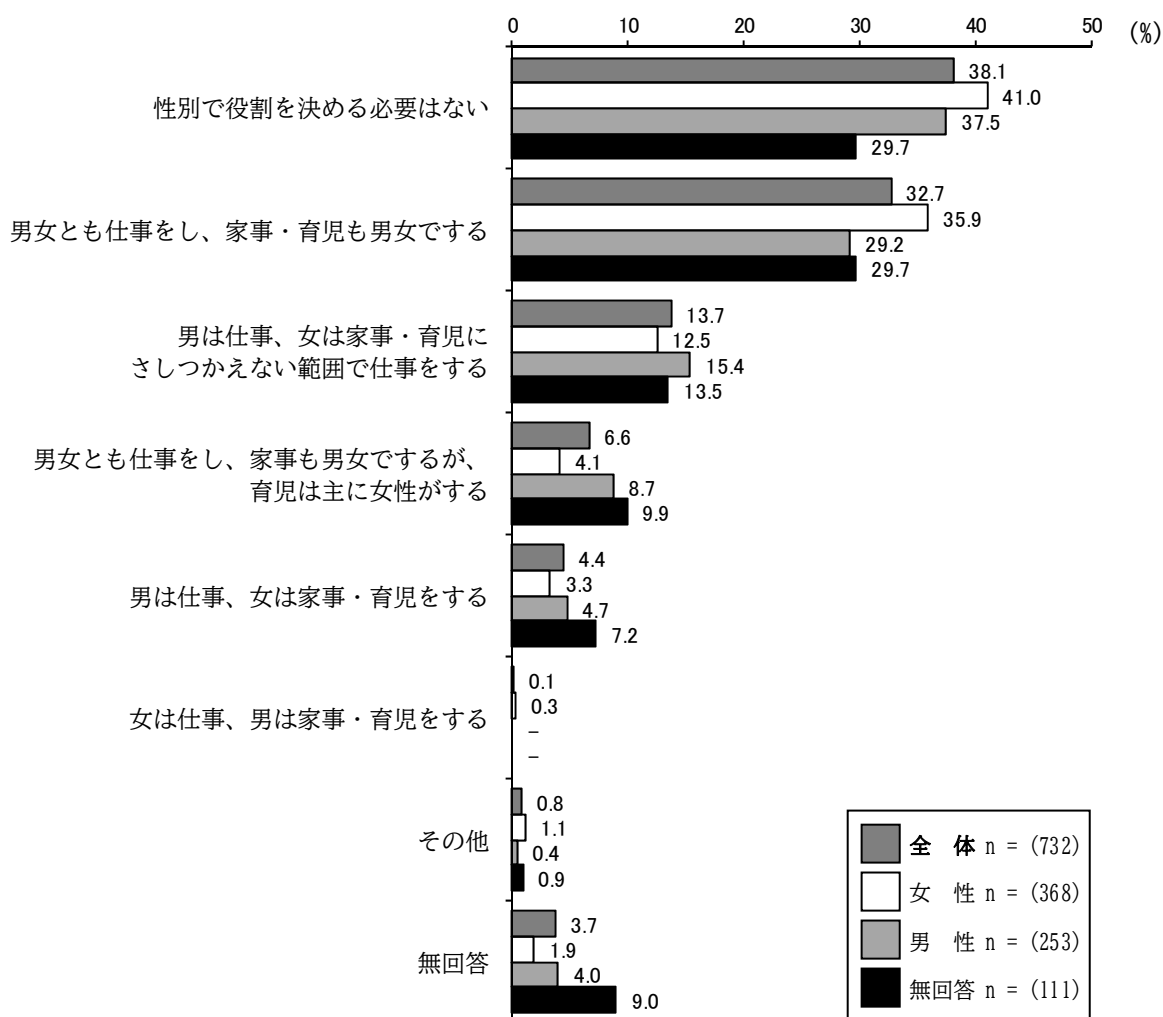
(4) 男女の役割について

問37 日常生活における男女の役割について、本来どうあるべきだと思いますか。(○は一つ)

全体では、「性別で役割を決める必要はない」が38.1%で最も高く、次いで「男女とも仕事をし、家事・育児も男女でする」が32.7%となっている。

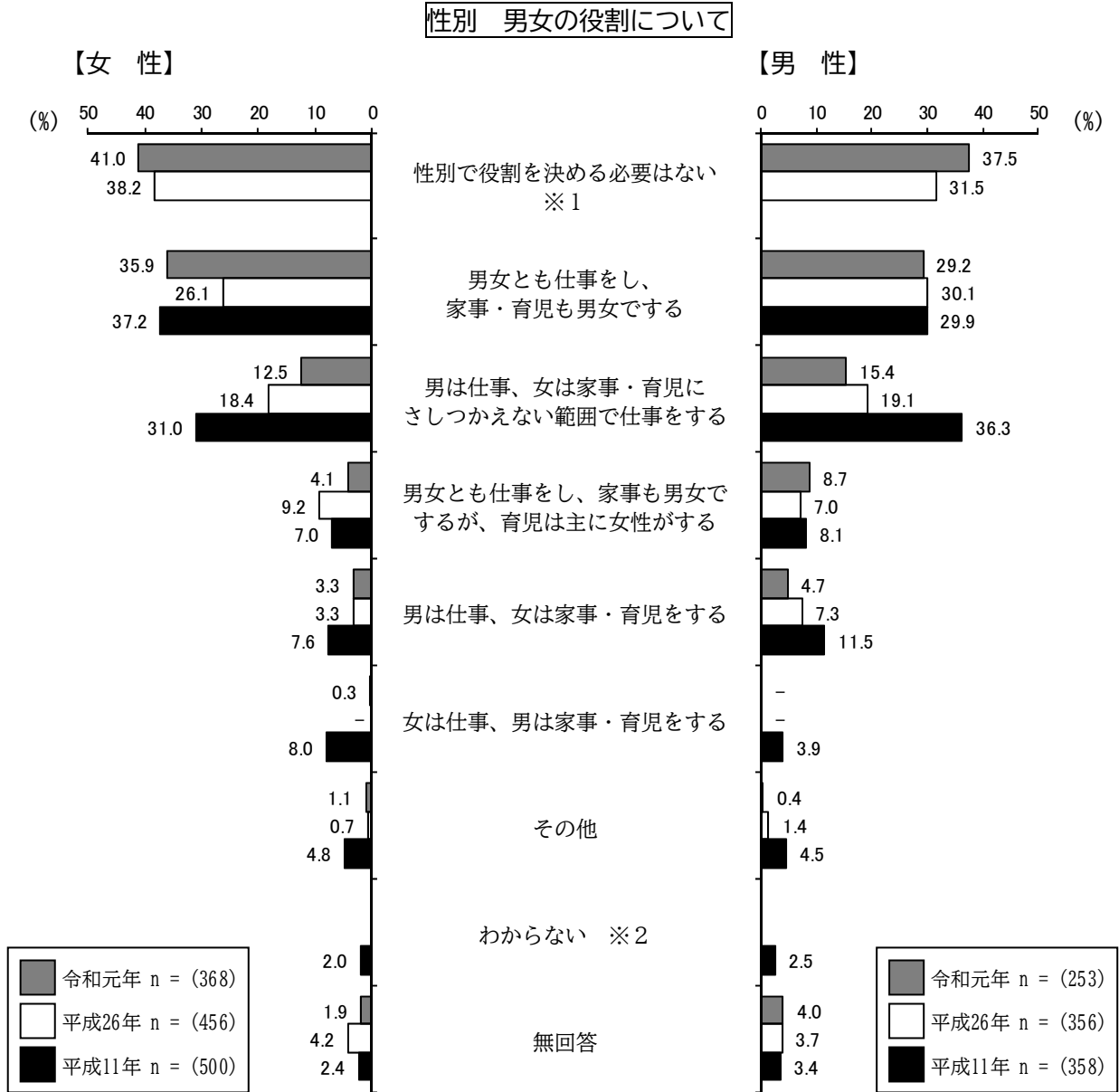
【性別】

男女差がある項目として、「男女とも仕事をし、家事・育児も男女でする」は、女性(35.9%)が、男性(29.2%)に比べ、6.7ポイント高くなっている。また、「性別で役割を決める必要はない」は、女性(41.0%)が男性(37.5%)に比べ、3.5ポイント高くなっている。



これまでの調査との比較

男女とも「性別で役割を決める必要はない」が増加している。一方、「男は仕事、女は家事・育児にさしつかえない範囲で仕事をする」は男女とも減少傾向にある。



※1 平成26年調査から選択肢に加えた。

※2 平成21年調査までの選択肢である。

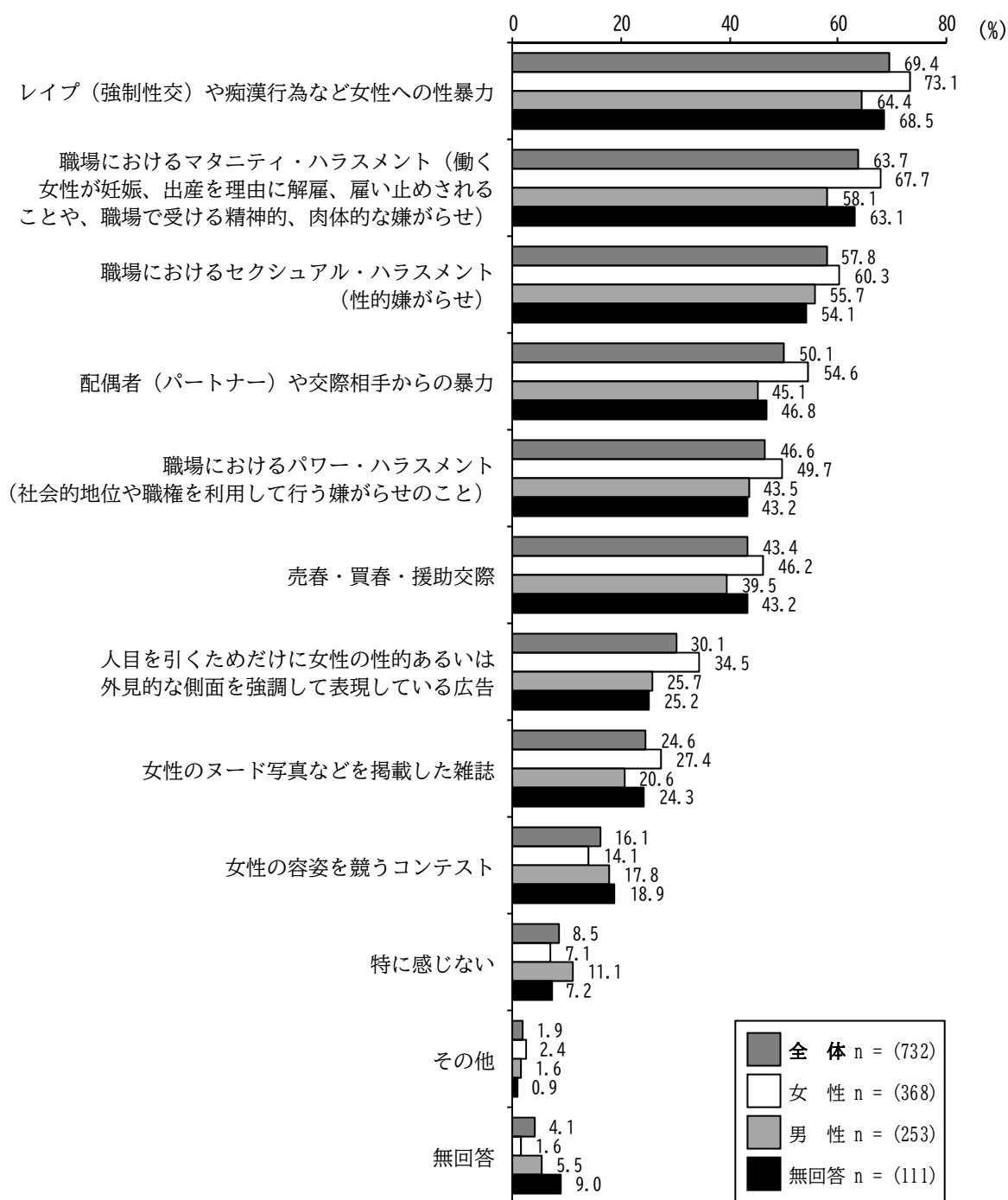
(5) 女性の人権が尊重されていないと感じること

問38 女性の人権が尊重されていないと感じるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「レイプ（強姦性交）や痴漢行為など女性への性暴力」が69.4%で最も高く、次いで「職場におけるマタニティ・ハラスメント」が63.7%、「職場におけるセクシュアル・ハラスメント」が57.8%、「配偶者（パートナー）や交際相手からの暴力」が50.1%となっている。

【性別】

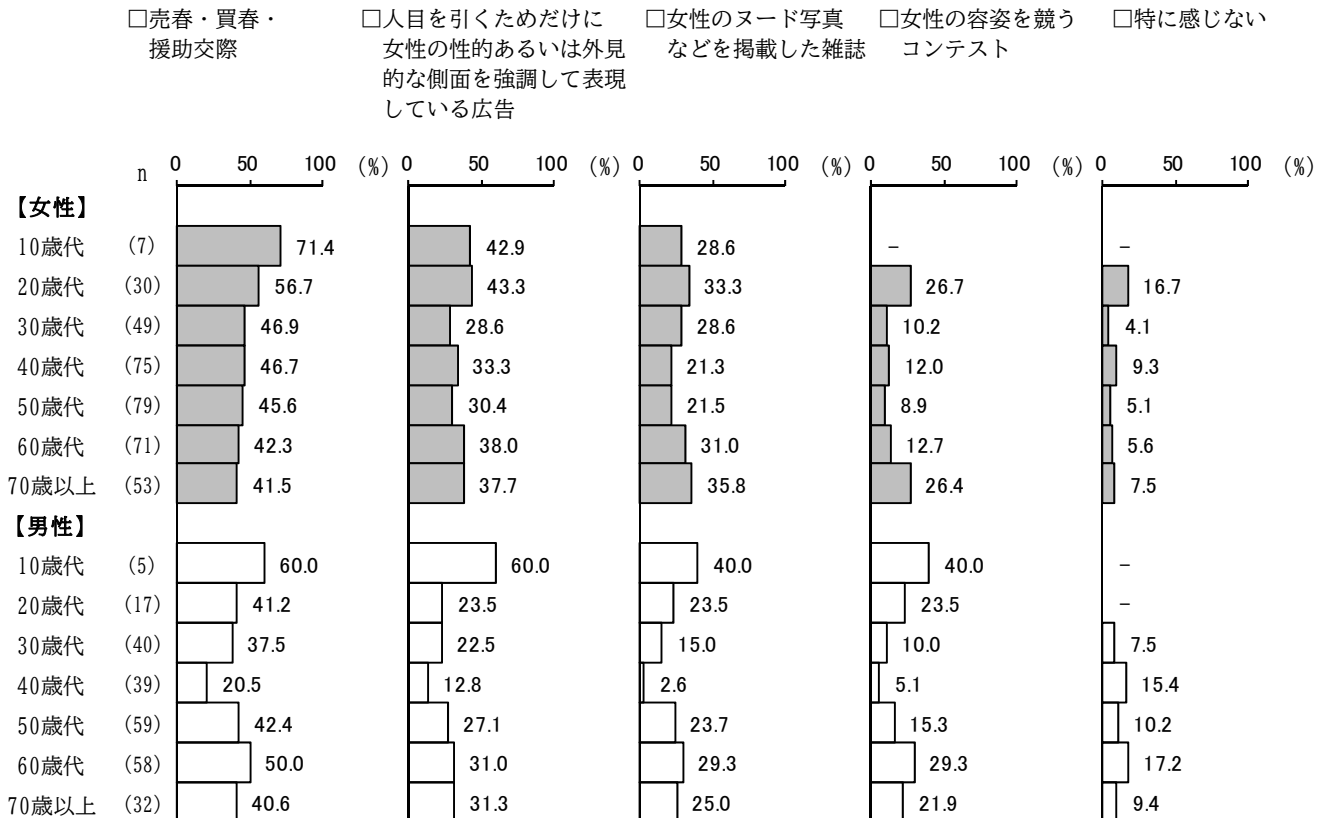
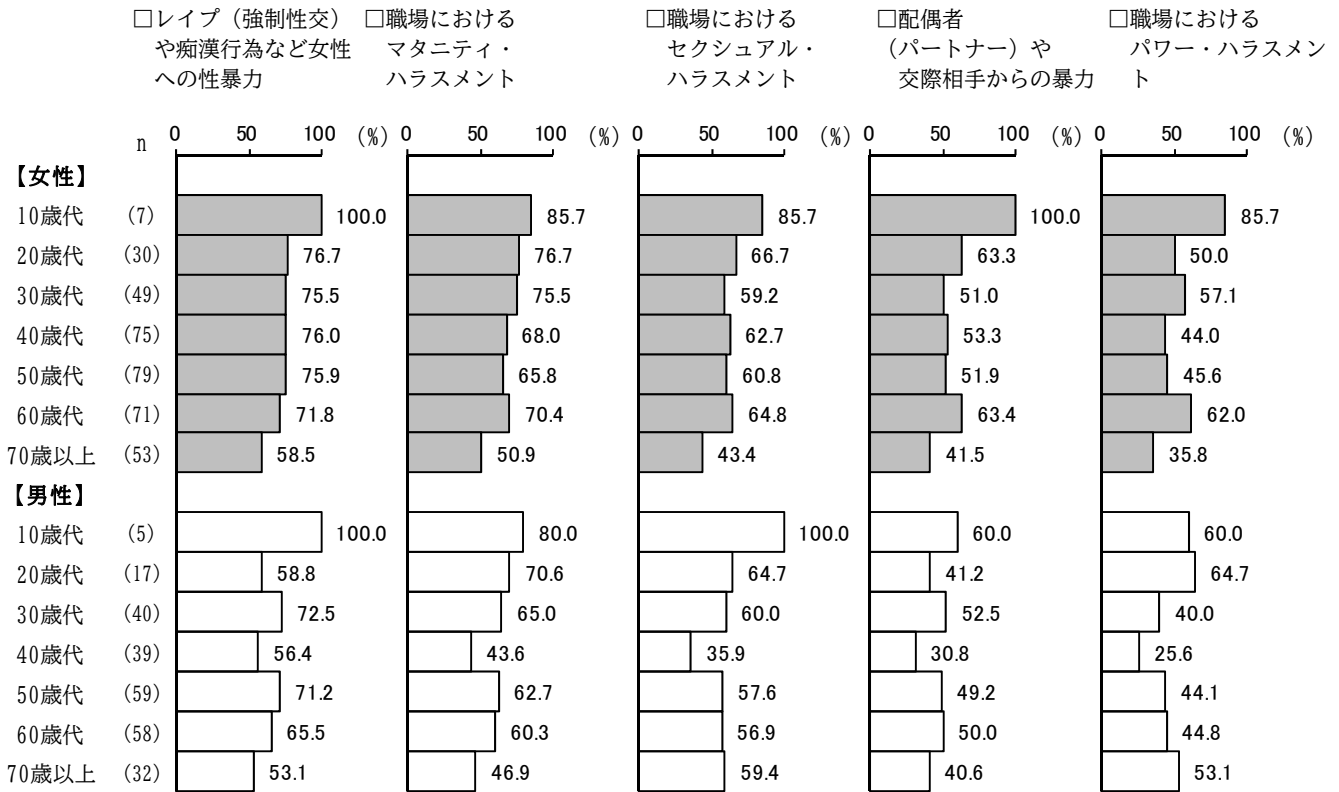
男女差がある項目として、「職場におけるマタニティ・ハラスメント」は、女性が67.7%と、男性（58.1%）に比べ、9.6ポイント、「配偶者（パートナー）や交際相手からの暴力」（54.6%）が男性（45.1%）に比べ、9.5ポイント高くなっている。



第3章 調査の結果

【性・年代別】(上位10項目)

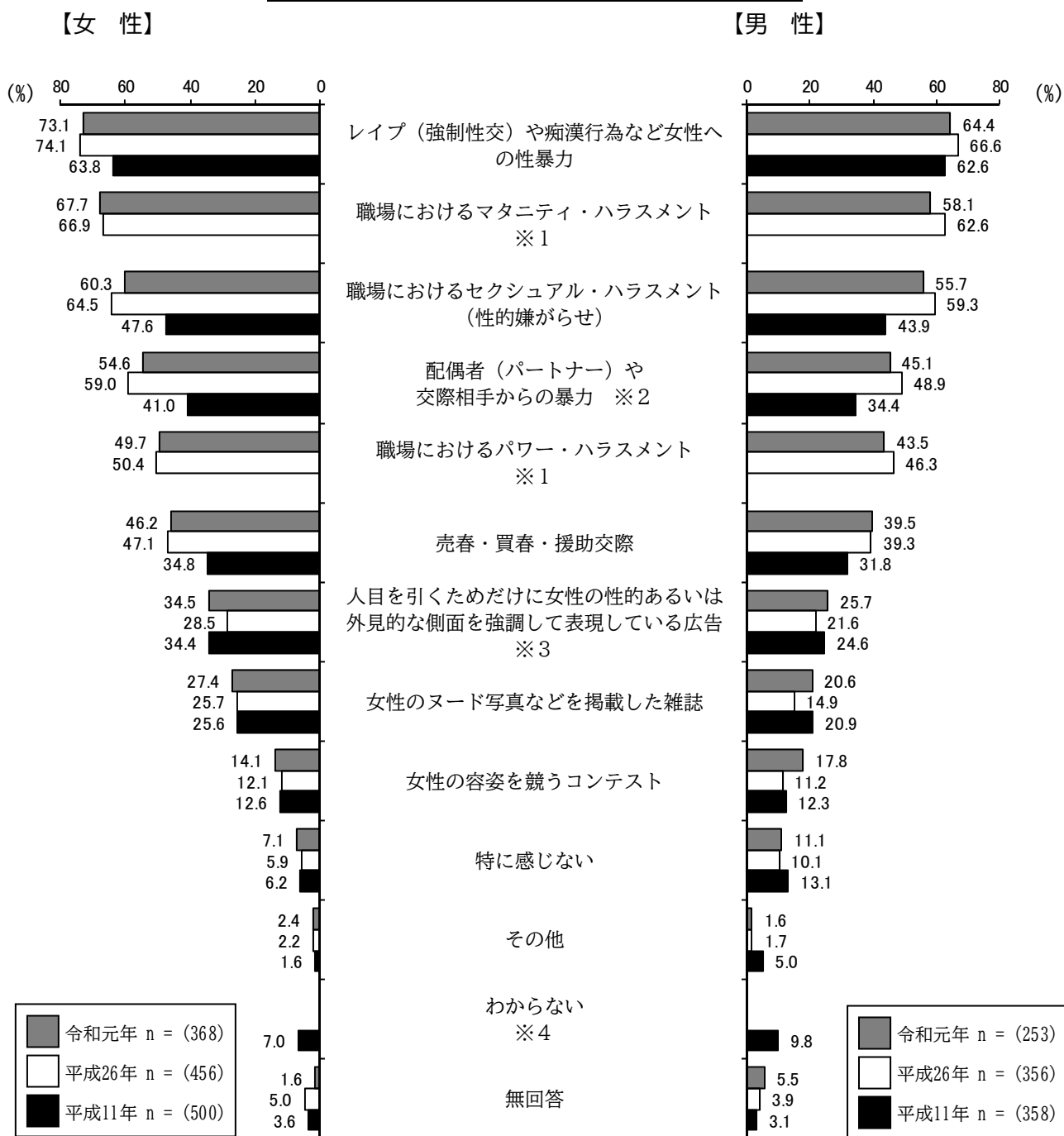
女性は、年代にかかわらず、高いポイントとなっているが、男性は、女性に比べ、特に40歳代の割合が低くなっている。



これまでの調査との比較

増減がある項目として、女性では、「人目を引くためだけに女性の性的あるいは外見的な側面を強調して表現している広告」が[平成26年](28.5%)に比べて、6.0ポイント増加している。男性では「女性の容姿を競うコンテスト」は、[平成26年](11.2%)に比べて、6.6ポイント増加している。

性別 女性の人権が尊重されていないと感じること



※1 平成26年調査から選択肢に加えた。
 ※2 平成21年調査までは「夫(恋人)などからの暴力」。
 ※3 平成21年調査までは「女性の体の一部や媚びたポーズなどを内容と無関係に使用した広告」。
 ※4 平成21年調査までの選択肢である。

第3章 調査の結果

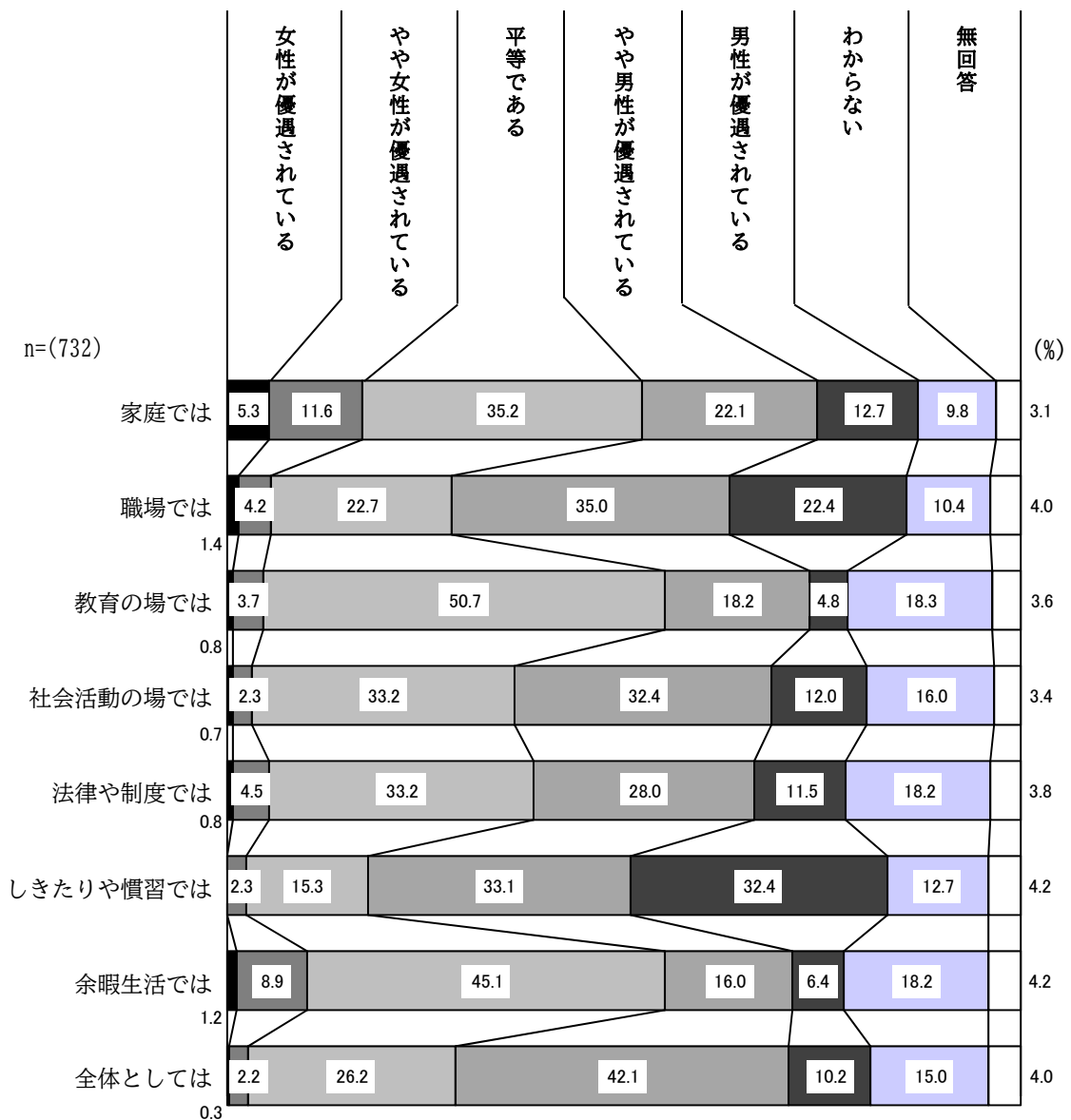
(6) 男女の地位の平等感

問39 次にあげる分野において、男女の地位は平等だと思いますか。ア～クの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。(○は各項目に一つ)

「全体としては」は、『女性が優遇』(「女性が優遇されている」+「やや女性が優遇されている」)が2.5%、「平等である」が26.2%、『男性が優遇』(「やや男性が優遇されている」+「男性が優遇されている」)が52.3%となっている。

「平等である」は、「教育の場では」が50.7%で最も高く、次いで「余暇生活では」が45.1%となっている。

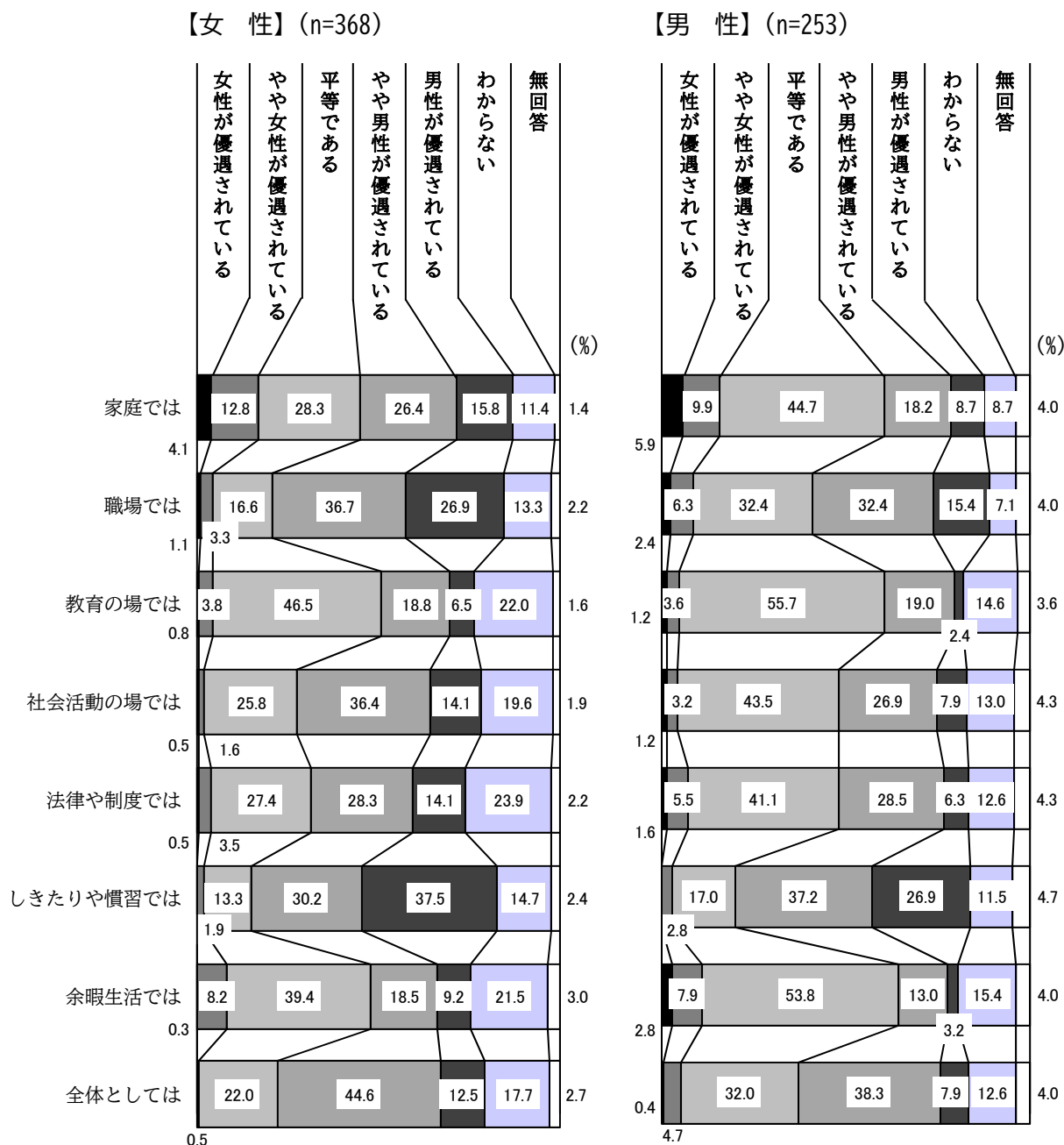
『男性が優遇』は、「しきたりや慣習では」が65.5%、「職場では」が57.4%と高くなっている。



【性別】

男女ともに「平等である」は、「教育の場では」、「余暇生活では」で高くなっている。

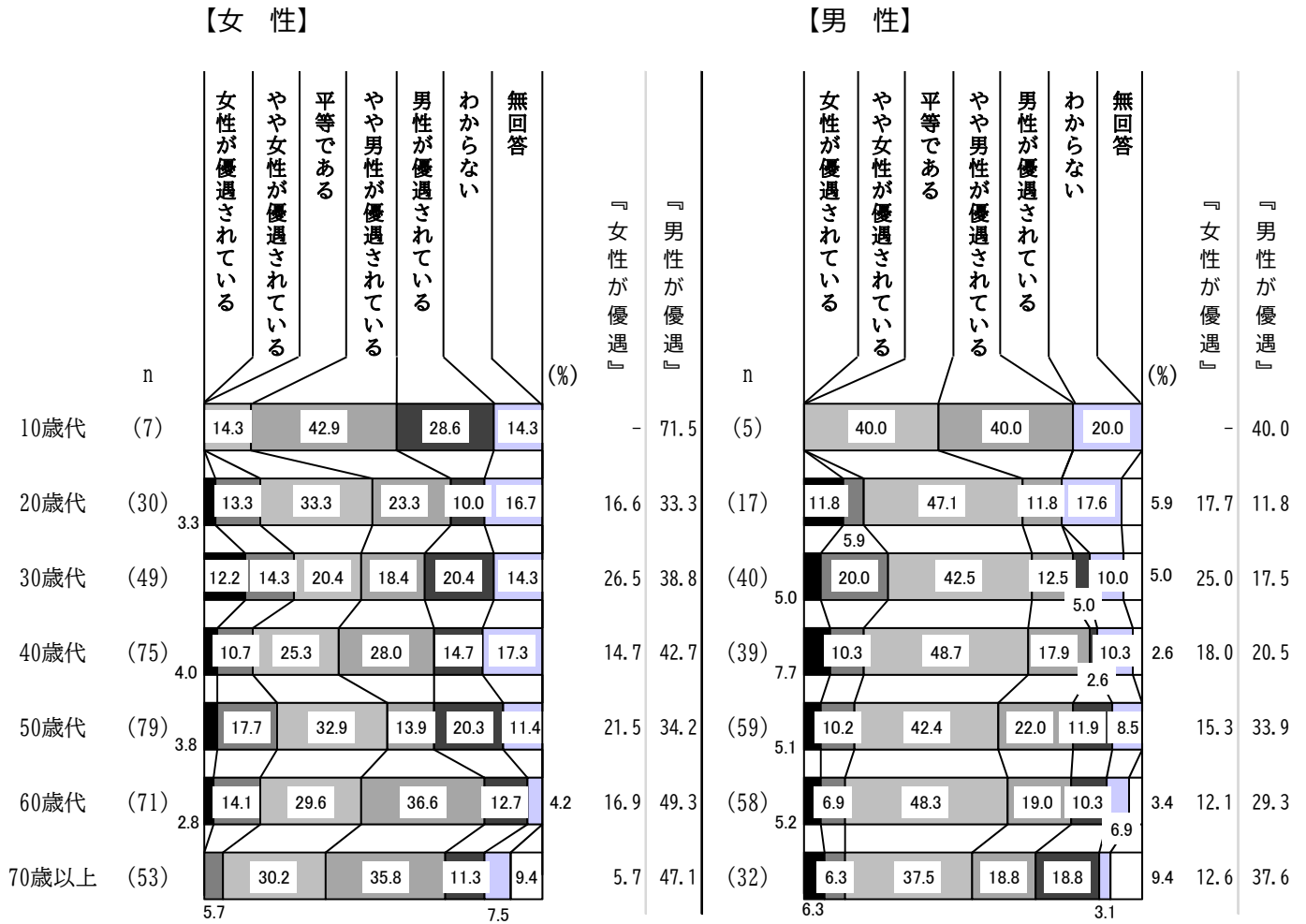
いずれの項目も「平等である」の割合は、男性が女性に比べ高く、特に「社会活動の場では」で男性（43.5%）が、女性（25.8%）に比べ、17.7ポイント高くなっている。



第3章 調査の結果

ア 家庭では

「平等である」は、【男性・40歳代】(48.7%) および【男性・60歳代】(48.3%) が他の性・年代に比べ、高くなっている。『男性が優遇』は、すべての年代で女性が男性に比べ、高くなっている。

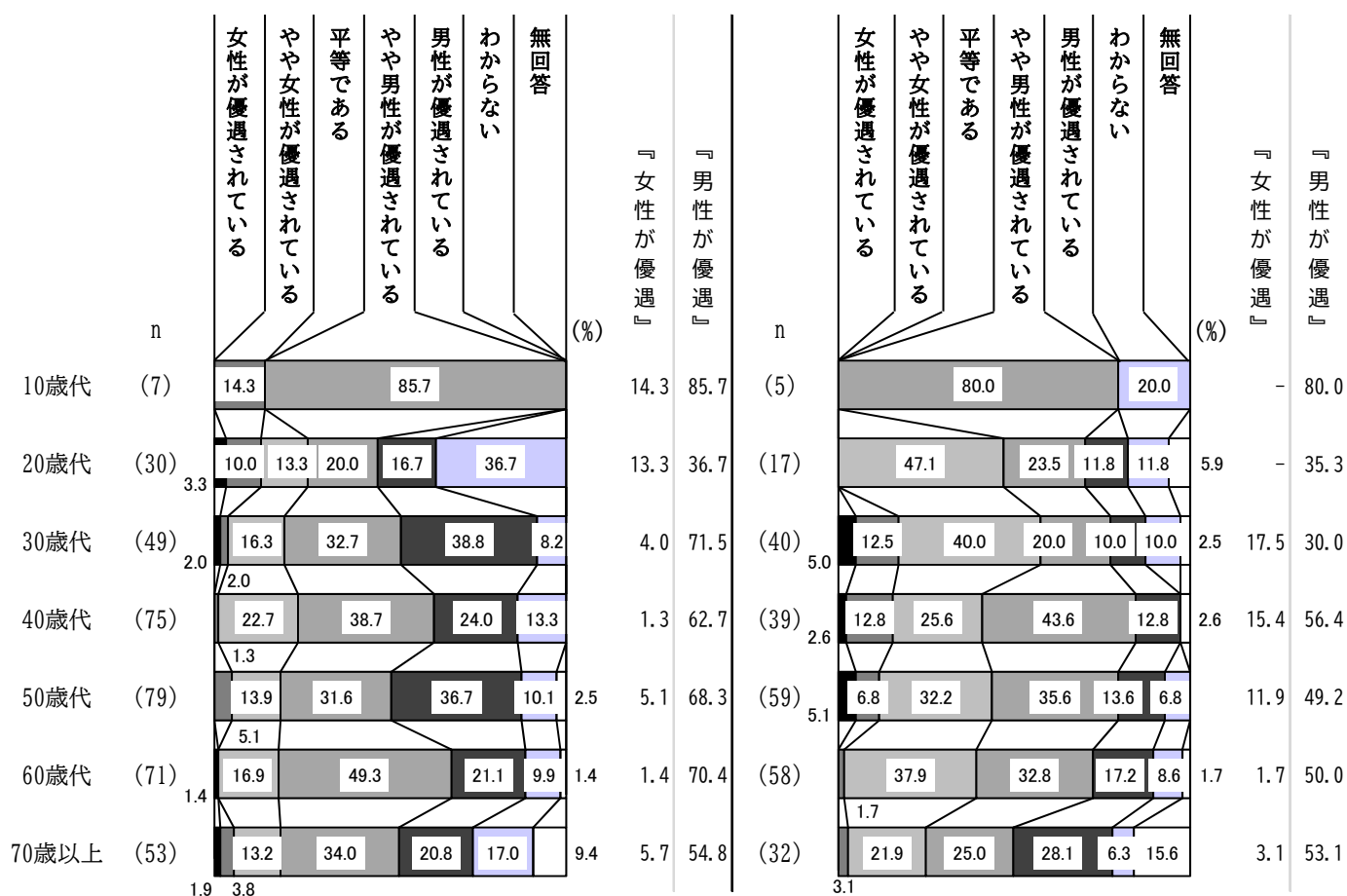


イ 職場では

「平等である」は、【男性・20歳代】(47.1%)が他の性・年代に比べ、高くなっている。『男性が優遇』は、すべての年代で女性が男性に比べ高く、特に【女性・30歳代】が71.5%で最も高く、次いで【女性・60歳代】が70.4%となっている。

【女性】

【男性】

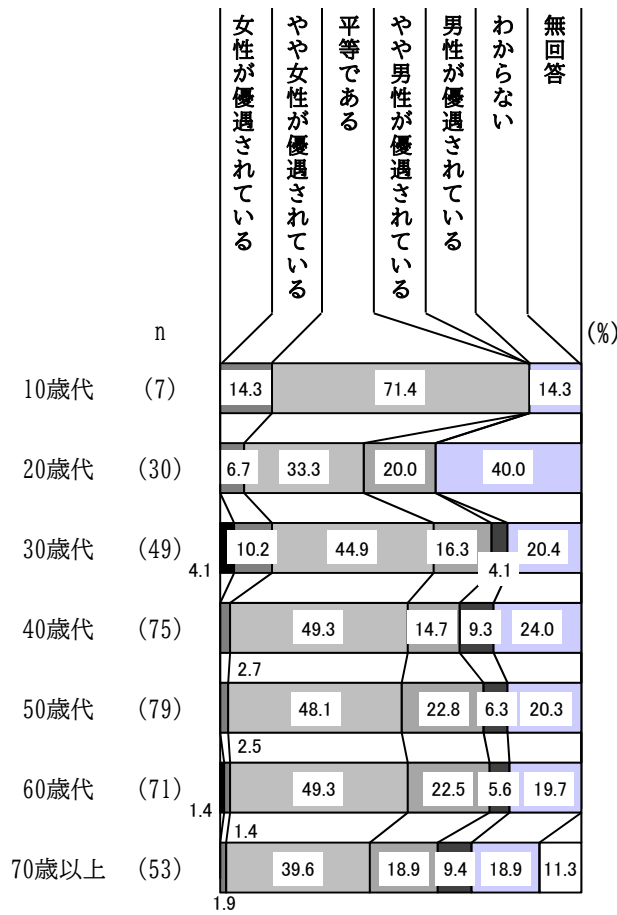


第3章 調査の結果

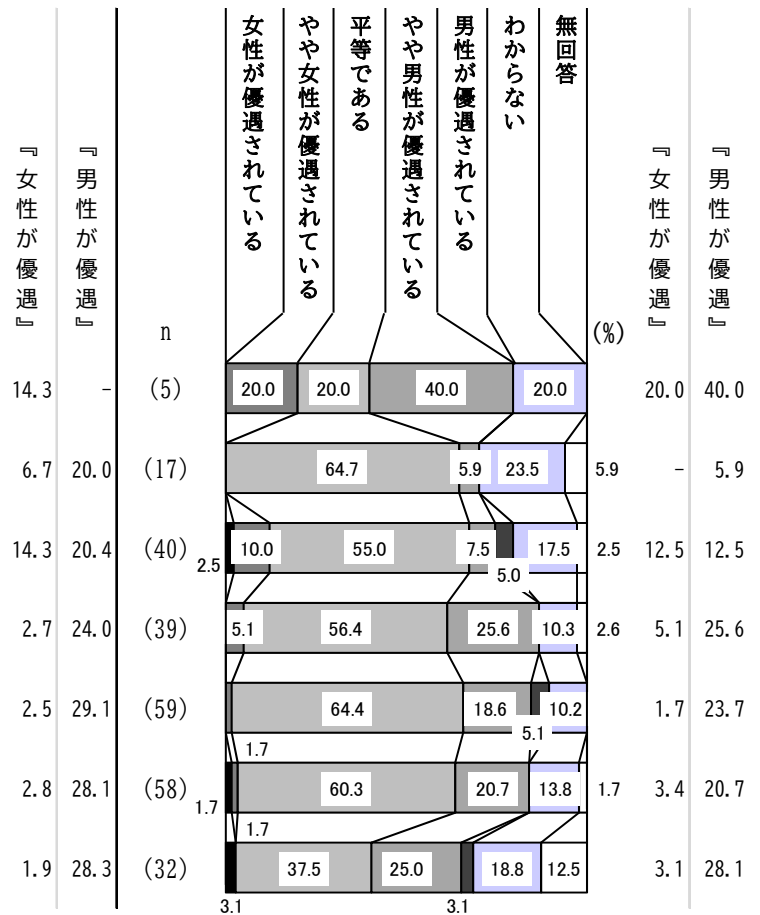
ウ 教育の場では

「平等である」は、10歳代および70歳以上を除くすべての年代で男性が女性に比べ高く、特に20歳代（64.7%）が高くなっている。『男性が優遇』は、【男性・10歳代】が40.0%で他の性・年代に比べ、高くなっている。

【女性】



【男性】

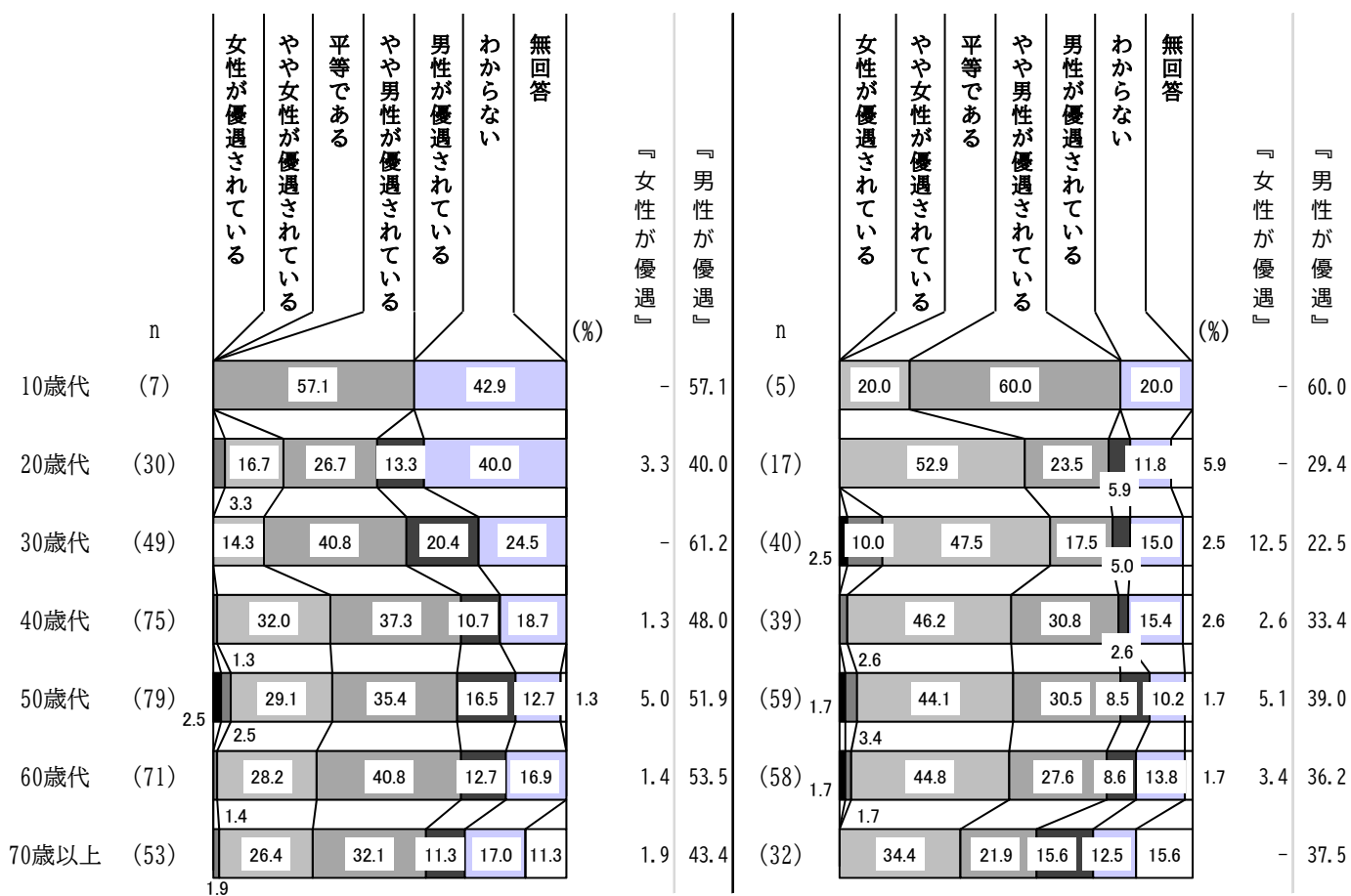


エ 社会活動の場では

「平等である」は、すべての年代で男性が女性に比べ高く、特に20歳代（52.9%）と30歳代（47.5%）が高くなっている。『男性が優遇』は、10歳代を除くすべての年代で女性が男性に比べ高く、特に30歳代（61.2%）が他の性・年代に比べ、高くなっている。

【女性】

【男性】

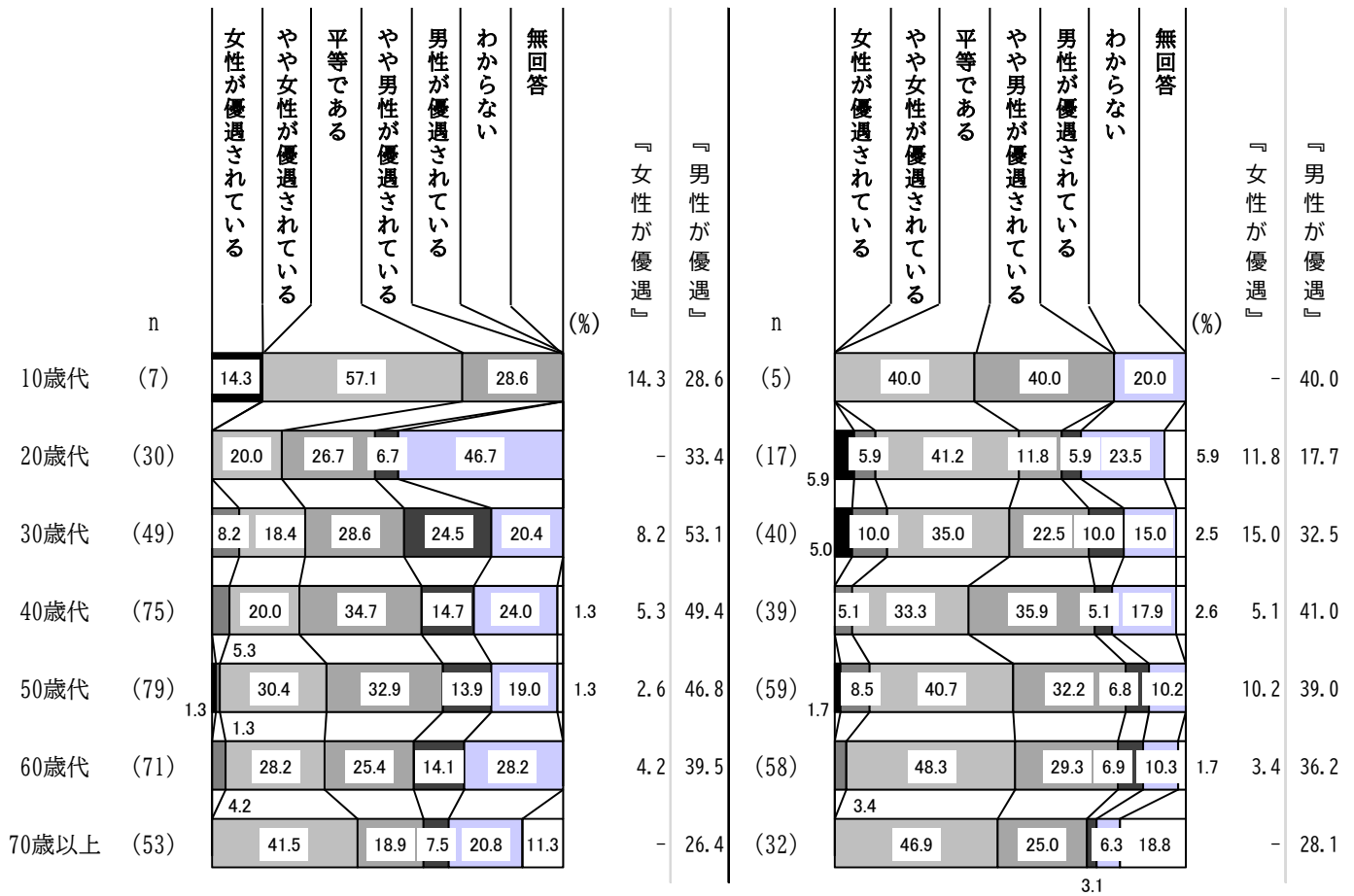


オ 法律や制度では

「平等である」は、10歳代を除くすべての年代で男性が女性に比べ高く、特に60歳代が48.3%で高くなっている。『男性が優遇』は、10歳代を除くすべての年代で女性が男性に比べ高く、特に30歳代が53.1%となっている。

【女性】

【男性】

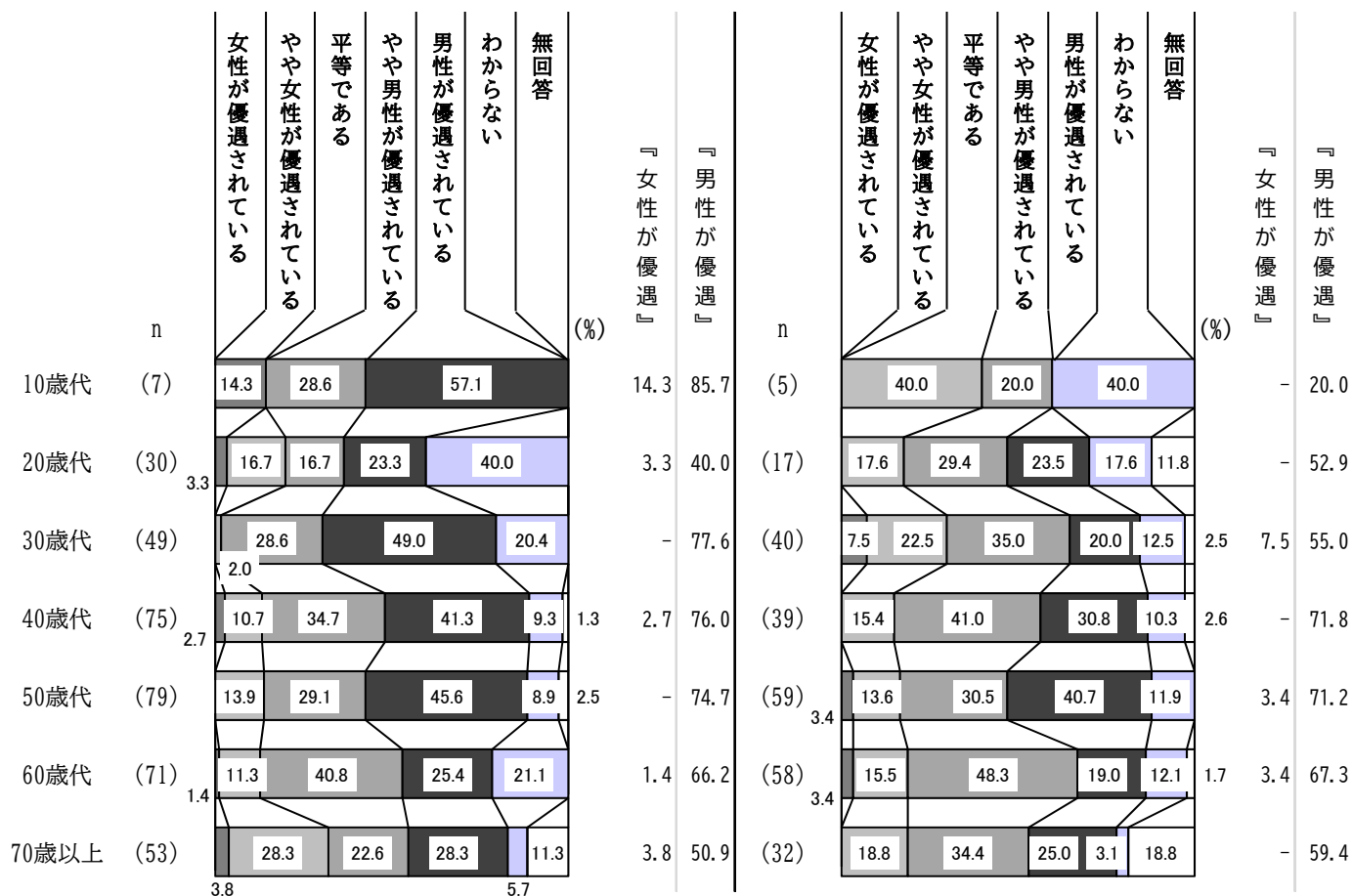


カ しきたりや慣習では

「平等である」は、【男性・10歳代】が40.0%で他の性・年代に比べ、高くなっている。『男性が優遇』は、【女性・10歳代】が85.7%で最も高くなっている。

【女性】

【男性】



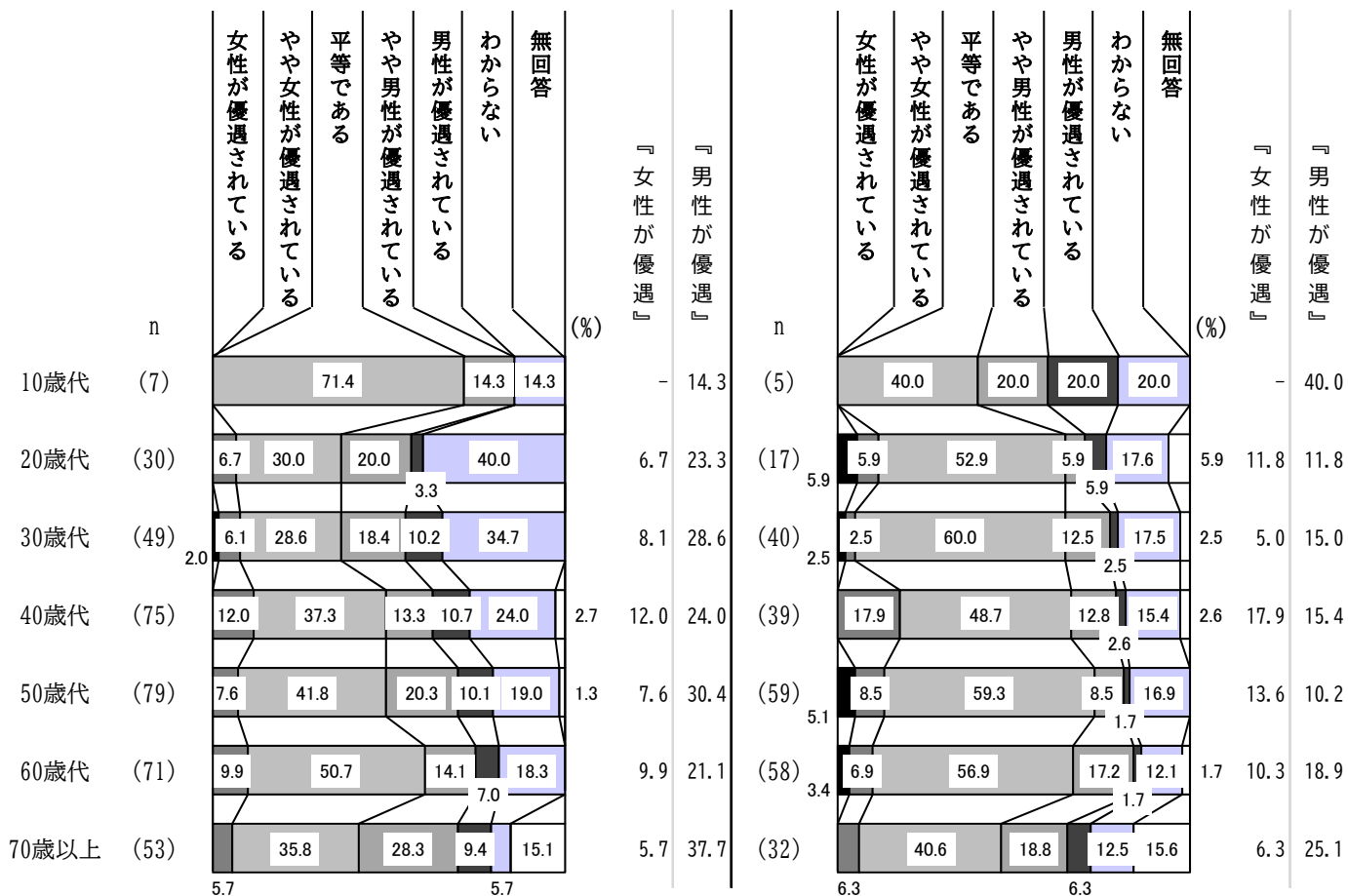
第3章 調査の結果

キ 余暇生活では

「平等である」は、【女性・10歳代】が71.4%で最も高く、次いで【男性・30歳代】が60.0%となっている。『男性が優遇』は、10歳代を除く、すべての年代で女性が男性に比べ、高くなっている。

【女性】

【男性】

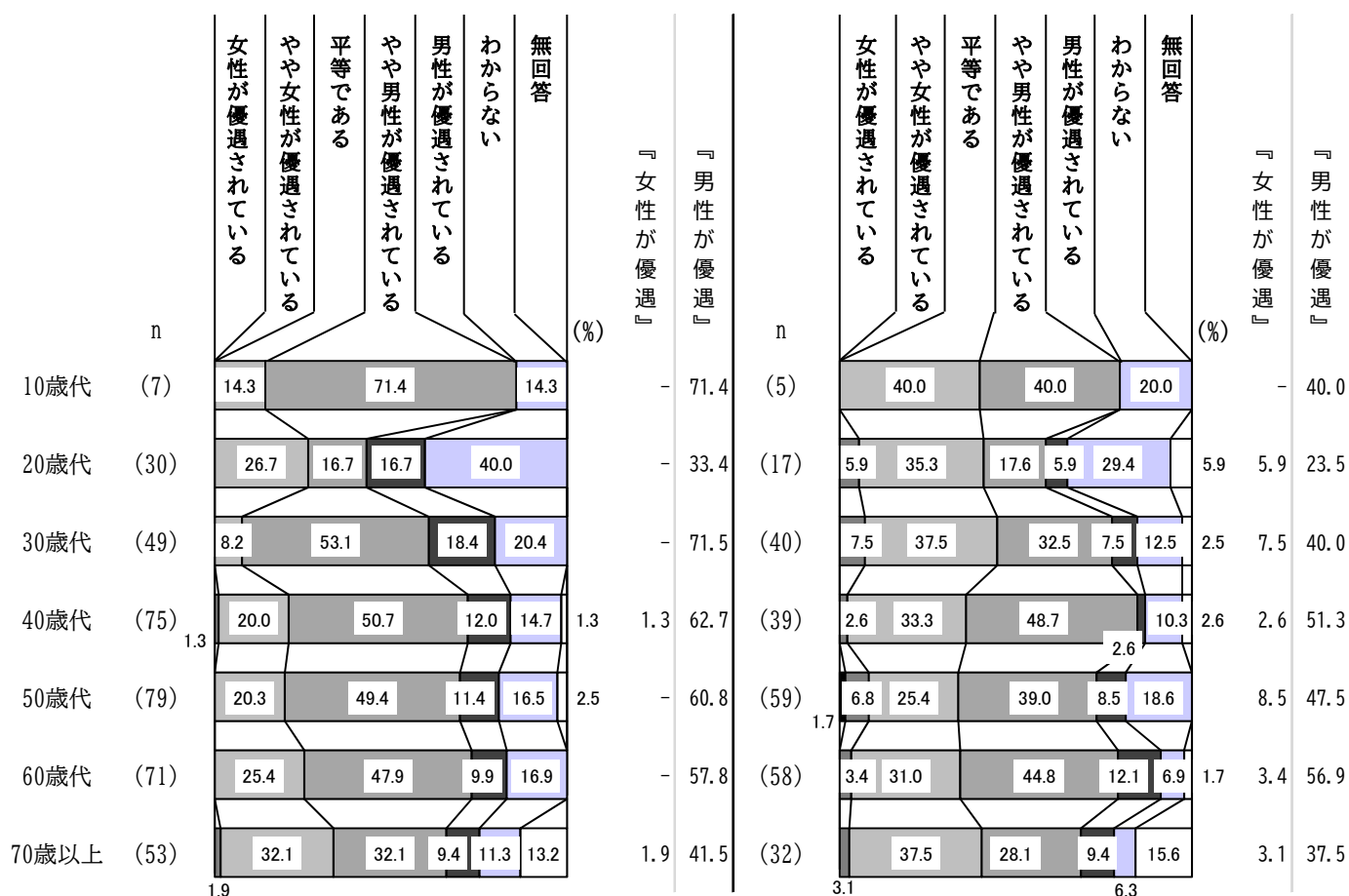


ク 全体としては

「平等である」は、すべての年代で男性が女性に比べ高く、特に、10歳代が40.0%で最も高く、次いで30歳代(37.5%)および70歳以上(37.5%)となっている。『男性が優遇』は、すべての年代で女性が男性に比べ、高くなっている。

【女性】

【男性】



第3章 調査の結果

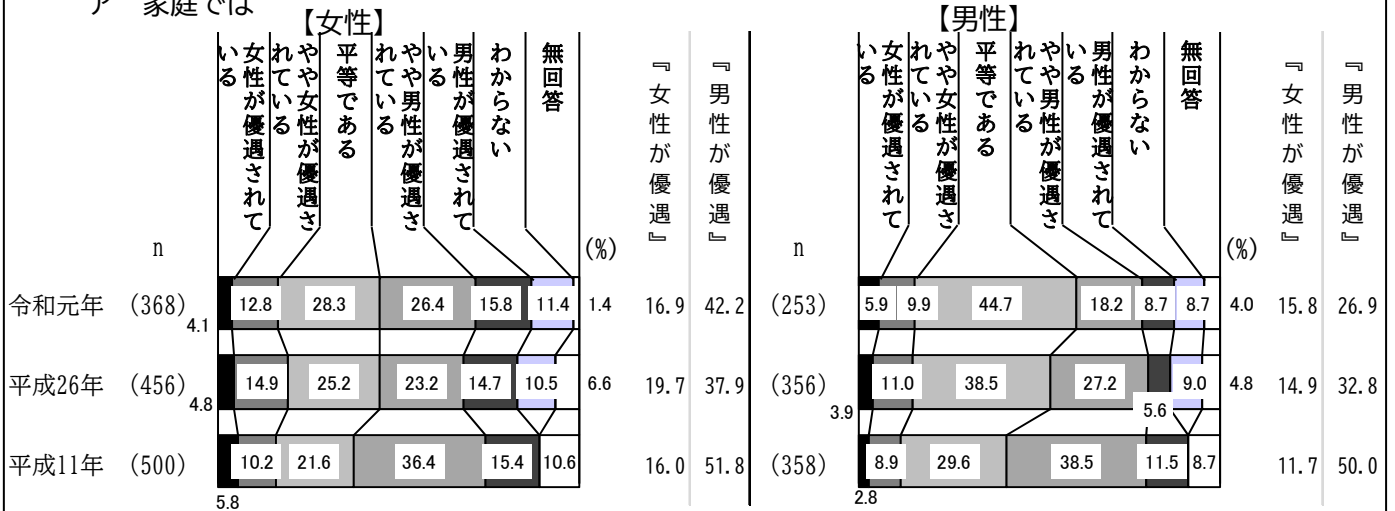
これまでの調査との比較

平成26年調査から「わからない」が選択肢に追加されたため、平成11年調査は参考として掲載している。

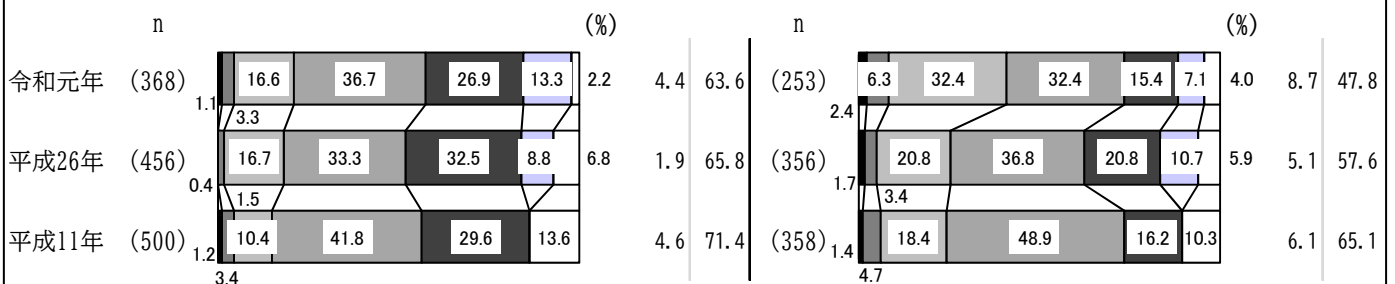
[平成26年] に比べ、「イ 職場では」以外の項目が女性において、『男性が優遇』が高くなっている。

性別 男女の地位の平等感

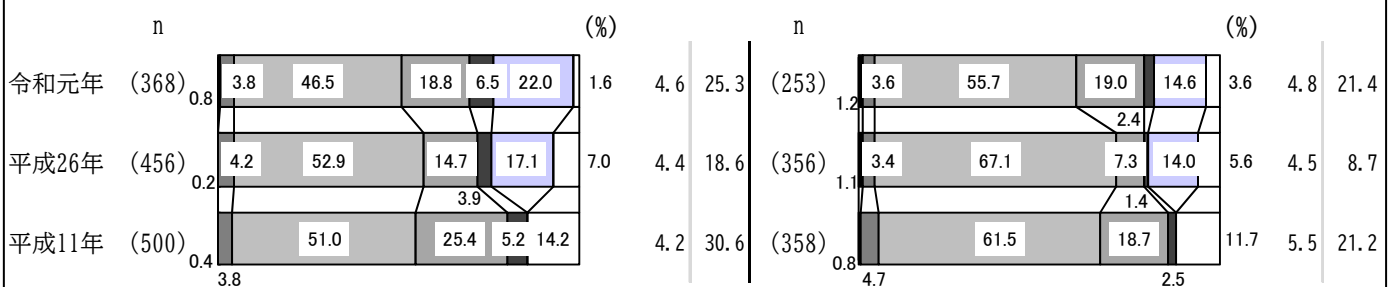
ア 家庭では



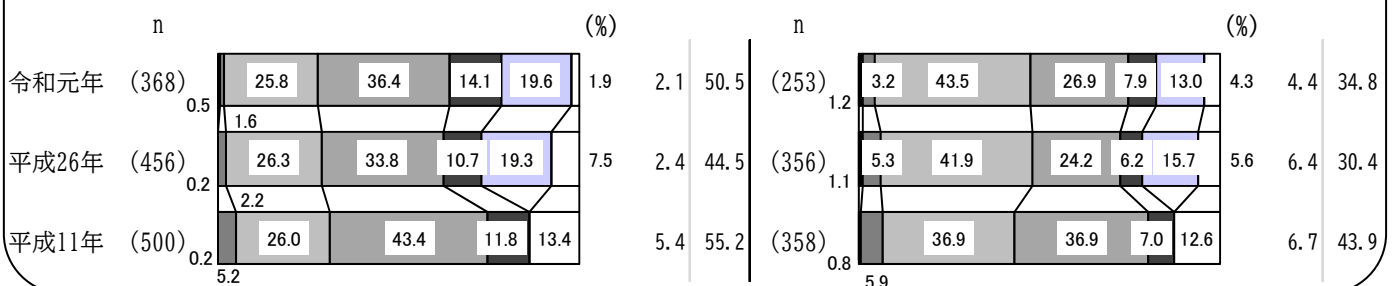
イ 職場では



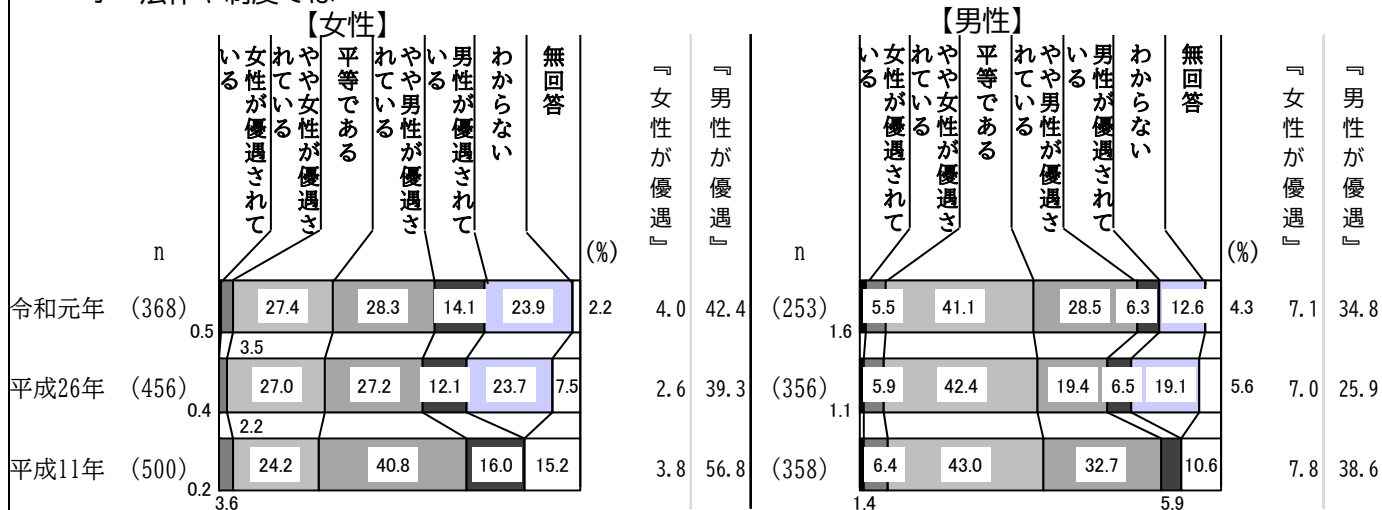
ウ 教育の場では



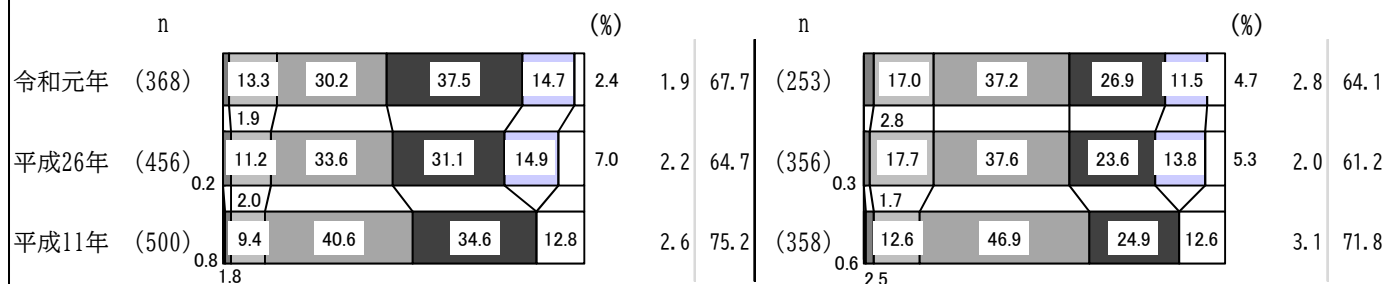
エ 社会活動の場では



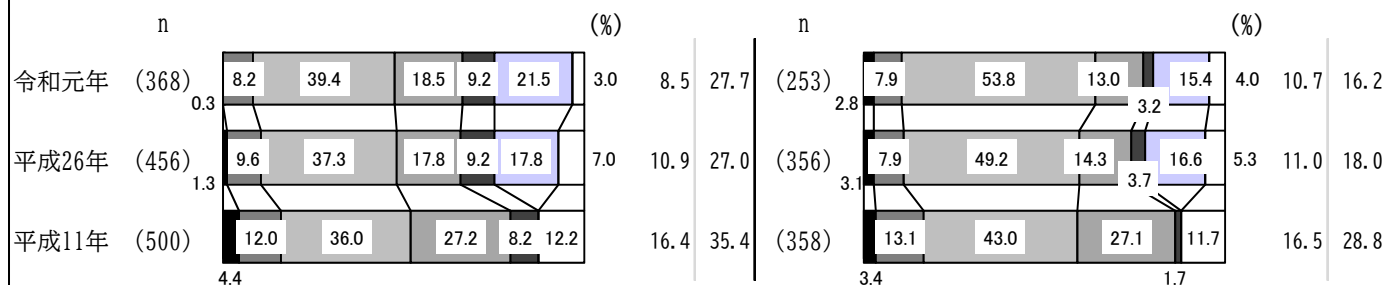
オ 法律や制度では



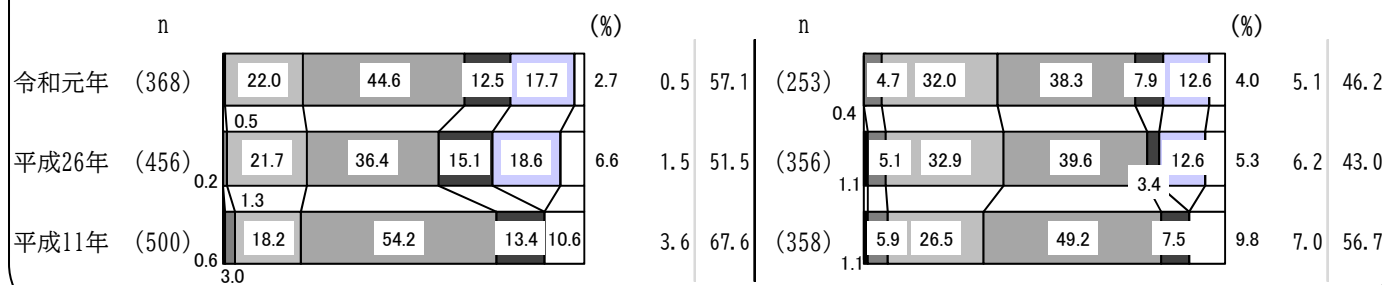
カ しきたりや慣習では



キ 余暇生活では



ク 全体としては



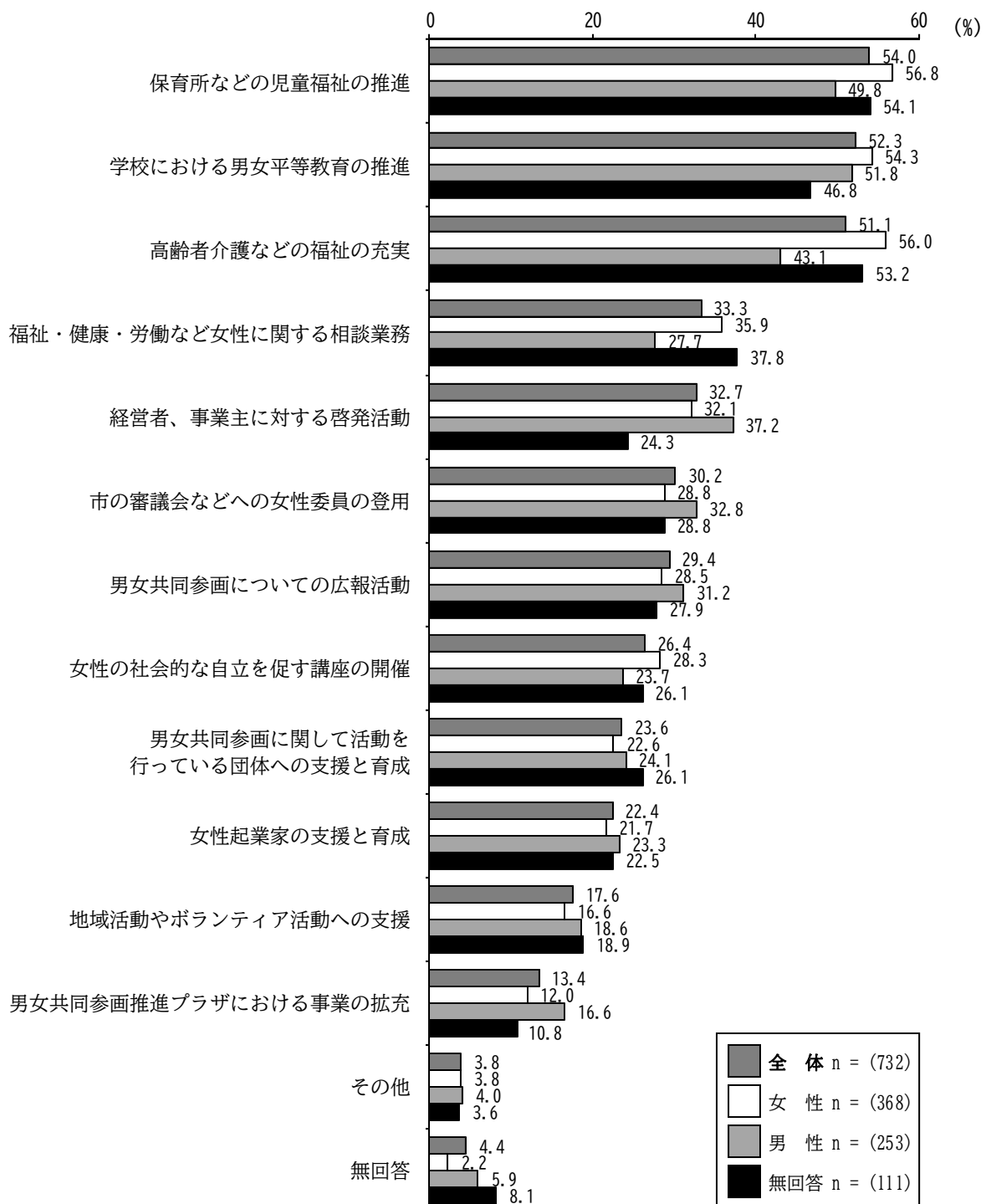
(7) 施策要望

問40 男女共同参画社会を実現するために、市がどのような取組を進めたらよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「保育所などの児童福祉の推進」が54.0%で最も高く、次いで「学校における男女平等教育の推進」が52.3%、「高齢者介護などの福祉の充実」が51.1%となっている。

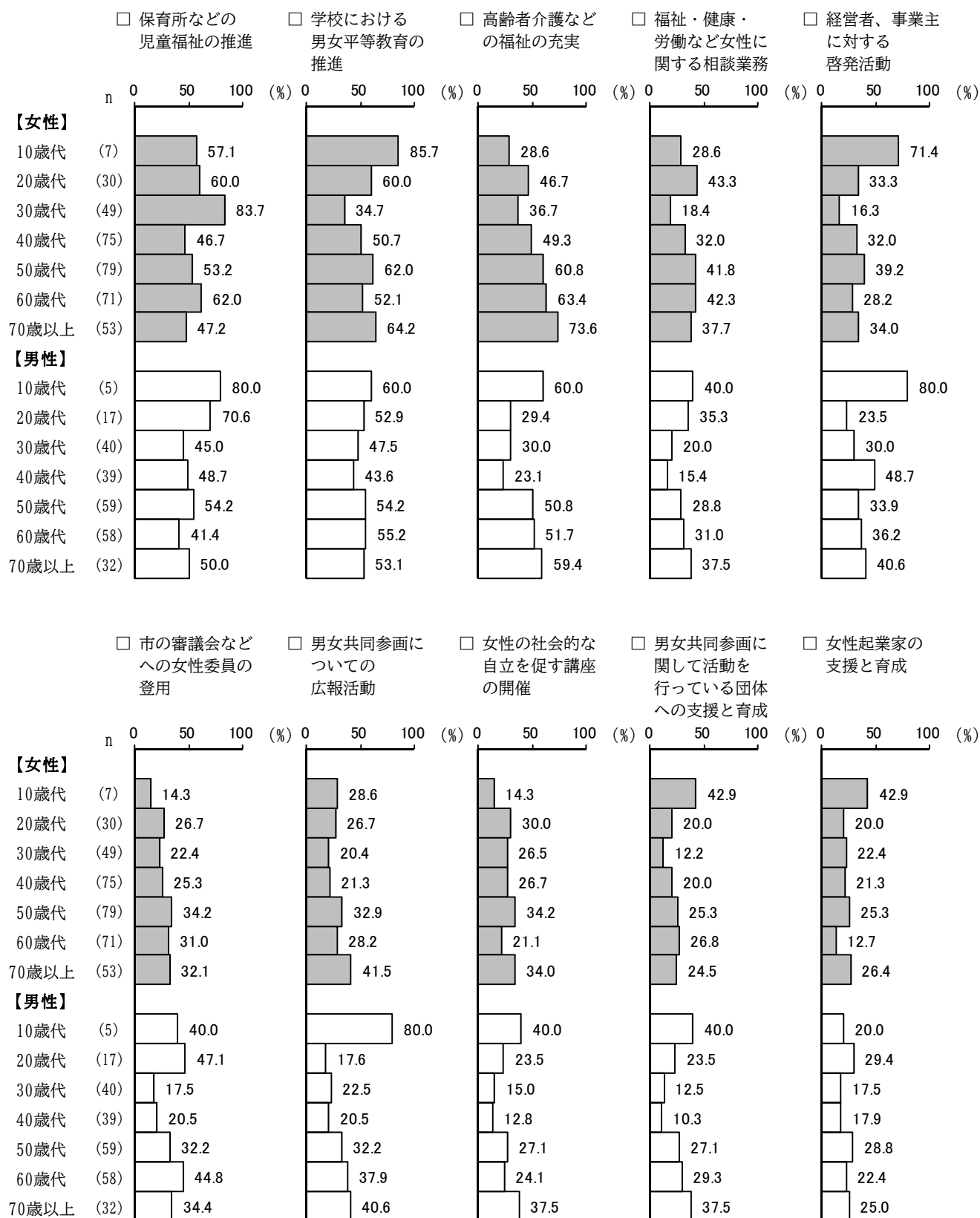
【性別】

女性では「保育所などの児童福祉の推進」が56.8%で最も高く、男性では「学校における男女平等教育の推進」が51.8%で最も高くなっている。男女差がある項目として、「高齢者介護などの福祉の充実」で女性(56.0%)が、男性(43.1%)に比べ、12.9ポイント高くなっている。



【性・年代別】(上位10項目)

他の性・年代に比べ「保育所などの児童福祉の推進」は、【女性・30歳代】が83.7%で最も高く、次いで【男性・10歳代】が80.0%となっている。「高齢者介護などの福祉の充実」は、【女性・70歳以上】が73.6%、「市の審議会などへの女性委員の登用」は、【男性・20歳代】が47.1%で他の性・年代に比べ、高くなっている。



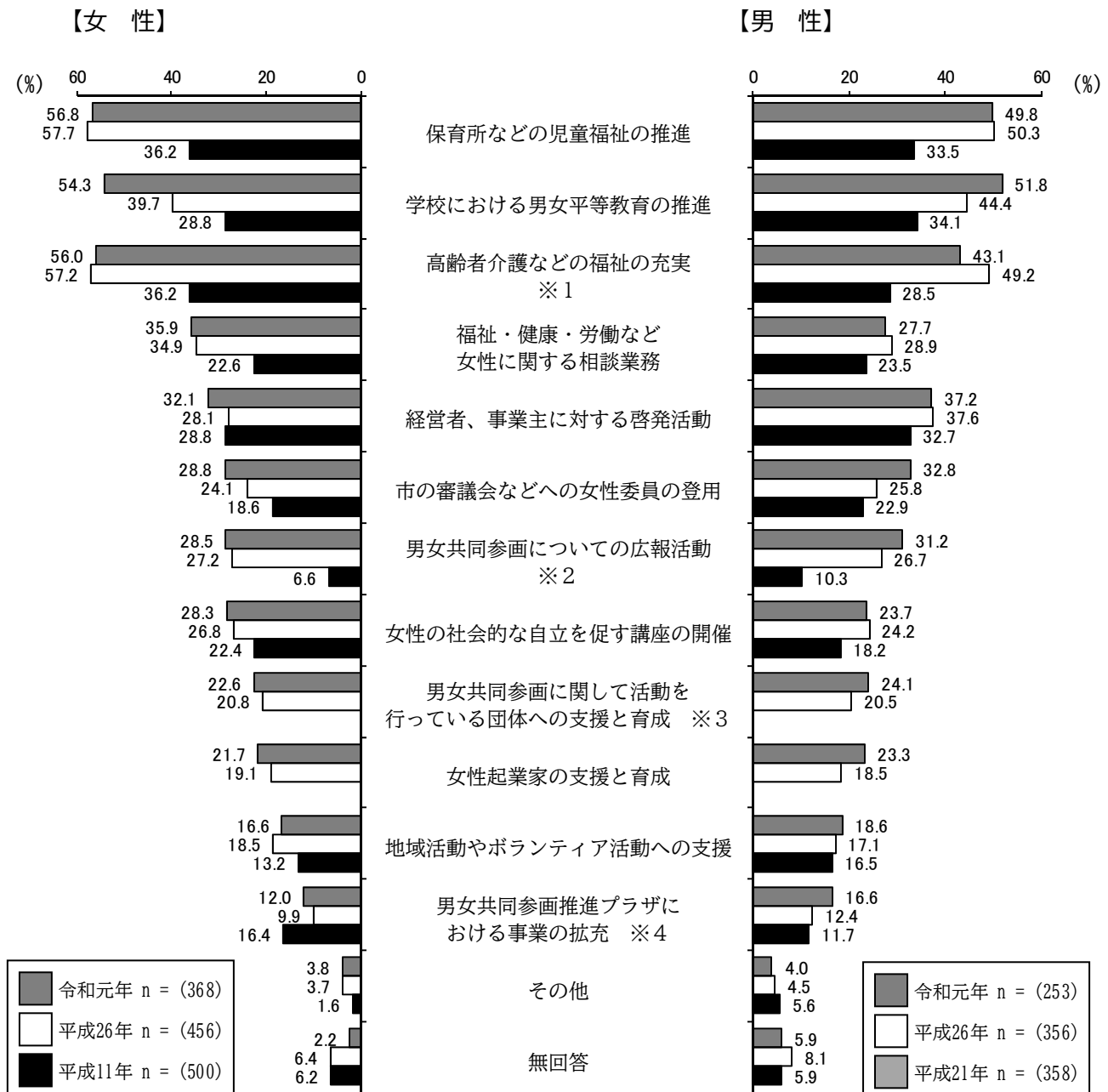
これまでの調査との比較

平成21年調査までの回答は「〇は三つまで」であったため、平成26年調査と比較する。また、平成11年調査は参考に掲載する。

増減がある項目として、女性では、「学校における男女平等教育の推進」が[平成26年](39.7%)より14.6ポイント増加している。

男性では、「高齢者介護などの福祉の充実」が[平成26年](49.2%)より6.1ポイント減少している。一方、「学校における男女平等教育の推進」は、[平成26年](44.4%)より7.4ポイント増加している。

性別 施策要望

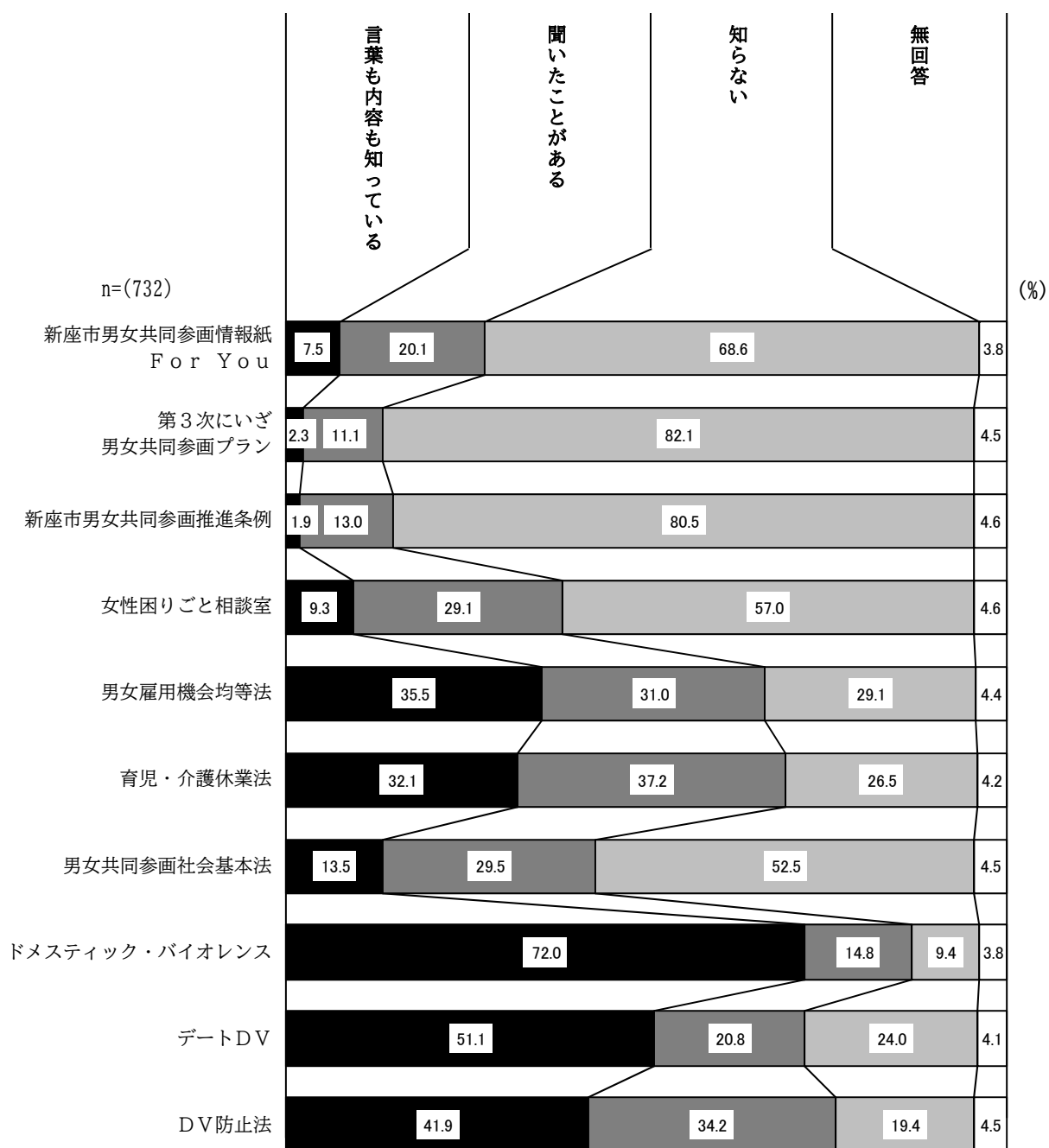


※1 平成11年調査では「高齢者問題等の福祉の充実」。
 ※2 平成21年調査までは「女性問題についての広報活動」。
 ※3 平成21年調査までは「NPOの支援と育成」。
 ※4 平成11年調査では「女性センターのような活動拠点の整備・充実」。

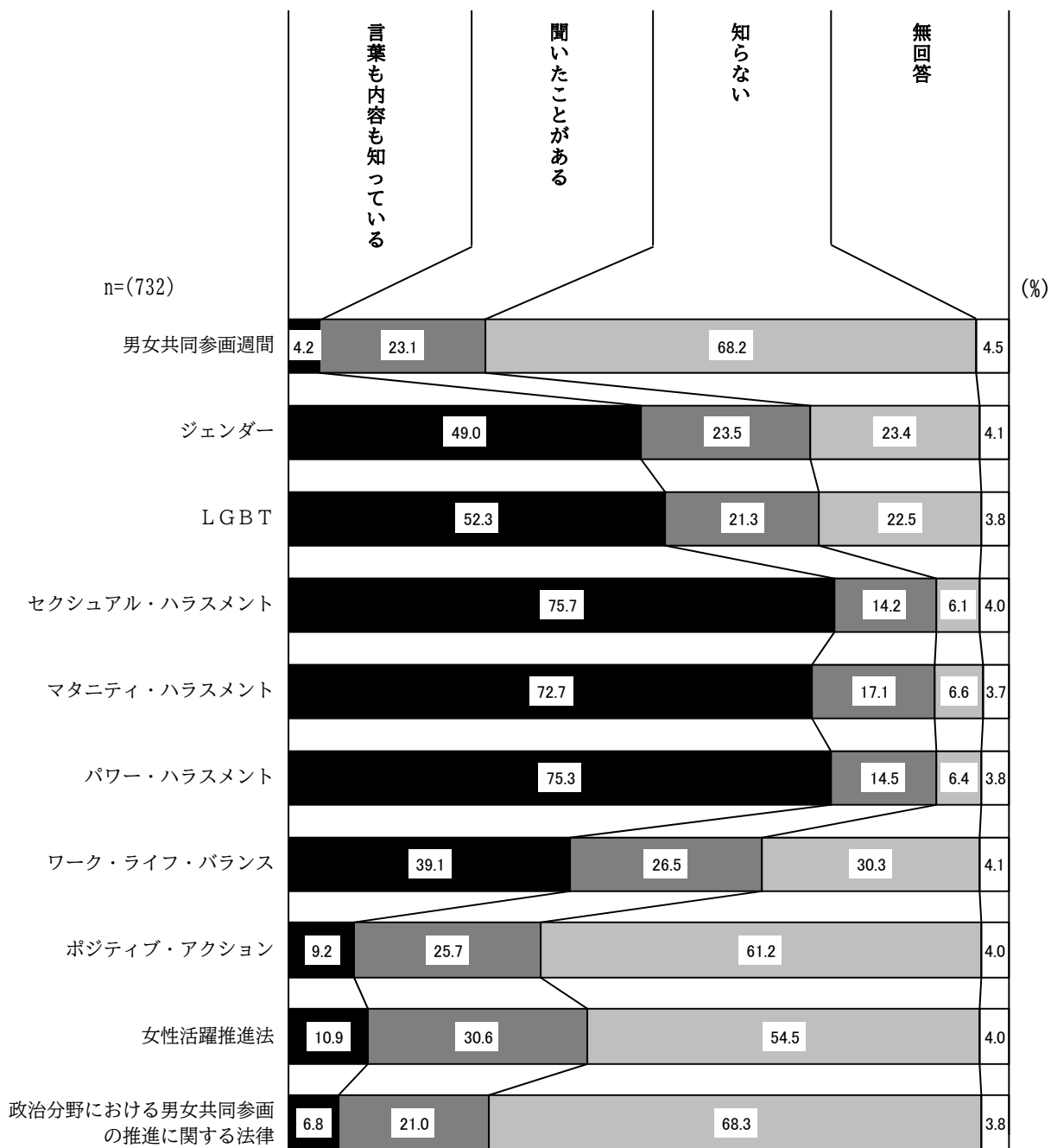
(8) 男女共同参画に関する取組や用語の認知度

問41 男女共同参画問題に関する次の取組や用語などをご存じですか。ア～トの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。(○は各項目に一つ)

全体では、「言葉も内容も知っている」は、「セクシュアル・ハラスメント」(75.7%)および「パワー・ハラスメント」(75.3%)がともに高くなっている。次いで「マタニティ・ハラスメント」が72.7%、「ドメスティック・バイオレンス」が72.0%となっている。一方、「新座市男女共同参画推進条例」(1.9%)、「第3次にいざ男女共同参画プラン」(2.3%)、「男女共同参画週間」(4.2%)が低くなっている。



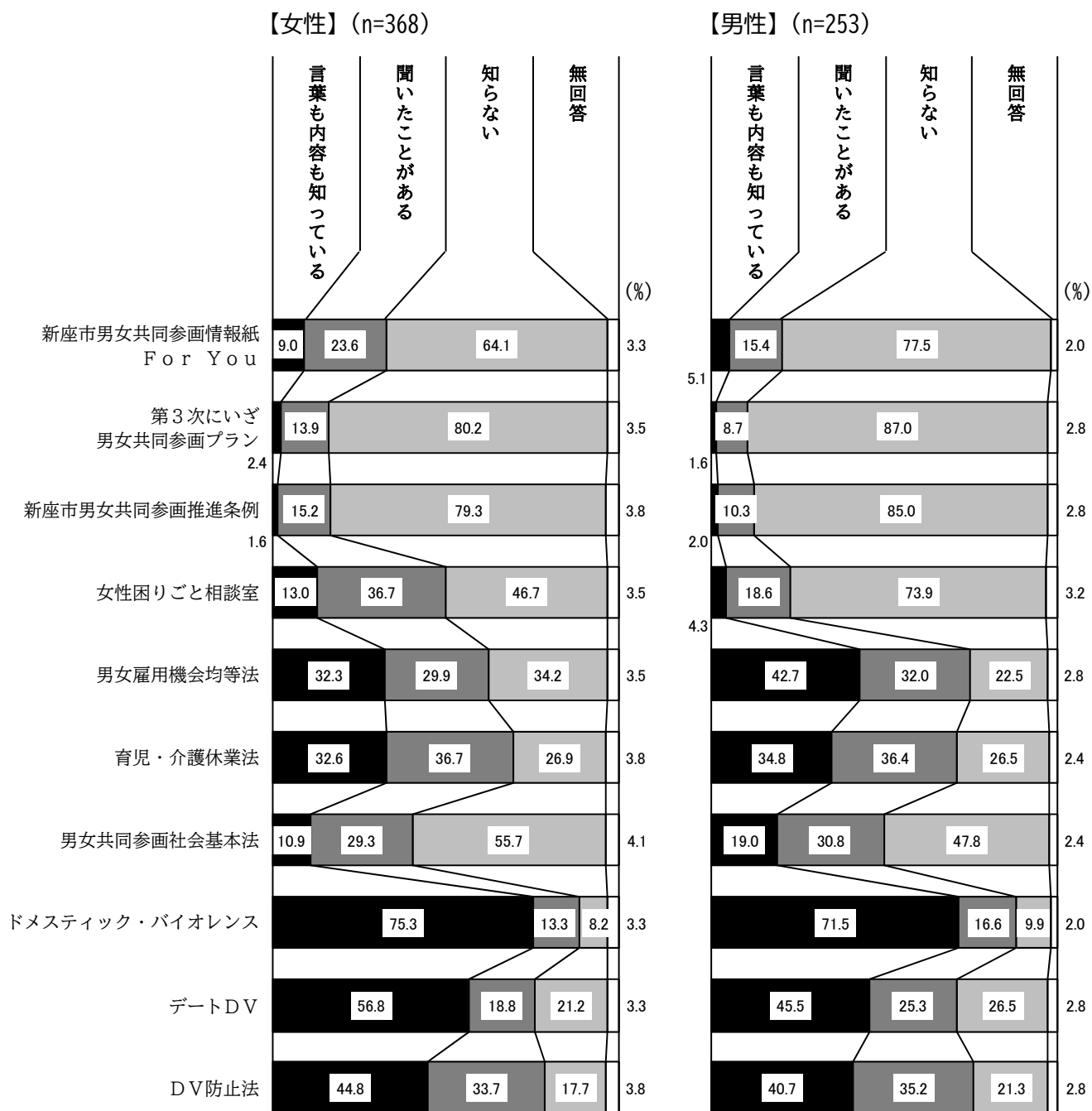
第3章 調査の結果



【性別】

男女ともに「セクシュアル・ハラスメント」、「パワー・ハラスメント」および「ドメスティック・バイオレンス」において「言葉も内容も知っている」が高くなっている。

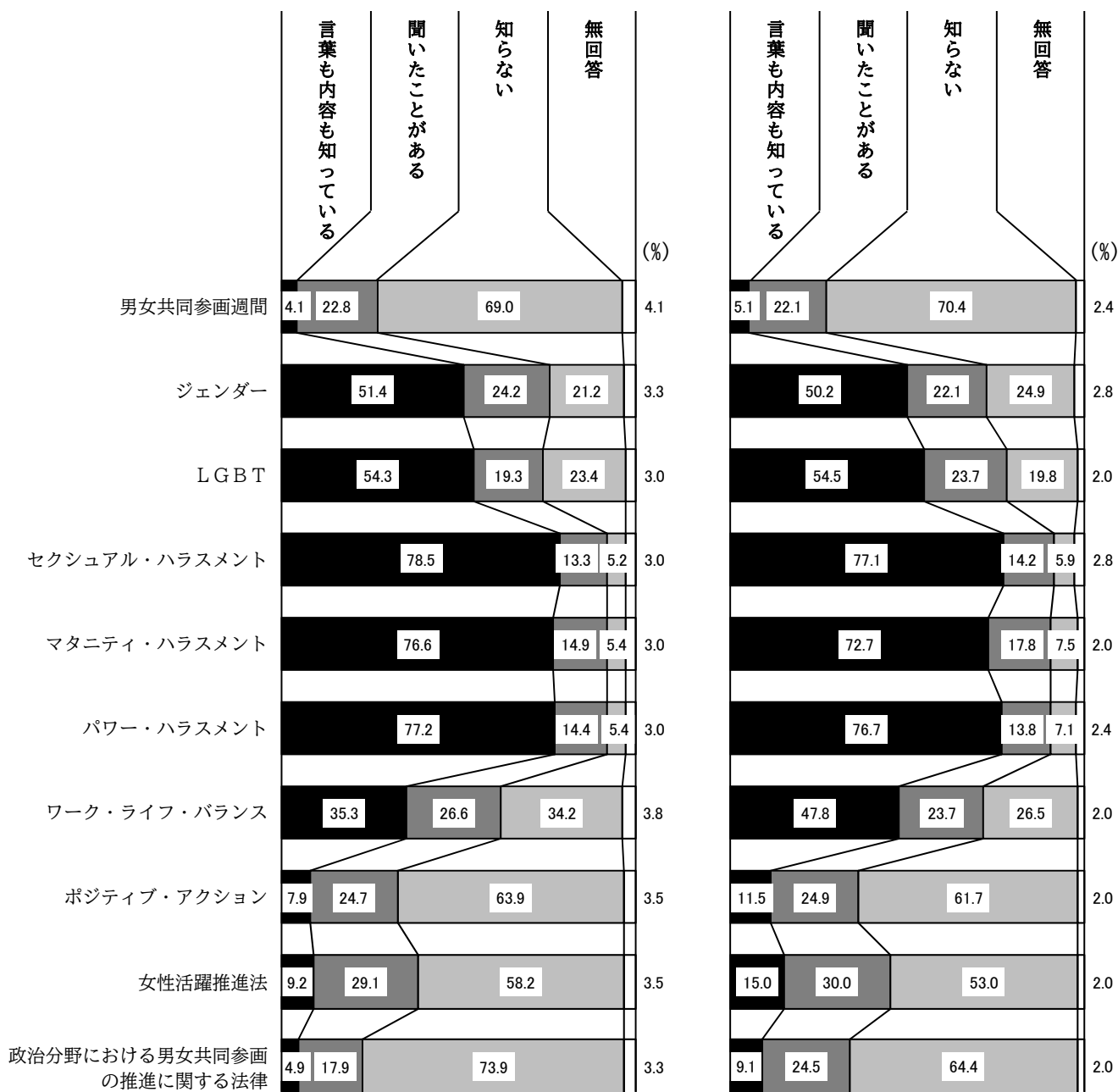
男女差がある項目として、「女性困りごと相談室」の「知らない」は、男性（73.9%）が、女性（46.7%）に比べ、27.2ポイント高くなっている。一方、「デートDV」の「言葉も内容も知っている」は、女性（56.8%）が、男性（45.5%）に比べ、11.3ポイント高くなっている。



第3章 調査の結果

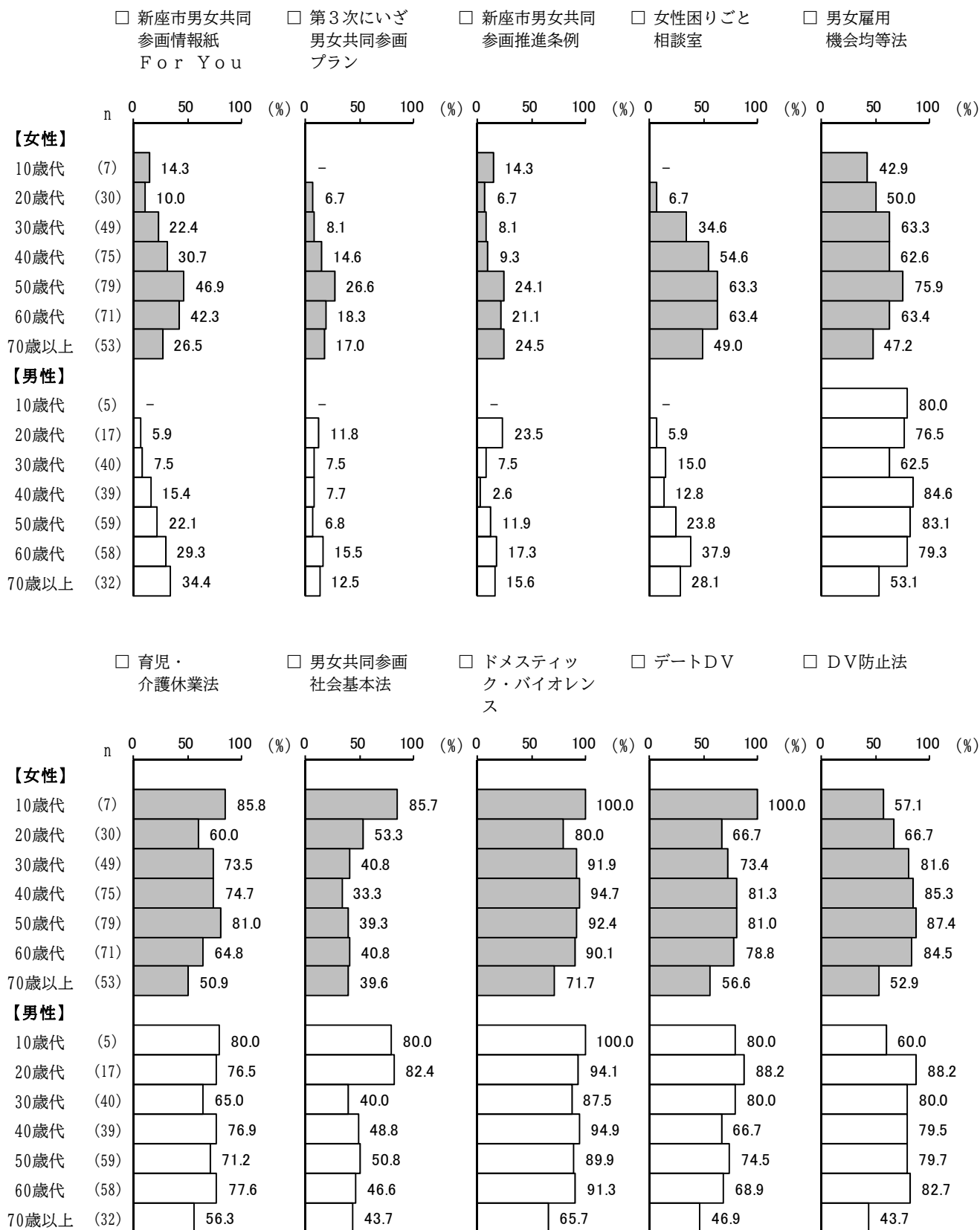
【女性】(n=368)

【男性】(n=253)

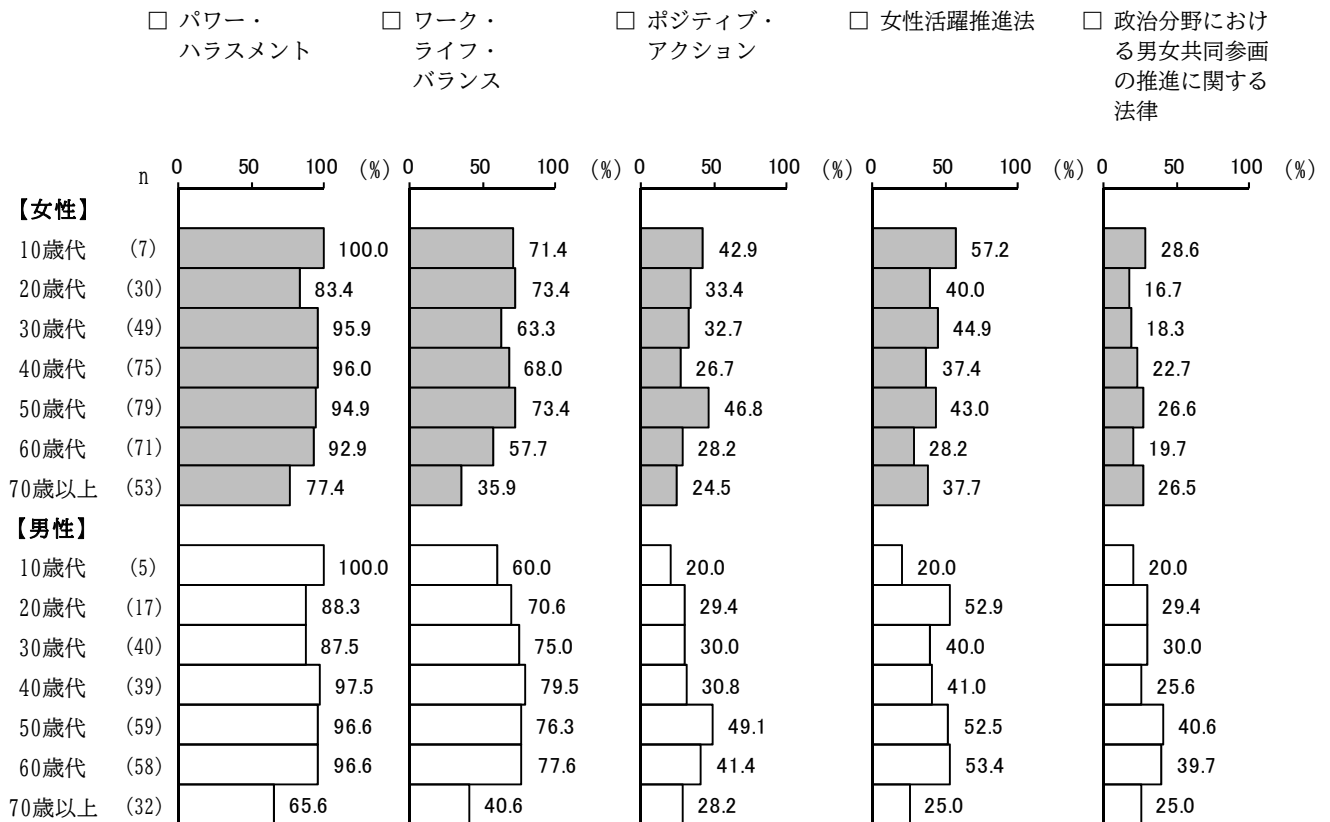
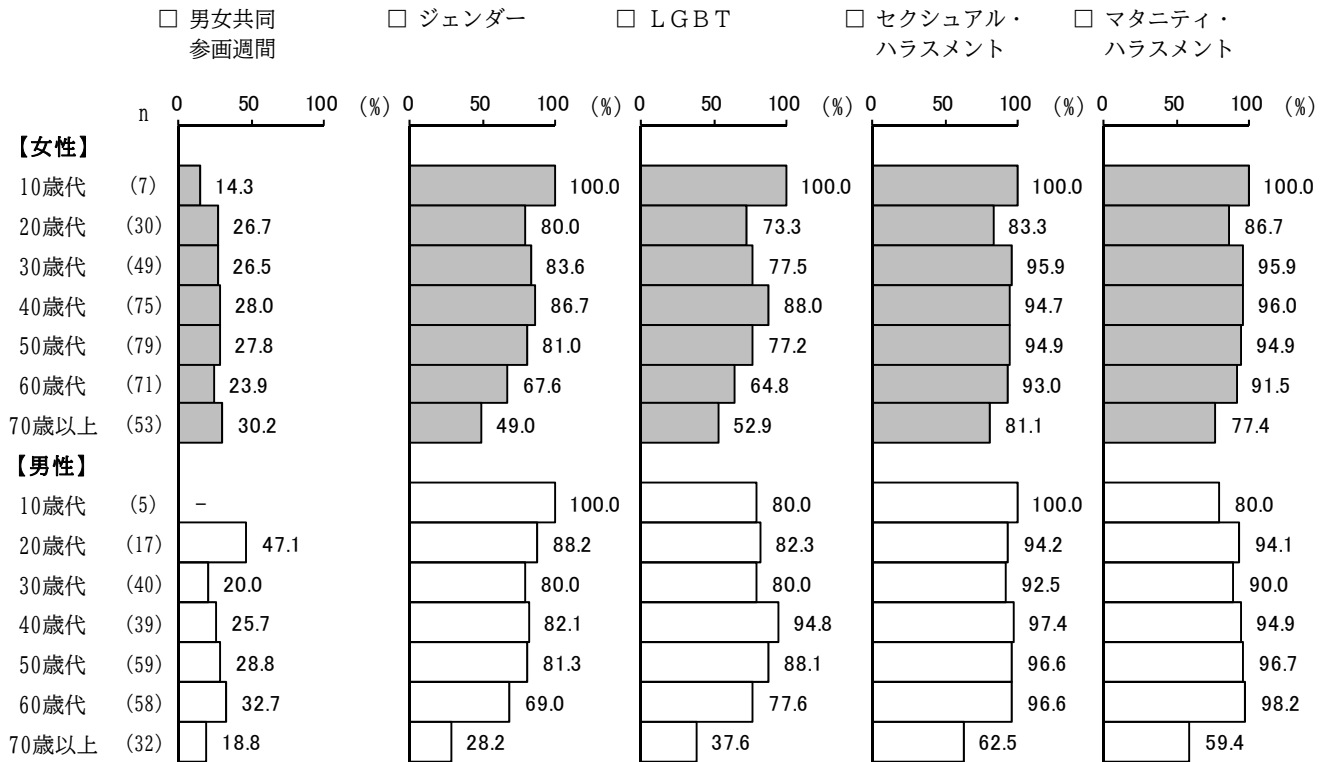


【性・年代別】

「言葉も内容も知っている」と「聞いたことがある」の合計では、【男性・70歳以上】を除き、すべての性・年代で「セクシュアル・ハラスメント」が80%以上、特に男性においては、90%以上と高くなっている。また、「ドメスティック・バイオレンス」、「マタニティ・ハラスメント」および「パワー・ハラスメント」についても、男女ともに70歳以上を除き、80%以上と高くなっている。



第3章 調査の結果

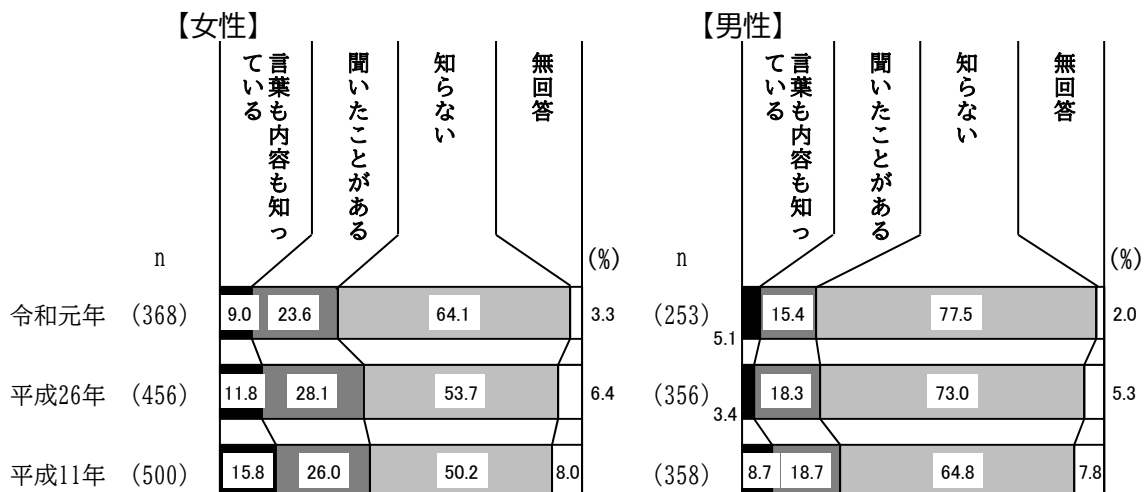


これまでの調査との比較

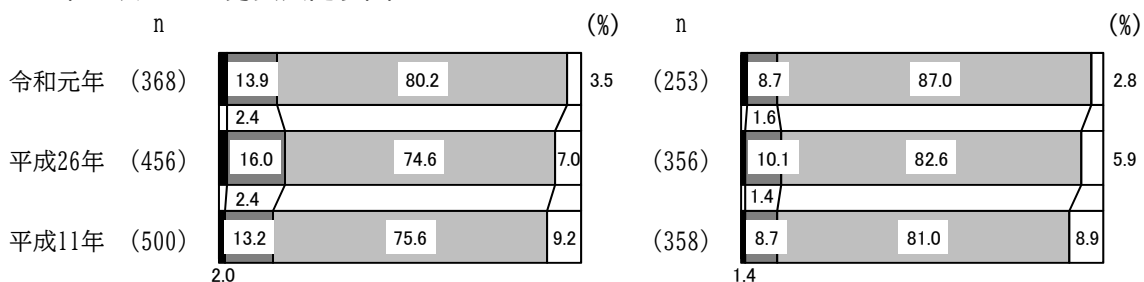
男女ともに多くの項目で「言葉も内容も知っている」と「聞いたことがある」の合計では、[平成26年]に比べ、増加しているが、その中で男女ともに最も増加しているのは「シ ジェンダー」であり、女性が35.5ポイント、男性が37.1ポイントの増加となっている。

性別 男女共同参画に関する取組や用語の認知度

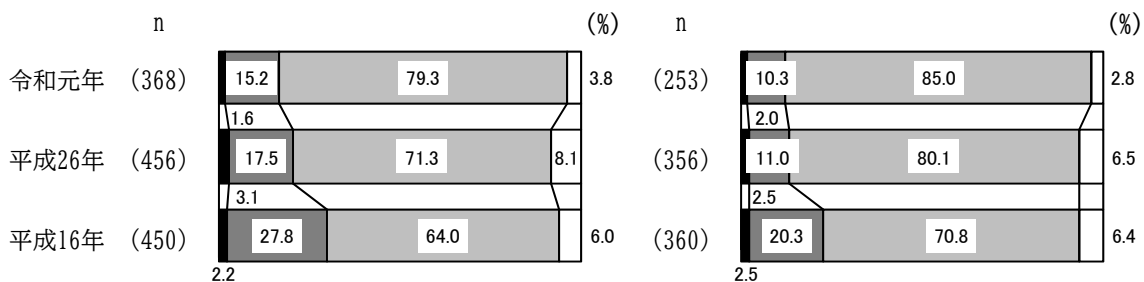
ア 新座市男女共同参画情報紙 For You



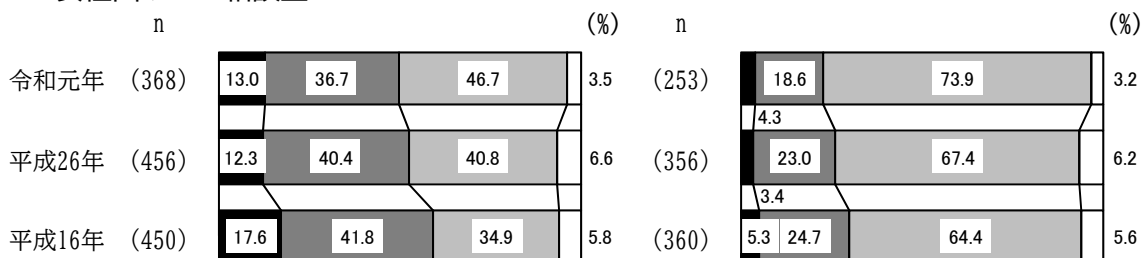
イ 第3次にいざ男女共同参画プラン



ウ 新座市男女共同参画推進条例

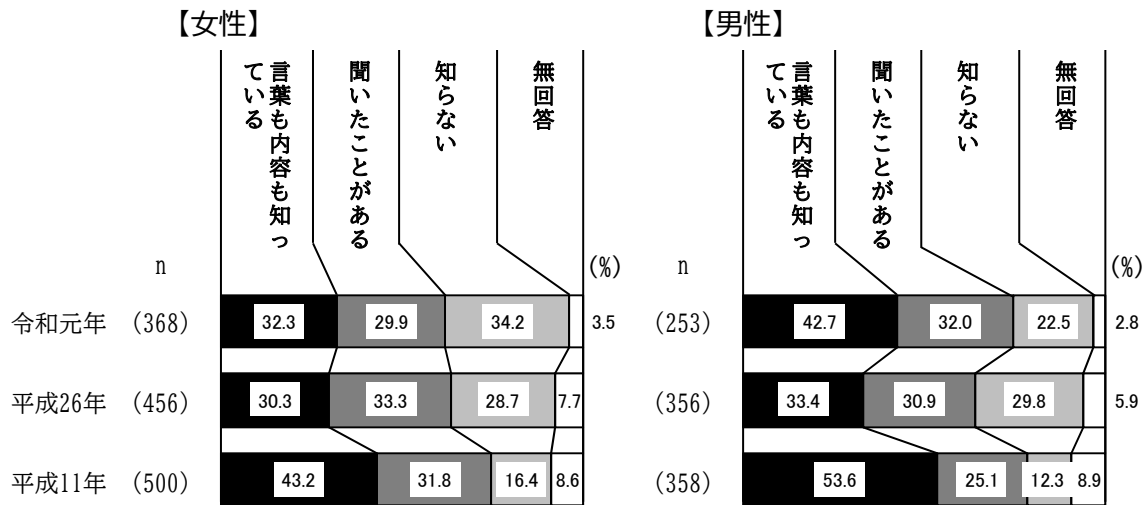


エ 女性困りごと相談室

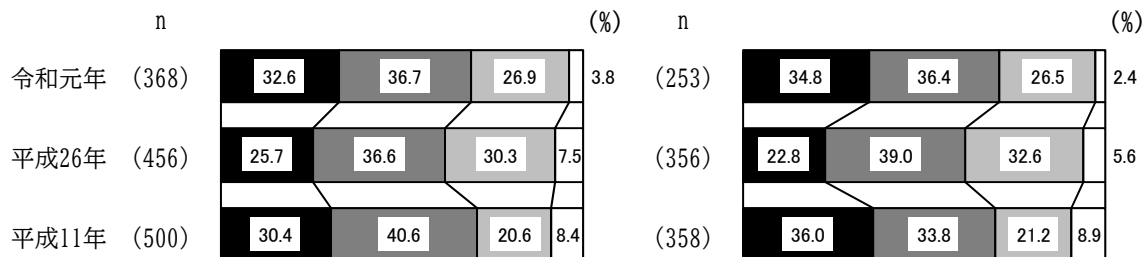


※ 「ウ 新座市男女共同参画推進条例」と「エ 女性困りごと相談室」は平成16年調査から調査項目に追加した。

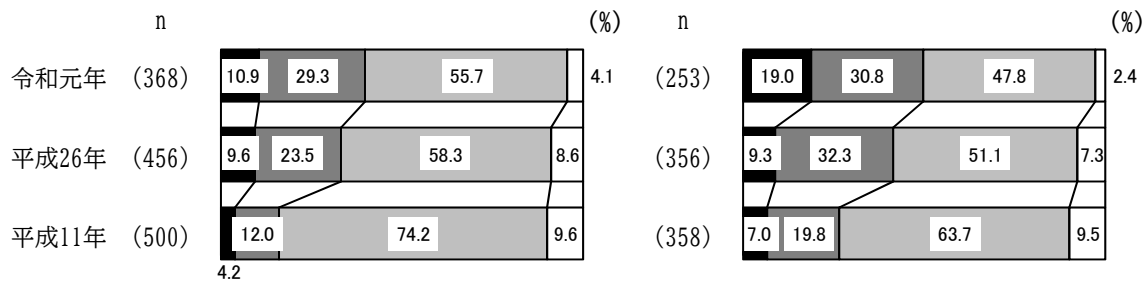
オ 男女雇用機会均等法【雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律】



カ 育児・介護休業法【育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律】



キ 男女共同参画社会基本法



ク ドメスティック・バイオレンス（DV。配偶者（パートナー）から振るわれる暴力）

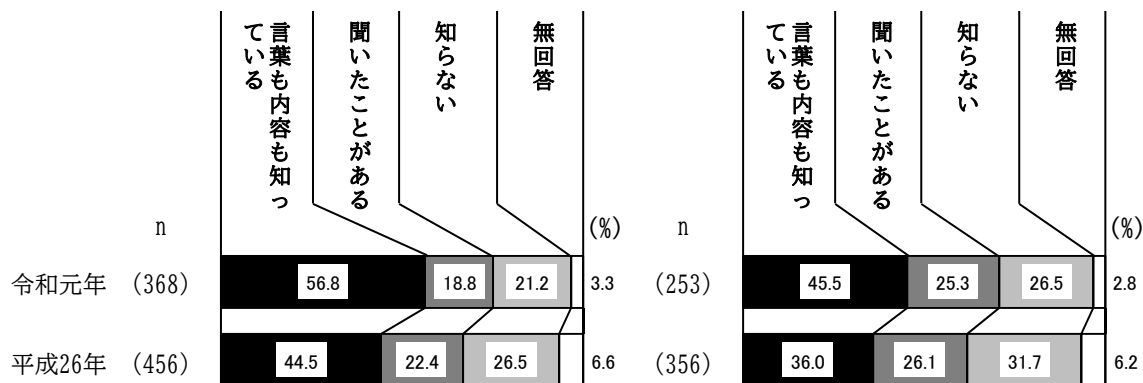


※ 「ク ドメスティック・バイオレンス」は平成26年調査から調査項目に追加した。

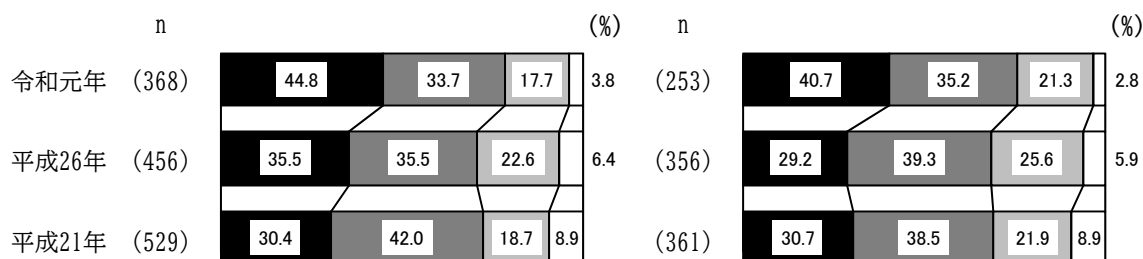
ケ デートDV（交際相手から振るわれる暴力）

【女性】

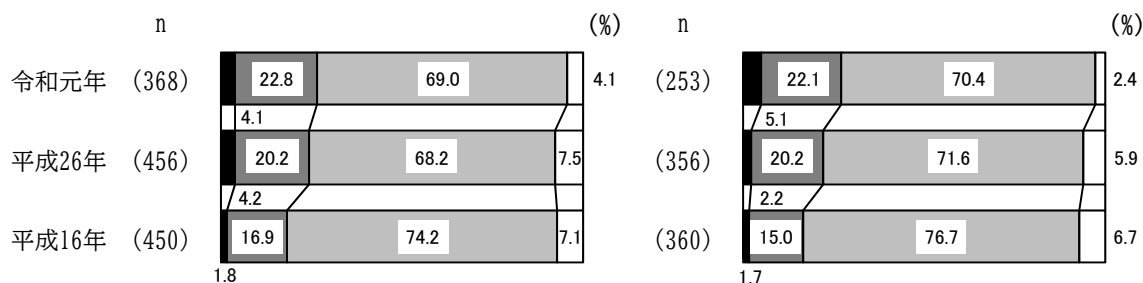
【男性】



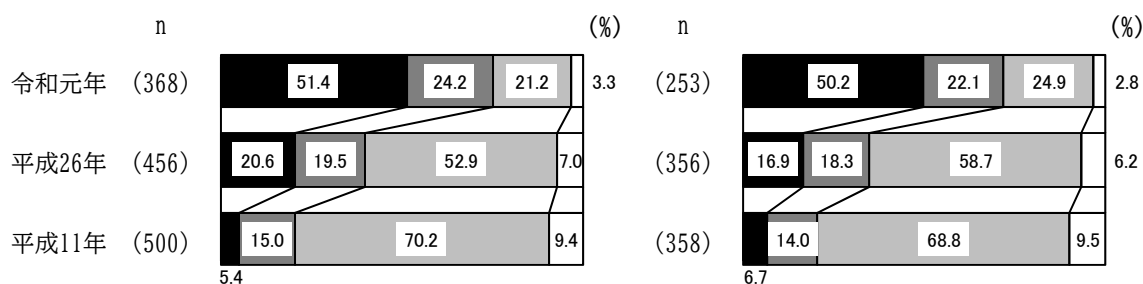
コ DV防止法【配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律】



サ 男女共同参画週間（毎年6月23日～29日の1週間）

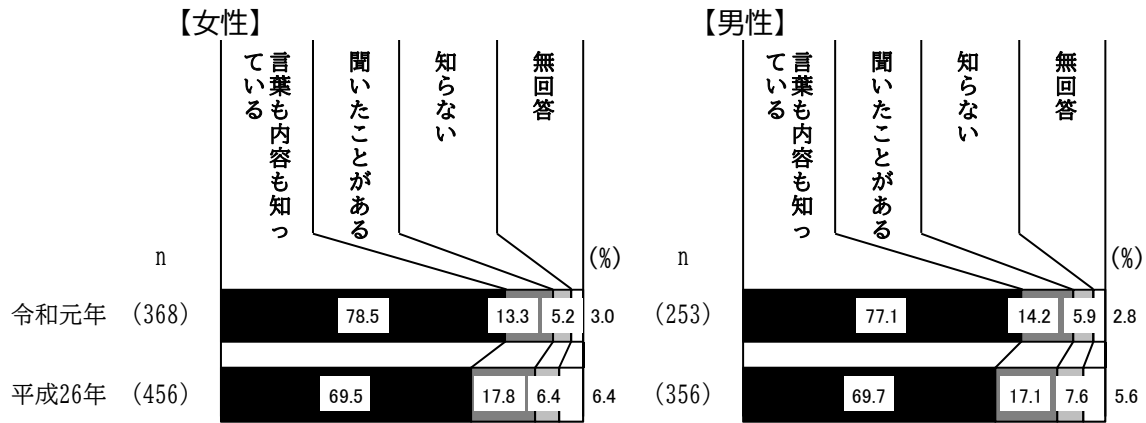


シ ジェンダー（社会的・文化的につくられた性別のこと）

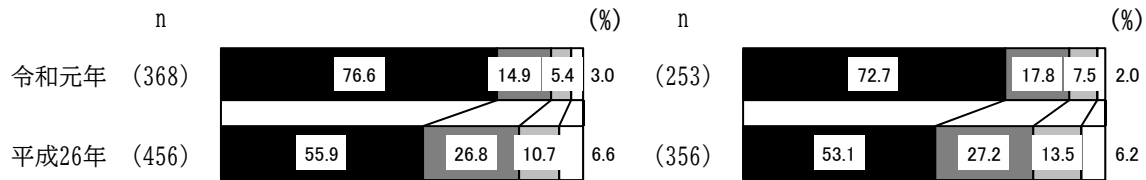


※ 「ケ デートDV」は平成26年調査から調査項目に追加した。
 ※ 「コ DV防止法」は平成21年調査から調査項目に追加した。
 ※ 「サ 男女共同参画週間」は平成16年調査から調査項目に追加した。

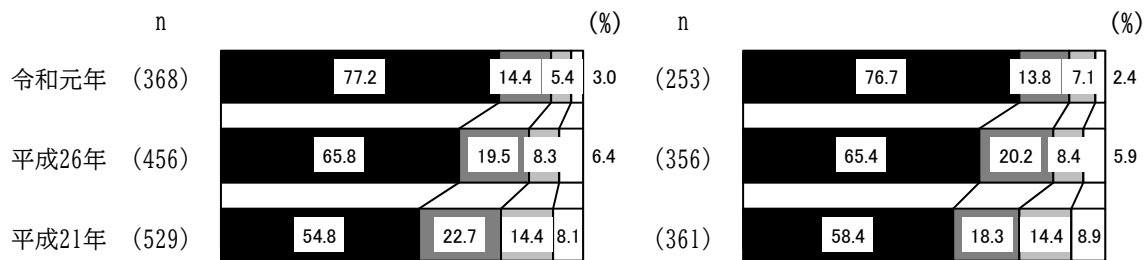
セ セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）



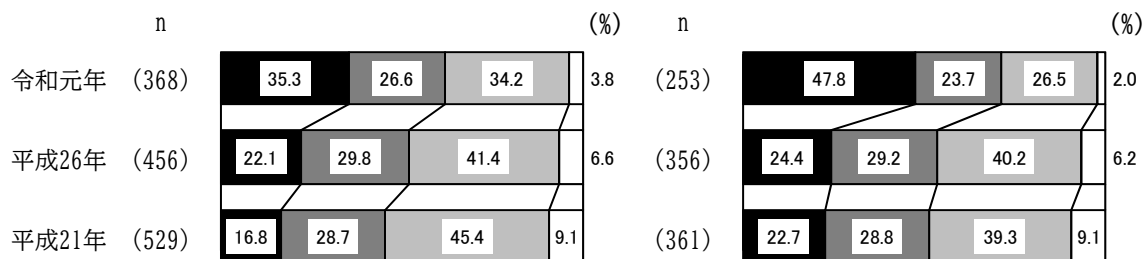
ソ マタニティ・ハラスメント（働く女性が妊娠、出産を理由に解雇、雇い止めされることや、職場で受ける精神的、肉体的な嫌がらせ）



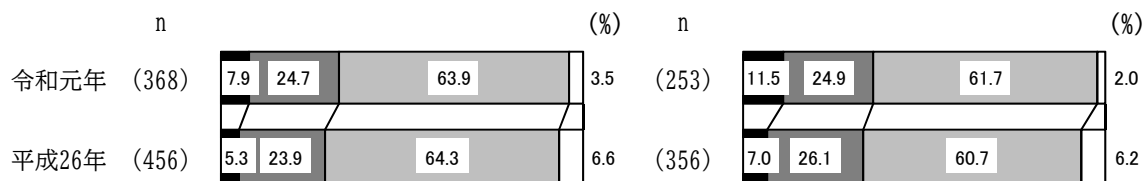
タ パワー・ハラスメント（社会的地位や職権を利用して行う嫌がらせのこと）



チ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）



ツ ポジティブ・アクション（積極的格差是正措置）



※ 「セ セクシュアル・ハラスメント」と「ソ マタニティ・ハラスメント」と「ツ ポジティブ・アクション（積極的格差是正措置）」は平成26年調査から調査項目に追加した。

※ 「タ パワー・ハラスメント」と「チ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」は平成21年調査から調査項目に追加した。

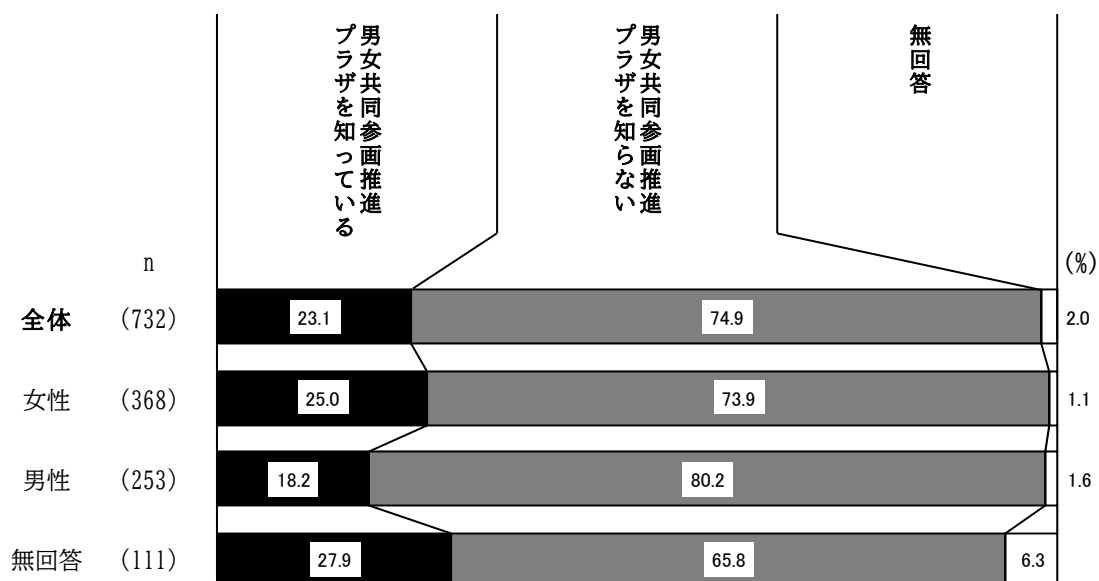
(9) 新座市男女共同参画推進プラザの認知状況

問42 新座市男女共同参画推進プラザ（志木駅南口前のいざほっとぷらざ内に平成14年2月1日に開設）をご存じですか。また、ここで開催された講座などに参加したことはありますか。（○は一つ）

全体では、「男女共同参画推進プラザを知らない」が74.9%、「男女共同参画推進プラザを知っている」が23.1%となっている。

【性別】

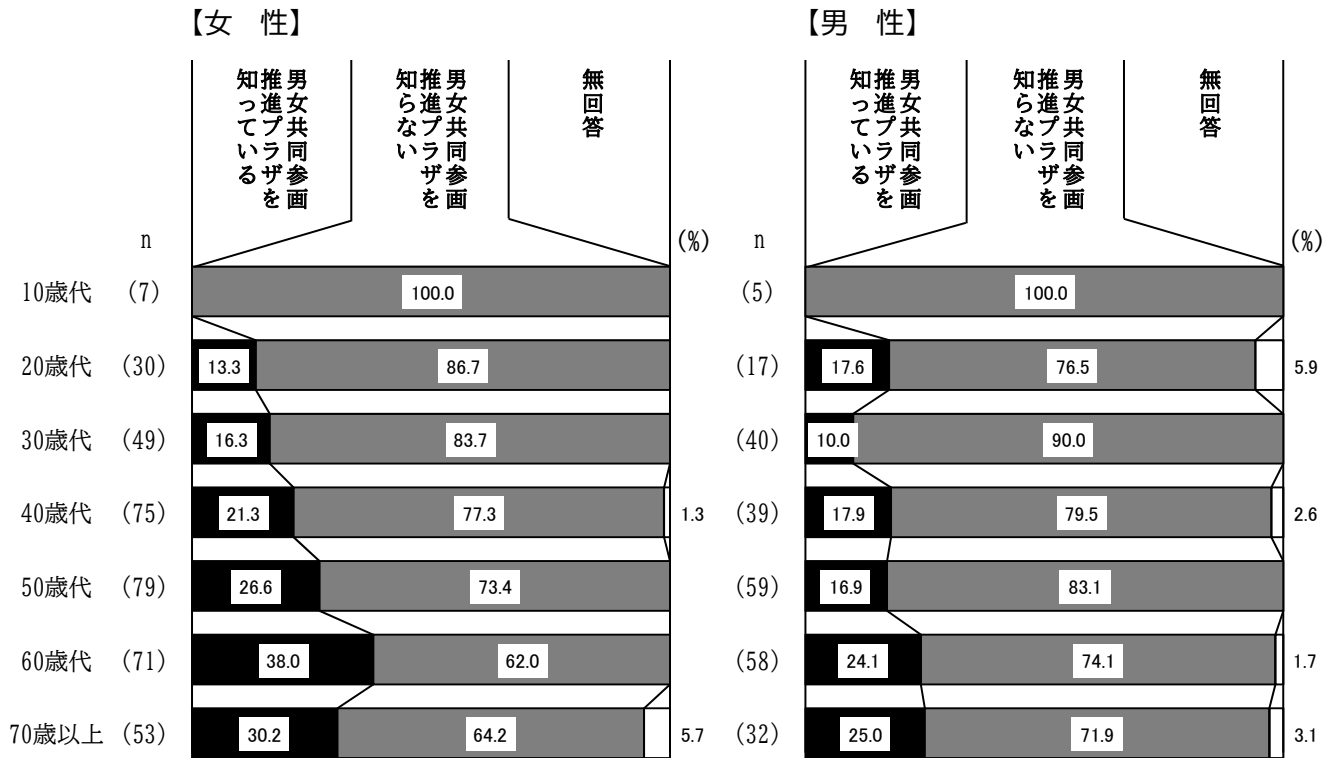
「男女共同参画推進プラザを知っている」割合は、女性の方が高くなっている。



第3章 調査の結果

【性・年代別】

「男女共同参画推進プラザを知っている」は、10歳代および20歳代を除き、女性が男性に比べ、高くなっている。

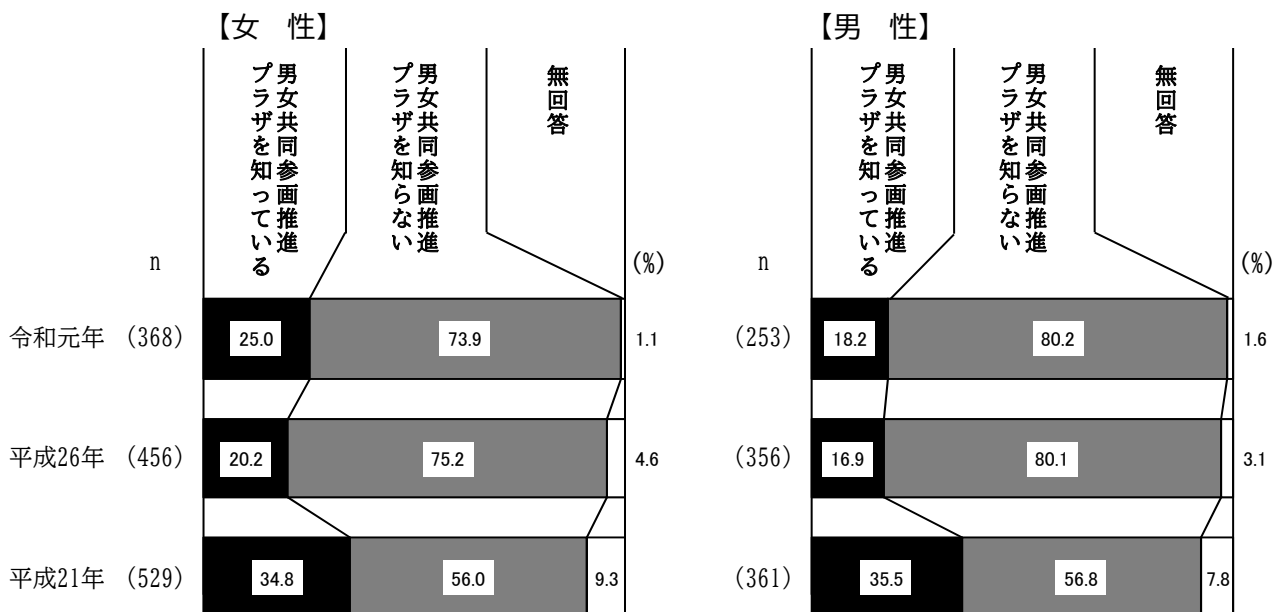


これまでの調査との比較

平成21年調査から調査項目に追加された。

「男女共同参画推進プラザを知っている」は女性が[平成26年](20.2%)に比べ、4.8ポイント増加している。

性別 新座市男女共同参画推進プラザの認知状況



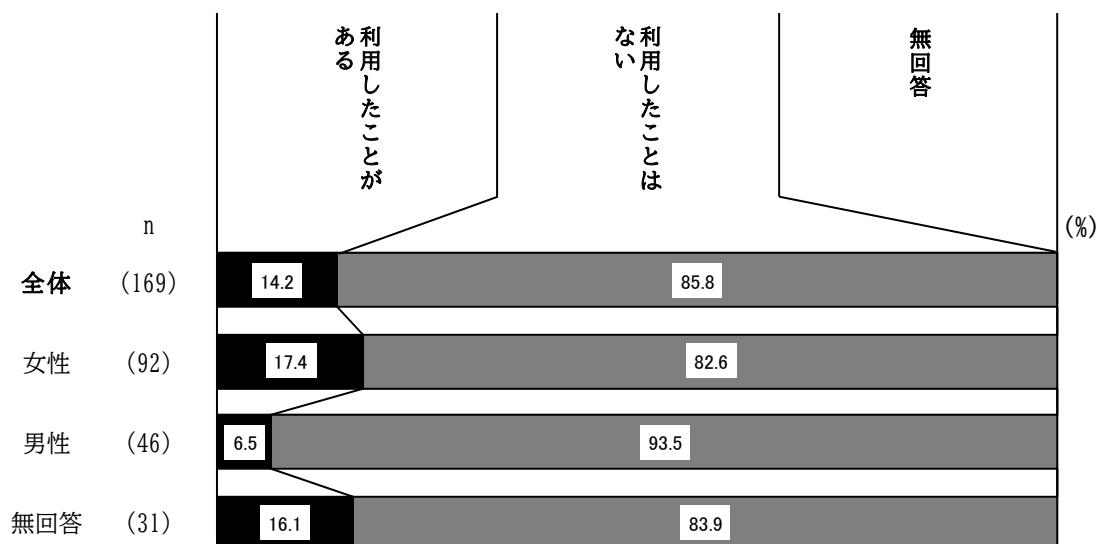
(10) 新座市男女共同参画推進プラザの利用状況

【問42で、「1 男女共同参画推進プラザを知っている」と回答した方にお聞きします。
問42-1-1 利用したことはありますか。(○は一つ)

全体では、「利用したことはない」が85.8%、「利用したことがある」が14.2%となっている。

【性別】

「利用したことがある」割合は、女性の方が高くなっている。

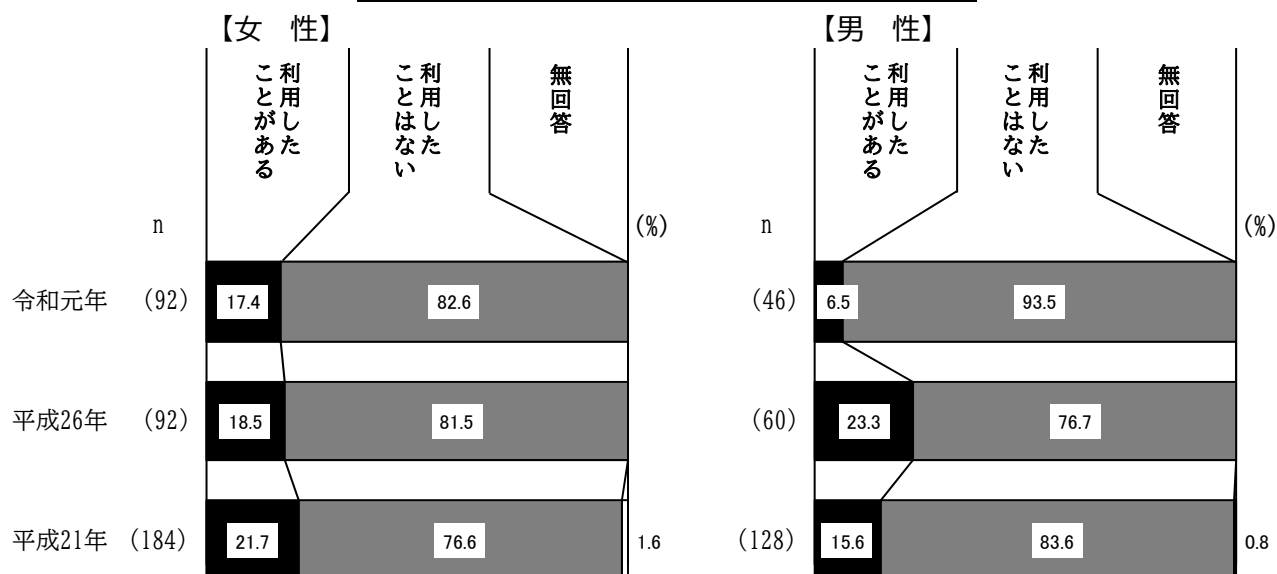


これまでの調査との比較

平成21年調査から調査項目に追加された。

「利用したことがある」は男性が[平成26年](23.3%)に比べ、16.8ポイント減少している。

性別 新座市男女共同参画推進プラザの利用状況

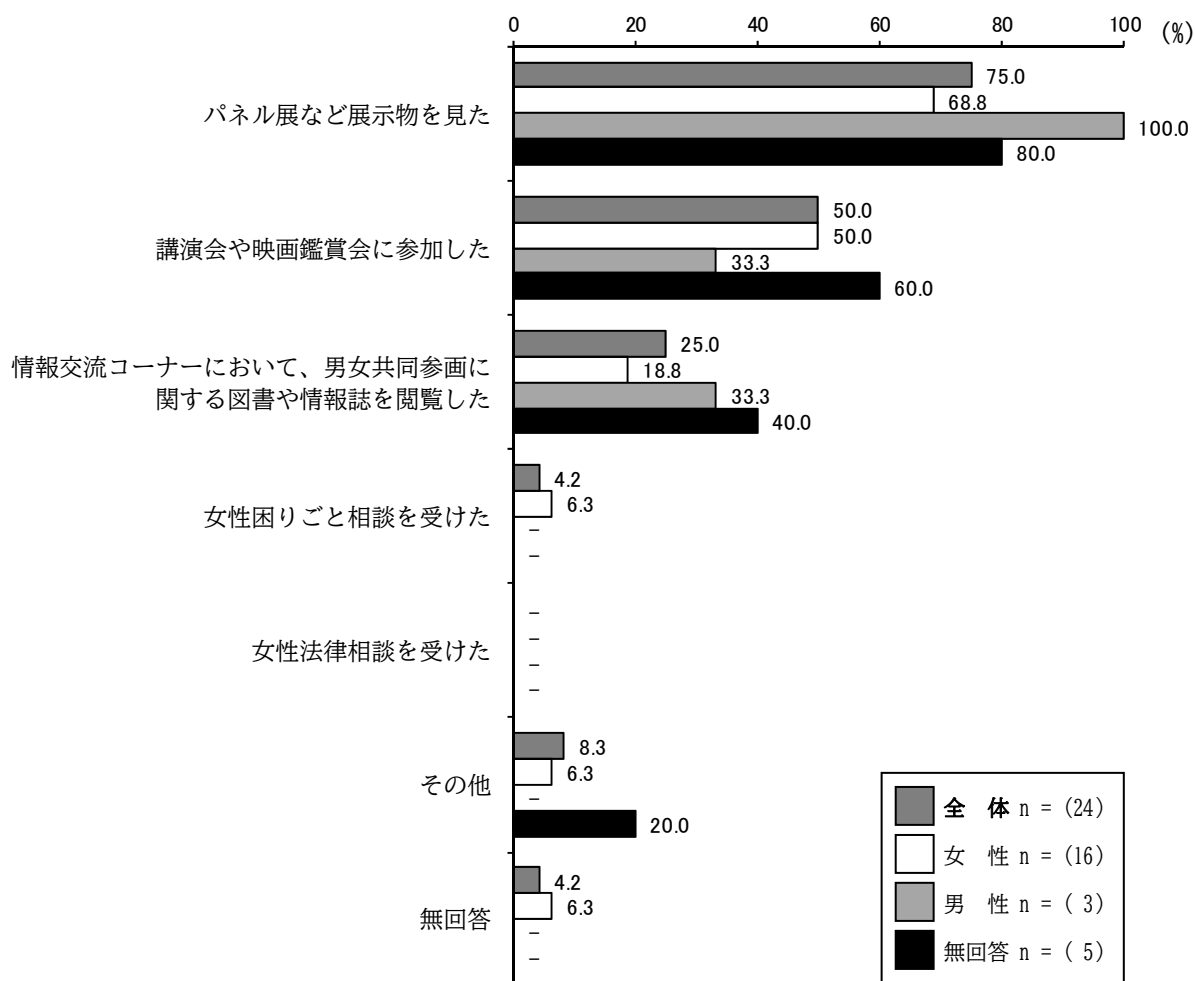


第3章 調査の結果

(11) 新座市男女共同参画推進プラザの利用目的

【問42-1-1で、「1 利用したことがある」と回答した方にお聞きします。
問42-1-2 どのようなことで利用しましたか。(あてはまるものすべてに○)

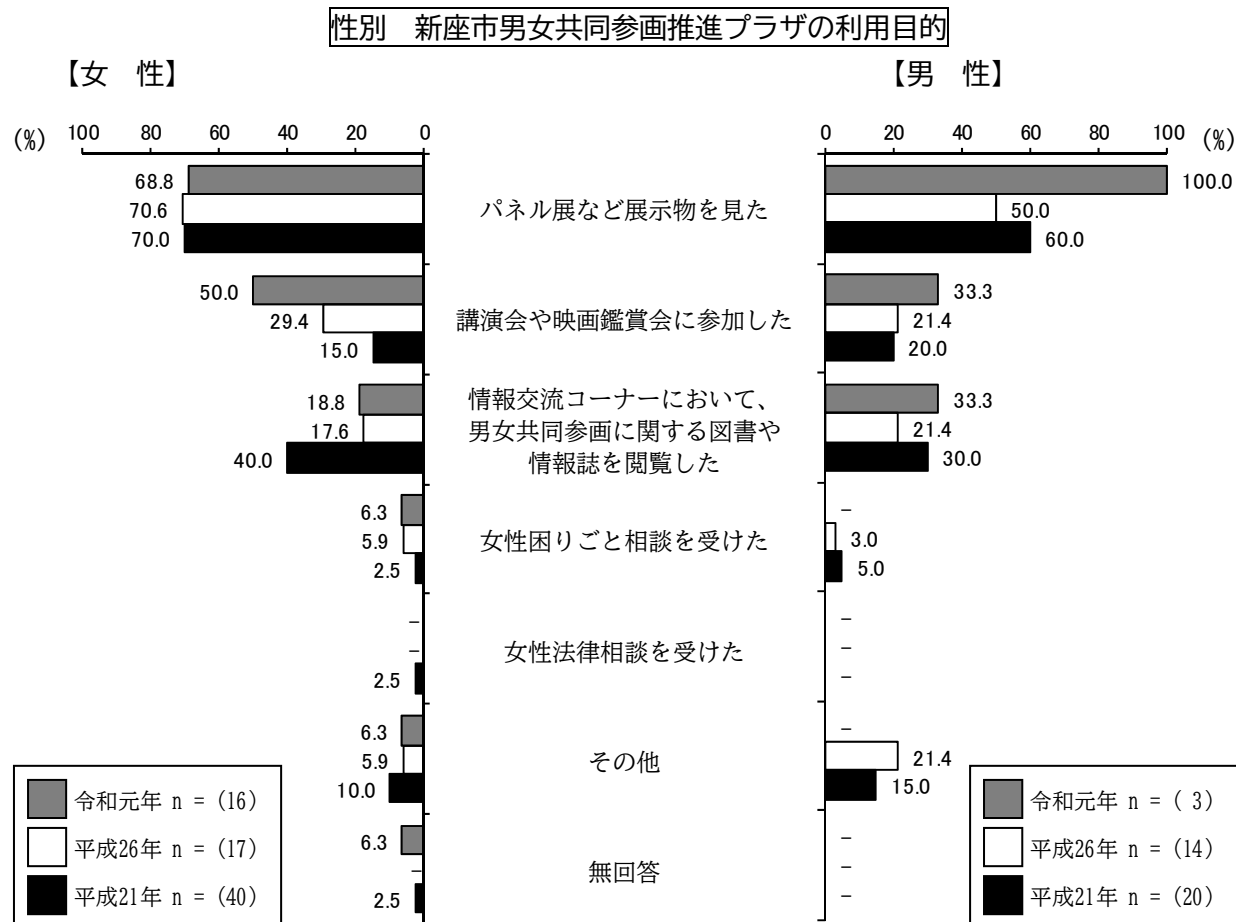
全体では、「パネル展など展示物を見た」が75.0%で最も高く、次いで「講演会や映画鑑賞会に参加した」が50.0%となっている。



これまでの調査との比較

平成21年調査から調査項目に追加された。

増減がある項目として、女性では、「講演会や映画鑑賞会に参加した」が[平成26年]（29.4%）に比べ、20.6ポイント増加している。



9. 自由意見

最後になりましたが、新座市の男女共同参画に関する取組について、日ごろ感じていることがございましたら、ご自由にお書きください。

質問の最後に市の男女共同参画に関する取組について、ご意見や要望を自由記入形式で求めたところ、113人（15.4%）の方から記入があった。

以下は、記入内容を分類し、まとめたものである。一人で複数の回答を記入している場合は、それぞれ1件として数えているため、延べ件数は184件となる。

	全体	女性	男性	無回答
◎就業について	29件	18件	8件	3件
・仕事と子育てを両立できる環境の整備	10件	7件	3件	0件
・職場での男女差について	5件	2件	2件	1件
・ハラスメントについて	5件	2件	3件	0件
・女性の再就職について	2件	0件	0件	2件
・その他	7件	7件	0件	0件

	全体	女性	男性	無回答
◎家庭生活について	7件	5件	1件	1件

	全体	女性	男性	無回答
◎育児、教育について	17件	10件	5件	2件
・子育て支援、保育施設の整備について	9件	4件	3件	2件
・学校での教育について	4件	3件	1件	0件
・その他	4件	3件	1件	0件

	全体	女性	男性	無回答
◎配偶者（パートナー）や交際相手からの暴力について	7件	5件	2件	0件
・DVについて	5件	4件	1件	0件
・その他	2件	1件	1件	0件

	全体	女性	男性	無回答
◎社会参加について	1件	0件	1件	0件

	全体	女性	男性	無回答
◎男女平等について	29件	15件	10件	4件
・男女平等の実現は難しい、男女は平等ではない	9件	2件	4件	3件
・男女ともに意識改革が必要	2件	1件	1件	0件
・女性優遇ではなく、能力に応じた適材適所が重要	2件	1件	1件	0件
・男女の役割や平等意識の押し付けはよくない	2件	1件	1件	0件
・女性の方が優遇されている	2件	1件	1件	0件
・男女の違いを認識し、それぞれの得意分野を活かすことが重要	1件	1件	0件	0件
・男女がともに尊重しあうことが重要	1件	1件	0件	0件
・その他	10件	7件	2件	1件

	全体	女性	男性	無回答
◎介護・高齢化について	5件	2件	0件	3件

	全体	女性	男性	無回答
◎行政について	65件	29件	25件	11件
・行政への意見、提案	33件	19件	8件	6件
・アンケートについて	26件	6件	16件	4件
・男女共同参画の周知・PR不足	6件	4件	1件	1件

	全体	女性	男性	無回答
◎その他	24件	13件	8件	3件

(参考) 調査票

新座市男女平等意識・実態調査

5年に1度の重要な調査です。趣旨をご理解いただき、是非ご協力をお願いします。

市民のみなさまには、日頃から市政にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

新座市では、男女が共に、家庭に、職場に、地域に、より自由に参加できる社会を目指して、様々な取組を進めています。

その取組の一つとして、この度、市民のみなさまの男女平等についての意識と実態を把握するため、住民基本台帳から18歳以上の方2,000人を無作為に選ばせていただき、「新座市男女平等意識・実態調査」を実施することといたしました。

この調査の結果は、新座市における男女共同参画の基本指針となる「(仮称)第4次にいざ男女共同参画プラン」策定の基礎資料とするとともに、今後の男女共同参画社会の実現のための施策に反映させていきます。

また、これまでに実施した調査結果からの推移を見ることも大きな目的の一つであり、多くのみなさまからの回答が非常に重要です。大変お忙しいところ誠に恐縮とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。(回答時間：20～25分程度)

なお、これまでの調査結果は、その都度、報告書として作成しており、市ホームページ(<http://www.city.niiza.lg.jp/>)で公表していますので、ご参照いただければと存じます。

令和元年8月

新座市長 並木 傑

ご記入に当たってのお願い

- (1) アンケートの記入は、封筒の宛名のご本人をお願いします。
- (2) 質問ごとにあてはまる回答の番号・記号を選び、○で囲んでください。「その他」にあてはまる場合は、()内にその内容を具体的に記入ください。
- (3) 回答は、「○は一つ」「○は各項目に一つ」など設問ごとに示されている数を選んでください。
- (4) 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、【 】内のことわり書をお読みください。また、矢印(→)のあるところは、矢印に従って進んでください。
- (5) 鉛筆又は黒・青のボールペンで記入ください。
- (6) 調査は無記名であり、個人が特定されることは一切ありませんので、ありのままをご記入ください。

※ 調査票のご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒(切手は必要ありません。)に入れ、

9月25日(水)までに ご投函ください。

《調査票についての問合せ先》

新座市総務部人権推進課

〒352-8623 新座市野火止1-1-1

電話 048(477)1513

◆ 最初にあなた自身のことについてお答えください。

F 1 あなたの性別は。	1 男性 2 女性 3 その他
F 2 あなたの年齢は。(〇は一つ)	1 18～19歳 5 50～59歳 2 20～29歳 6 60～69歳 3 30～39歳 7 70歳以上 4 40～49歳
F 3 あなたは、新座市にお住まいになって何年になりますか。(〇は一つ)	1 3年未満 2 3年以上5年未満 3 5年以上10年未満 4 10年以上20年未満 5 20年以上30年未満 6 30年以上 7 生まれてからずっと
F 4 あなたの家族の構成は。(〇は一つ)	1 一人住まい 2 夫婦のみ 3 ひとり親+子ども 4 両親+子ども 5 親+子ども夫婦 6 親+子ども夫婦+孫 7 兄弟姉妹 8 その他()
F 5 あなたには、子どもがいますか。	1 いる(人) 2 いない
F 6 子どものいる方にお聞きします。 一番年齢の低い子どもは、現在次のどれにあてはまりますか。(〇は一つ) 〔子どもと同居していない場合も含みます。〕	1 1歳未満 2 1～3歳未満 3 3歳～小学校入学前 4 小学生 5 中学生 6 高校生 7 短大・各種学校・大学生・大学院生・浪人生 8 社会人(未婚) 9 社会人(既婚)
F 7 あなたは、結婚の経験がありますか。 (〇は一つ)	1 既婚 4 離別 2 未婚 5 その他() 3 死別
F 8 【F7で、「1 既婚」と答えた方にお聞きします。】 あなたの配偶者(パートナー)の職業は。 (〇は一つ)	1 自由業・自営業・家業(農業・会社経営など) 2 勤め人(正規雇用) 3 勤め人(フルタイムの非正規雇用(臨時・派遣・アルバイトなど)) 4 勤め人(パートなど、フルタイムでない非正規雇用) 5 内職 6 専業主婦・専業主夫 7 学生 8 無職 9 その他()

1 就業についてうかがいます

問1 あなたの職業は何ですか。(○は一つ)

- 1 自由業・自営業・家業(農業・会社経営など)
- 2 勤め人(正規雇用)
- 3 勤め人(フルタイムの非正規雇用(臨時・派遣・アルバイトなど))
- 4 勤め人(パートなど、フルタイムでない非正規雇用)
- 5 内職
- 6 専業主婦・専業主夫
- 7 学生
- 8 無職
- 9 その他()

問2 あなたは、収入を伴う仕事に就いていますか。(○は一つ)

1 仕事に就いている

2 仕事に就いていない

問2-1 仕事に就いている理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 生計を維持するため
- 2 生活費に余裕が欲しいため
- 3 住宅ローンや住宅資金、家賃のため
- 4 子どもの教育資金のため
- 5 将来に備えて貯蓄するため
- 6 自分で自由になるお金が欲しいため
- 7 自分の能力・技術・資格を生かすため
- 8 働くことが好きであるため
- 9 社会や他人とのつながりを持つため
- 10 社会的な信頼を得るため
- 11 働くことは当たり前のことであるため
- 12 家業であるため
- 13 その他()

問2-2 仕事に就いていない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 働かなくても経済的に困らないため
- 2 妊娠中のため
- 3 家事・育児に専念したいため
- 4 家事・育児と両立できないため
- 5 高齢者や病人の世話があるため
- 6 健康上の理由
- 7 勤務条件のよい職場がないため
- 8 能力を生かせる職場がないため
- 9 職業能力に自信がないため
- 10 就職活動をしたが、採用されないため
- 11 家族の反対があるため
- 12 家族の転勤のため
- 13 その他()

【問1で、「3 勤め人(フルタイムの非正規雇用(臨時・派遣・アルバイトなど))」又は「4 勤め人(パートなど、フルタイムでない非正規雇用)」と回答した方にお聞きします。】

問3 その仕事を選んだ主な理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 好きな時間に働けるため
- 2 家事・育児との両立ができるため
- 3 配偶者(パートナー)など家族の同意が得やすいため
- 4 仕事の責任が軽いため
- 5 やめるのが簡単なため
- 6 非正規の仕事しかなかったため
- 7 パートの仕事しかなかったため
- 8 期間限定の仕事しかなかったため
- 9 扶養の範囲内で働けるため
- 10 その他()

問4 あなたの実際の働き方はどうですか（どうでしたか）。もっとも近いものを選んでください。（○は一つ）

1 あなた自身について

- 1 結婚や出産の有無にかかわらず、仕事を続けている（いた）
- 2 子育ての時期だけ一時やめて、その後はフルタイムで仕事を続けている（いた）
- 3 子育ての時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事を続けている（いた）
- 4 結婚後または子育て終了時から仕事をもっている（いた）
- 5 子どもができるまでは仕事を続け、その後は仕事に就いていない（いなかった）
- 6 結婚するまでは仕事を続け、その後は仕事に就いていない（いなかった）
- 7 仕事に就いていない（就いていなかった）
- 8 その他（ ）

【配偶者（パートナー）のいる（いた）方にお聞きします。】

2 配偶者（パートナー）について

- 1 結婚や出産の有無にかかわらず、仕事を続けている（いた）
- 2 子育ての時期だけ一時やめて、その後はフルタイムで仕事を続けている（いた）
- 3 子育ての時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事を続けている（いた）
- 4 結婚後または子育て終了時から仕事をもっている（いた）
- 5 子どもができるまでは仕事を続け、その後は仕事に就いていない（いなかった）
- 6 結婚するまでは仕事を続け、その後は仕事に就いていない（いなかった）
- 7 仕事に就いていない（就いていなかった）
- 8 その他（ ）

問5 女性が働くことについて、あなたの考え方にもっとも近いものを選んでください。（○は一つ）

- 1 結婚や出産の有無にかかわらず、仕事を続けるほうがよい
- 2 子育ての時期だけ一時やめて、その後はフルタイムで仕事を続けるほうがよい
- 3 子育ての時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事を続けるほうがよい
- 4 結婚後または子育て終了時から仕事をもつほうがよい
- 5 子どもができるまでは仕事を続け、その後は仕事に就かないほうがよい
- 6 結婚するまでは仕事を続け、その後は仕事に就かないほうがよい
- 7 仕事に就かないほうがよい
- 8 その他（ ）

問6 女性が働く上で、さまざまな面で男性と異なる立場に置かれることについて、どのように考えますか。

ア～コの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。(○は各項目に一つ)

	当然だと思う	やむをえない と思う	だと思っ た	不合理なこと だと思っ た	差別だと思っ た	女性に対する	わからない
ア 募集や採用で女性は男性より不利であること	1	2	3	4	5		
イ 女性を配置しない職種・部門があること	1	2	3	4	5		
ウ 昇進面で女性は男性より不利であること(女性の管理職が少ないなど)	1	2	3	4	5		
エ 同期や同年齢の男性より、賃金が低いこと	1	2	3	4	5		
オ 同じ仕事の男性より、研修や出張の機会が少ないこと	1	2	3	4	5		
カ 同じ仕事の男性より、転勤などの人事異動で不利であること	1	2	3	4	5		
キ 女性には、補助的、雑用的な仕事しか与えられないこと	1	2	3	4	5		
ク 結婚退職の慣習があること	1	2	3	4	5		
ケ 出産退職の慣習があること	1	2	3	4	5		
コ 定年の年齢が男女で違うこと	1	2	3	4	5		

問7 女性が働き続ける環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1 男女とも労働時間の短縮を促進 2 育児休業制度・介護休業制度の定着・促進 3 労働の場での男女平等の推進 4 保育所・学童保育などの育児環境の充実と経済的負担の軽減 5 介護サービス、介護施設などの充実 6 働き続けることへの家族の理解・協力 7 男性の家事・育児の分担 8 その他 ()
--

問8 女性が再就職・起業しやすい環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1 再就職・起業準備のための講座やセミナー、技能訓練の充実 2 再就職・起業制度の促進 3 求人情報の提供や女性が働ける新しい職場、職域の開発 4 保育所・学童保育などの育児環境の充実 5 再就職・起業することへの家族の理解・協力 6 その他 ()
--

【現在働いている方、または、働いた経験のある方にお聞きします。】

問9 セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）に関して、あなたの職場では以下のようなことがありますか。ア～コの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。（○は各項目に一つ）

	ある された経験が	見たことがある	話に聞いたことがある	ない そうしたことには
ア 嫌がっているのに性に関する話を聞かせる	1	2	3	4
イ 異性の身体にさわる	1	2	3	4
ウ 宴会でお酌やデュエットを強要する	1	2	3	4
エ 上司が地位を利用した性的誘いをする	1	2	3	4
オ 結婚予定や出産予定をたびたび聞く	1	2	3	4
カ ヌード写真を見せたり、ヌードや水着のポスターなどを見える所に貼る	1	2	3	4
キ 職場の女性を「女の子」や「オバサン」と呼ぶ	1	2	3	4
ク 容姿について不快なことを言う	1	2	3	4
ケ 年齢について、とりたてて話題にしたり、からかったりする	1	2	3	4
コ その他（ ）	1	2	3	4

【現在働いている方、または、働いた経験のある方にお聞きします。】

問10 マタニティ・ハラスメント（働く女性が妊娠、出産を理由に解雇、雇い止めされることや、職場で受ける精神的、肉体的な嫌がらせ）に関して、あなたの職場では以下のようなことがありますか。ア～キの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。（○は各項目に一つ）

	ある された経験が	見たことがある	話に聞いたことがある	ない そうしたことには
ア 妊娠中や産休・育休明けなどに、休暇を取るなどについて心無いことを言う	1	2	3	4
イ 妊娠・出産がきっかけで、解雇や契約打ち切り、自主退職への誘導等をする	1	2	3	4
ウ 妊娠中や産休・育休明けなどに、残業や重労働などを強いる	1	2	3	4
エ 妊娠・出産がきっかけで、望まない異動をさせる	1	2	3	4
オ 妊娠・出産がきっかけで、雇用形態を変更する	1	2	3	4
カ 妊娠・出産がきっかけで、給料を減らす	1	2	3	4
キ その他（ ）	1	2	3	4

問11 育児や家族介護を行うために、法律に基づき育児休業や介護休業を取得できる制度があります。あなたは、この制度を活用して、育児休業や介護休業を取得したことがありますか。（○は各項目に一つ）

	取得したことがある	取得したことがない (主な理由を一つ選んでください)							働いたことがない
		そのような制度がなかった	制度があることを知らなかった	取得しなくても対応できた (有給休暇で対応した場を答える)	取得できなかったが、周囲の事情などにより取得できなかった	自分の仕事や業績に支障が出る	取得すると収入が下がる	在職中に育児・介護の対象者がいなかった	
ア 育児休業	1	2	3	4	5	6	7	8	9
イ 介護休業	1	2	3	4	5	6	7	8	9

2 家庭生活についてうかがいます

問12 家庭生活における役割分担について、どのように考えますか。ア～クの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。（○は各項目に一つ）

	主として男性 がよい	共同して分担 がよい	主として女性 がよい	どちらが してもよい
ア 家事（炊事・洗濯・掃除など）	1	2	3	4
イ 子育て（子どもの世話、しつけ、教育など）	1	2	3	4
ウ 介護（高齢者の世話、病人の介護など）	1	2	3	4
エ 地域の行事への参加	1	2	3	4
オ 自治会、PTA活動	1	2	3	4
カ 生活費の確保	1	2	3	4
キ 家計の管理	1	2	3	4
ク 高額な商品や土地・家屋の購入の決定	1	2	3	4

問13 あなたの家庭での実際の役割分担はどうですか。ア～クの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。(○は各項目に一つ)

	主として男性	共同して分担	主として女性	該当しない
ア 家事(炊事・洗濯・掃除など)	1	2	3	4
イ 子育て(子どもの世話、しつけ、教育など)	1	2	3	4
ウ 介護(高齢者の世話、病人の介護など)	1	2	3	4
エ 地域の行事への参加	1	2	3	4
オ 自治会、PTA活動	1	2	3	4
カ 生活費の確保	1	2	3	4
キ 家計の管理	1	2	3	4
ク 高額な商品や土地・家屋の購入の決定	1	2	3	4

問14 家庭生活の考え方について、あなたは「実生活」では何を優先していますか。また、「希望」では何を優先したいですか。(○は各項目に一つ)

1 実生活

- 1 家事・子育て・介護を優先している
- 2 どちらかといえば、仕事や趣味よりも家事・子育て・介護を優先している
- 3 仕事や趣味と家事・子育て・介護の優先度は同じくらいである
- 4 どちらかといえば、家事・子育て・介護より、仕事や趣味を優先している
- 5 仕事や趣味を優先している

2 希望

- 1 家事・子育て・介護を優先したい
- 2 どちらかといえば、仕事や趣味より家事・子育て・介護を優先したい
- 3 仕事や趣味と家事・子育て・介護の優先度は同じくらいにしたい
- 4 どちらかといえば、家事・子育て・介護より、仕事や趣味を優先したい
- 5 仕事や趣味を優先したい

問15 あなたの家庭での家事分担の状況について、あなたはどう思いますか。(○は一つ)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1 満足している | 4 やや不満である |
| 2 まあまあ満足している | 5 不満である |
| 3 どちらとも言えない | 6 その他 |

その理由について、ご自由にお書きください。

(理由)

【子育て中の方、または、子育て経験のある方にお聞きします。】

問16 あなたと配偶者（パートナー）の子育てのかかわりは十分である（あった）と思いますか。
（○は各項目に一つ）

1 あなた自身について

- 1 十分である（あった）
- 2 ある程度は十分である（あった）

- 3 あまり十分ではない（なかった）
- 4 十分ではない（なかった）



かかわりが十分でない（なかった）のは何が原因だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- ア 仕事が忙しすぎるため
- イ 育児休業制度が不十分または利用しにくい
- ウ 趣味や自分の個人的な楽しみの方を大切に
- エ 子どものことや家庭のことにあまり関心がない
- オ 子どもの世話が面倒だと考えている
- カ 子育ての大変さを理解していない
- キ 子どもとどのように接したらよいかわからない
- ク 子育てに関する知識や情報が乏しい
- ケ 子育ては主に配偶者（パートナー）がすべきものだと思
- コ その他（ ）

2 配偶者（パートナー）について

- 1 十分である（あった）
- 2 ある程度は十分である（あった）

- 3 あまり十分ではない（なかった）
- 4 十分ではない（なかった）



かかわりが十分でない（なかった）のは何が原因だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- ア 仕事が忙しすぎるため
- イ 育児休業制度が不十分または利用しにくい
- ウ 趣味や自分の個人的な楽しみの方を大切に
- エ 子どものことや家庭のことにあまり関心がない
- オ 子どもの世話が面倒だと考えている
- カ 子育ての大変さを理解していない
- キ 子どもとどのように接したらよいかわからない
- ク 子育てに関する知識や情報が乏しい
- ケ 子育ては主にあなたがすべきものだと思
- コ その他（ ）

【子育て中の方、または、子育て経験のある方にお聞きします。】

問17 あなたの家庭での子育て分担の状況について、あなたは満足していますか（していましたか）。

（〇は一つ）

1 満足している（いた）	4 やや不満である（あった）
2 まあまあ満足している（いた）	5 不満である（あった）
3 どちらとも言えない	6 その他

その理由について、ご自由にお書きください。

（理由）

3 教育についてうかがいます

問18 子どもにどの程度の教育を受けさせたいと思いますか。女子と男子に分けて、あてはまる番号を選んでください。子どもがいない場合は、子どもがいると仮定して選んでください。（〇は一つ）

	中 学 ま で	高 校 ま で	短大・専門 学校まで	大 学 ま で	大 学 院 ま で	子どもに 任せる	わ か ら い な い
ア 女子	1	2	3	4	5	6	7
イ 男子	1	2	3	4	5	6	7

問19 学校教育についてどのように考えますか。ア～カの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。（〇は各項目に一つ）

	そ う 思 う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	ど ち ら か と い え ば そ う は 思 わ な い	そ う は 思 わ な い	わ か ら い
ア 中学校は男女共学のほうがよい	1	2	3	4	5
イ 高校は男女共学のほうがよい	1	2	3	4	5
ウ 学校においてもっと積極的に男女平等教育を進めたほうがよい	1	2	3	4	5
エ 学校で出席をとる時など、男子が先、女子が後というのはおかしいことだ	1	2	3	4	5
オ 女性の校長・教頭をもっと増やすべきだ	1	2	3	4	5
カ 学校では、男子・女子ともに「さん」をつけて呼んだほうがよい	1	2	3	4	5

4 配偶者(パートナー)や交際相手からの暴力についてうかがいます

問20 次のようなことが配偶者(パートナー)の間で行われた場合、それをどのように感じますか。ア～サの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。(○は各項目に一つ)

	暴力にあたる どんな場合でも	暴力にあたる場合も そうでない場合もある	暴力にあたるのは 思わない
ア 何を言われても無視をする	1	2	3
イ 電話、メール、SNS等を利用して、交友関係や行動を細かく監視する	1	2	3
ウ 配偶者(パートナー)が大切にしているものを、わざと壊したり捨てたりする	1	2	3
エ 「だれのおかげで食べられるんだ」「給料が少ないくせに」「役立たず」などと人格を否定することを言う	1	2	3
オ 大声でどなったり、殴るふりをしておどす	1	2	3
カ 殴る、蹴るなどの暴力をふるう	1	2	3
キ 命の危険を感じさせるほどの暴力をふるう	1	2	3
ク 見たがっていないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	1	2	3
ケ 避妊に協力しない	1	2	3
コ おどしや暴力によって、性的な行為を強要する	1	2	3
サ 生活費を渡さないなど、経済的に困窮させる	1	2	3

問21 新聞・雑誌・テレビ・インターネット(パソコン・携帯電話)などのメディアにおける性・暴力表現についてどのように思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1	女性の性的側面を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ
2	女性に対する犯罪を助長するおそれがある
3	性・暴力が子どもたちの目に触れないように配慮されていない
4	男は仕事、女は家庭、男は強く、女は弱いなど固定的な男女のイメージにとらわれている
5	女性の性を商品化し過ぎている
6	特に感じない
7	その他()

【配偶者（パートナー）がいる（いた）方にお聞きします。】

問22 これまでに、あなたの配偶者（パートナー）に対して、次のようなことをしたことがありますか。
ア～サの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。（○は各項目に一つ）

	何 度 も あ っ た	あ っ た 一、 二 度	全 く な い
ア 何を言われても無視をした	1	2	3
イ 電話、メール、SNS等を利用して、交友関係や行動を細かく監視した	1	2	3
ウ 配偶者（パートナー）が大切にしているものを、わざと壊したり捨てたりした	1	2	3
エ 「だれのおかげで食べられるんだ」「給料が少ないくせに」「役立たず」などと人格を否定することを言った	1	2	3
オ 大声でどなったり、殴るふりをしておどした	1	2	3
カ 殴る、蹴るなどの暴力をふるった	1	2	3
キ 命の危険を感じさせるほどの暴力をふるった	1	2	3
ク 見たがっていないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せた	1	2	3
ケ 避妊に協力しなかった	1	2	3
コ おどしや暴力によって、性的な行為を強要した	1	2	3
サ 生活費を渡さないなど、経済的に困窮させた	1	2	3



すべて「全くない」を選んだ方は、問24に進んでください。

【問22で、「何度もあった」、または、「1、2度あった」に一つでも回答した方にお聞きします。】

問23 そのようなことをするに至った理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 相手が自分の言うことを聞こうとしないので、行動でわからせようとしたから
- 2 いらいらがつのり、ある出来事がきっかけで感情が爆発したから
- 3 相手がそうされても仕方がないようなことをしたから
- 4 相手が自分に危害を加えてきたので、身を守ろうと思ったから
- 5 親しい関係ではこうしたことは当然であるから
- 6 自分が相手を管理する立場であったから
- 7 覚えていない
- 8 特に理由はない
- 9 その他（）

【配偶者（パートナー）がいる（いた）方にお聞きます。】

問24 これまでに、あなたの配偶者（パートナー）から、次のようなことをされたことがありますか。
ア～サの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。（○は各項目に一つ）

	あ っ た 何 度 も	あ っ た 一 、 二 度	全 く な い
ア 何を言っても無視をされた	1	2	3
イ 電話、メール、SNS等を利用して、交友関係や行動を細かく監視された	1	2	3
ウ あなたが大切にしているものを、わざと壊したり捨てたりされた	1	2	3
エ 「だれのおかげで食べられるんだ」「給料が少ないくせに」「役立たず」などと人格を否定することを言われた	1	2	3
オ 大声でどなられたり、殴るふりをしておどされた	1	2	3
カ 殴る、蹴るなどの暴力をふるわれた	1	2	3
キ 命の危険を感じるほどの暴力をふるわれた	1	2	3
ク 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられた	1	2	3
ケ 避妊に協力してくれなかった	1	2	3
コ おどしや暴力によって、性的な行為を強要された	1	2	3
サ 生活費を渡してくれないなど、経済的に困窮させられた	1	2	3



すべて「全くない」を選んだ方は、問28に進んでください。

【問24で、「何度もあった」、または、「1、2度あった」に一つでも回答した方にお聞きます。】

問25 問24のことをされた時に、子ども（18歳未満）はそれを見たことはありましたか。
（○は一つ）

1 あった
2 なかった
3 わからない
4 子どもはいない

【問24で、「何度もあった」、または、「1、2度あった」に一つでも回答した方にお聞きます。】

問26 配偶者（パートナー）は、子ども（18歳未満）に対して、あなたがされていたことと同じことをしたことがありますか。（○は一つ）

1 あった
2 なかった
3 わからない
4 子どもはいない

【問24で、「何度もあった」、または、「1、2度あった」に一つでも回答した方にお聞きます。】

問27 問24のことをされた時に、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。

(○は一つ)

1 相談した

2 相談したかったが、相談しなかった

3 相談しようとは思わなかった

問27-1 実際に、だれ(どこ)に相談しましたか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族
- 2 友人・知人
- 3 同じ経験をした人
- 4 職場の上司
- 5 医師・カウンセラー
- 6 弁護士
- 7 公的な相談窓口・電話相談など
- 8 新座市女性困りごと相談室
- 9 その他 ()

問27-2 だれ(どこ)にも相談できなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 だれ(どこ)に相談してよいのかわからなかったから
- 2 恥ずかしくてだれにも言えなかったから
- 3 相談しても無駄だと思ったから
- 4 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから
- 5 相談窓口の担当者の言動により、不快な思いをと思ったから
- 6 自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思ったから
- 7 世間体が悪いから
- 8 他人を巻き込みたくないから
- 9 思い出したくないから
- 10 自分に悪いところがあると思ったから
- 11 相談するほどのことではないと思ったから
- 12 その他 ()

【あなたの10代から20代の経験についてお聞きます。結婚している方、結婚したことのある方については、結婚前についてお答えください。】

問28 10代から20代の時に、交際相手がありましたか。(○は一つ)

- 1 交際相手がいいた(いる)
- 2 交際相手はいなかった(いない)

➡ 「2 いなかった」を選んだ方は、問32に進んでください。

【問28で、「1 交際相手がいた（いる）」と回答した方にお聞きます】

問29 10代、20代の時に、交際相手からア～カのようなことをされたことがありますか。

(○は各項目に一つ)

	あ っ た 10 代 に	あ っ た 20 代 に	あ っ た 両 方 と も	全 く な い
ア 殴られたり、蹴られたり、物を投げつけられたり、突き飛ばされた（される）	1	2	3	4
イ 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせをされた（される）	1	2	3	4
ウ あなたやあなたの家族への危害をほのめかすなどの脅迫をされた（される）	1	2	3	4
エ メールやSNSをチェックされたり、メールやSNSの返事をすぐに返さないと言って怒られたりした（する）	1	2	3	4
オ 性的な行為を強要された（される）	1	2	3	4
カ お金を貸しても返さない、いつもおごられることがあった（ある）	1	2	3	4



すべて「全くない」を選んだ方は、問32に進んでください。

【問29で「10代にあった」、「20代にあった」、または、「両方ともあった」に一つでも回答した方にお聞きます】

問30 問29のことをされた時に、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。(○は一つ)

- 1 相談した
- 2 相談したかったが、相談しなかった
- 3 相談しようとは思わなかった

【問30で、「1 相談した」と回答した方にお聞きます。】

問31 実際に、だれ（どこ）に相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族
- 2 友人・知人
- 3 同じ経験をした人
- 4 職場の上司
- 5 医師・カウンセラー
- 6 弁護士
- 7 公的な相談窓口・電話相談など
- 8 新座市女性困りごと相談室
- 9 その他（)

5 社会参加についてうかがいます

問32 あなたは、市の施策について女性の意見や考え方がどの程度反映されていると思いますか。(〇は一つ)

- 1 十分反映されている
- 2 ある程度反映されている
- 3 どちらともいえない

- 4 あまり反映されていない
- 5 ほとんど反映されていない



そう思う理由は何ですか。(〇は一つ)

- ア 女性議員が少ないため
- イ 行政機関の女性の管理職が少ないため
- ウ 審議会や委員会に女性委員が少ないため
- エ 地域組織のリーダーに女性が少ないため
- オ 女性自身の意欲や責任感が乏しいため
- カ 女性自身が消極的であるため
- キ 男性の意識・理解が足りないため
- ク 社会の仕組みが女性に不利なため
- ケ 女性の能力に対する偏見があるため
- コ その他 ()

問33 市には各種の協議会、審議会、委員会があり、市民の方に委員をお願いしていますが、このような委員への就任依頼があった場合、あなたはどのようにしますか。(〇は一つ)

- 1 積極的に引き受ける
- 2 自分の興味のある分野であれば引き受ける
- 3 時間に余裕があれば引き受ける
- 4 家族や周囲の理解が得られれば引き受ける
- 5 引き受けない
- 6 その他 ()

問34 問33の場合以外に、市では、委員を募集する場合があります。このような募集があった場合、あなたはどのようにしますか。(〇は一つ)

- 1 積極的に応募する
- 2 自分の興味のある分野であれば応募する
- 3 時間に余裕があれば応募する
- 4 家族や周囲の理解が得られれば応募する
- 5 応募しない
- 6 その他 ()

6 防災についてうかがいます

問35 防災・災害復興対策で配慮して取り組む必要があると思うことは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 避難所に男女別のトイレや更衣室を設置すること
- 2 被災者に対する相談窓口を設置すること
- 3 避難所等における暴力を予防するため、巡回警備等を実施すること
※ 過去の大震災では、女性や子どもに対する暴力（ドメスティック・バイオレンス、性犯罪等）が増加したという調査報告があります
- 4 乳幼児、高齢者、障がい者、病人、妊産婦、授乳中の方などのニーズを的確に把握すること、また、物資を支給する際には適切な配慮をすること
- 5 避難所運営の責任者に女性が配置され、被災者対応に女性の視点が入ること
- 6 防災計画・復興計画などを策定するに当たり、防災会議に女性が参画すること
- 7 救援医療体制（診察・治療体制、妊産婦をサポートする保健師・助産師の配置）を構築すること
- 8 特にない
- 9 その他（ ）

7 男女平等についてうかがいます

問36 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。（○は一つ）

- 1 そのとおりだと思う
- 2 どちらかといえばそう思う

- 3 どちらかといえばそう思わない
- 4 そうは思わない

問36-1 その理由は何ですか。（○は一つ）

- 1 男は仕事、女は家事・育児に向いているから
- 2 男女の役割をはっきり分ける方が、仕事も家庭もうまくいくから
- 3 子どものころから、そうした教育をされているから
- 4 子どもを育てるには、女性は家庭にいた方がよいから
- 5 女性は仕事を持って、勤労条件に恵まれず、仕事と家庭との両立が難しいから
- 6 その他（ ）

問36-2 その理由は何ですか。（○は一つ）

- 1 生まれつき男女の役割は決められていないから
- 2 仕事や家事の能力に男女差はないから
- 3 従来の慣習が薄れ、男女の役割を固定しない風潮が高まっているから
- 4 仕事の面でも活躍している女性が多くなってきているから
- 5 男女ともに社会的にも家庭的にも自立することが望ましいから
- 6 その他（ ）

問37 日常生活における男女の役割について、本来どうあるべきだと思いますか。（○は一つ）

- 1 男は仕事、女は家事・育児をする
- 2 男は仕事、女は家事・育児にさしつかえない範囲で仕事をする
- 3 男女とも仕事をし、家事も男女ですが、育児は主に女性がする
- 4 男女とも仕事をし、家事・育児も男女です
- 5 女は仕事、男は家事・育児をする
- 6 性別で役割を決める必要はない
- 7 その他（）

**問38 女性の人権が尊重されていないと感じるのはどのようなことですか。
（あてはまるものすべてに○）**

- 1 売春・買春・援助交際
- 2 レイプ（強制性交）や痴漢行為など女性への性暴力
- 3 配偶者（パートナー）や交際相手からの暴力
- 4 職場におけるセクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）
- 5 職場におけるマタニティ・ハラスメント（働く女性が妊娠、出産を理由に解雇、雇い止めされることや、職場で受ける精神的、肉体的な嫌がらせ）
- 6 職場におけるパワー・ハラスメント（社会的地位や職権を利用して行う嫌がらせのこと）
- 7 女性のヌード写真などを掲載した雑誌
- 8 人目を引くためだけに女性の性的あるいは外見的な側面を強調して表現している広告
- 9 女性の容姿を競うコンテスト
- 10 特に感じない
- 11 その他（）

問39 次にあげる分野において、男女の地位は平等であると思いますか。ア～クの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。(○は各項目に一つ)

	女性が優遇 されている	やや女性が 優遇されている	平等である	やや男性が 優遇されている	男性が優遇 されている	わからない
ア 家庭では	1	2	3	4	5	6
イ 職場では	1	2	3	4	5	6
ウ 教育の場では	1	2	3	4	5	6
エ 社会活動の場では	1	2	3	4	5	6
オ 法律や制度では	1	2	3	4	5	6
カ しきたりや慣習では	1	2	3	4	5	6
キ 余暇生活では	1	2	3	4	5	6
ク 全体としては	1	2	3	4	5	6

問40 男女共同参画社会を実現するために、市がどのような取組を進めたらよいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1	学校における男女平等教育の推進
2	女性の社会的な自立を促す講座の開催
3	男女共同参画についての広報活動
4	経営者、事業主に対する啓発活動
5	福祉・健康・労働など女性に関する相談業務
6	保育所などの児童福祉の推進
7	市の審議会などへの女性委員の登用
8	地域活動やボランティア活動への支援
9	男女共同参画に関して活動を行っている団体への支援と育成
10	女性起業家の支援と育成
11	高齢者介護などの福祉の充実
12	男女共同参画推進プラザにおける事業の拡充
13	その他 ()

問4 1 男女共同参画問題に関する次の取組や用語などをご存じですか。ア～トの各項目について、それぞれあてはまる番号を選んでください。(○は各項目に一つ)

	知っている	言葉も内容も聞いたことがある	知らない
ア 新座市男女共同参画情報紙 For You	1	2	3
イ 第3次にいざ男女共同参画プラン(平成28年3月策定)	1	2	3
ウ 新座市男女共同参画推進条例(平成12年7月1日施行)	1	2	3
エ 女性困りごと相談室(平成12年10月1日開設)	1	2	3
オ 男女雇用機会均等法【雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律】(昭和61年施行)	1	2	3
カ 育児・介護休業法【育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律】(平成4年施行)	1	2	3
キ 男女共同参画社会基本法(平成11年施行)	1	2	3
ク ドメスティック・バイオレンス(DV。配偶者(パートナー)から振るわれる暴力)	1	2	3
ケ デートDV(交際相手から振るわれる暴力)	1	2	3
コ DV防止法【配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律】(平成13年施行)	1	2	3
サ 男女共同参画週間(毎年6月23日～29日の1週間)	1	2	3
シ ジェンダー(社会的・文化的につくられた性別のこと)	1	2	3
ス LGBT※(性的マイノリティのこと)	1	2	3
セ セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)	1	2	3
ソ マタニティ・ハラスメント(働く女性が妊娠、出産を理由に解雇、雇止めされることや、職場で受ける精神的、肉体的な嫌がらせ)	1	2	3
タ パワー・ハラスメント(社会的地位や職権を利用して行う嫌がらせのこと)	1	2	3
チ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)	1	2	3
ツ ポジティブ・アクション(積極的格差是正措置)	1	2	3
テ 女性活躍推進法【女性の職業生活における活躍の推進に関する法律】(平成27年施行)	1	2	3
ト 政治分野における男女共同参画の推進に関する法律(平成30年施行)	1	2	3

※ 「L」=レズビアン(女性同性愛者)、「G」=ゲイ(男性同性愛者)、「B」=バイセクシュアル(両性愛者)、「T」=トランスジェンダー(身体や戸籍上の性別と自認する性別に違和感を持つ人)の頭文字をとった単語

問4 2 新座市男女共同参画推進プラザ（志木駅南口前のいざほっとぷらざ内に平成14年2月1日に開設）
をご存じですか。また、ここで開催された講座などに参加したことはありますか。
（○は一つ）

1 男女共同参画推進プラザを知っている

2 男女共同参画推進プラザを知らない

問4 2-1-1 利用したことはありますか。（○は一つ）

1 利用したことがある

2 利用したことはない

問4 2-1-2 どのようなことで利用しましたか。（あてはまるものすべてに○）

1 講演会や映画鑑賞会に参加した

2 パネル展など展示物を見た

3 情報交流コーナーにおいて、男女共同参画に関する図書や情報誌を閲覧した

4 女性困りごと相談を受けた

5 女性法律相談を受けた

6 その他（

）

最後になりましたが、新座市の男女共同参画に関する取組について、日ごろ感じていることがございましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

新座市男女平等意識・実態調査報告書

令和2年3月発行

発行

新座市総務部人権推進課

〒352-8623 埼玉県新座市野火止1-1-1

TEL 048(477)1111(代表)